



UltraMAB™抗体

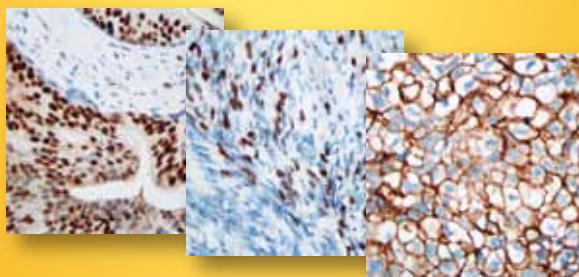
超特異的 IHC 抗体

NEW!

30 μ Lの
トライアルサイズ
新発売!

そのシグナルは本当に特異的？

オリジンテクノロジーズ社では、
抗体特異性の検証ツールを開発しました！
このツールで検証済みの抗体を「**UltraMAB™**」として販売しています。



10,000 以上のヒト抗原で
特異性を検証しています！

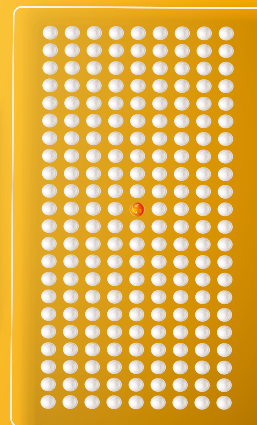


Table of Contents



ADIPOQ	P,2	JUN	P,49
AFP	P,3	KLK8	P,50
ALDH1L1	P,4	KRT18	P,51
ALX4	P,5	KRT19	P,52
AMACR	P,6	KRT8	P,53
BBOX1	P,7	L1CAM	P,54
BID	P,8	LGALS3	P,55
BMP4	P,9	MADCAM1	P,56
BTLA	P,10	MCAM	P,57
BUB1B	P,11	MEF2C	P,58
CA12	P,12	MGMT	P,59
CD19	P,13	MKI67	P,60
CD1C	P,14	MLF1	P,61
CD2	P,15	MRPS34	P,62
CD20	P,16	MRPS7	P,63
CD3E	P,17	MS4A1	P,64
CD4	P,18	MSI1	P,65
CD44	P,19	MSMB	P,66
CD5	P,20	MUC1	P,67
CD68	P,21	NBN	P,68
CD80	P,22	NCAM1	P,69
CDH2	P,23	NME1	P,70
CHGA	P,24	PARN	P,71
CTAG1B	P,25	PBX1	P,72
CYP1A2	P,26	PECAM1	P,73
DDX56	P,27	PGR	P,74
DEF6	P,28	PSMA6	P,75
DOCK2	P,29	RAPGEF1	P,76
EGFR	P,30	S100P	P,77
EPCAM	P,31	SDCBP	P,78
ERBB2	P,32	SERPINB4	P,79
ERCC1	P,33	SLC7A8	P,80
ERG	P,34	SOX5	P,81
FCER2	P,35	SQSTM1	P,82
FCGR1A	P,36	SYP	P,83
FCGR2A	P,37	SYT4	P,84
FGF21	P,38	TOP2A	P,85
FOLH1	P,39	TP53	P,86
FOXP1	P,40	TYMP	P,87
FTCD	P,41	VBP1	P,88
GFAP	P,42	VSNL1	P,89
HADH	P,43	WFDC2	P,90
HAO1	P,44	XPF	P,91
HMBS	P,45	XRCC1	P,92
HP	P,46	ZSCAN18	P,93
IDO1	P,47	β-Catenin	P,94
IRF6	P,48		

UltraMAB™ 抗体は随時新商品が追加されます。詳細は、オリジンテクノロジーズ社ホームページ上の UltraMAB™ ページ (www.origene.com/UltraMAB) をご覧ください。

10,000 以上のヒト抗原で特異性を検証済

UltraMAB™ 超特異的 IHC 抗体



抗体の特異性の高さは、疾患研究で使用する免疫染色用抗体では必要条件です。非特異（交差）反応が、疾患研究では思わぬ結果を引き起こしてしまう可能性があります。しかしながら、現実的には抗体の特異性を検証する有効な手段が不足しており、市販されているモノクローナル抗体においても、実際には単一の抗原特異性を示さないというデータが様々なグループにより報告されているのが現状です。

オリジンテクノロジー社では、過剰発現タンパク質ライセートの世界屈指のコレクションを保有するメリットをいかして、抗体特異性試験用の高密度タンパク質マイクロアレイチップを開発しました。このチップには、ニトロセルロースがコートされたガラススライド上に、10,464 ものユニークな過剰発現タンパク質が duplicate にスポットされています。このタンパク質マイクロアレイ技術は、既に診断用抗体となっている ERCC1 抗体の特異性検証にも用いられています（図 1）。このツールで検証済みの抗体が、UltraMAB™ 抗体として販売されています。

ERCC 抗体の検証例

ERCC1 タンパク質は、非小細胞肺癌の患者群がシスプラチン化学療法に反応するかどうかをみるうえで重要なバイオマーカーとして知られています。従って、免疫組織染色で検証済みの特異性の高いモノクローナル抗体を開発することは非常に重要です。ERCC1 抗体として非常によく使われているクローン「8F1」が、ERCC1 ノックアウト細胞で未知のタンパク質にも交差反応を示すことが、いくつかの文献で報告されています。

オリジンテクノロジー社の高密度タンパク質マイクロアレイテクノロジーを用いて、クローン「8F1」に交差反応するタンパク質を同定しました（図 1）。オリジンテクノロジー社では、この技術を用いて検証を行い、クローン「4F9」の ERCC1 UltraMAB™ 抗体の開発に成功しました（図 2）。この抗体はさらに、ウェスタンブロット解析（図 3）と NSCLS 組織切片を用いた染色解析でも検証されています（図 4）。

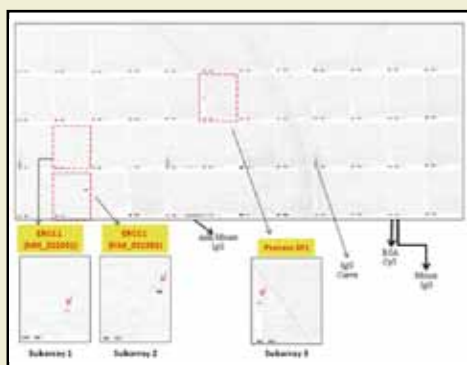


図 1. タンパク質マイクロアレイチップを用いて ERCC1 抗体（クローン 8F1）の特異性を検証

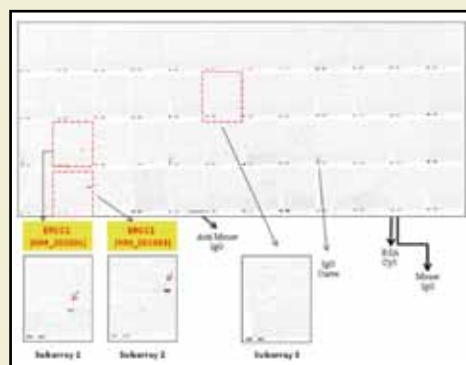


図 2. タンパク質マイクロアレイチップを用いて ERCC1 UltraMAB™ 抗体（クローン 4F9）の特異性を検証

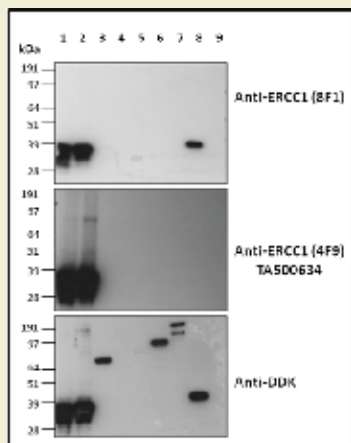


図 3. タンパク質マイクロアレイチップデータのウェスタンブロット検証

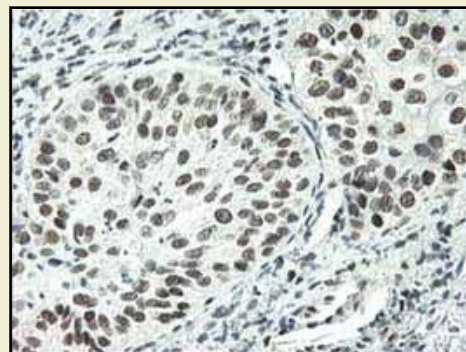


図 4. ERCC1 UltraMAB™ 抗体（クローン 4F9）による NSCLS 組織（ホルマリン固定パラフィン包埋）切片の染色

ADIPOQ / NM_004797

本遺伝子は脂肪組織で独占的に発現する X 型と VIII 型コラーゲンおよび補体因子 C1q に類似したタンパク質をコードする。コードされているタンパク質は血漿中に循環し、代謝やホルモンのプロセスに関与する。本遺伝子の変異はアディポネクチン欠損と関連する。同一タンパク質をコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されている [RefSeq: Apr 2010]。

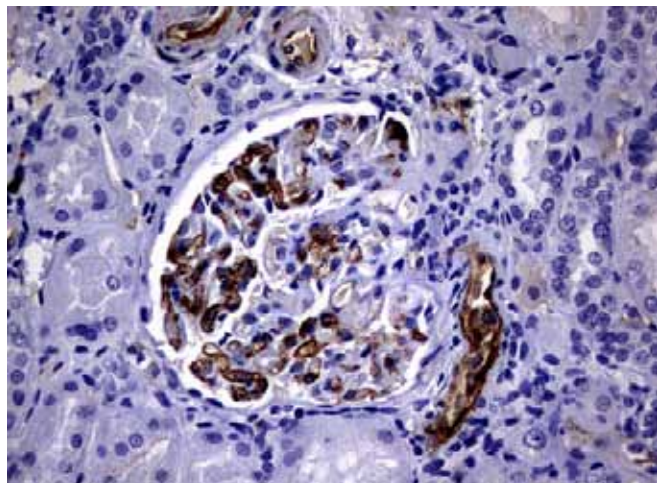


図.1 パラフィン包埋したヒト腎臓組織を anti-ADIPOQ マウスモノクローナル抗体を用いて免疫組織化学染色 (UM500072)

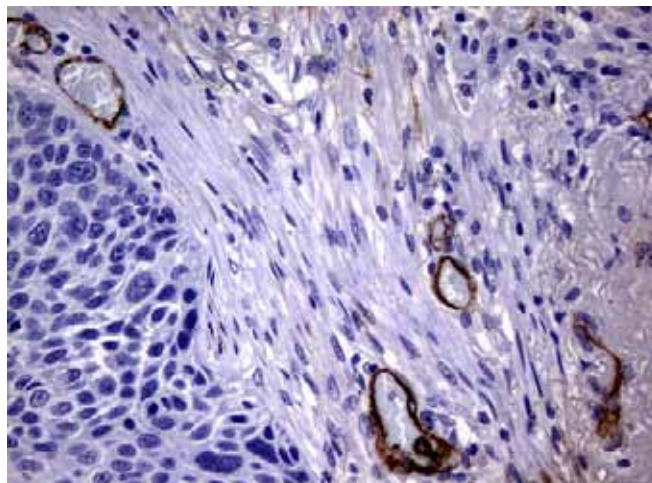


図.2 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-ADIPOQ マウスモノクローナル抗体を用いて免疫組織化学染色 (UM500072)

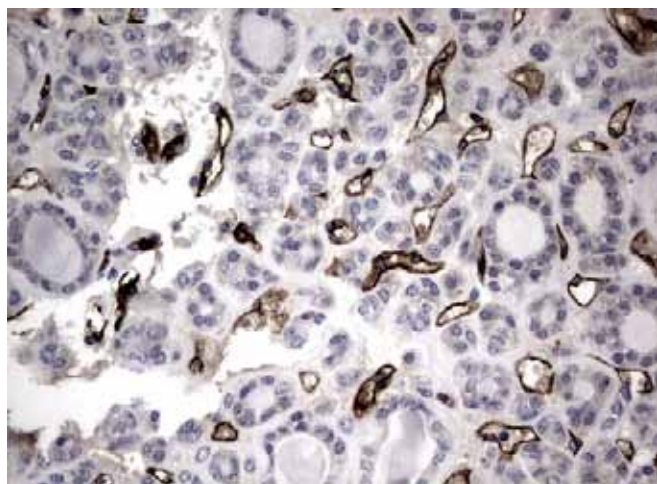


図.3 パラフィン包埋したヒト甲状腺組織の細胞腫を anti-ADIPOQ マウスモノクローナル抗体を用いて免疫組織化学染色 (UM500072)

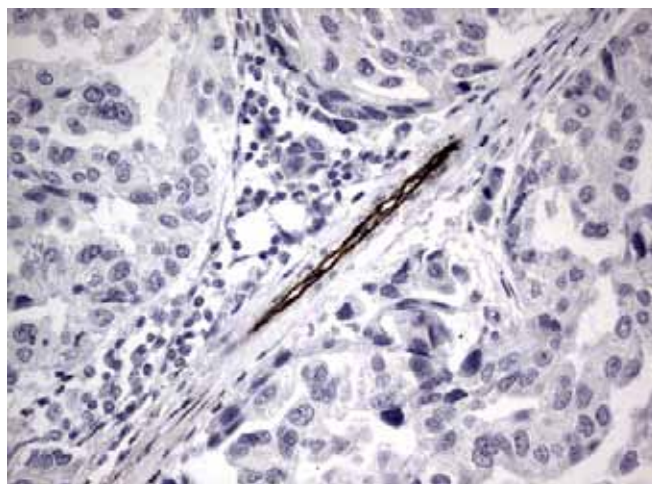


図.4 パラフィン包埋したヒト膀胱組織の細胞腫を anti-ADIPOQ マウスモノクローナル抗体を用いて免疫組織化学染色 (UM500072)

遺伝子名	Homo sapiens adiponectin, C1Q and collagen domain containing (ADIPOQ), transcript variant 2		
別名	ACDC; ACRP30; ADIPQTL1; ADPN; APM-1; APM1; GBP28		
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 19-244 of human ADIPOQ(NP_004788) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMB104	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC	推奨希釈条件	IHC 1:100,

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570072	Anti ADIPOQ, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500072	Anti ADIPOQ, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

AFP / NM_001134

本遺伝子は胎児期に卵黄嚢および肝臓が産生する主な血漿タンパク質である α フェトプロテインをコードする。成体における α フェトプロテイン発現はしばしば肝細胞腫や奇形腫と関連する。しかし、明白な病態のない個体より α フェトプロテインの遺伝的な持続が見つかる場合もある。本タンパク質は血清アルブミンの胎児性カウンターパートと考えられ、 α フェトプロテインとアルブミン遺伝子は第4染色体上に直列して同一転写方向で存在している。 α フェトプロテインは単量体、二量体、または三量体で存在し、銅、ニッケル、脂肪酸およびビリルビンと結合する。二分脊椎や無脳症スクリーニングを目的としたタンパク質の腎臓損失測定に羊水中の α フェトプロテインレベルを使用する [RefSeq, Jul 2008]。

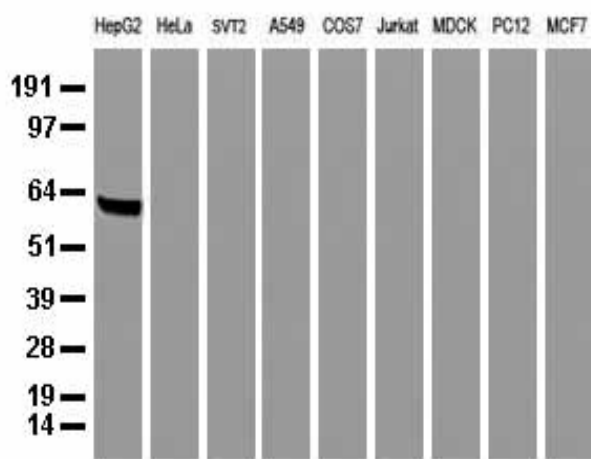


図.1 9種の細胞株の可溶化液 (35ug) を anti-AFP モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (Clone UMAB66)

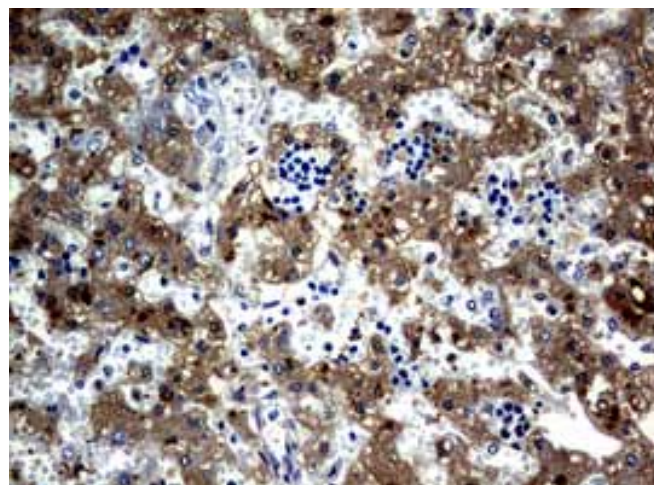


図.2 パラフィン包埋したヒト胚性肝臓組織を anti-AFP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500056)

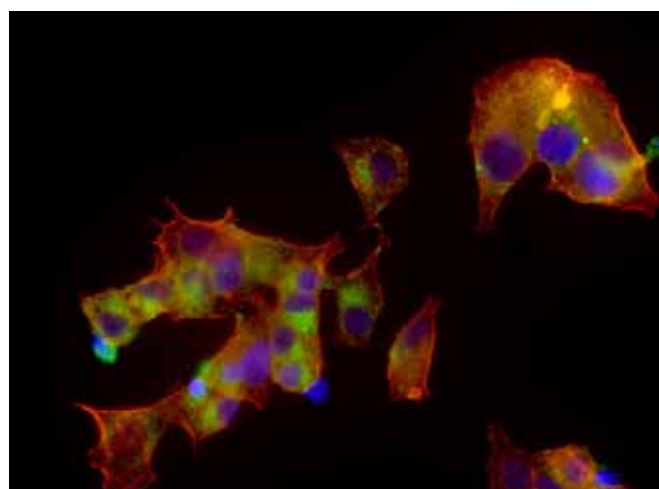


図.3 HepG2 細胞を anti-AFP マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500056, 緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) した。

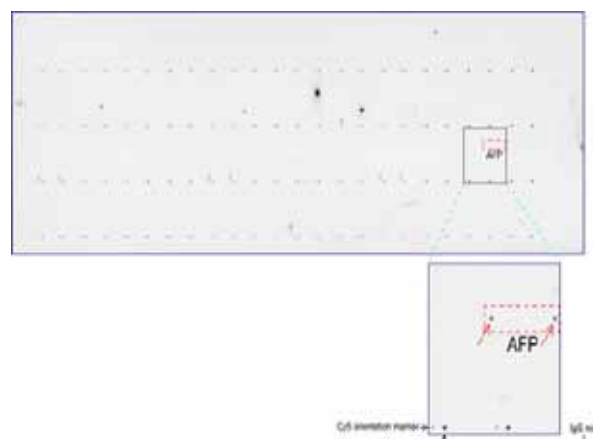


図.4 OriGen 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-AFP マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (UM500056)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。

遺伝子名	Homo sapiens alpha-fetoprotein (AFP)		
別名	FETA; HPAFP		
抗原	Full length human recombinant protein of human AFP (NP_001125) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB66	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, IF, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100, IF 1:100

品番	品名	包装	希望販売価格
UM500056	Anti AFP, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 μ l	¥ 33,000
UM570056	Anti AFP, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 μ l	¥ 129,000

Origene メーカー略号: ORG 保存: -20°C

ALDH1L1 / NM_012190

本遺伝子にコードされるタンパク質は 10-ホルミルテトラヒドロ葉酸、ニコチンアミドアデニンジヌクレオチドリン酸 (NADP+) および水からそれぞれテトラヒドロ葉酸、NADPH、二酸化炭素への転換を触媒する。コードされたタンパク質はアルデヒド脱水素酵素ファミリーに属す。本遺伝子の機能欠損または発現損失はアポトーシスの低減、細胞運動性の増大、がん進行と関連する。本遺伝子座とオーバーラップする領域の反対鎖にはアンチセンス転写物が存在する。選択的スプライシングにより複数の転写バリエーションが生ずる [[RefSeq Jun 2012]]。

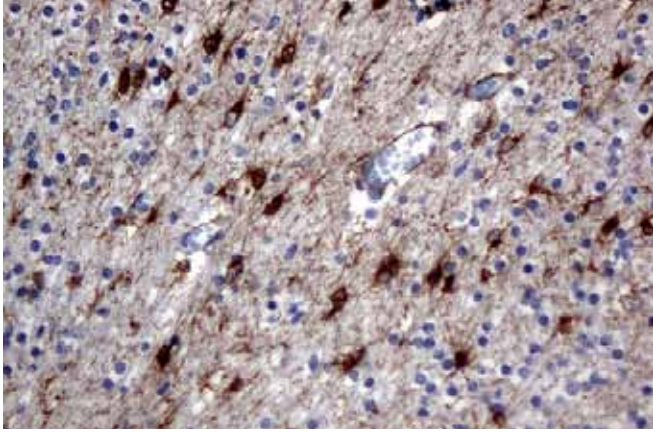


図.1 パラフィン包埋したヒト胎生脳皮質組織を anti-ALDH1L1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500039)

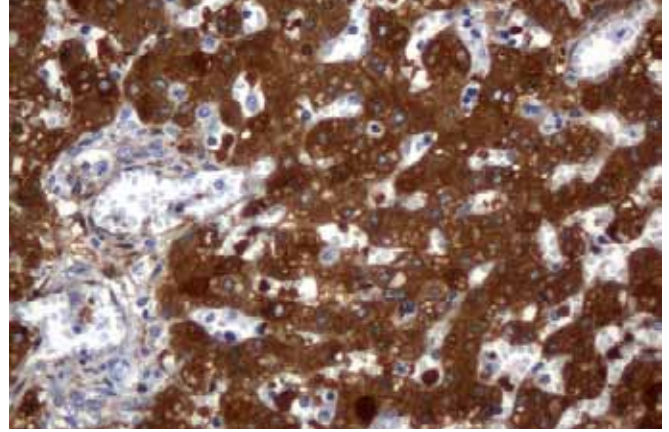


図.2 パラフィン包埋したヒト胎生肝臓組織を anti-ALDH1L1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500040)

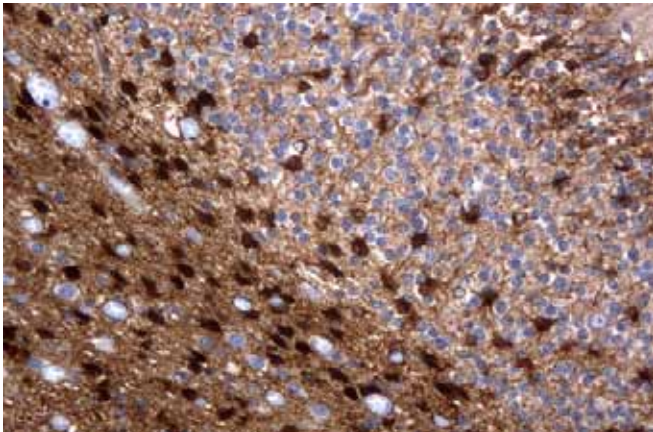


図.3 パラフィン包埋したヒト胎生小脳組織を anti-ALDH1L1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500041)

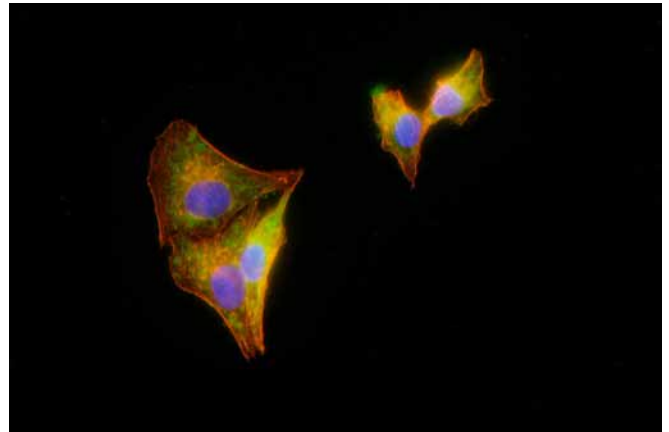


図.4 HepG2 細胞を anti-ALDH1L1 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500041、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) した。

遺伝子名	Homo sapiens aldehyde dehydrogenase 1 family, member L1 (ALDH1L1), transcript variant 2							
別名	10-FTHF; 10-FTHFDH; FDH; FTHFD							
抗原	Full length human recombinant protein of human ALDH1L1 (NP_036322) produced in HEK293T cell.							
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.							
クローン	Clone UMAB43	交差種	Human, Mouse, Rat, Monkey, Dog		アイソタイプ	IgG2b	推奨希釈条件	IHC 1:400, IF 1:100
	Clone UMAB44		Human, Dog			IgG1		IHC 1:100, IF 1:100
	Clone UMAB45		Human, Dog			IgG1		HC 1:100, IF 1:100
適用		WB, IHC, IF		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)		

Origene メーカー略号 :ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570039	Anti ALDH1L1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB43	30 µl	¥ 33,000
UM500039	Anti ALDH1L1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB43	100 µl	¥ 129,000
UM570040	Anti ALDH1L1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB44	30 µl	¥ 33,000
UM500040	Anti ALDH1L1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB44	100 µl	¥ 129,000
UM570041	Anti ALDH1L1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB45	30 µl	¥ 33,000
UM500041	Anti ALDH1L1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB45	100 µl	¥ 129,000

ALX4 / NM_021926

本遺伝子は発達中の骨、肢、髪、毛、歯および哺乳動物組織の間充織で発現する paired-like 型ホメオドメイン転写因子をコードする。本遺伝子への変異により、頭頂骨の骨形成欠損により特徴づけられる常染色体優勢疾患、parietal foramina2(PFM2)、を誘引する。また、本遺伝子の変異は、脱毛症と性腺機能低下症をともなう前方経鼻形成不全の要因ともなり、本遺伝子が頭蓋顔面発達、間葉系と上皮系の情報伝達、および毛包発生に関与することが示唆される。第11染色体上の本遺伝子を含む領域を欠失させた場合 (del(11)(p11p12))、頭蓋顔面異常、精神発達遅滞、複数の外骨腫、および男性において性器奇形として特徴づけられる Potocki-Shaffer 症候群 (PSS) を誘引する。マウスでは、本遺伝子は16コドン離れた2種類の転写開始位置をもつ [RefSeq Oct 2009]。

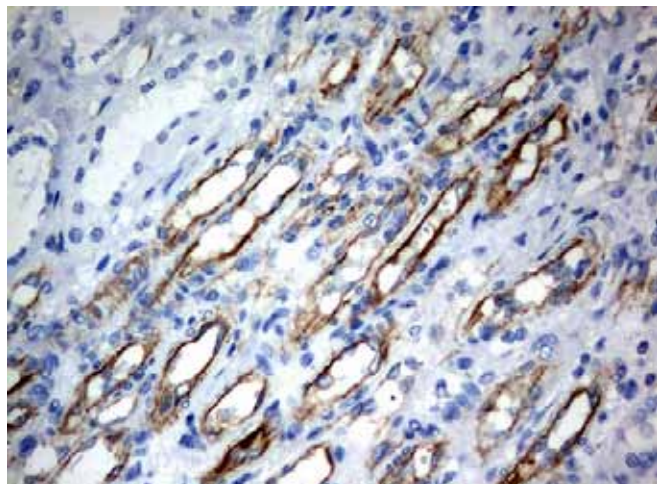


図.1 パラフィン包埋したヒト腎臓組織を anti-ALX4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500083)

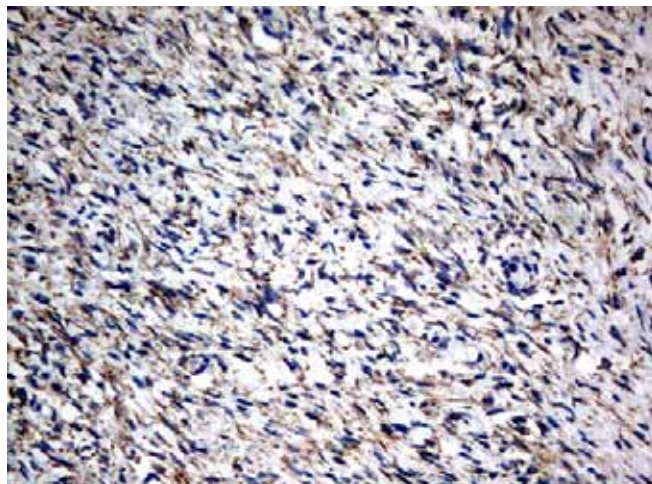


図.2 パラフィン包埋したヒト卵巣組織を anti-ALX4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500083)

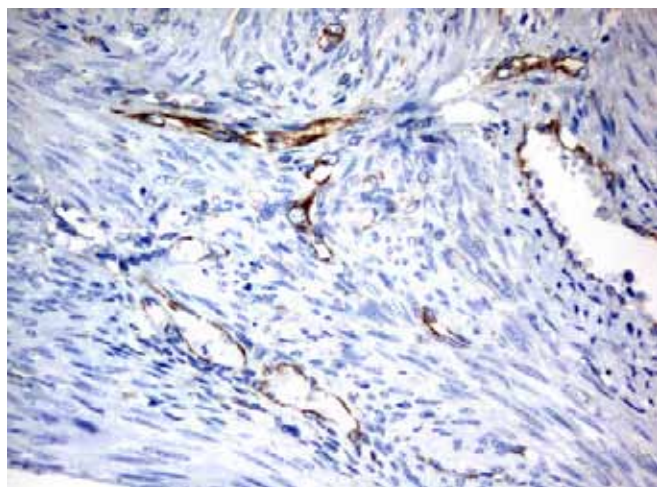


図.3 パラフィン包埋したヒト子宮内膜組織を anti-ALX4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500083)

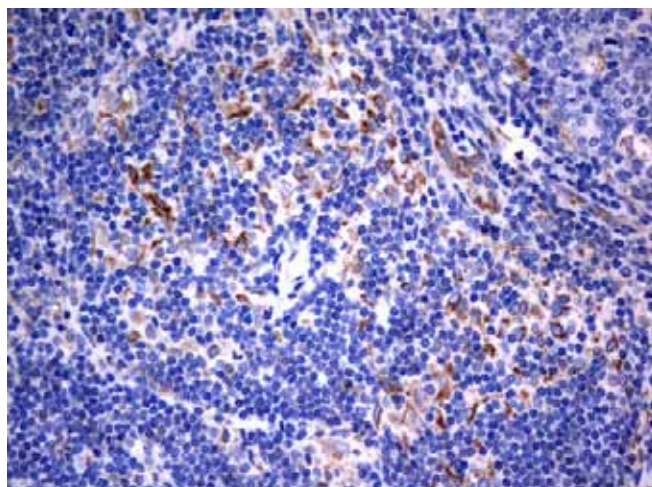


図.4 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織の細胞腫を anti-ALX4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500083)

遺伝子名	Homo sapiens ALX homeobox 4 (ALX4)		
別名	FND2		
抗原	Full length human recombinant protein of human ALX4(NP_068745) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB118	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100~200,

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570083	Anti ALX4, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500083	Anti ALX4, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

AMACR / NM_014324

本遺伝子はラセミ化酵素をコードする。コードされている酵素はプロスタノイル-CoA と C27-胆汁酸アシル CoA 群の (R)- と (S)- の立体異性体間を相互変換する。ペルオキシソームの β -酸化によりこれらの基質が崩壊されるには、(S)- 立体異性体への変換が必須である。本遺伝子への変異は、胆汁酸合成欠損より、成体発症型感覚運動性ニューロパチー、色素性網膜炎、副腎脊髄ニューロパチーとの関連が考えられる。また、多型性転写バリエーションも報告されている。本遺伝子と上流の近接に存在する C1QTNF3 (C1q and tumor necrosis factor related protein 3) 遺伝子が存在する {RefSeq Mar 2011}

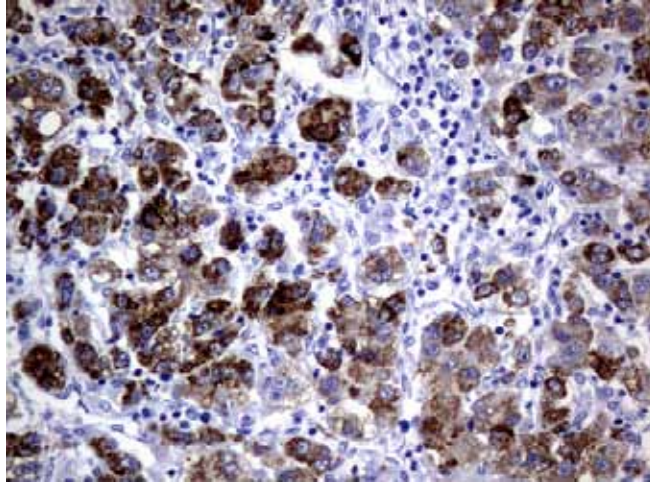


図.1 パラフィン包埋したヒト肝臓組織の細胞腫を anti-AMACR マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800012)

遺伝子名	Homo sapiens alpha-methylacyl-CoA racemase (AMACR), transcript variant 1		
別名	AMACRD; CBAS4; RACE; RM		
抗原	Full length human recombinant protein of human AMACR (NP_055139) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB68	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC	推奨希釈条件	IHC 1:100,

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870012	Anti AMACR, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 μ l	¥ 33,000
UM800012	Anti AMACR, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 μ l	¥ 129,000

BBOX1 / NM_003986

本遺伝子は γ ブチロベタイン水酸化酵素をコードし、L-カルニチン生合成経路の最終段階である γ ブチロベタインから L-カルニチンへの形成を触媒する。カルニチンはミトコンドリアの β 酸化時のミトコンドリア膜を介した活性型脂肪酸移送に必須である [RefSeq Jul2008]。

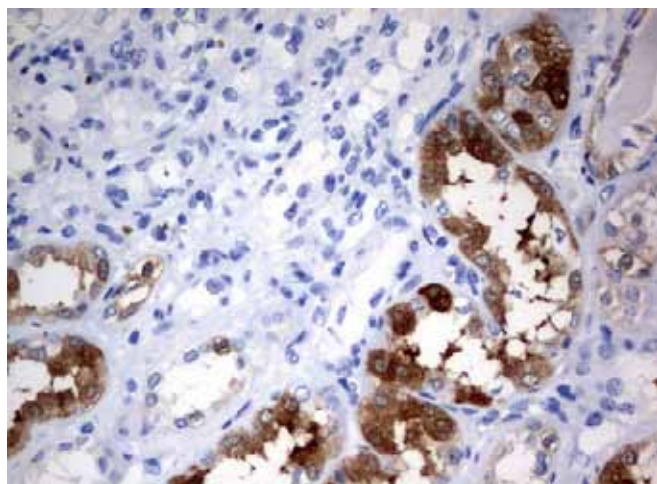


図.1 パラフィン包埋したヒト腎臓組織を anti-BBOX1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500084)



図.2 ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-BBOX1 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (UM500084)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。

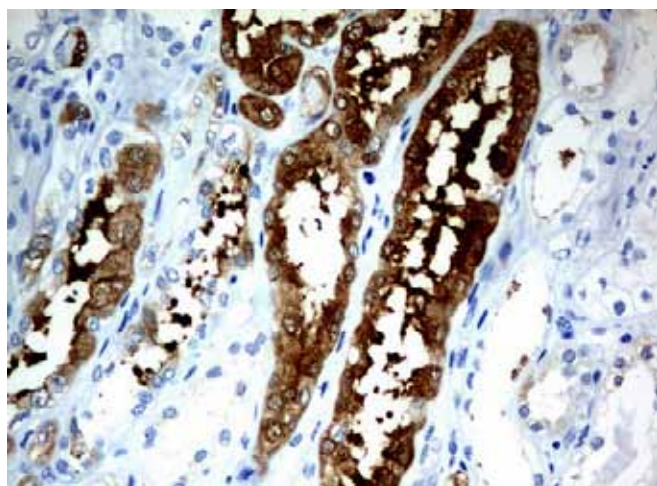


図.3 パラフィン包埋したヒト腎臓組織を anti-BBOX1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500085)

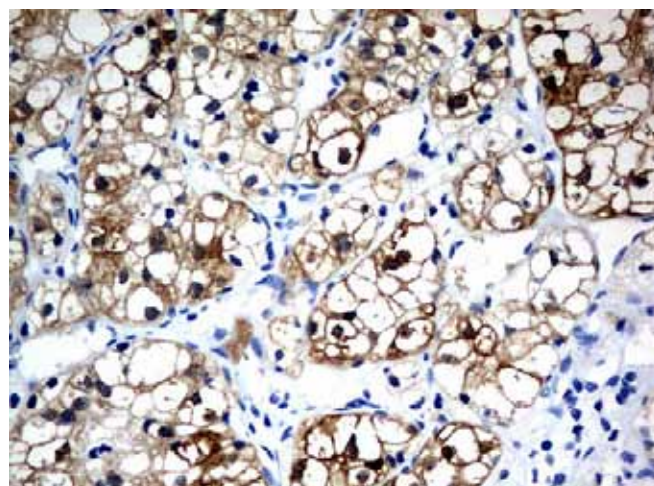


図.4 パラフィン包埋したヒト腎臓組織の細胞腫を anti-BBOX1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500085)

遺伝子名	Homo sapiens butyrobetaine (gamma), 2-oxoglutarate dioxygenase (gamma-butyrobetaine hydroxylase) 1 (BBOX1)		
別名	BBH; BBOX; G-BBH; gamma-BBH		
抗原	Full length human recombinant protein of human BBOX1 (NP_003977) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB119	アイソタイプ	IgG1
	Clone UMAB120		IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100~200,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570084	Anti BBOX1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB119	30 μ l	¥ 33,000
UM570084	Anti BBOX1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB119	100 μ l	¥ 129,000
UM570085	Anti BBOX1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB120	30 μ l	¥ 33,000
UM500085	Anti BBOX1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB120	100 μ l	¥ 129,000

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20°C

BID / NM_001196

本遺伝子は細胞死アゴニストをコードし、アゴニスト BAX またはアゴニスト BCL2 とヘテロ二量体を形成する。コードされたタンパク質は細胞死調節因子である BCL-2 ファミリーのメンバーである。カスパーゼ 8 (CASP8) に誘導されるミトコンドリア損傷を媒介する。CASP8 は本タンパク質を切断し、COOH-末端部分がミトコンドリアに転位し、チトクローム c 放出を誘引する。複数の選択的スプライシングバリエーションがみついているものの、いくつかのバリエーションにおいては完全長の実験的な同定がなされていない [RefSeq Jul 2008]。

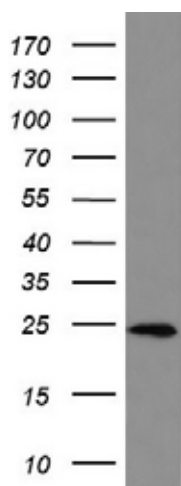


図.1 HEK293 細胞可溶化液 (35ug) を anti-BID モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析

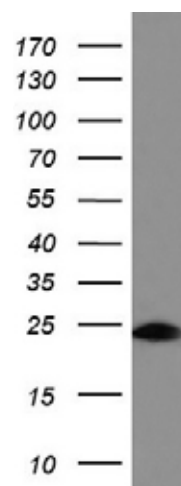


図.2 COLO205 細胞可溶化液 (35ug) を anti-BID モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析

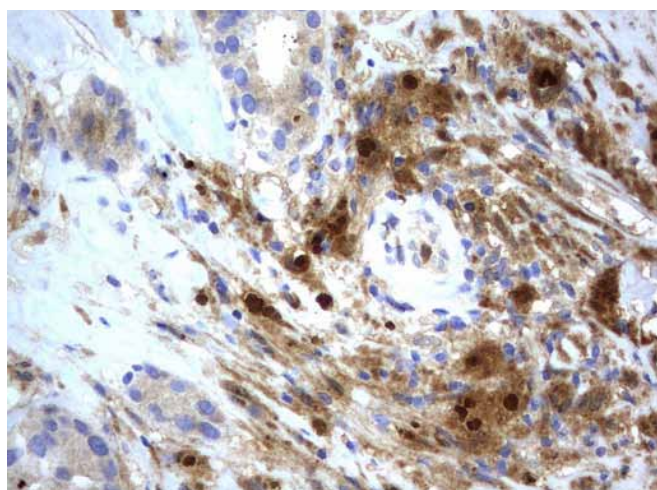


図.3 パラフィン包埋したヒト乳房組織の腺癌を anti-BID マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500101)

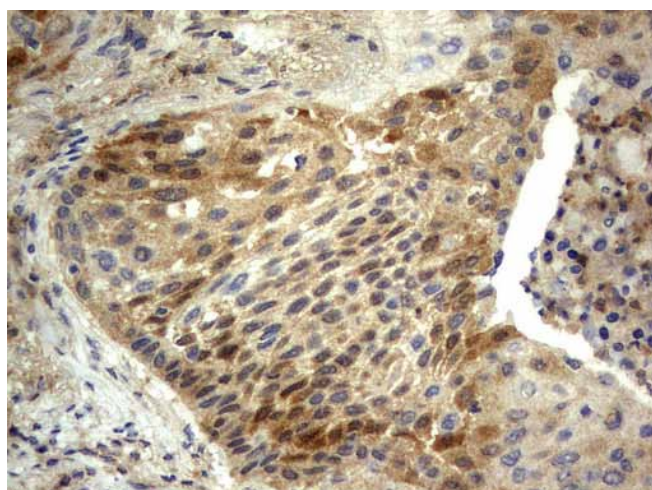


図.4 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-BID マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500101)

遺伝子名	Homo sapiens BH3 interacting domain death agonist (BID), transcript variant 2		
別名	FP497		
抗原	Full length human recombinant protein of human BID(NP_001187) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB139	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:200,

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570101	Anti BID, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500101	Anti BID, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

BMP4 / NM_130850

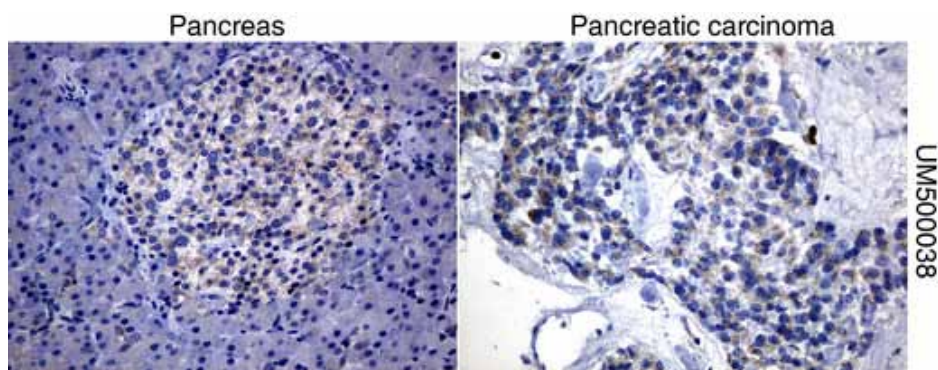


図.1 パラフィン包埋したヒト正常膵臓組織または細胞腫を anti-BMP4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB42, Dilution 1:50)

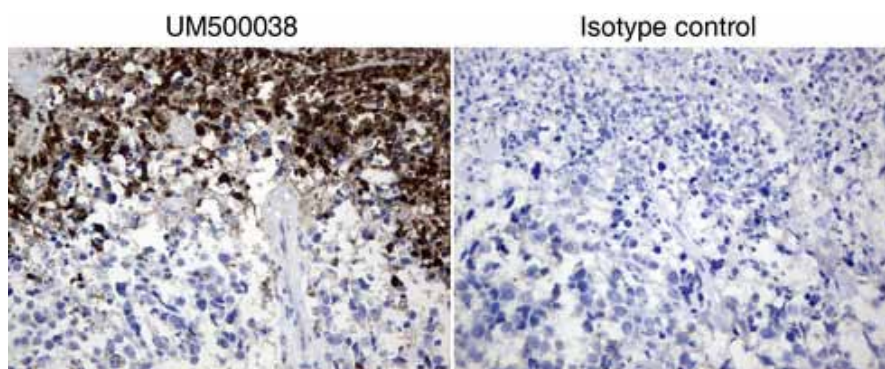


図.2 パラフィン包埋したヒトメラノーマ組織を anti-BMP4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB42, Dilution 1:50)。アイソタイプが同じであるが無関与の抗体をネガティブコントロールとして使用した。

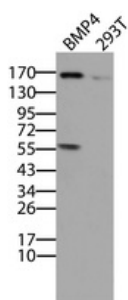


図.3 pCMV6-ENTRY BTRC cDNA (RC219979: 左レーン) をトランスフェクト後 48 時間経過した HEK293 細胞またはトランスフェクトしていないもの (右レーン) を可溶化した。同量の細胞可溶化液 (5ug/ レーン) を SDS-PAGE で展開し、anti-BTRC で免疫プロットした。

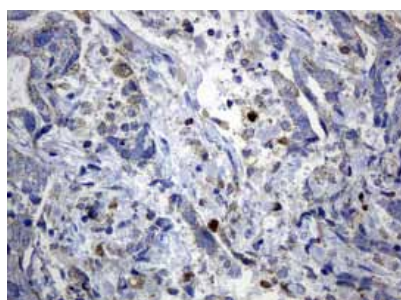


図.4 パラフィン包埋したヒト乳房組織の細胞腫を anti-BMP4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB42, Dilution 1:50)

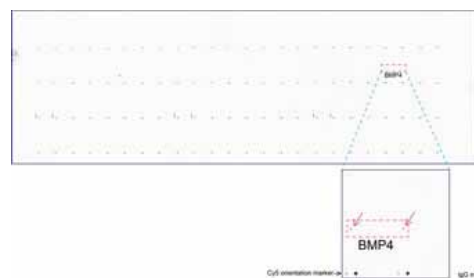


図.5 ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-BMP4 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (Clone UMAB42)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするようラベルした。本データより OriGene protein microarray chip 上で UltraMAB anti-BMP4(Clone UMAB42) が BMP4 抗原を非常に特異的に認識することがわかる。

遺伝子名	Homo sapiens bone morphogenetic protein 4 (BMP4), transcript variant 2		
別名	BMP2B; BMP2B1; MCOPS6; OFC11; ZYME		
抗原	Recombinant fragment expressed in E.coli corresponding to amino acids 293-408 of human BMP4		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB42	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB: 1:2000, IHC: 1:50,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570038	Anti BMP4, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500038	Anti BMP4, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

BTLA / NM_181780

本遺伝子は免疫グロブリンスーパーファミリーをコードする。コードされたタンパク質はひとつの免疫グロブリン (Ig) ドメインを含み、免疫応答を抑制するため阻害シグナルを中継する受容体である。選択的スプライシングにより複数の転写バリエーションが存在する。本遺伝子の遺伝子多型では関節リウマチの危険度が高くなることが知られる [RefSeq Aug 2011]。

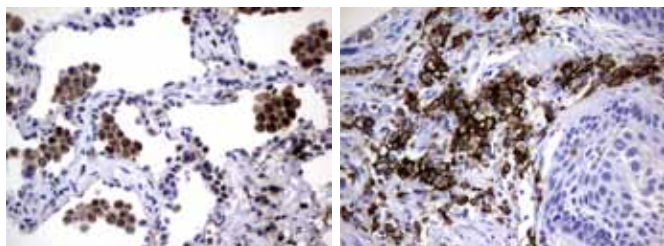


図.1
左：パラフィン包埋したヒト肺組織を anti-BTLA マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500052)
右：パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞種を anti-BTLA マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500052)

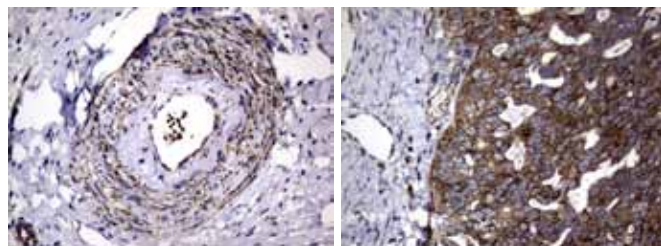


図.2
左：パラフィン包埋したヒト卵巣組織を anti-BTLA マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500052)
右：パラフィン包埋したヒト卵巣組織の腺がんを anti-BTLA マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500052)

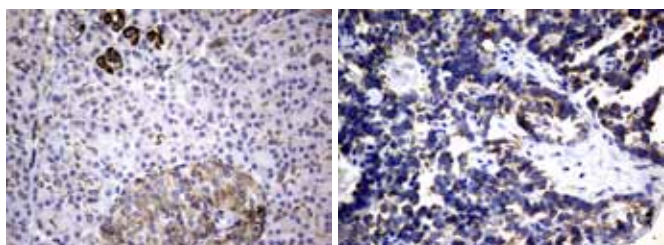


図.3
左：パラフィン包埋したヒト膵臓組織を anti-BTLA マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500052)
右：パラフィン包埋したヒト膵臓組織の細胞種を anti-BTLA マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500052)

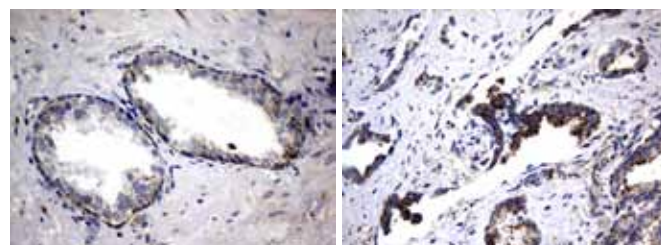


図.4
左：パラフィン包埋したヒト前立腺組織を anti-BTLA マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500052)
右：パラフィン包埋したヒト前立腺組織の細胞腫を anti-BTLA マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500052)

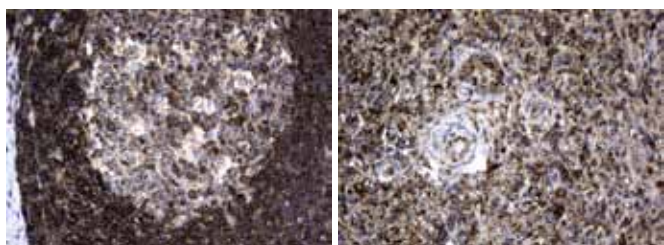


図.5
左：パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-BTLA マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500052)
右：パラフィン包埋したヒトリンパ腫組織を anti-BTLA マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500052)

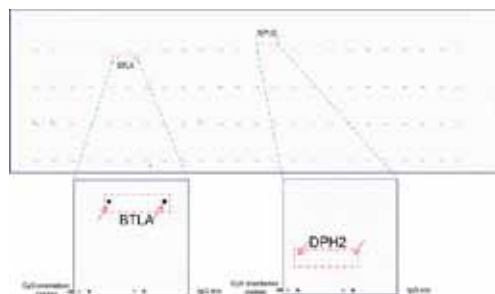


図.6
ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-BTLA マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (UM500052)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内で赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。

遺伝子名	Homo sapiens B and T lymphocyte associated (BTLA), transcript variant 1		
別名	BTLA1; CD272		
抗原	Full length human recombinant protein of human BTLA(NP_861445) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB61	アイソタイプ	IgG2a
交差種	Human, Mouse, Rat, Monkey, Dog	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:500, IHC 1:100,

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570052	Anti BTLA, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500052	Anti BTLA, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

BUB1B / NM_001211

本遺伝子は紡錘体チェックポイント機能に関与するキナーゼをコードする。本タンパク質は動原体に局在化し、後期促進複合体／サイクロソーム（AOC/C）阻害に関与して分裂後期のオンセットを遅滞させ、染色体分離を的確に進める。種々のがんにおいて紡錘体チェックポイント機能障害が報告されている。

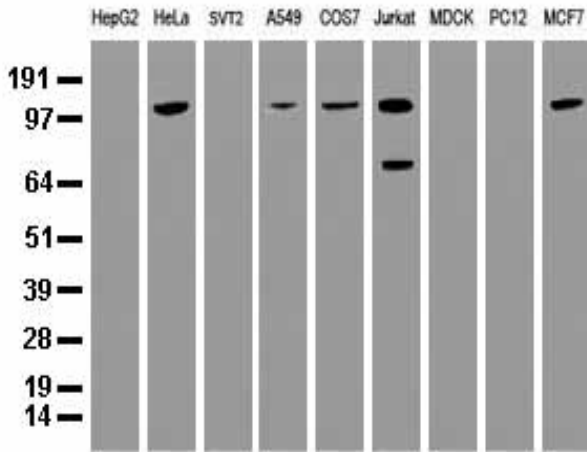


図.1 9種の細胞株の可溶化液(35ug)を anti-BUB1B モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (Clone UMAB7)

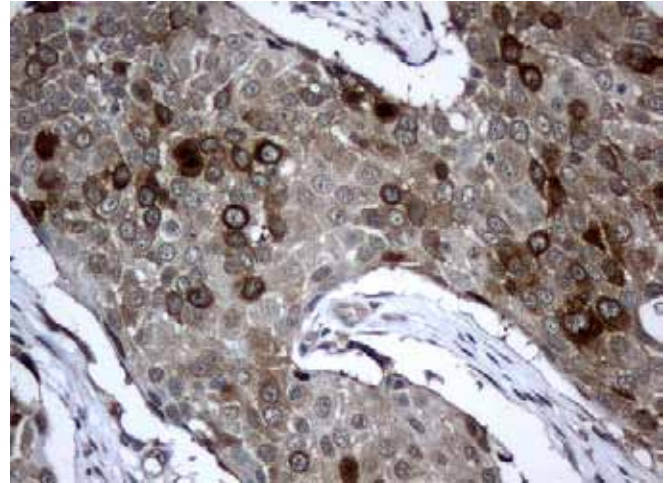


図.2 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-BUB1B マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB7、1:100 希釈)

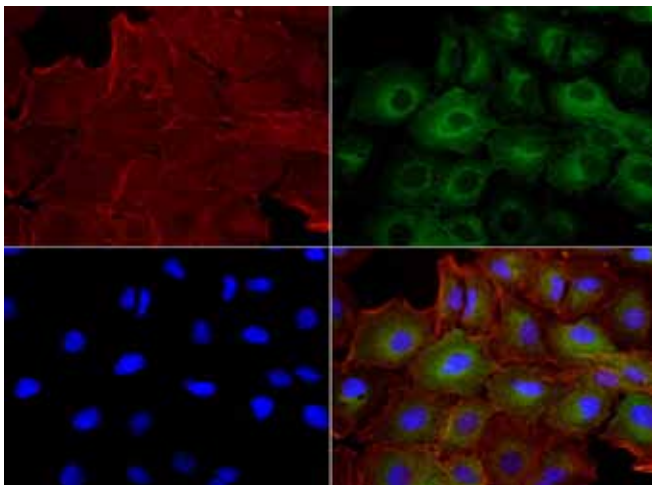


図.3 A549細胞を anti-BUB1B マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500007、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) した。

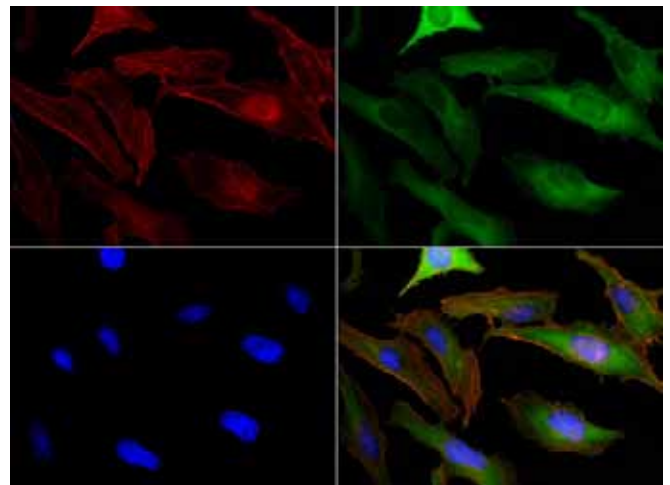


図.4 HeLa細胞を anti-BUB1B マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500007、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) した。

遺伝子名	Homo sapiens BUB1 mitotic checkpoint serine/threonine kinase B (BUB1B)		
別名	Bub1A; BUB1beta; BUBR1; hBUBR1; MAD3L; MVA1; SSK1		
抗原	Protein expressed in 293T cell transfected with human BUB1B expression vector		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB7	アイソタイプ	IgG2a
交差種	Human, Monkey	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, IF	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:50, IF 1:100, Flow 1:100, IF 1:100

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570007	Anti BUB1B, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500007	Anti BUB1B, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号: ORG 保存: -20℃

CA12 / NM_001218

炭酸脱水酵素（CAs）は亜鉛が関与する金属結合酵素の巨大なファミリーのひとつで、二酸化炭素の酸い輪反応を可逆的に触媒する。呼吸、石灰化、酸塩基平衡、骨吸収、眼房水形成、脳脊髄液、唾液、および胃散といった多様な生化学プロセスに関与する。本遺伝子産物は腎臓、結腸、膵臓といった正常組織において高発現するI型膜タンパク質で、10%の腎明細胞がんにおいて過剰発現することが知られている。異なるアイソフォームをコードする2種類の転写バリエーションが同定されている [RefSeq Jul2008]。

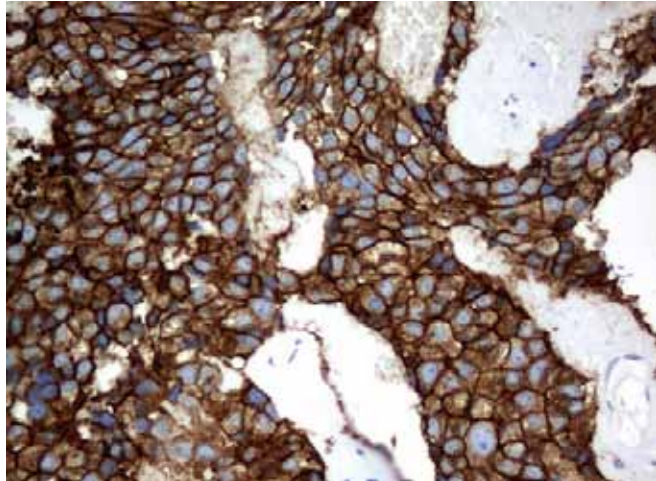


図.1 パラフィン包埋したヒト乳房組織の腺がんを anti-CA12 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500086)

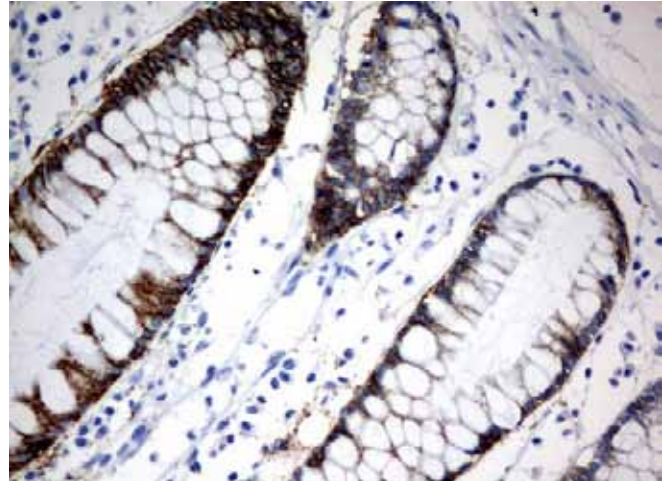


図.2 パラフィン包埋したヒト結腸組織を anti-CA12 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500086)

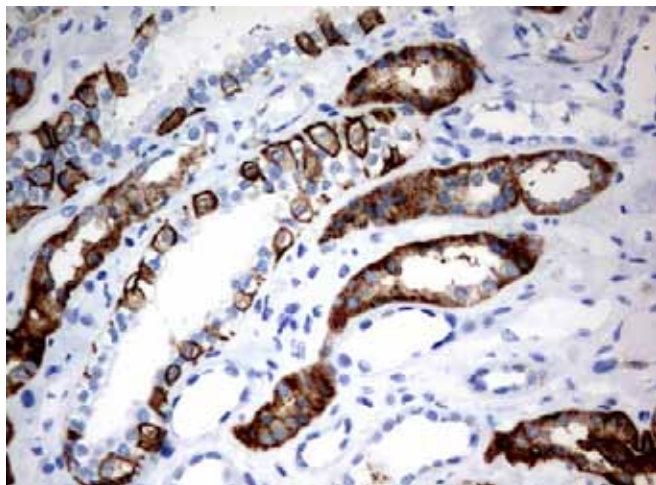


図.3 パラフィン包埋したヒト腎臓組織を anti-CA12 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500086)

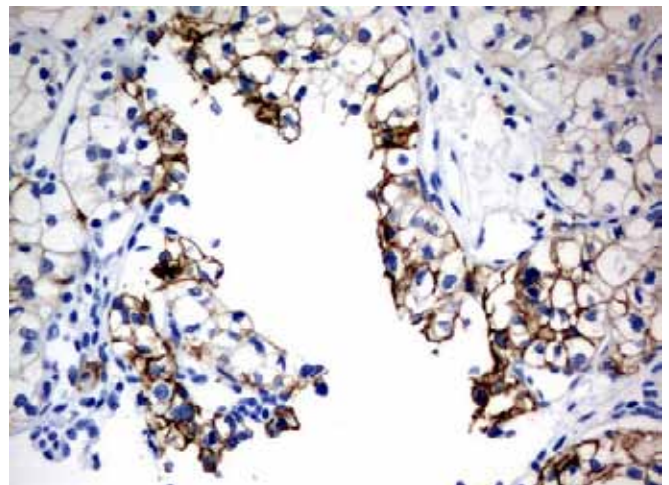


図.4 パラフィン包埋したヒト腎臓組織の細胞腫を anti-CA12 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500086)

遺伝子名	Homo sapiens carbonic anhydrase XII (CA12), transcript variant 1		
別名	CAXII; HsT18816		
抗原	Full length human recombinant protein of human CA12(NP_001209) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB121	アイソタイプ	IgG2a
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100~200,

Origene メーカー略号 :ORG 保存 :-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570086	Anti CA12, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500086	Anti CA12, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

CD19 / NM_001770

リンパ球は様々な濃度における種々の抗原に応答して増殖および分化する。B細胞が特異的でありつつも高感度で様々な抗原に応答できるのは、低親和性の抗原受容体を利用するためである。本遺伝子は、抗原受容体依存型刺激への閾値を低減するため、B-リンパ球の抗原受容体と集結する細胞表面分子をコードする [RefSeq Jul 2008]。

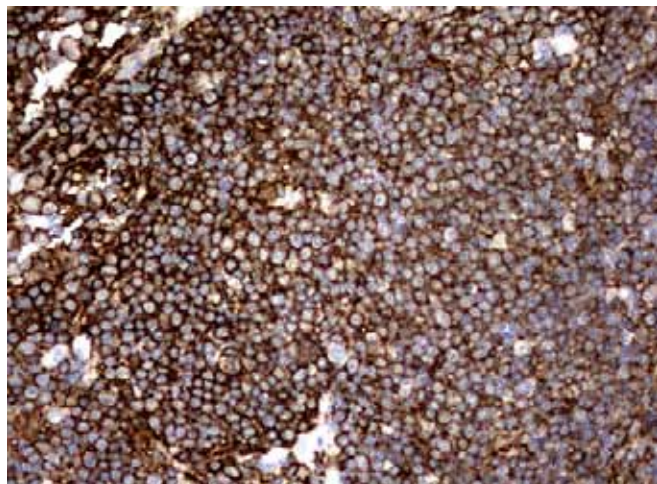


図.1 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-CD19 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500071)

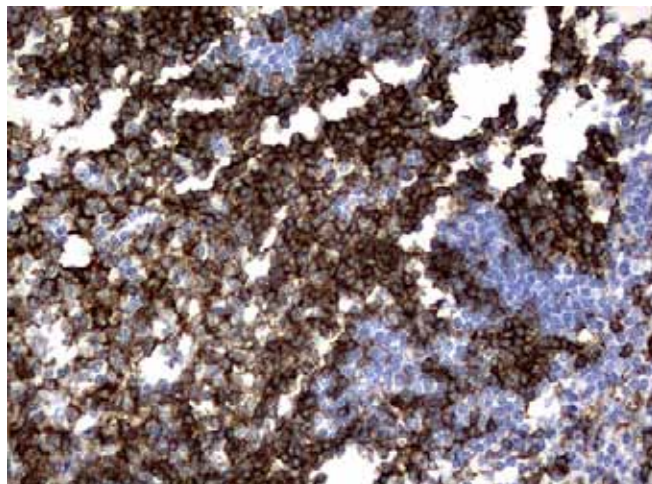


図.2 パラフィン包埋したヒト扁桃組織を anti-CD19 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500071)

遺伝子名	Homo sapiens CD19 molecule (CD19), transcript variant 2		
別名	B4; CVID3		
抗原	Full length human recombinant protein of human CD19(NP_001761) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB103	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC	推奨希釈条件	IHC 1:100,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570071	Anti CD19, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500071	Anti CD19, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

CD1C / NM_001765

本遺伝子は膜貫通型糖タンパク質の CD1 ファミリーメンバーをコードし、主要組織適合遺伝子複合体 (MHC) タンパク質と構造的に類似するとともに β -2-ミクログロブリンとヘテロ二量体を形成する。CD1 タンパク質は自己または微生物由来の主要脂質や糖脂質抗原の T 細胞への提示を仲介する。ヒトゲノムには 5 種類の CD1 ファミリーが存在し、第 1 染色体上でクラスターを形成している。CD1 ファミリーメンバーは細胞内局在性および特定の脂質リガンドに対する特異性が異なると考えられている。本遺伝子にコードされたタンパク質は細胞質側末端のトリプシンに基づいたモチーフを介してエンドサイトーシス系全体に広範に分布している。本遺伝子には選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが存在することが知られているものの完全長は確認できていない [RefSeq Jul]。

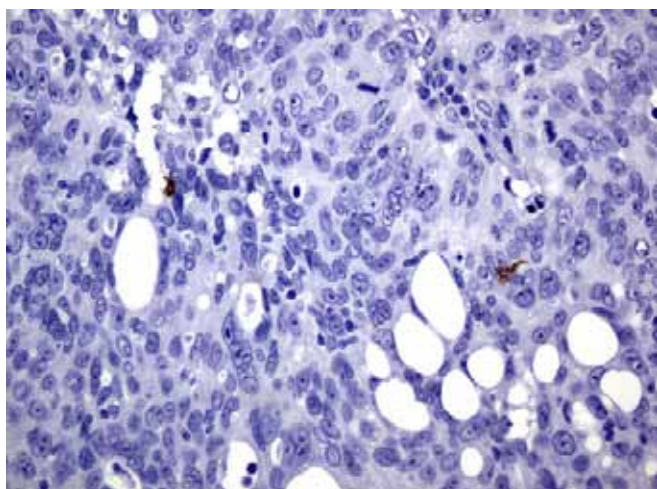


図.1 パラフィン包埋したヒト卵巣組織の腺がんを anti-CD1C マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500042)

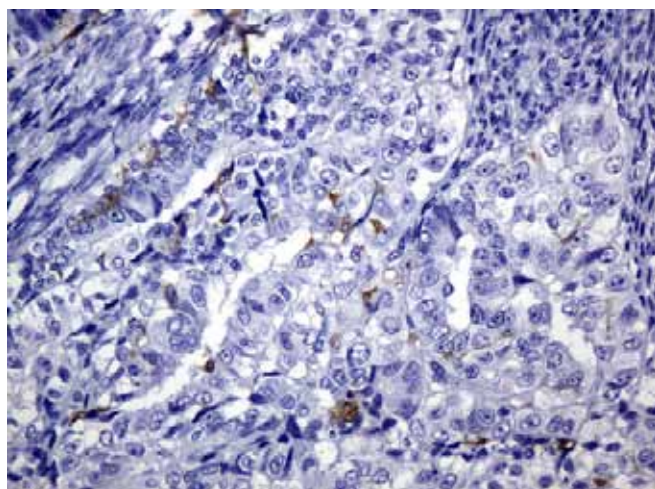


図.2 パラフィン包埋したヒト子宮内膜組織の腺がんを anti-CD1C マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500042)

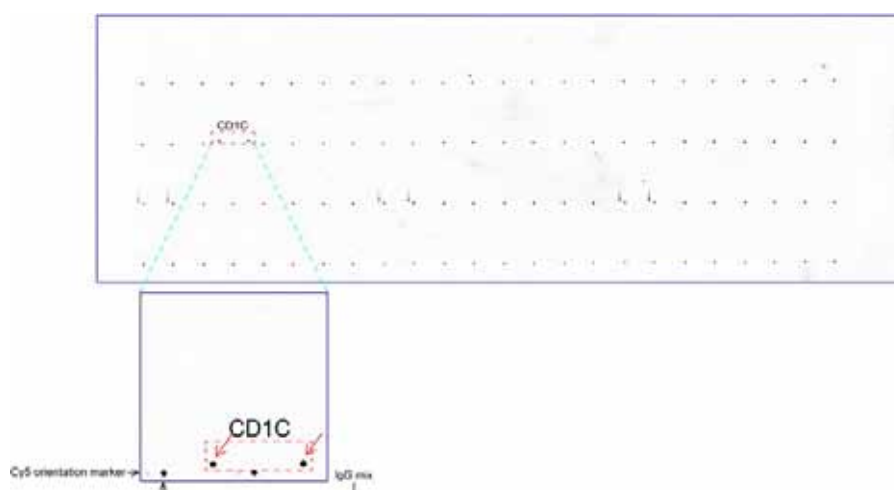


図.3 ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-CD1c マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (UM500042)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。

遺伝子名	Homo sapiens CD1c molecule (CD1C)		
別名	BDCA1; CD1; CD1A; R7		
抗原	Full length human recombinant protein of human CD1C(NP_001756) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB46	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570042	Anti CD1C, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 μ l	¥ 33,000
UM500042	Anti CD1C, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 μ l	¥ 129,000

CD2 / NM_001767

CD2 は全ての末梢血 T 細胞上で発現するヒト T-リンパ球系列の表面抗原である（総説：Sewell et al., 1986 [PubMed 3490670]）。初期にみつかった T 細胞マーカーの 1 つであり、95% 以上の胸腺細胞に存在する。さらにいくつかのナチュラルキラー細胞でもみられるが、B リンパ球ではみつかっていない。CD2 に対するモノクローナル抗体は羊の赤血球により花紋板形成を阻害することから、CD2 は赤血球受容体またはこれと非常に関連の深いものであることが示唆される [OMIM Jul 2010]。

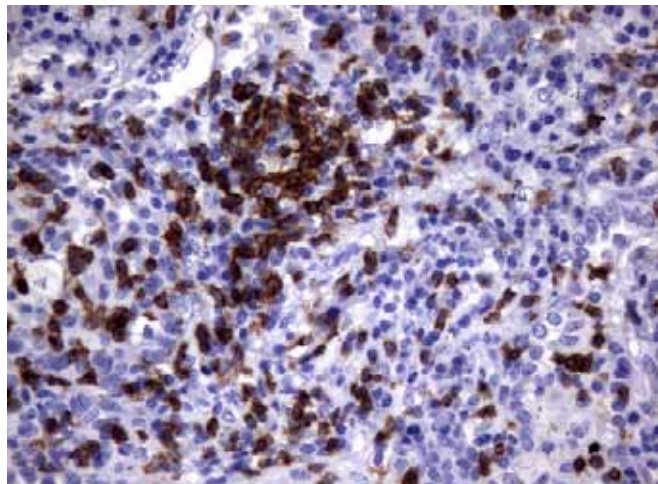


図.1 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-CD2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色（UM800017）

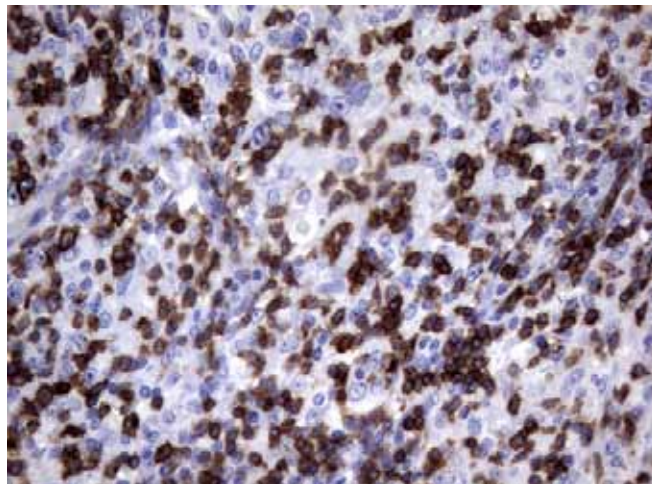


図.2 パラフィン包埋したヒトリンパ腫組織の細胞腫を anti-CD2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色（UM800017）

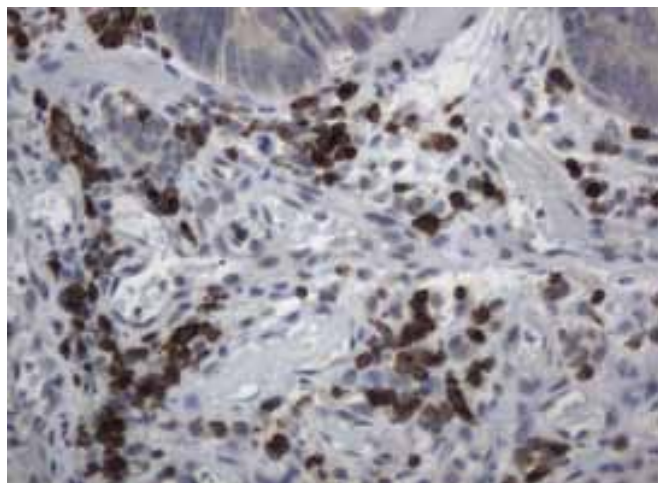


図.3 パラフィン包埋したヒト結腸組織の腺がんを anti-CD2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色（Clone UMAB6, Dilution 1:100）

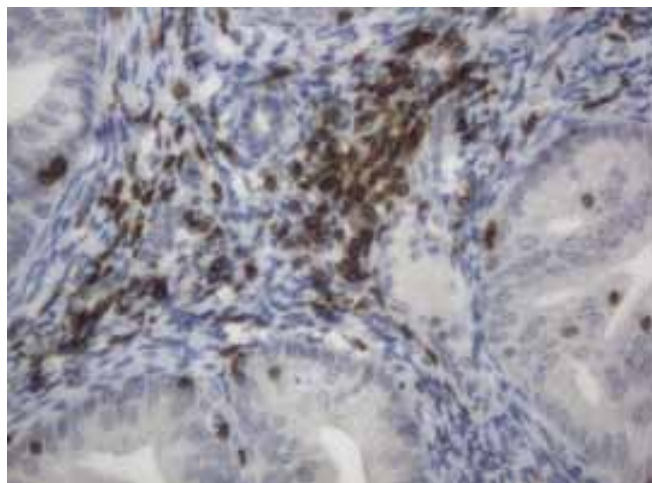


図.4 パラフィン包埋したヒト子宮内膜組織の腺がんを anti-CD2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色（Clone UMAB6, Dilution 1:100）

遺伝子名	Homo sapiens CD2 molecule (CD2)						
別名	LFA-2; SRBC; T11						
抗原	Full length human recombinant protein of human CD2 (NP_001758) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB86	適用	IHC, 10K-CHIP	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:100,
	Clone UMAB6		WB, IHC, 10K-CHIP		IgG1		WB 1:2000,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870017	Anti CD2, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB86	30 µl	¥ 33,000
UM800017	Anti CD2, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB86	100 µl	¥ 129,000
UM570006	Anti CD2, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB6	30 µl	¥ 33,000
UM500006	Anti CD2, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB6	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

CD20 / NM_021950

本遺伝子は、membrane-spanning 4A 遺伝子ファミリーメンバーをコードする。この新生タンパク質ファミリーメンバーには、共通の構造的特徴を有する、イントロン/エキソンのスプライス境界が類似している、造血細胞と非リンパ系組織において特徴的な発現様式を示すといった特徴がある。本遺伝子は B-リンパ球表面分子をコードし、B 細胞から血漿細胞への発生や分化において役割を担う。本ファミリーメンバーは 11q12 にクラスターを形成して局在する。選択的スプライシングにより同一タンパク質をコードする 2 種類の転写バリエーションが生ずる [RefSeq Jul]。

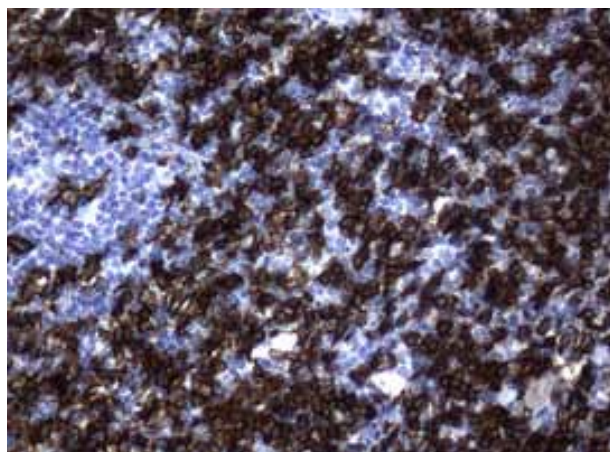


図.1 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-CD20 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB37, Dilution 1:100)

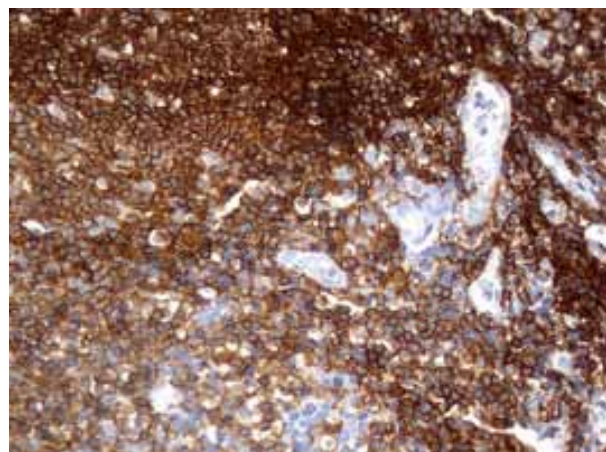


図.2 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-CD20 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB38, Dilution 1:100)

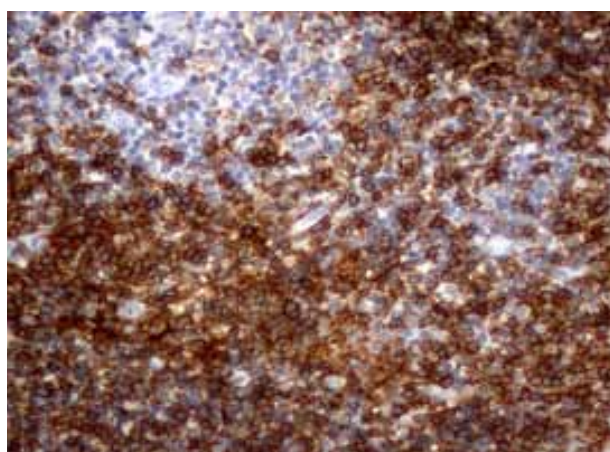


図.3 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-CD20 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB39, Dilution 1:100)

遺伝子名	Homo sapiens membrane-spanning 4-domains, subfamily A, member 1 (MS4A1), transcript variant 3						
別名	B1; Bp35; CD20; CVID5; LEU-16; MS4A2; S7						
抗原	Full length human recombinant protein of human MS4A1 (NP_068769) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						
クローン	Clone UMAB37	交差種	Human	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:150,
	Clone UMAB38		Human		IgG1		WB 1:2000, IHC 1:150,
	Clone UMAB39		Human		IgG1		WB 1:2000, IHC 1:500,
適用		IHC		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870001	Anti CD20, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB37	30 µl	¥ 33,000
UM800001	Anti CD20, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB37	100 µl	¥ 129,000
UM870002	Anti CD20, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB38	30 µl	¥ 33,000
UM800002	Anti CD20, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB38	100 µl	¥ 129,000
UM870003	Anti CD20, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB39	30 µl	¥ 33,000
UM800003	Anti CD20, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB39	100 µl	¥ 129,000

CD3E / NM_000733

本遺伝子にコードされたタンパク質は CD3- ϵ ポリペプチドで、CD3- γ 、 δ 、 ζ とともに T 細胞受容体 α/β 、 γ/δ ヘテロ二量体と T 細胞受容体-CD3 複合体を形成する。この複合体は複数の細胞内シグナル伝達経路への抗原認識共役において重要な役割を果たす。 ϵ 、 γ 、 δ ポリペプチドをコードする遺伝子は第 11 染色体上の同一クラスターに位置する。 ϵ ポリペプチドは T 細胞発生に必須である。本遺伝子の欠損により免疫不全を生ずる。また女性において I 型糖尿病への易罹患性との関与が知られている [RefSeq Jul 2008]。

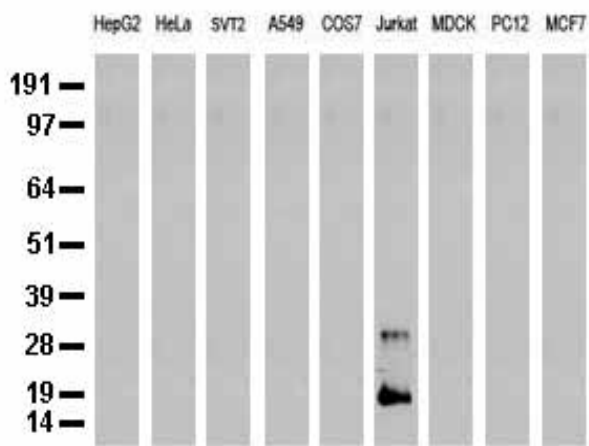


図.1 9種の細胞株の可溶化液 (35ug) を anti-CD3E モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (Clone UMAB54)

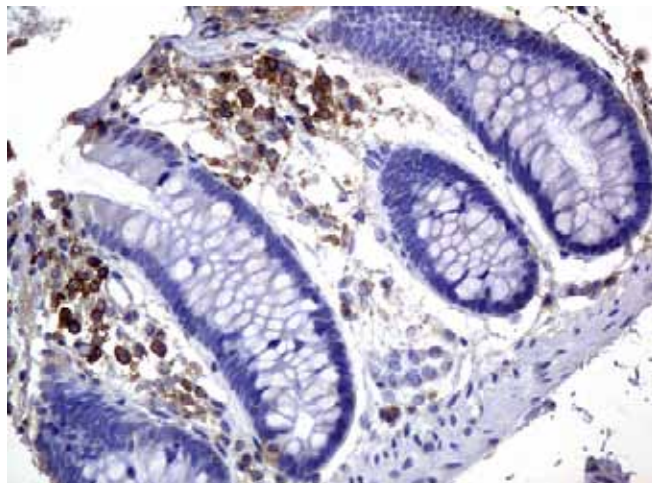


図.2 パラフィン包埋したヒト結腸組織を anti-UM500048 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500048)

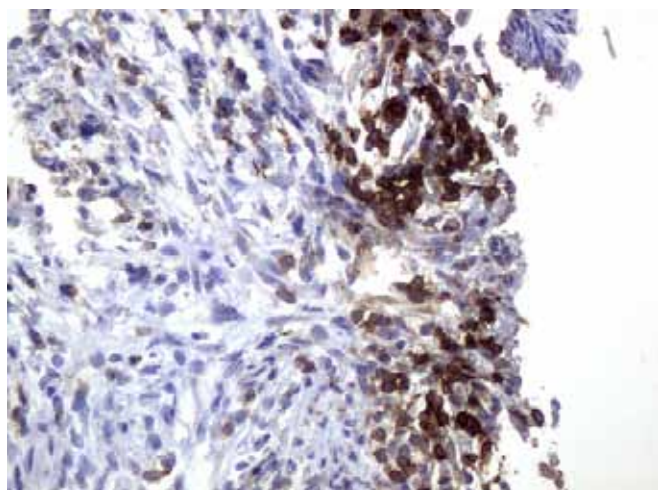


図.3 パラフィン包埋したヒト子宮内膜組織の腺がんを anti-UM500048 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500048)

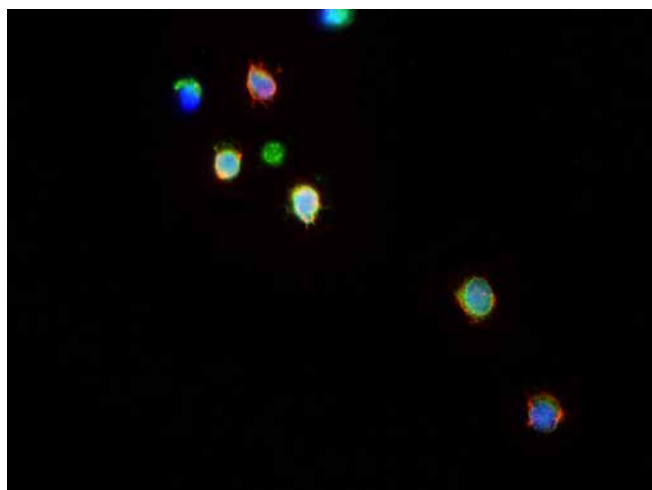


図.4 Jurkat 細胞を CD3E マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500048、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) した。

遺伝子名	Homo sapiens CD3e molecule, epsilon (CD3-TCR complex) (CD3E)		
別名	T3E; TCRC		
抗原	Full length human recombinant protein of human CD3E(NP_000724) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB54	アイソタイプ	IgG2b
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, IF	推奨希釈条件	IHC 1:100, IF 1:100,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570048	Anti CD3E, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 μ l	¥ 33,000
UM500048	Anti CD3E, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 μ l	¥ 129,000

Origene メーカー略号: ORG 保存: -20°C

CD4 / NM_000616

本遺伝子はTリンパ球の膜糖タンパク質をコードし、主要組織適合抗原クラスIIアンチジェンと相互作用するとともにヒト免疫不全ウイルス受容体でもある。本遺伝子はTリンパ球だけでなく、B細胞、マクロファージ、顆粒球において発現する。また、脳の特定領域でも発現がみられる。本タンパク質機能は初期相のT細胞活性化を惹起または増大させ、中枢神経系の感染や免疫系疾患における間接的な神経細胞損傷を介助する。異なるアイソフォームをもつ複数の選択的スプライシングバリエントが同定されている [RefSeq Aug 2010]。

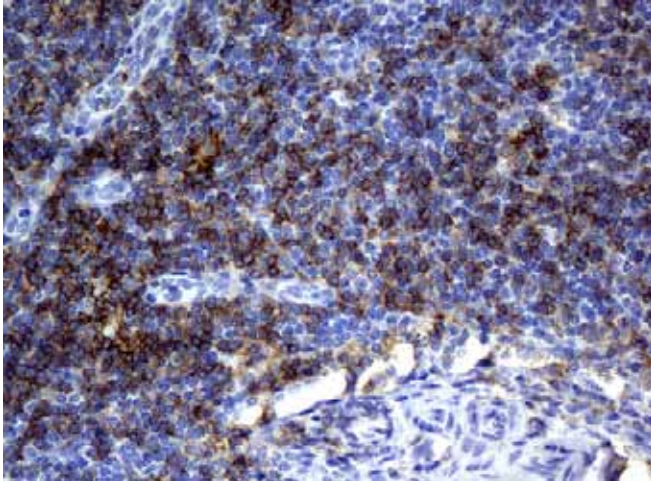


図.1 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-CD4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800010)

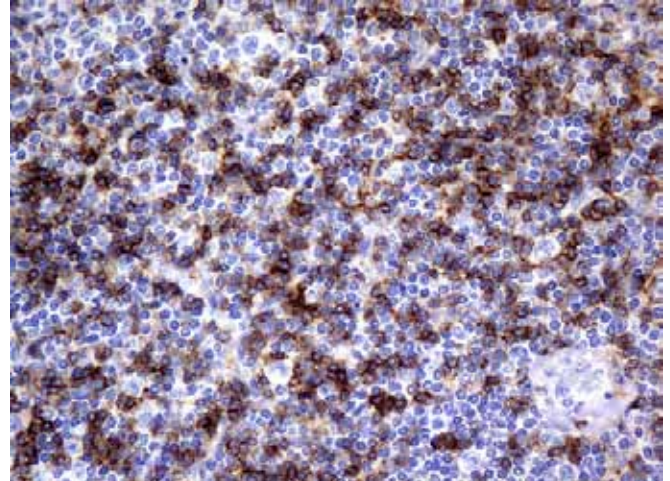


図.2 パラフィン包埋したヒトリンパ腫組織を anti-CD4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800010)

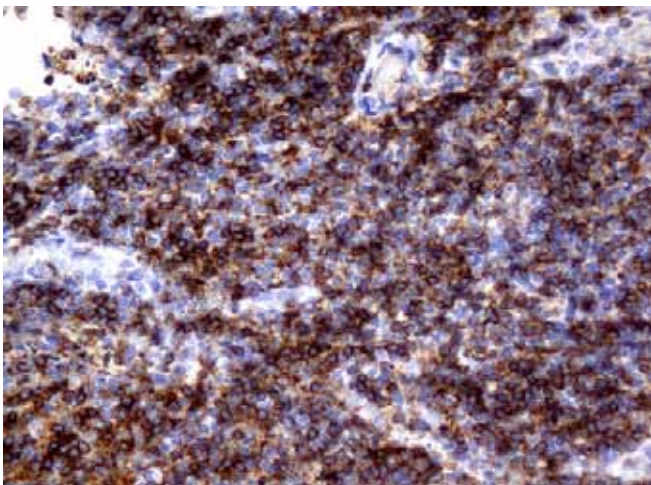


図.3 パラフィン包埋したヒト扁桃組織を anti-CD4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800010)

遺伝子名	Homo sapiens CD4 molecule (CD4), transcript variant 1		
別名	CD4mut		
抗原	Full length human recombinant protein of human CD4 (NP_000607) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB64	アイソタイプ	IgG2b
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC	推奨希釈条件	IHC 1:50~100,

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870010	Anti CD4, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM800010	Anti CD4, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

CD44 / NM_000610

本遺伝子は、細胞-細胞相互作用や細胞接着および遊走に関与する細胞表面糖タンパク質をコードする。本タンパク質はヒアルロン酸 (HA) 受容体であるが、オステオポンチン、コラーゲン、細胞外マトリックス分解酵素 (MMPs) といった他のリガンドとも相互作用する。また、リンパ球活性化、再循環およびホーミング、血球新生、腫瘍転位を含む種々の細胞機能に関与する。本遺伝子は複雑な選択的スプライシングを介して転写され、数々の異なる機能をもつアイソフォームが生ずる。しかし、いくつかのバリエーションに関してはその完全長が同定されていない。本遺伝子では、構造的かつ機能的多様性が選択的スプライシングにより得られており、腫瘍転位への可能性も予想される [RefSeq Jul 2008]。

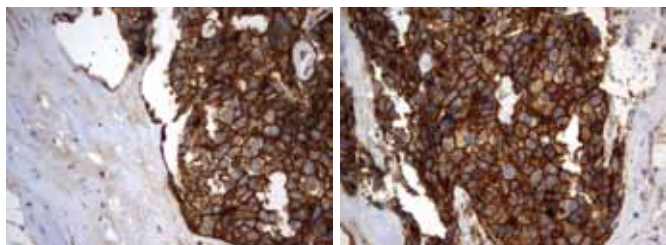


図.1 パラフィン包埋したヒト乳房組織の腺がんを anti-CD44 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM500099 右: UM500098

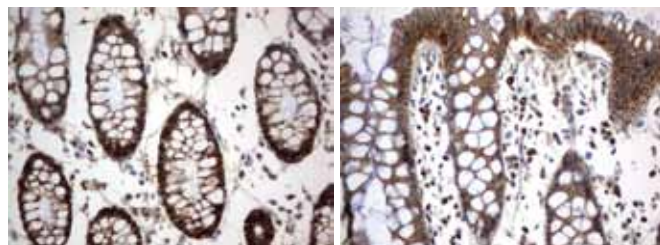


図.2 パラフィン包埋したヒト結腸組織を anti-CD44 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM500099 右: UM500098

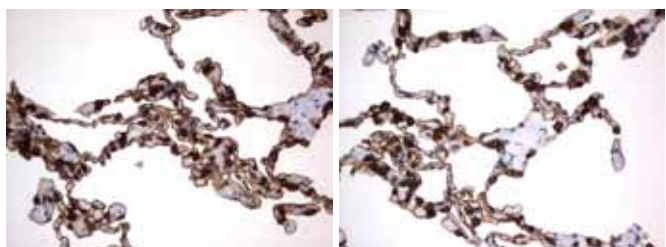


図.3 パラフィン包埋したヒト肺組織を anti-CD44 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM500099 右: UM500098

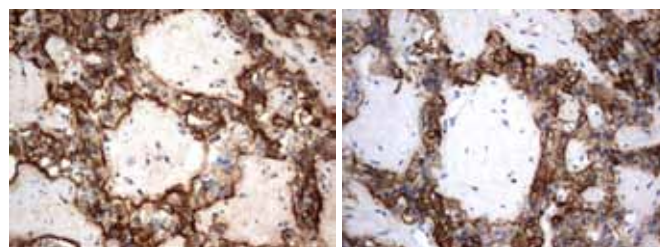


図.4 パラフィン包埋したヒト脾臓組織の細胞腫を anti-CD44 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM500099 右: UM500098

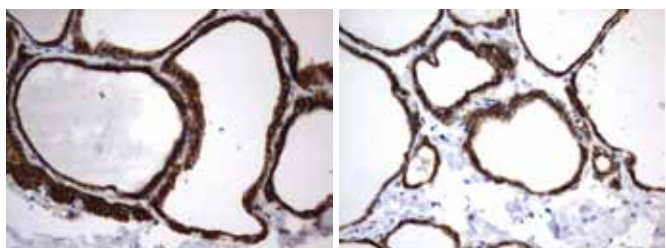


図.5 パラフィン包埋したヒト甲状腺組織を anti-CD44 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM500099 右: UM500098

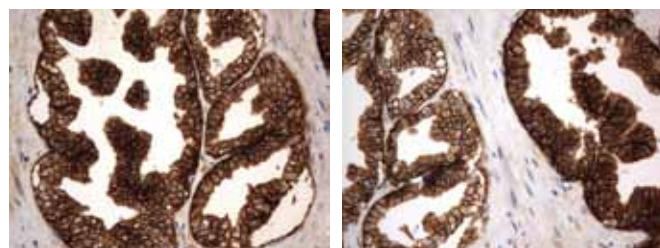


図.6 パラフィン包埋したヒト前立腺組織の細胞腫を anti-CD44 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM500099 右: UM500098

遺伝子名	Homo sapiens CD44 molecule (Indian blood group) (CD44), transcript variant 1						
別名	CDW44; CSPG8; ECMR-III; HCELL; HUTCH-I; IN; LHR; MC56; MDU2; MDU3; MIC4; Pgp1						
抗原	Full length human recombinant protein of human CD44(NP_000601) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB133	適用	WB, IHC	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	WB 1:4000, IHC 1:100,
	Clone UMAB134		IHC		IgG1		IHC 1:500,
交差種		Human	濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)		
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570098	Anti CD44, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB133	30 µl	¥ 33,000
UM500098	Anti CD44, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB133	100 µl	¥ 129,000
UM570099	Anti CD44, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB134	30 µl	¥ 33,000
UM500099	Anti CD44, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB134	100 µl	¥ 129,000

CD5 / NM_014207

CD5 は分化集団であり、B-1 細胞とよばれる IgM 分泌型 B 細胞のサブセットと T 細胞に存在する。B-1 細胞は、末端デオキシヌクレオチドトランスフェラーゼ (TdT) をもたないことから B 細胞受容体の多様性を限定しており、おそらく自己活性化型である。CD5 は、B-1 細胞が非常に強い刺激 (例: 細菌性タンパク質) によってのみ活性化し正常組織タンパク質により活性化を受けないよう、BCR からの活性化シグナルを緩和する。CD5 は T 細胞に対する免疫組織化学マーカーとして優れている。約 76% におよぶ T 細胞新生物において CD5 の発現が報告されていると同時に、慢性リンパ性白血病細胞、有毛細胞白血病細胞、マンツル細胞リンパ腫細胞からも検出されている。皮膚の T 細胞リンパ腫では発現がみられず、本タンパク質発現の欠損を悪精度の指標として利用できる。T 細胞の急性リンパ性白血病において CD5 がみられない場合、比較的まれではあるものの、予後不良と関連する場合がある。

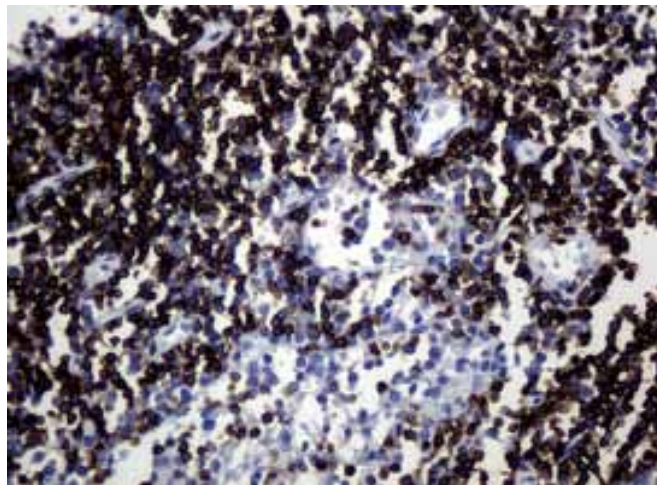


図.1 パラフィン包埋したリンパ節組織を anti-CD5 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB9, 1:100 希釈)

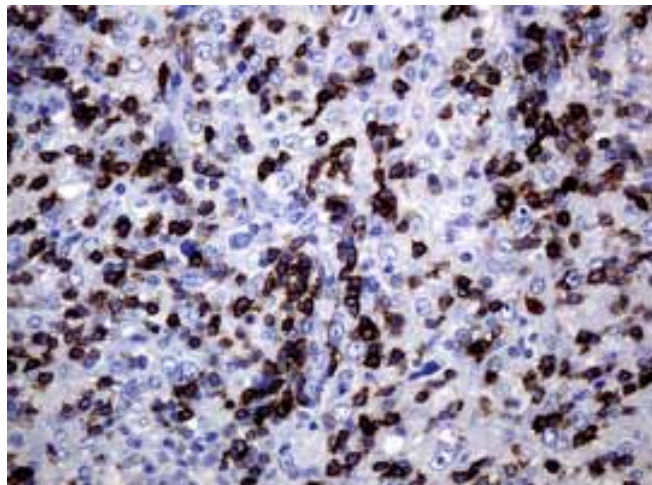


図.2 パラフィン包埋したヒトリンパ腫組織を anti-CD5 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB9, 1:100 希釈)

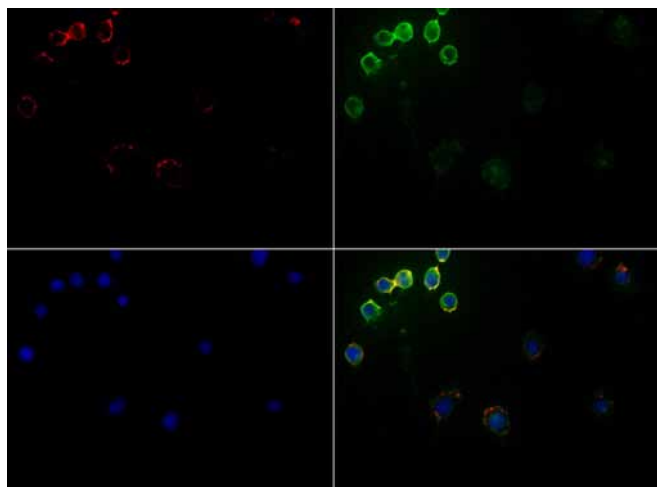


図.3 Jurkat 細胞を CD5 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500009、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) した。

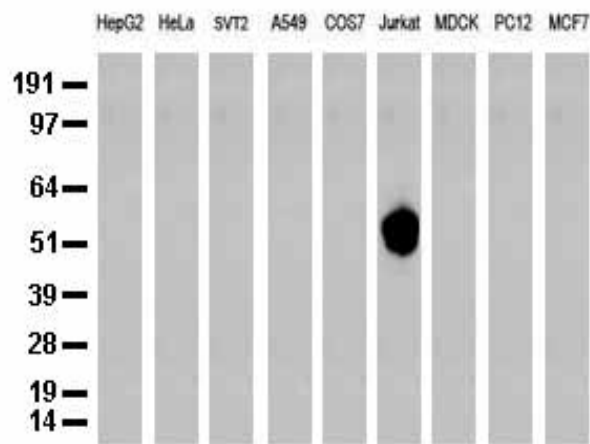


図.4 9種の細胞株の可溶化液 (35ug) を anti-CD5 モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (Clone UMAB9)

遺伝子名	Homo sapiens CD5 molecule (CD5)		
別名	LEU1; T1		
抗原	Full length human recombinant protein of human CD5 (NP_055022) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB9	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, IF, FC	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:150, IF 1:100, FLOW 1:100, IF 1:100,

Origene メーカー略号: ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570009	Anti CD5, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500009	Anti CD5, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

CD68 / NM_001251

本遺伝子はヒト単球および組織マクロファージにおいて項発現する 110-kD の膜貫通型糖タンパク質をコードする。リソソーム/エンドソーム付随型膜糖タンパク質 (LAMP) ファミリーに属する。本タンパク質は細胞表面に循環するより小さい断片と共にリソソームやエンドソームに一次的に局在化する。重度にグリコシル化された細胞外ドメインをもつ I 型膜内在性タンパク質であり、細胞や臓器特異的のレクチンまたはセレクチンに結合する。さらに、本タンパク質はスカベンジャー受容体ファミリーでもある。スカベンジャー受容体は一般に細胞内残飯除去機能をもち、食食を促進し、マクロファージの動員と活性化を仲介する。選択的スプライシングにより異なるアイソフォームをもつ複数の転写物が生ずる [RefSeq Jul 2008]

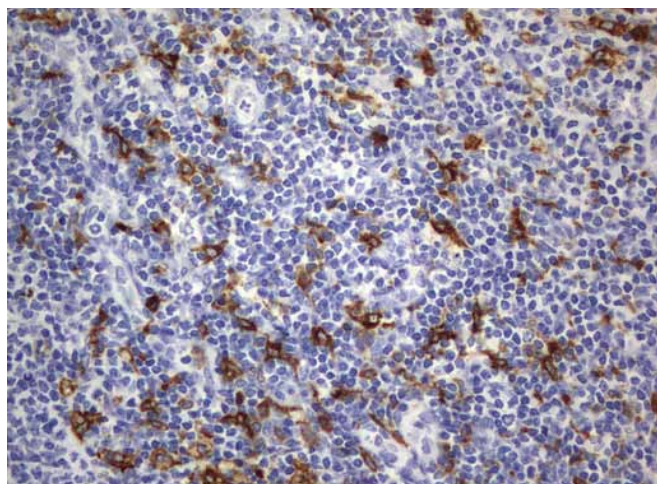


図.1 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-CD68 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800047)

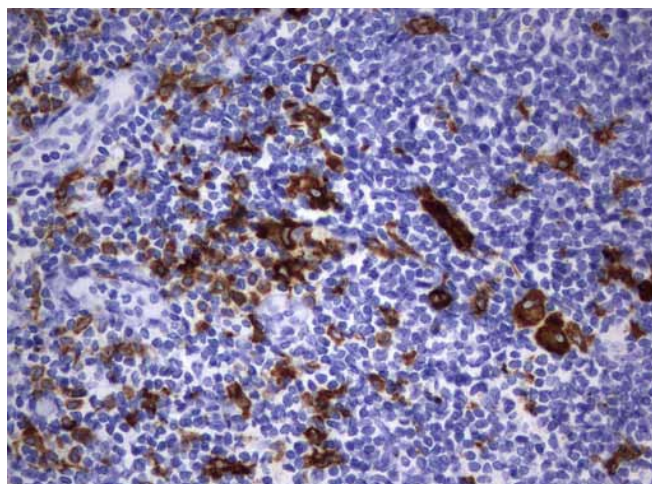


図.2 パラフィン包埋したヒトリンパ腫組織を anti-CD68 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800047)

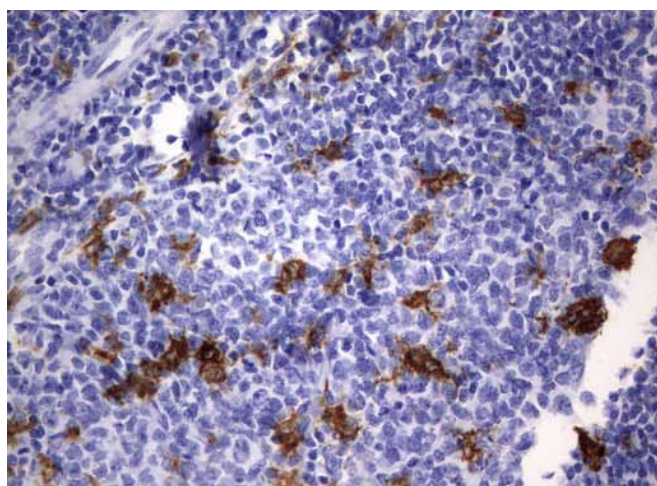


図.3 パラフィン包埋したヒト扁桃組織を anti-CD68 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800047)

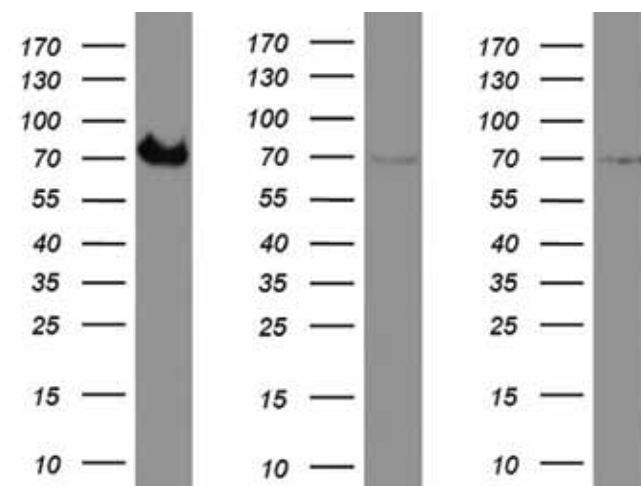


図.4 anti-CD68 モノクローナル抗体を使用したウェスタンブロット解析
左: COLO205 細胞溶解液 (35ug)、中: A498 細胞溶解液 (35ug)、右: MALME3M 細胞溶解液 (35ug)

遺伝子名	Homo sapiens CD68 molecule (CD68), transcript variant 1		
別名	GP110; LAMP4; SCARD1		
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 22-319 of human CD68 (NP_001242) produced in SF9 cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB150	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:100~200,

Origene メーカー略号: ORG 保存: -20°C

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870047	Anti CD68, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM800047	Anti CD68, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

CD80 / NM_005191

本遺伝子にコードされるタンパク質は膜受容体であり、CD28 または CTLA-A の結合により活性化される。活性化されたタンパク質は T 細胞増殖とサイトカイン産生を誘導する。本タンパク質はアデノウイルスのサブグループ B の受容体として機能することができ、ループス神経障害にも関与する可能性がある [RefSeq Aug 2011]。

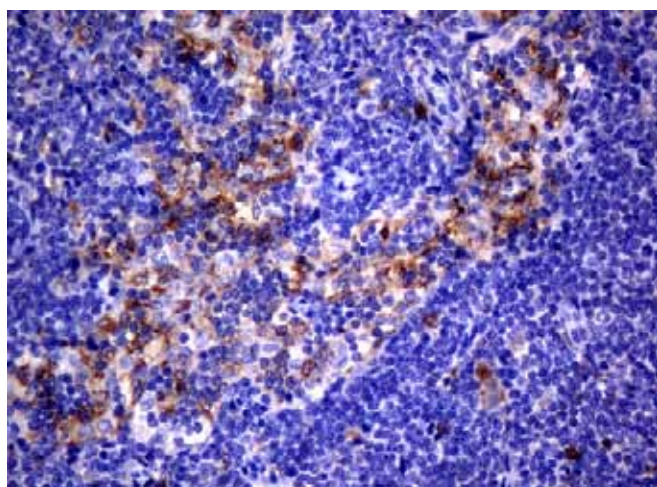


図.1 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-CD80 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500055)

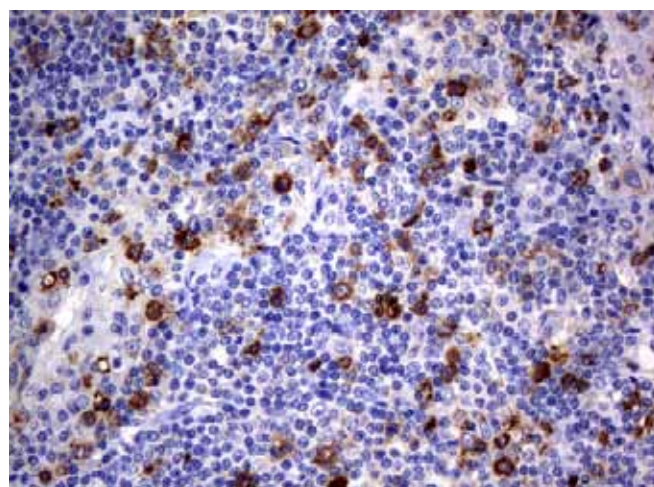


図.2 パラフィン包埋したヒトリンパ腫組織を anti-CD80 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500055)

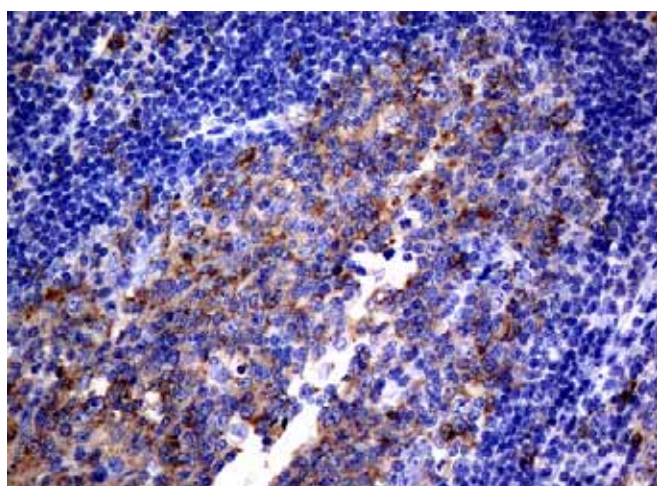


図.3 パラフィン包埋したヒト扁桃組織を anti-CD80 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500055)

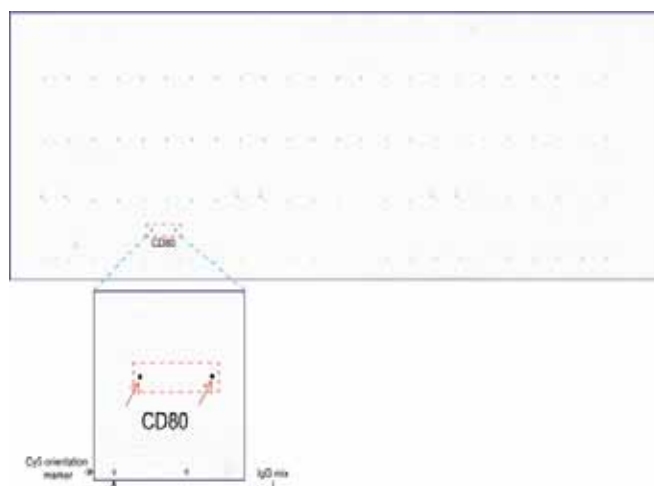


図.4 ORG 社 の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-CD80 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (UM500055)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。

遺伝子名	Homo sapiens CD80 molecule (CD80)		
別名	B7; B7-1; B7.1; BB1; CD28LG; CD28LG1; LAB7		
抗原	Full length human recombinant protein of human CD80 (NP_005182) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB65	アイソタイプ	IgG2b
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570055	Anti CD80, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500055	Anti CD80, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

CDH2 / NM_001792

本遺伝子はカドヘリンスーパーファミリーに属す古典的なカドヘリンである。コードされたタンパク質は、膜貫通領域と非常に保存された細胞質側末端である5つの細胞外カドヘリンリピートをもつカルシウム依存性の細胞接着性糖タンパク質である。原腸陥入期において機能し、左右非対称の確立に必須である。中枢神経系の特定シナプスでは、シナプス前からシナプス後の接着は少なくとも一部が本タンパク質を介する [提供: RefSeq]。

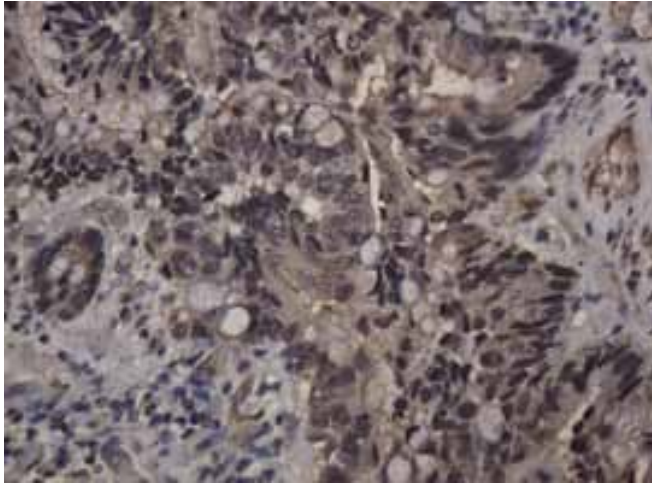


図.1 パラフィン包埋した結腸組織の腺がんを anti-CDH2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB23, 希釈率 1:100)

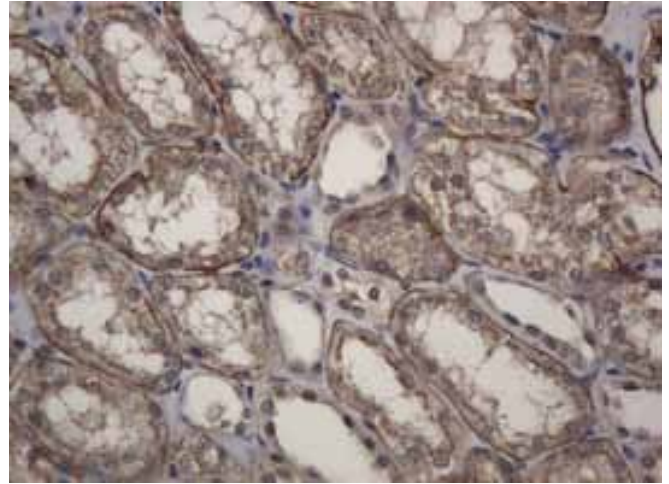


図.2 パラフィン包埋したヒト腎臓組織を anti-CDH2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB23, 希釈率 1:100)

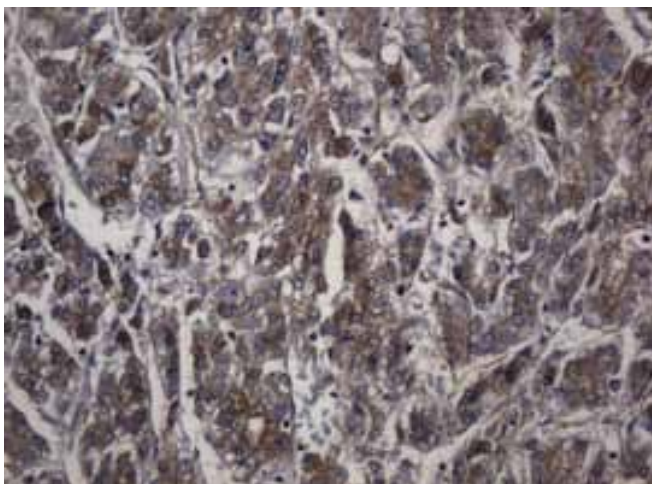


図.3 パラフィン包埋した肝臓組織の細胞腫を anti-CDH2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB23, 希釈率 1:100)

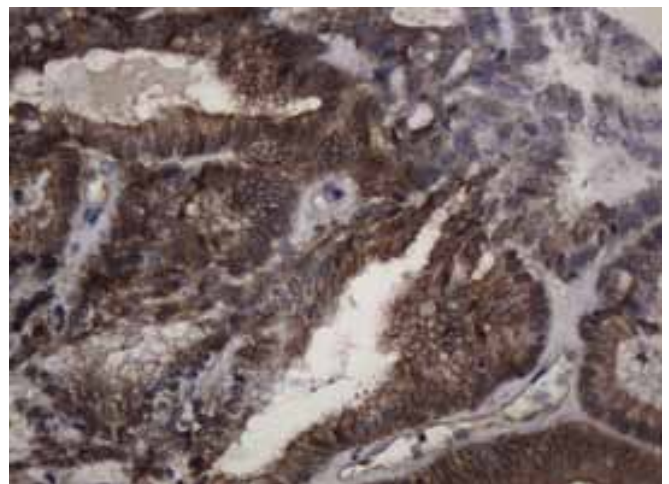


図.4 パラフィン包埋したヒト子宮内膜組織の腺がんを anti-CDH2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB23, 希釈率 1:100)

遺伝子名	Homo sapiens cadherin 2, type 1, N-cadherin (neuronal) (CDH2)		
別名	CD325; CDHN; CDw325; NCAD		
抗原	Full length human recombinant protein of human CDH2(NP_001783) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB23	アイソタイプ	IgG2a
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:150, FLOW 1:100,

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570023	Anti CDH2, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500023	Anti CDH2, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

CHGA / NM_001275

本遺伝子は神経内分泌分泌性タンパク質のクロモグラニン／セクレトグラニンファミリーメンバーをコードする。神経細胞と内分泌細胞の分泌小胞に存在することで知られる。本遺伝子産物はバソスタチン、パンクレアスタチン、パラスタチンといった3種の生理活性ペプチドの前駆体である。これらのペプチドは、神経内分泌系の自己分泌またはパラクリンの負の修飾因子として働く。クロモスタチン、 β -グラニン、WE-14、GE-25といったペプチドも全長タンパク質より派生する。しかし、これらの分子の生物学的活性はよくわかっていない [RefSeq Jul 2008]。

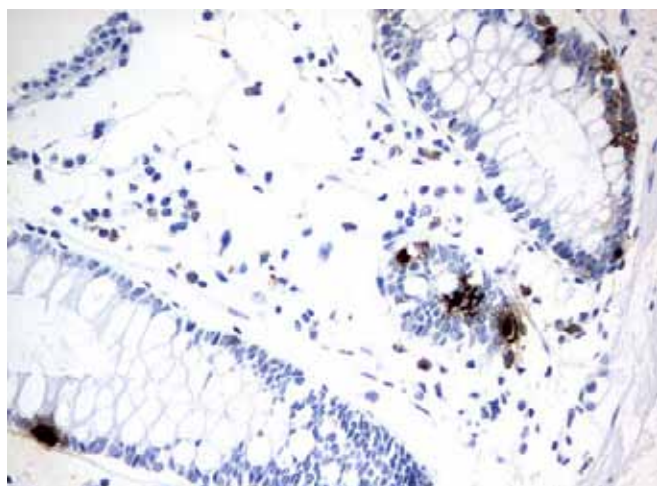


図.1 パラフィン包埋したヒト結腸組織を anti-CHGA マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500076)

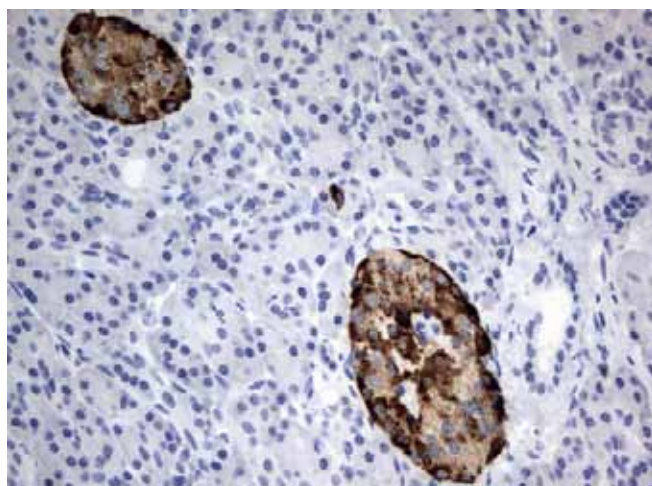


図.2 パラフィン包埋したヒト膵臓組織を anti-CHGA マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500076)

遺伝子名	Homo sapiens chromogranin A (parathyroid secretory protein 1) (CHGA)		
別名	CGA		
抗原	Full length human recombinant protein of human CHGA(NP_001266) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB109	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC	推奨希釈条件	IHC 1:200,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570076	Anti CHGA, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 μ l	¥ 33,000
UM500076	Anti CHGA, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 μ l	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

CTAG1B / NM_001327

本遺伝子がコードするタンパク質は数々のがんで高発現すると同時に正常精巣でも発現がみられる抗原である。本遺伝子はX染色体上の2ヶ所にコードされており、同一配列をもつ近隣遺伝子が存在する。

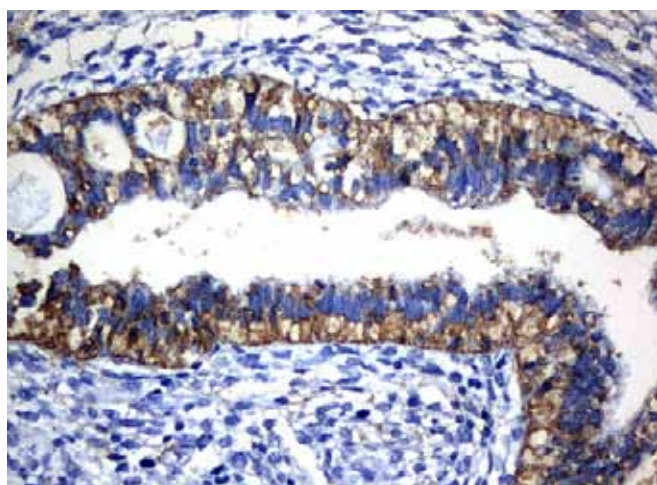


図.1 パラフィン包埋したヒト精巣がん組織を anti-CTAG1B マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500060)

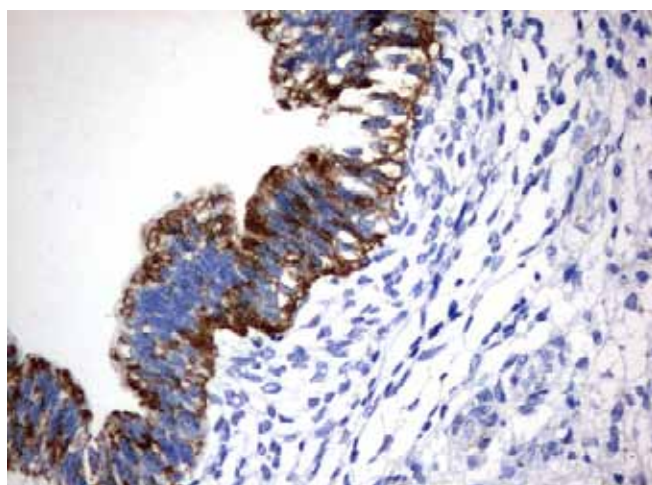


図.2 パラフィン包埋したヒト精巣がん組織を anti-CTAG1B マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500061)

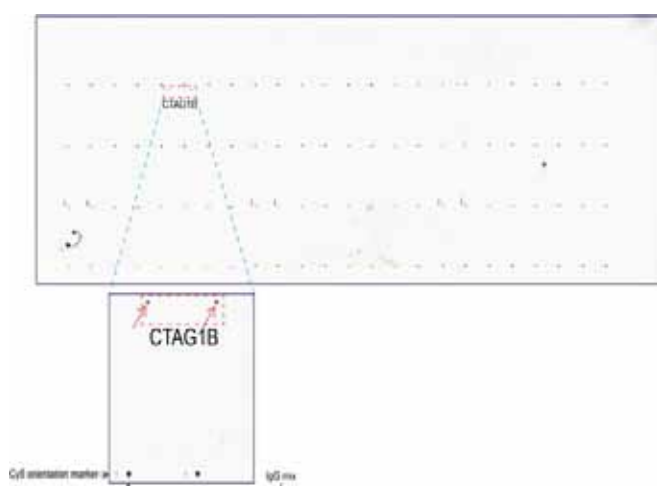


図.3 ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-CTAG1B マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (UM500060)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。

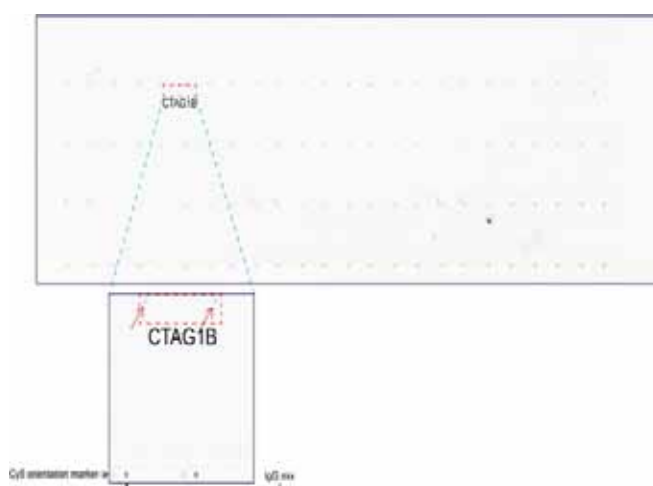


図.4 ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-CTAG1B マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (UM500061)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。

遺伝子名	Homo sapiens cancer/testis antigen 1B (CTAG1B)						
別名	CT6.1; CTAG; CTAG1; ESO1; LAGE-2; LAGE2B; NY-ESO-1						
抗原	Full length human recombinant protein of human CTAG1B(NP_001318) produced in HEK293T cell						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB72	適用	IHC, 10K-CHIP	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:100,
	Clone UMAB73		IHC, 10K-CHIP		IgG1		IHC 1:100,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570060	Anti CTAG1B, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB72	30 µl	¥ 33,000
UM500060	Anti CTAG1B, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB72	100 µl	¥ 129,000
UM570061	Anti CTAG1B, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB73	30 µl	¥ 33,000
UM500061	Anti CTAG1B, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB73	100 µl	¥ 129,000

CYP1A2 / NM_000761

本遺伝子は酵素のチトクローム P450 スーパーファミリーをコードする。チトクローム P450 タンパク質はモノオキシゲナーゼであり薬物代謝やコレステロール、ステロイド、その他脂質の生合成に関与する数々の反応を触媒する。本タンパク質は小胞体に局在化し、いくつかの多環芳香族炭化水素（PAHs）により発現誘導を受けるが、これにはタバコ煙も含まれる。本酵素の内在性基質は未知であるが、いくつかの PAHs を発がん性中間体へと代謝することが知られている。その他、本酵素の生体異物基質には、カフェイン、アフラトキシン B1、アセトアミノフェンがある。本遺伝子からの転写物は 3'UTR 領域にある直列反復配列に隣接した 4 つの Alu 配列をもつ [RefSeq Jul 2008]。

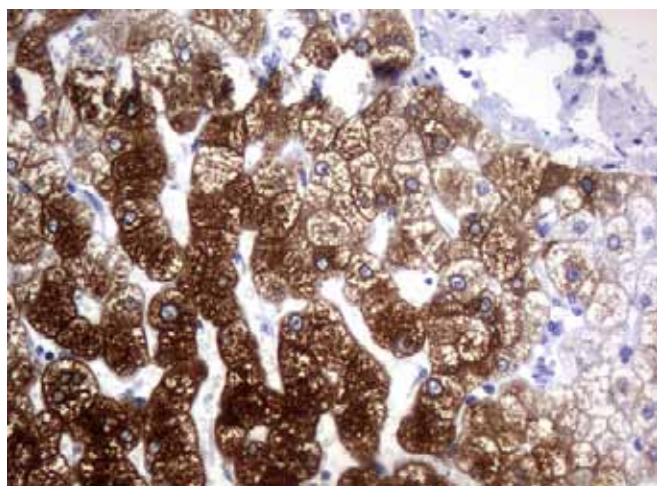


図.1 パラフィン包埋したヒト肝臓組織を anti-CYP1A2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色（UM500073）

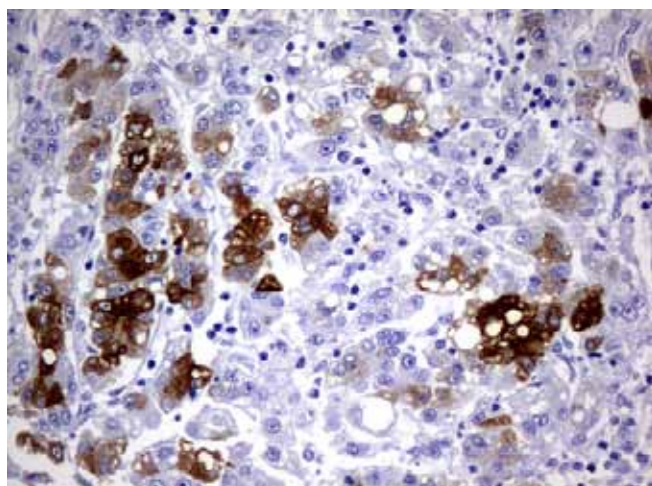


図.2 パラフィン包埋したヒト肝臓組織の細胞腫を anti-CYP1A2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色（UM500073）

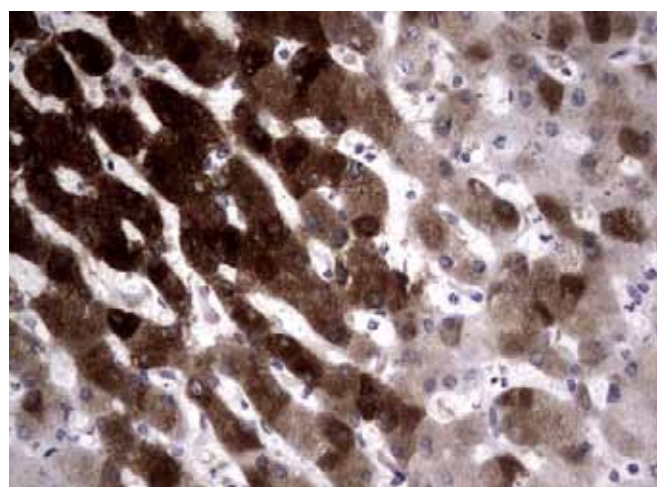


図.3 パラフィン包埋したヒト胚胎性肝臓組織を anti-CYP1A2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色（UM500073）

遺伝子名	Homo sapiens cytochrome P450, family 1, subfamily A, polypeptide 2 (CYP1A2)		
別名	CP12; P3-450; P450(PA)		
抗原	Full length human recombinant protein of human CD19(NP_001761) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB105	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC	推奨希釈条件	IHC 1:100,

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570073	Anti CYP1A2, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500073	Anti CYP1A2, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

DDX56 / NM_019082

本遺伝子は DEAD ボックスタンパク質ファミリーメンバーをコードする。DEAD ボックスタンパク質は、保存されたモチーフ「Asp-Glu-Ala-Asp (DEAD)」で特徴づけられ、推定上の RNA ヘリカーゼである。転写開始、核内またはミトコンドリアのスプライシング、リボソームとスプライソソーム会合といった RNA 2 次構造の変化を含む複数の細胞内プロセスに関与する。これらの分布パターンを考慮すると、本ファミリーメンバーのいくつかは、胚形成、精子形成、および細胞生長／分裂に関与すると考えられる。本タンパク質はポリヌクレオチド存在下で核質の 65S リボソーム前駆体粒子を付随して ATPase 活性を示す。本遺伝子はおそらく大リボソームサブユニット (60S サブユニット) 会合中にリボソーム生合成に関与すると考えられている。異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが報告されている [RefSeq May 2012]。

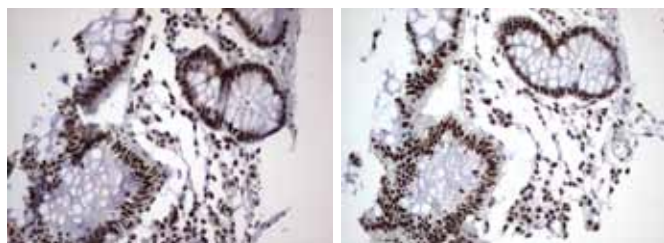


図.1 パラフィン包埋したヒト結腸組織を anti-DDX56 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM800049 右: UM800050

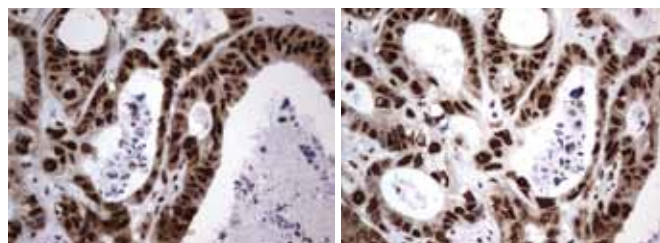


図.2 パラフィン包埋したヒト結腸組織の腺がんを anti-DDX56 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM800049 右: UM800050

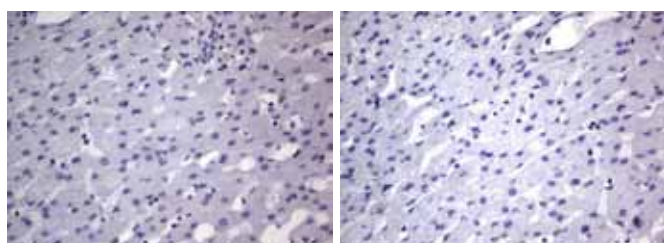


図.3 パラフィン包埋したヒト肝臓組織を anti-DDX56 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM800049 右: UM800050

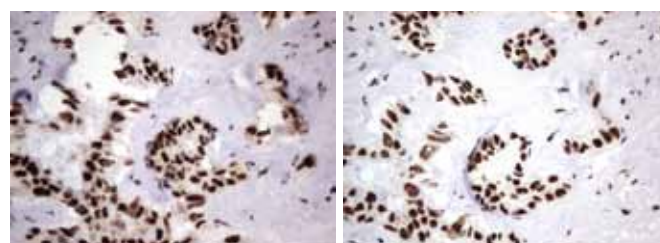


図.4 パラフィン包埋したヒト肝臓組織の細胞腫を anti-DDX56 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM800049 右: UM800050

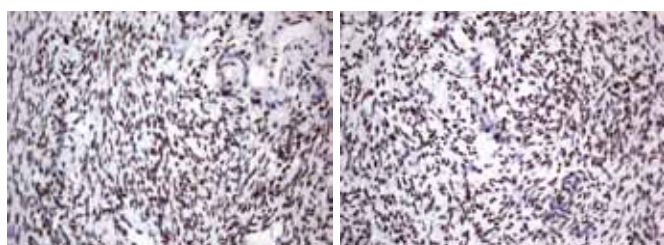


図.5 パラフィン包埋したヒト卵巣組織を anti-DDX56 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM800049 右: UM800050

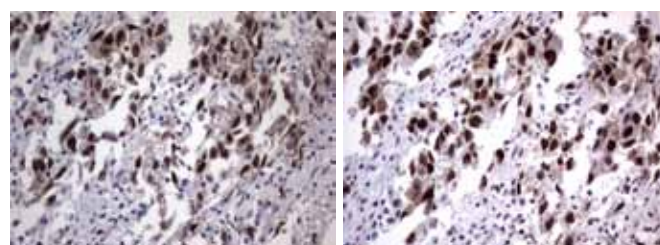


図.6 パラフィン包埋したヒト卵巣組織の腺がんを anti-DDX56 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM800049 右: UM800050

遺伝子名	Homo sapiens DEAD (Asp-Glu-Ala-Asp) box helicase 56 (DDX56), transcript variant 1						
別名	DDX21; DDX26; NOH61						
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 323-547 of human DDX56 (NP_061955) produced in E.coli.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB152	適用	WB, IHC, 10K-CHIP	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:100~200,
	Clone UMAB153		WB, IHC, 10K-CHIP		IgG1		WB 1:2000, IHC 1:100~200,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870049	Anti DDX56, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB152	30 µl	¥ 33,000
UM800049	Anti DDX56, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB152	100 µl	¥ 129,000
UM870050	Anti DDX56, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB153	30 µl	¥ 33,000
UM800050	Anti DDX56, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB153	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

DEF6 / NM_022047

DEF6 または IBP は、B 細胞および T 細胞で高発現する RAC (MIM 602048) および CDC42 (MIM 116952) に対する Guanin nucleotide exchange factor (GEF) である (Gupta et al, 2003. PubMed 12923183. OMIM Mar 2008 提供)。

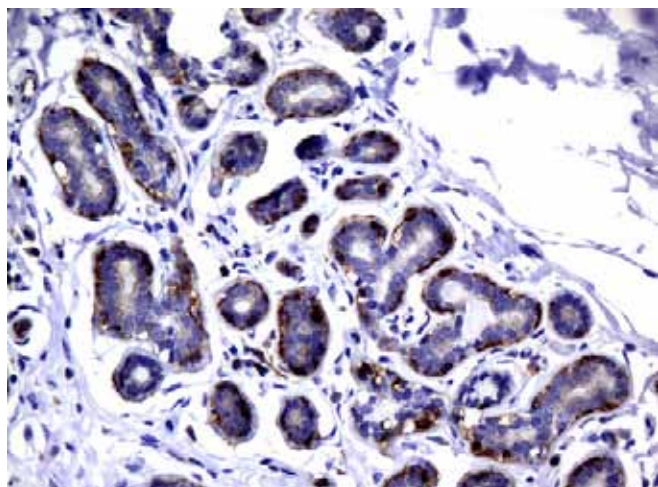


図.1 パラフィン包埋したヒト乳房組織を anti-DEF6 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500046)

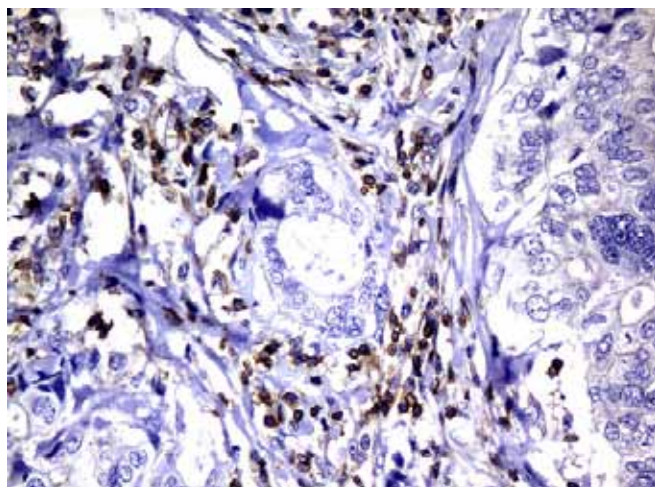


図.2 パラフィン包埋したヒト乳房組織の腺がんを anti-DEF6 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500046)

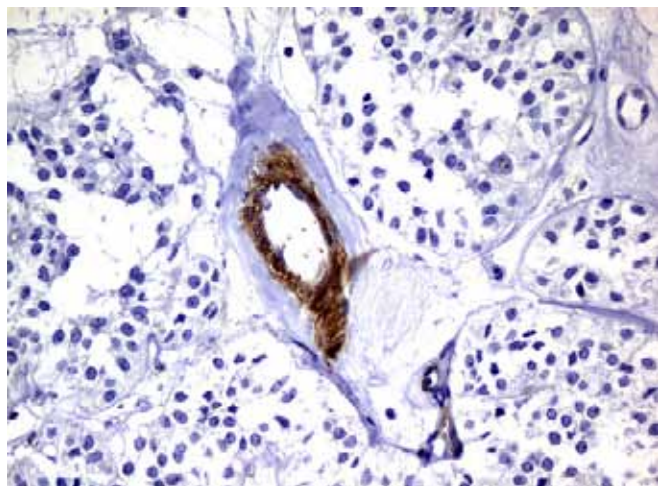


図.3 パラフィン包埋したヒト膵臓組織の細胞腫を anti-DEF6 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500046)

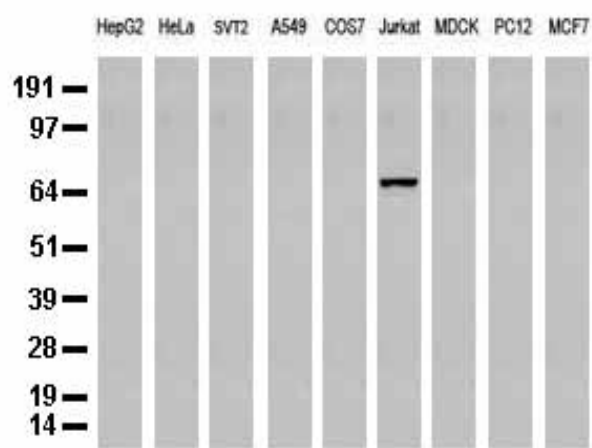


図.4 9種の細胞株からの抽出物 (35ug) を anti-DEF6 モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (Clone UMAB51)

遺伝子名	Homo sapiens differentially expressed in FDCP 6 homolog (mouse) (DEF6)		
別名	IBP; SLAT; SWAP70L		
抗原	Full length human recombinant protein of human DEF6(NP_071330) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB51	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:500, IHC 1:100

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570046	Anti DEF6, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500046	Anti DEF6, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

DOCK2 / NM_004946

本遺伝子にコードされたタンパク質は CDM タンパク質ファミリーに属す。造血細胞で特異的に発現し、末梢白血球細胞で優勢発現する。また、RAC の活性化を通してリンパ球遊走に必要なアクチン細胞骨格の再構築に関与する。本遺伝子の欠損マウスでは、リンパ球の遊走とホーミングに極度の機能障害がみられる。これらの変異マウスでは移植臓器の長期生着を示すことから、本遺伝子は移植片拒絶の調節に関与することが示唆される [RefSeq Oct 2011]。

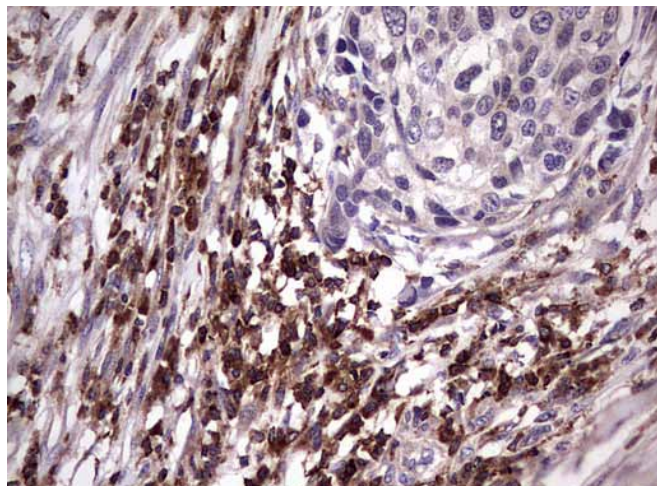


図.1 パラフィン包埋したヒト腎臓組織の細胞腫を anti-DOCK2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800039)

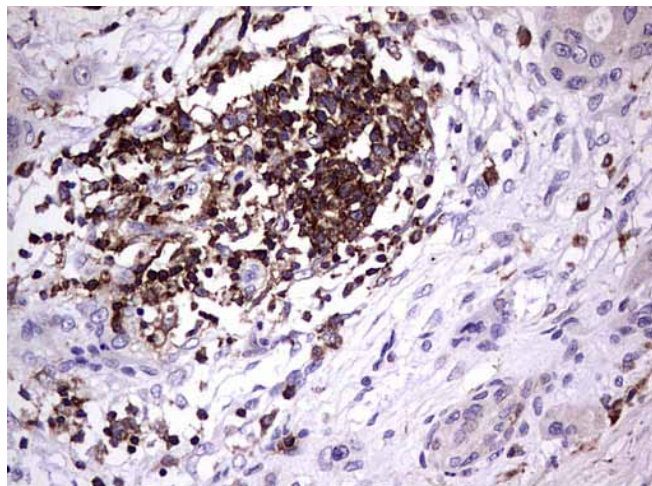


図.2 パラフィン包埋したヒト脾臓組織の細胞腫を anti-DOCK2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800039)

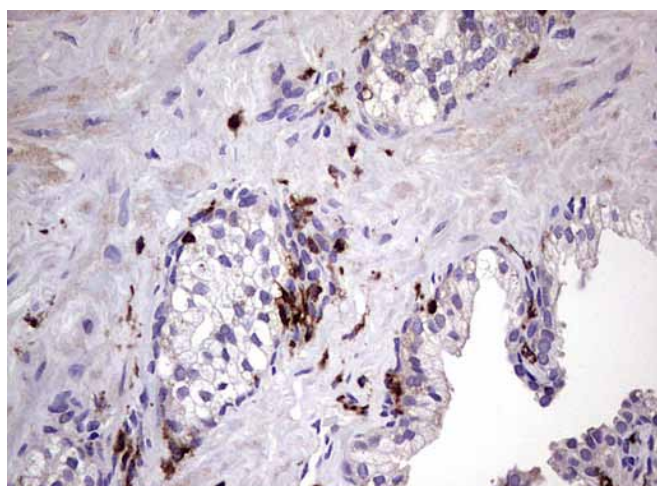


図.3 パラフィン包埋したヒト前立腺組織の細胞腫を anti-DOCK2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800039)

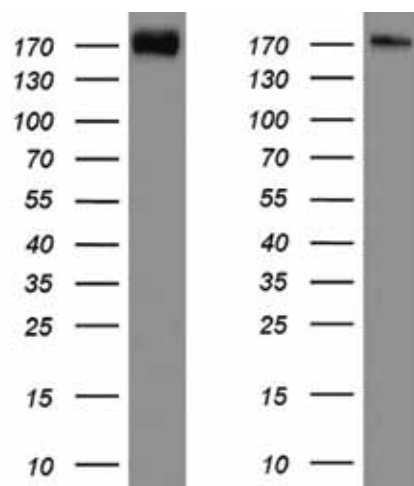


図.4 anti-DOCK2 モノクローナル抗体を使用したウェスタンブロット解析
左：Jurkat 細胞可溶化液 (35ug)、右：RPMI8226 細胞可溶化液 (35ug)

遺伝子名	Homo sapiens dedicator of cytokinesis 2 (DOCK2)		
別名	FLJ46592; KIAA0209		
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 1544-1830 of human DOCK2 (NP_004937) produced in E.coli.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB142	アイソタイプ	IgG2a
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:150,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870039	Anti DOCK2, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM800039	Anti DOCK2, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

EGFR / NM_201283

本遺伝子はタンパク質キナーゼスーパーファミリーメンバーである膜貫通型糖タンパク質をコードする。本タンパク質は上皮生長因子ファミリーメンバーの受容体である。EGFRは細胞表面タンパク質で上皮生長因子と結合する。本タンパク質とリガンドの結合により受容体の二量体形成とチロシン自己リン酸化が誘導され、細胞増殖を誘引する。本遺伝子の変異と肺がんの関係が報告されている。異なるタンパク質アイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングが同定されている [RefSeq Jul 2010]。

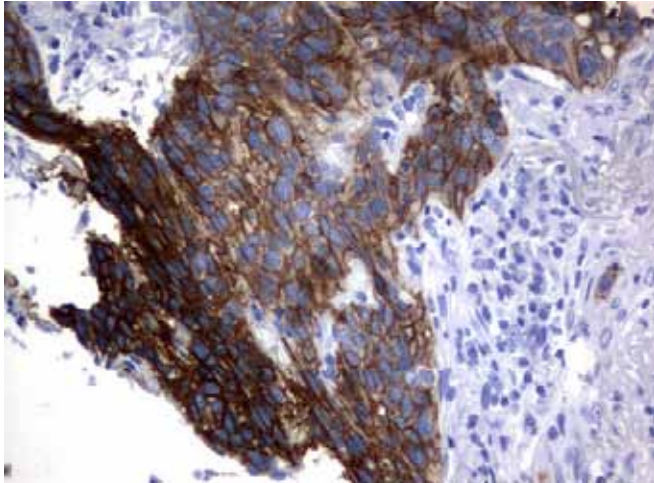


図.1 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-EGFR マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500070)

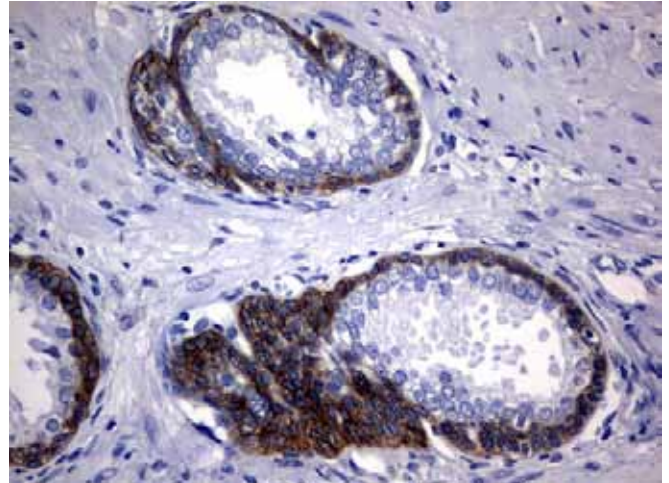


図.2 パラフィン包埋したヒト前立腺組織を anti-EGFR マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500070)

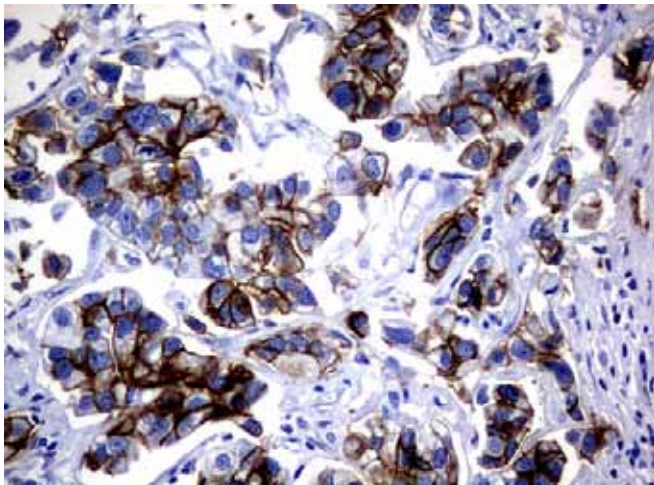


図.3 パラフィン包埋したヒト膀胱組織の細胞腫を anti-EGFR マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500070)

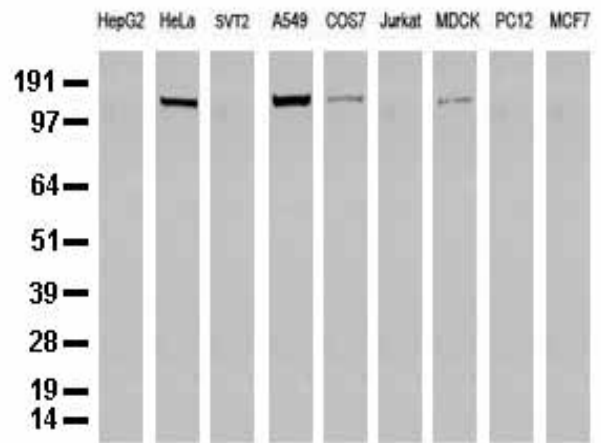


図.4 9種の細胞株からの抽出物 (35ug) を anti-EGFR モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (Clone UMAB95)

遺伝子名	Homo sapiens epidermal growth factor receptor (EGFR), transcript variant 3		
別名	ERBB; ERBB1; HER1; mENA; PIG61		
抗原	Full length human recombinant protein of human EGFR(NP_958440) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB95	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human, Monkey, Dog	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:500, IHC 1:100,

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570070	Anti EGFR, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500070	Anti EGFR, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

EPCAM / NM_002354

本遺伝子はがん関連抗原をコードし、少なくとも2つのI型膜タンパク質を含むファミリーメンバーである。本抗原は正常上皮細胞と胃腸がんにおいて最も発現し、ホモタイプのカルシウム依存性細胞接着分子として機能する。この抗原は、ヒト細胞腫の免疫療法を行う際に標的として利用されている。本遺伝子の変異により CTE (congenital tufting enteropathy) が生ずる [RefSeq Dec 2008]。

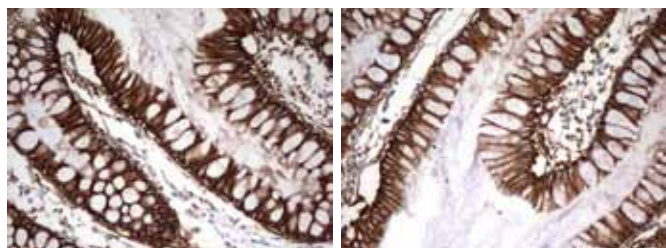


図.1 パラフィン包埋したヒト結腸組織を anti-EPCAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM500096 右: UM500097

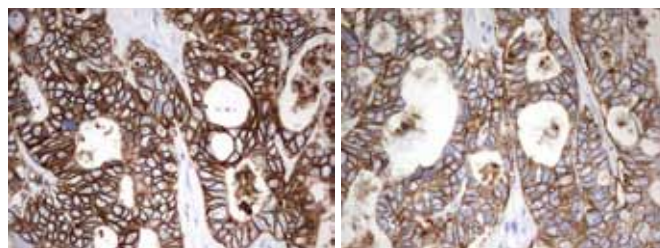


図.2 パラフィン包埋したヒト結腸組織の腺がんを anti-EPCAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM500096 右: UM500097

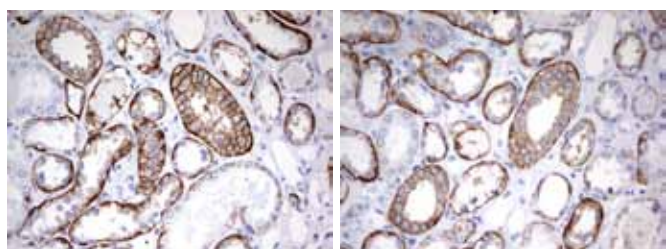


図.3 パラフィン包埋したヒト腎臓組織を anti-EPCAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM500096 右: UM500097

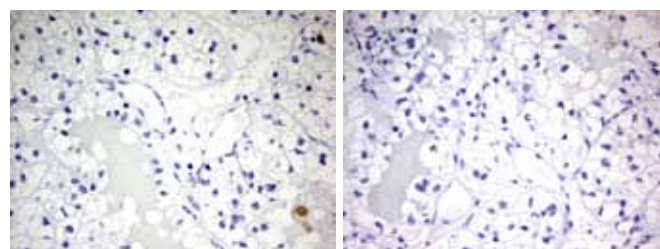


図.4 パラフィン包埋したヒト腎臓組織の細胞腫を anti-EPCAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: UM500096 右: UM500097

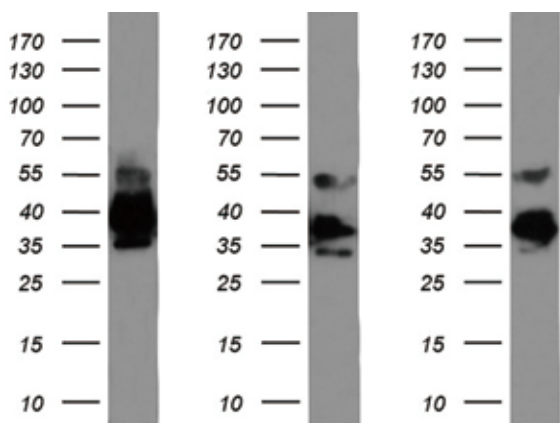


図.5 anti-EPCAM モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (UM500096)
左: LOVO 細胞可溶化液 (35ug)、中: COLO205 細胞可溶化液 (35ug)、右: KM12 細胞可溶化液 (35ug)

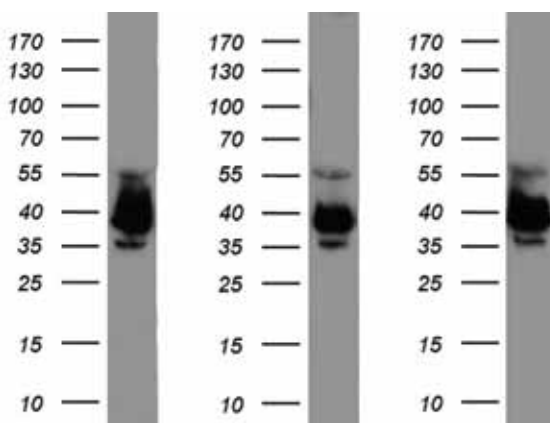


図.6 anti-EPCAM モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (UM500097)
左: LOVO 細胞可溶化液 (35ug)、中: COLO205 細胞可溶化液 (35ug)、右: HEK293 細胞可溶化液 (35ug)

遺伝子名	Homo sapiens epithelial cell adhesion molecule (EPCAM)						
別名	DIAR5; EGP-2; EGP314; EGP40; ESA; HNPCC8; KS1/4; KSA; M4S1; MIC18; MK-1; TACSTD1; TROP1						
抗原	Full length human recombinant protein of human EPCAM(NP_002345) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB131	適用	WB, IHC, FC	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	WB 1:1000, IHC 1:200,
	Clone UMAB132		WB, IHC, 10K-CHIP		IgG1		WB 1:4000, IHC 1:100~200,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570096	Anti EPCAM, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB131	30 µl	¥ 33,000
UM500096	Anti EPCAM, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB131	100 µl	¥ 129,000
UM570097	Anti EPCAM, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB132	30 µl	¥ 33,000
UM500097	Anti EPCAM, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB132	100 µl	¥ 129,000

ERBB2 / NM_004448

本遺伝子は受容体型チロシンキナーゼの上皮性生長細胞（EGF）受容体ファミリーメンバーをコードする。本タンパク質は独自のリガンド結合ドメインをもたず、生長因子を結合できない。しかし、他のリガンド結合型 EGF 受容体ファミリーメンバーと強固に結合してヘテロ二量体を形成する。これによりリガンド結合が安定化し、分裂促進因子活性化タンパク質（MAP）キナーゼやホスファチジルイノシトール 3 キナーゼといった下流のシグナル経路におけるキナーゼを介する活性化を促進する。アミノ酸位 654 と 655 における対立遺伝子多様性をもつアイソフォーム（アイソフォーム b でのポジションは 624 と 625）が報告されているが、最も一般的な対立遺伝子である Ile654/Ile655 をここでは示す。乳がんや卵巣腫瘍をはじめとする数々のがんにおいて本遺伝子の増殖や過剰発現がほくくされている。選択的スプライシングにより複数の転写物バリエーションが生じ異なるアイソフォームをコードするものも報告されているが、完全に同定されていないものもある [RefSeq Jul 2008]。

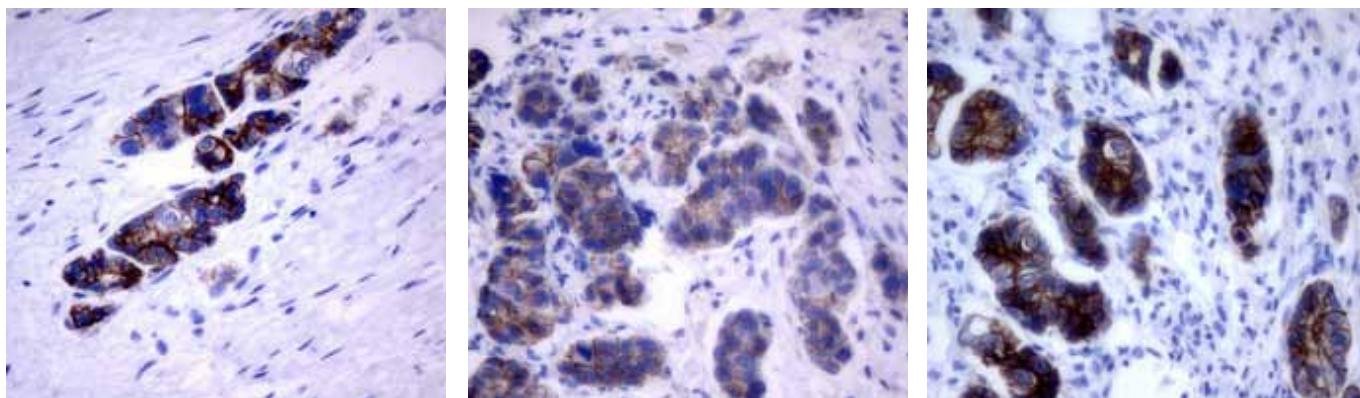


図.1 パラフィン包埋したヒト膀胱組織の細胞腫を anti-ERBB2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA33, 希釈率 1:100、中：Clone UMA34, 希釈率 1:100、右：Clone UMA35, 希釈率 1:100

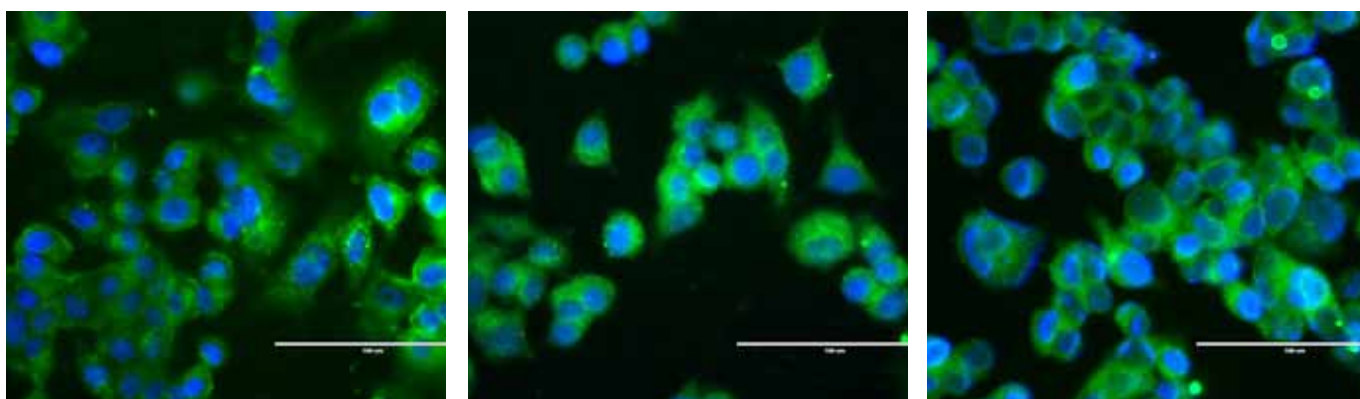


図.2 anti-ERBB2 抗体を用いて MCF7 細胞を免疫蛍光染色
左：Clone UMA33, 希釈率 1:100、中：Clone UMA34, 希釈率 1:100、右：Clone UMA35, 希釈率 1:100

遺伝子名	Homo sapiens v-erb-b2 avian erythroblastic leukemia viral oncogene homolog 2 (ERBB2), transcript variant 1						
別名	CD340; HER-2; HER-2/neu; HER2; MLN 19; NEU; NGL; TKR1						
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 676-1255 of human ERBB2(NP_004439) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB33	交差種	Human, Dog	アイソタイプ	IgG2a	推奨希釈条件	WB:1:2000, IHC:1:50, IF:1:100
	Clone UMAB34		Human, Dog		IgG2b		WB:1:500, IHC:1:50, IF:1:100
	Clone UMAB35		Human, Dog		IgG2b		WB:1:500, IHC:1:50, IF:1:100
適用		WB, IHC, IF, 10K-CHIP		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570033	Anti ERBB2, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMA33	30 µl	¥ 33,000
UM500033	Anti ERBB2, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMA33	100 µl	¥ 129,000
UM570034	Anti ERBB2, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMA34	30 µl	¥ 33,000
UM500034	Anti ERBB2, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMA34	100 µl	¥ 129,000
UM570035	Anti ERBB2, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMA35	30 µl	¥ 33,000
UM500035	Anti ERBB2, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMA35	100 µl	¥ 129,000

ERCC1 / NM_001983

本遺伝子産物はヌクレオチド除去修復経路で機能し、UV 光などにより誘導されたりシスプラチンなどの求電子性化合物により形成される DNA 損傷の修復に必須である。本タンパク質は XPF エンドヌクレアーゼ (ERCC4 と表記される) とヘテロ二量体を形成し、ヘテロ二量体型エンドヌクレアーゼが DNA 損傷切除の工程で 5' 切開を触媒する。このヘテロ二量体型エンドヌクレアーゼは組換え修復やストランド間架橋の修復にも関与する。本遺伝子への変異により II 型コケイン症候群 (COFS 症候群) が生じ、本遺伝子発現を変化させる遺伝子多型は発がんに関与すると考えられる。異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが同定されている、本遺伝子の最終エキソンは反対鎖に位置するイプシロン付随型タンパク質遺伝子の CD3e 分子とオーバーラップする [RefSeq]。

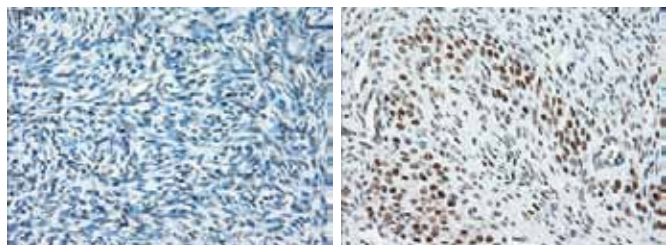


図.1 パラフィン包埋したヒト卵巣組織を anti-ERCC1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone 4F9, 希釈率 1:50、右: Clone 2E12, 希釈率 1:100

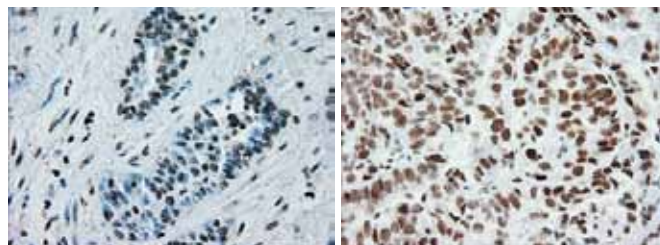


図.2 パラフィン包埋したヒト卵巣組織の腺がんを anti-ERCC1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone 4F9, 希釈率 1:50、右: Clone 2E12, 希釈率 1:100

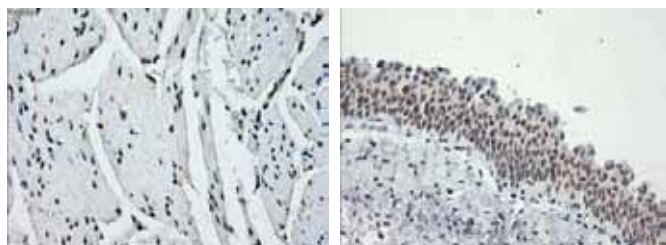


図.3 パラフィン包埋したヒト膀胱組織を anti-ERCC1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone 4F9, 希釈率 1:50、右: Clone 2E12, 希釈率 1:100

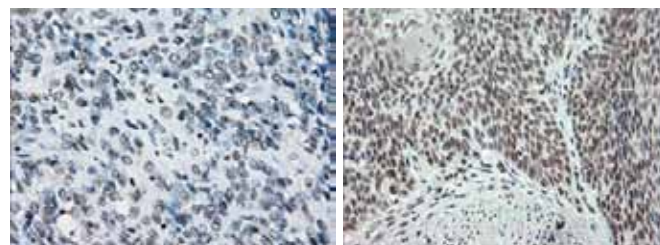


図.4 パラフィン包埋したヒト膀胱組織の細胞腫を anti-ERCC1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone 4F9, 希釈率 1:50、右: Clone 2E12, 希釈率 1:100

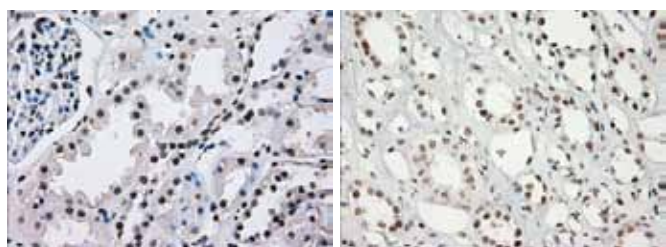


図.5 パラフィン包埋したヒト腎臓組織を anti-ERCC1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone 4F9, 希釈率 1:50、右: Clone 2E12, 希釈率 1:100

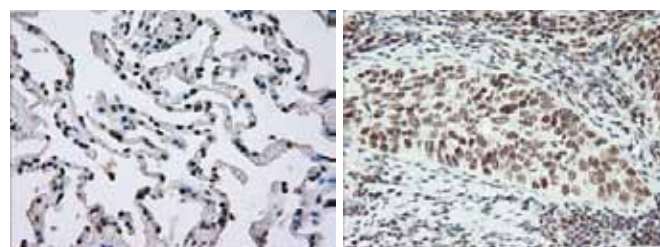


図.6 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-ERCC1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone 4F9, 希釈率 1:50、右: Clone 2E12, 希釈率 1:100

遺伝子名	Homo sapiens excision repair cross-complementing rodent repair deficiency, complementation group 1 (includes overlapping antisense sequence) (ERCC1), transcript variant 2						
別名	COFS4; RAD10; UV20						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone 4F9	抗原	Protein expressed in 293T cell transfected with human ERCC1 expression vector				
	Clone 2E12		Full length human recombinant protein of human ERCC1 (NP_973730) produced in HEK293T cell.				
クローン	Clone 4F9	適用	WB, IHC, IF, 10K-CHIP	アイソタイプ	IgG1	交差種	Human
	Clone 2E12		WB, IHC, IF, 10K-CHIP		IgG2b		Human , Rat , Monkey
クローン	Clone 4F9	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:50, IF 1:100,		濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
	Clone 2E12		WB 1:500~1000, IHC 1:150, IF 1:100, FLOW 1:100,				
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

Origene メーカー略号: ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570008	Anti ERCC1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone 4F9	30 µl	¥ 33,000
UM500008	Anti ERCC1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone 4F9	100 µl	¥ 129,000
UM570011	Anti ERCC1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone 2E12	30 µl	¥ 33,000
UM500011	Anti ERCC1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone 2E12	100 µl	¥ 129,000

ERG / NM_182918

本遺伝子は、転写因子である赤芽球形質転換特異的（ETS）ファミリーメンバーをコードする。本ファミリーメンバーは全て胚発生、細胞増殖、分化、血管新生、炎症、アポトーシスにおける主要な調節因子である。本タンパク質は核内で主に発現する。キメラ腫瘍性タンパク質の自己会合に関与する ETS DNA 結合ドメインと PNT ドメインをもつ。また、血管細胞リモデリングをはじめとした内皮下層への血小板粘着に必須である。さらに、血球新生調節や巨核球細胞の分化と成熟を調節する。本遺伝子は染色体転座に関与し、前立腺がんの TMPSSR2-ERG や NDRG1-ERG、ユーイング肉腫の EWS-ERG、骨髄性白血病の FUS-ERG といった異なる融合遺伝子産物となる。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングバリエントが同定されている [RefSeq Jan]。

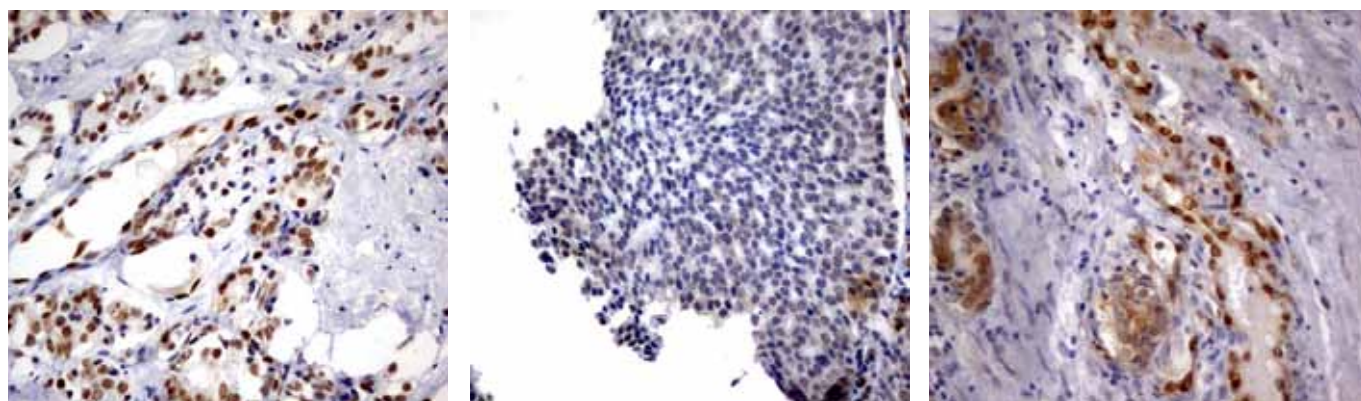


図.1 パラフィン包埋したヒト前立腺組織の細胞腫を anti-ERG マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA76、中：Clone UMA77、右：Clone UMA78

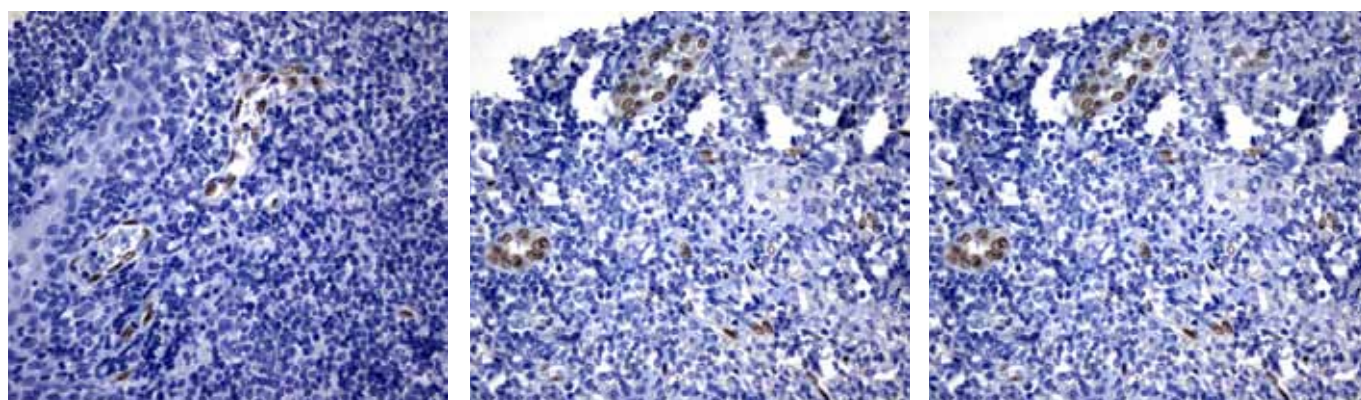


図.2 パラフィン包埋したヒト扁桃組織を anti-ERG マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA76、中：Clone UMA77、右：Clone UMA78

遺伝子名	Homo sapiens v-ets avian erythroblastosis virus E26 oncogene homolog (ERG), transcript variant 1						
別名	erg-3; p55						
抗原	Full length human recombinant protein of human ERG(NP_891548) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB76	交差種	Human	アイソタイプ	IgG2a	推奨希釈条件	IHC 1:100,
	Clone UMAB77		Human		IgG1		IHC 1:100,
	Clone UMAB78		Human		IgG1		IHC 1:100,
適用	IHC, 10K-CHIP		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)		

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃			
品番	品名	包装	希望販売価格
UM570064	Anti ERG, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMA76	30 µl	¥ 33,000
UM500064	Anti ERG, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMA76	100 µl	¥ 129,000
UM570065	Anti ERG, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMA77	30 µl	¥ 33,000
UM500065	Anti ERG, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMA77	100 µl	¥ 129,000
UM570066	Anti ERG, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMA78	30 µl	¥ 33,000
UM500066	Anti ERG, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMA78	100 µl	¥ 129,000

FCER2 / NM_002002

本遺伝子にコードされたタンパク質は B 細胞特異的抗原で、IgE の低親和性受容体である。本タンパク質は B 細胞の生長と分化および IgE 産生制御に必須である。可溶性分泌形態でも存在し、この場合、強力な分裂促進生長因子として機能する。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されている [RefSeq Jul]。

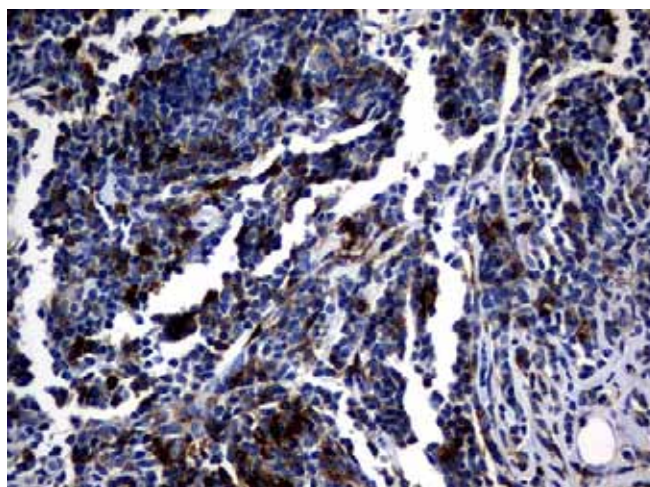


図.1 パラフィン包埋したヒトリンパ腫組織を anti-FCER2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800031)

遺伝子名	Homo sapiens Fc fragment of IgE, low affinity II, receptor for (CD23) (FCER2), transcript variant 1		
別名	BLAST-2; CD23; CD23A; CLEC4J; FCE2; IGEBF		
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 48-321 of human FCER2 (NP_001993) produced in SF9 Cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB101	アイソタイプ	IgG2a
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC	推奨希釈条件	IHC 1:100,

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870031	Anti FCER2, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM800031	Anti FCER2, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

FCGR1A / NM_000566

本遺伝子は免疫応答で重要な役割を担うタンパク質をコードする。本タンパク質は高親和性の Fc- γ 受容体である。本遺伝子は第 1 染色体上に存在する 3 種の遺伝子ファミリーのひとつである [RefSeq Jul 2008]。

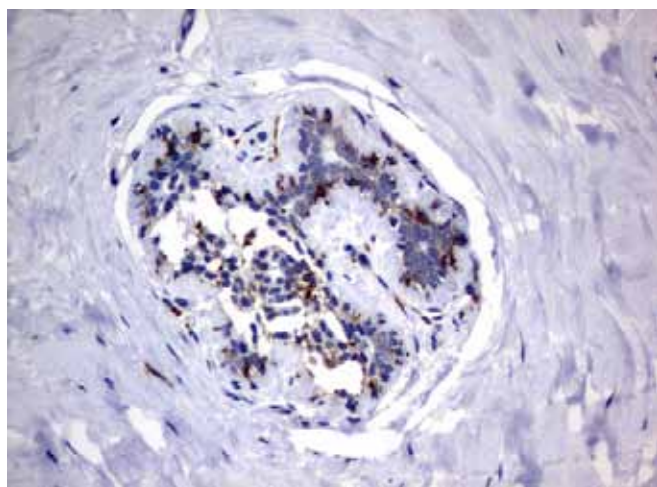


図.1 パラフィン包埋したヒト乳房組織を anti-FCGR1A マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500062)

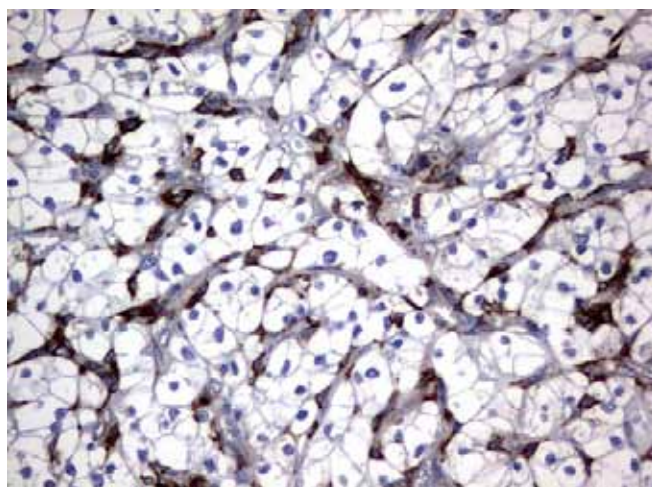


図.2 パラフィン包埋したヒト腎臓組織の細胞腫を anti-FCGR1A マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500062)

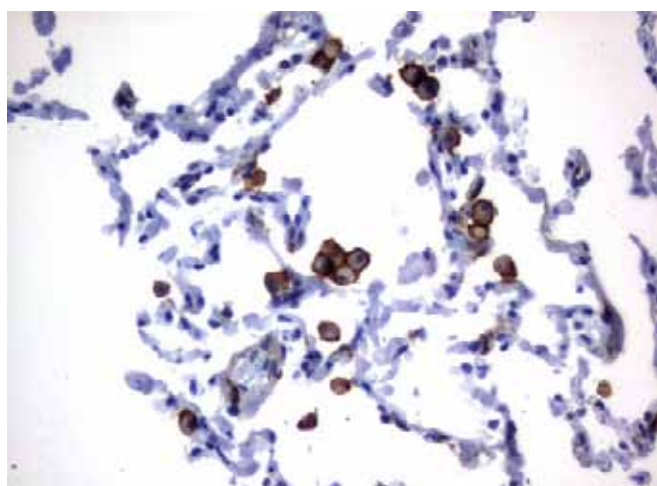


図.3 パラフィン包埋したヒト肺組織を anti-FCGR1A マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500062)

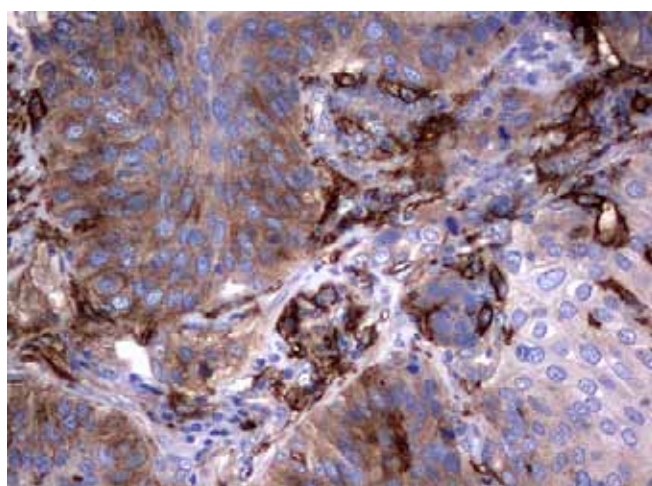


図.4 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-FCGR1A マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500062)

遺伝子名	Homo sapiens Fc fragment of IgG, high affinity Ia, receptor (CD64) (FCGR1A)		
別名	CD64; CD64A; FCRI; IGFR1		
抗原	Full length human recombinant protein of human FCGR1A(NP_000557) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB74	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100,

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570062	Anti FCGR1A, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 μ l	¥ 33,000
UM500062	Anti FCGR1A, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 μ l	¥ 129,000

FCGR2A / NM_021642

本遺伝子は、数々の免疫応答細胞表面に存在する免疫グロブリン Fc 受容体遺伝子ファミリーメンバーのひとつをコードする。本タンパク質はマクロファージや好中球といった食作用性細胞上に存在する細胞表面受容体で、貪食や免疫複合体の排除といったプロセスに関与する。複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されている [RefSeq Oct 2008]。

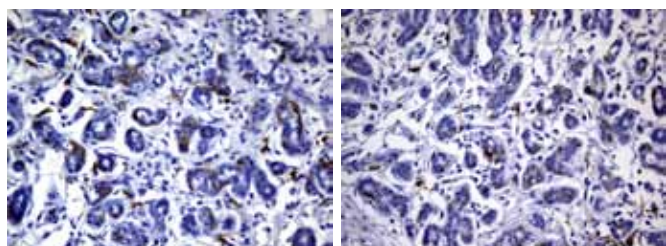


図.1 パラフィン包埋したヒト乳房組織を anti-FCGR2A マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA59、右：Clone UMA60

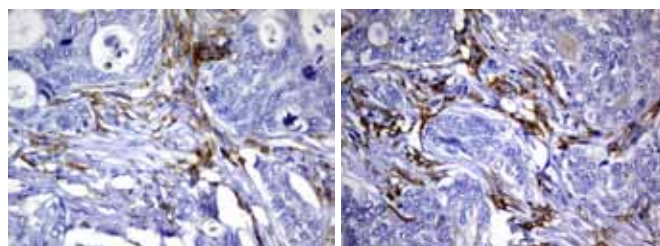


図.2 パラフィン包埋したヒト乳房組織の腺がんを anti-FCGR2A マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA59、右：Clone UMA60

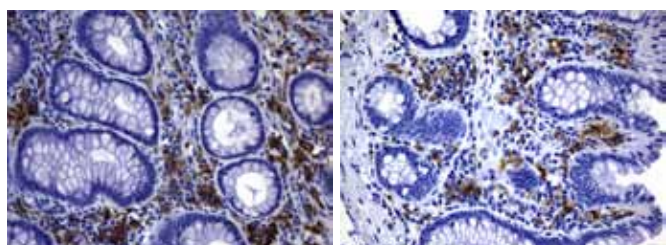


図.3 パラフィン包埋したヒト結腸組織を anti-FCGR2A マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA59、右：Clone UMA60

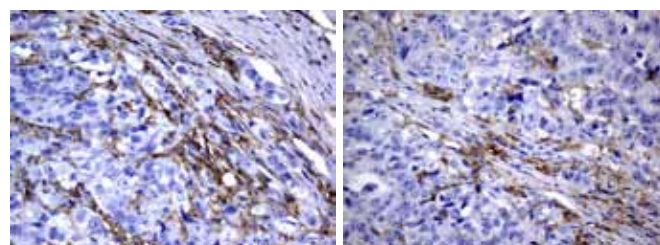


図.4 パラフィン包埋したヒト結腸組織の腺がんを anti-FCGR2A マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA59、右：Clone UMA60

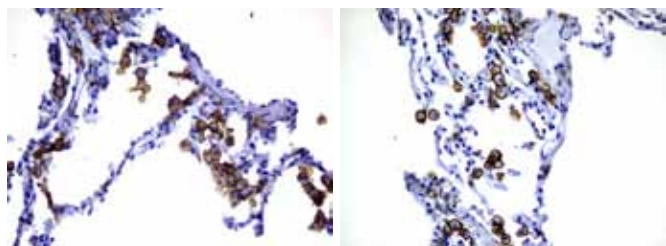


図.5 パラフィン包埋したヒト肺組織を anti-FCGR2A マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA59、右：Clone UMA60

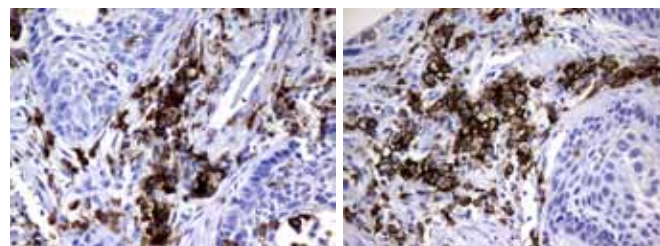


図.6 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-FCGR2A マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA59、右：Clone UMA60

遺伝子名	Homo sapiens Fc fragment of IgG, low affinity IIa, receptor (CD32) (FCGR2A), transcript variant 2						
別名	CD32; CD32A; CDw32; FCG2; FcGR; FCGR2; FCGR2A1; IGFR2						
抗原	Full length human recombinant protein of human FCGR2A (NP_067674) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB59	適用	IHC, 10K-CHIP	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:100~150,
	Clone UMAB60		IHC, 10K-CHIP		IgG1		IHC 1:100,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570050	Anti FCGR2A, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMA59	30 µl	¥ 33,000
UM500050	Anti FCGR2A, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMA59	100 µl	¥ 129,000
UM570051	Anti FCGR2A, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMA60	30 µl	¥ 33,000
UM500051	Anti FCGR2A, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMA60	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

FGF21 / NM_019113

本遺伝子にコードされたタンパク質は線維芽細胞増殖因子（FGF）ファミリーメンバーである。FGF ファミリーメンバーは広範な分裂促進および細胞生存活性を示し、胚胎発生、細胞生長、形態形成、組織修復、腫瘍生長、浸潤といったさまざまな生物学的プロセスに関与する。本成長因子の機能はまだよくわかっていない [RefSeq Jul 2008]。

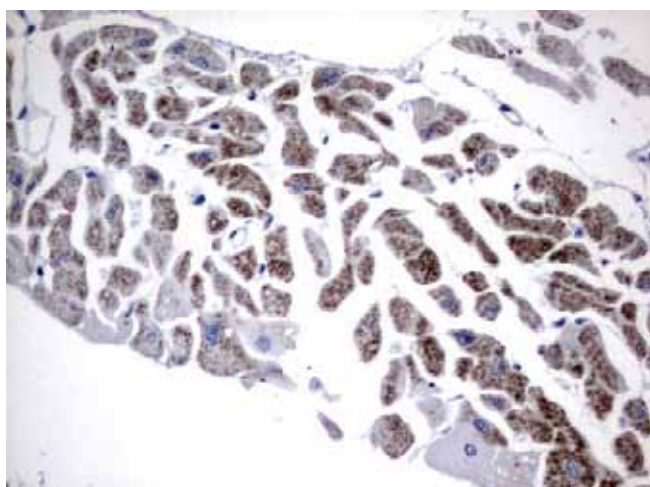


図.1 パラフィン包埋したヒト成体心臓組織を anti-FGF21 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500059)

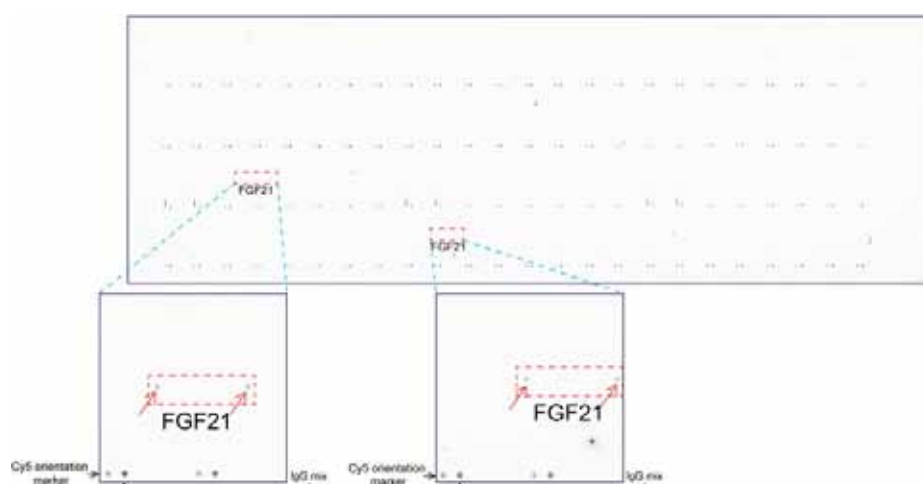


図.2 ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-FGF21 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (UM500059)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。

遺伝子名	HHomo sapiens fibroblast growth factor 21 (FGF21)		
別名	fibroblast growth factor 21		
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 29-209 of human FGF21 (NP_061986) produced in E.coli.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB71	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570059	Anti FGF21, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 μ l	¥ 33,000
UM500059	Anti FGF21, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 μ l	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

FOLH1 / NM_004476

本遺伝子は M28 ペプチダーゼファミリーに属する II 型膜貫通型糖タンパク質をコードする。本タンパク質は栄養素の葉酸や神経ペプチドの N- アセチル-L- アスパルチル-L- グルタミン酸といった異なる代替基質に対してグルタミン酸カルボキシペプチダーゼとして働き、前立腺、中枢および末梢神経系、および腎臓といった数々の組織で発現する。本遺伝子の変異と食物性葉酸の腸管吸収障害との関係が疑われ、血中内葉酸濃度が低下し高ホモシステイン血症を誘引する。本遺伝子の脳内発現は、数々のグルタミン酸興奮毒性に付随する病態に関与する可能性がある。前立腺において本タンパク質はがん性細胞において上方制御されており、有効な前立腺がん診断／予後指標として利用される。本遺伝子は染色体上の近接領域に重複した配列をもつ領域より生じていると考えられる。複数の異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングバリエントが同定されている [RefSeq]。

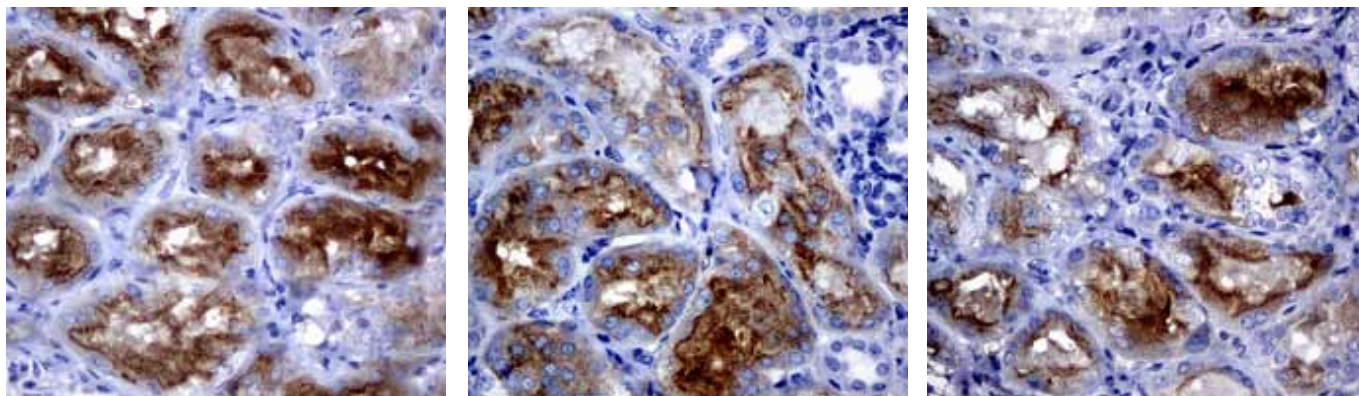


図.1 パラフィン包埋したヒト腎臓組織を anti-FOLH1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB25, 希釈率 1:100、中：UMAB26, 希釈率 1:100、右：UMAB27, 希釈率 1:100

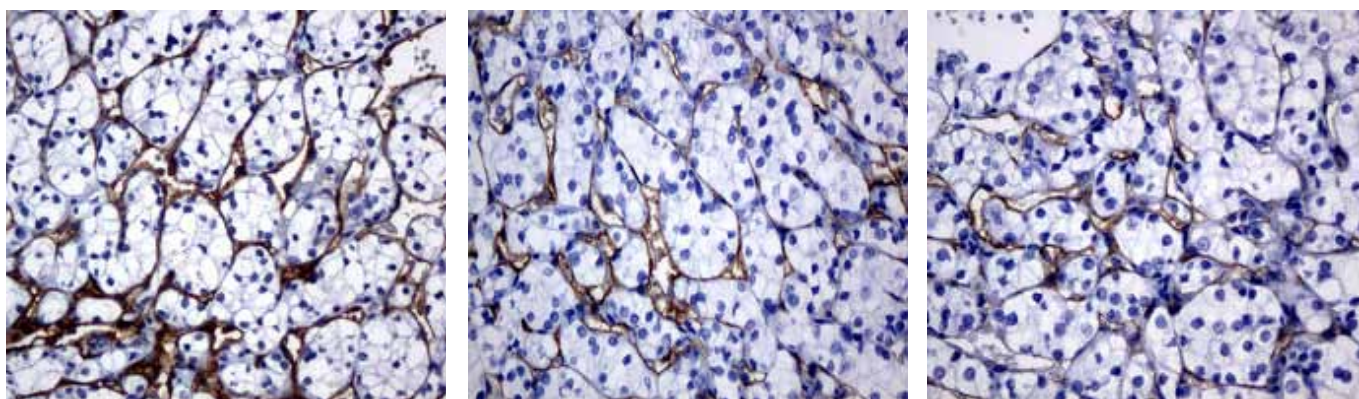


図.2 パラフィン包埋したヒト腎臓組織の細胞腫を anti-FOLH1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB25, 希釈率 1:100、中：UMAB26, 希釈率 1:100、右：UMAB27, 希釈率 1:100

遺伝子名	Homo sapiens folate hydrolase (prostate-specific membrane antigen) 1 (FOLH1), transcript variant 1				
別名	FGCP; FOLH; GCP2; GCPII; mGCP; NAALAD1; NAALadase; PSM; PSMA				
抗原	Full length human recombinant protein of human FOLH1(NP_004467) produced in HEK293T cell.				
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.				
クローン	Clone UMAB25	交差種	Human , Dog , Rat , Monkey , Mouse	アイソタイプ	IgG2b
	Clone UMAB26		Human		IgG1
	Clone UMAB27		Human		IgG1
クローン	Clone UMAB25	適用	IHC, IF, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:500~2000, IF 1:100, IF 1:100,
	Clone UMAB26		IHC, 10K-CHIP		WB 1:500, FLOW 1:100,
	Clone UMAB27		IHC, 10K-CHIP		WB 1:2000, FLOW 1:100,
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)				

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570025	Anti FOLH1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB25	30 µl	¥ 33,000
UM500025	Anti FOLH1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB25	100 µl	¥ 129,000
UM570026	Anti FOLH1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB26	30 µl	¥ 33,000
UM500026	Anti FOLH1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB26	100 µl	¥ 129,000
UM570027	Anti FOLH1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB27	30 µl	¥ 33,000
UM500027	Anti FOLH1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB27	100 µl	¥ 129,000

FOXP1 / NM_032682

本遺伝子はフォークヘッドボックス (FOX) 転写因子ファミリーのサブファミリー P に属する。フォークヘッドボックス転写因子は発生と成人期の何れにおいても組織／細胞型特異的遺伝子転写の制御において重要な役割を担う。フォークヘッドボックス P1 タンパク質は DNA 結合ドメインとタンパク質間結合ドメインの双方をもつ。本遺伝子はいくつかの腫瘍型で欠損していること、また腫瘍抑制遺伝子を含むと報告されている染色体領域 (3p14.1) に位置することから、瘍抑制因子として機能する可能性がある。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されている [RefSeq Jul]。

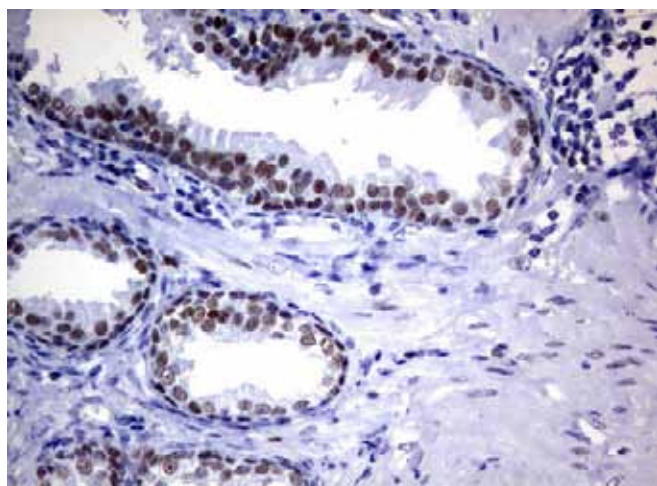


図.1 パラフィン包埋したヒト前立腺組織を anti-xFOXP1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800020)

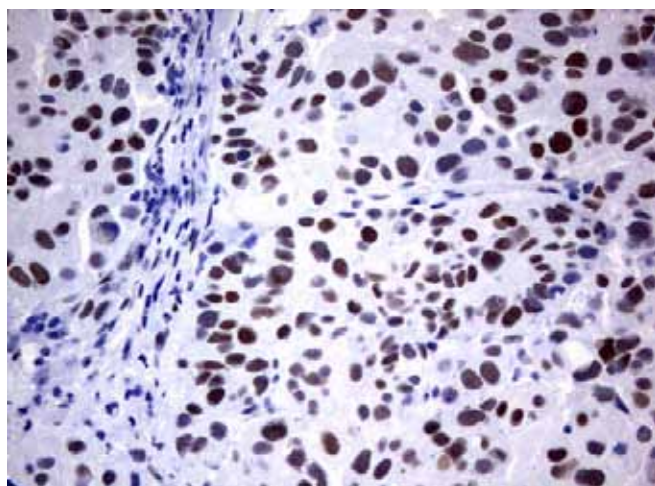


図.2 パラフィン包埋したヒト膀胱組織の細胞腫を anti-xFOXP1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800020)

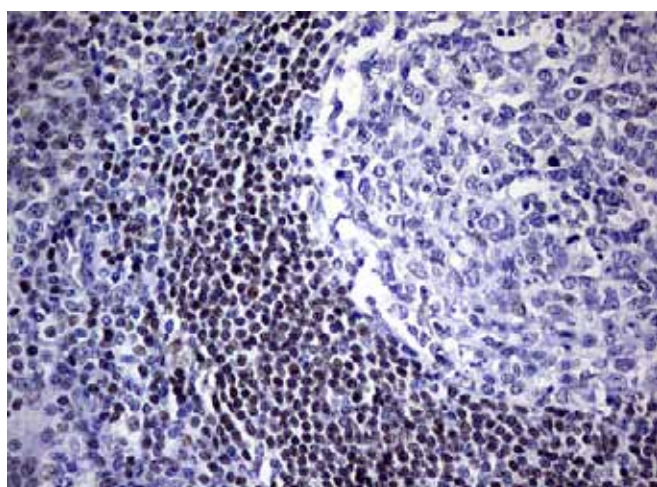


図.3 パラフィン包埋したヒト扁桃組織を anti-xFOXP1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800020)

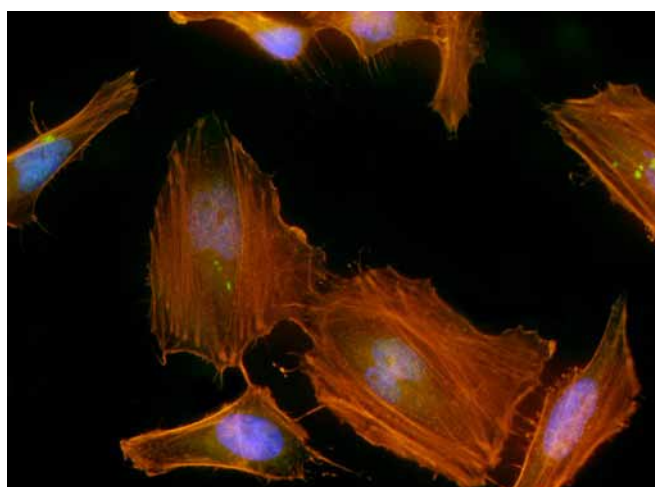


図.4 HeLa 細胞を anti-FOXP1 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM800020、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3 色を重ね合わせた。

遺伝子名	Homo sapiens forkhead box P1 (FOXP1), transcript variant 1		
別名	12CC4; hFKH1B; HSPC215; QRF1		
抗原	Full length human recombinant protein of human FOXP1 (NP_116071) produced in SF9 cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB89	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human, Mouse, Rat, Monkey	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, IF, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100, IF 1:100

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870020	Anti FOXP1, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM800020	Anti FOXP1, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

FTCD / NM_006657

本遺伝子にコードされたタンパク質は、ヒスチジン分解経路の代謝物であるホルムイミノグルタミン酸から1炭酸ユニットを葉酸プールに運ぶ2つの機能をもつ酵素である。本遺伝子の変異とグルタミン酸ホルムイミノトランスフェラーゼ欠損との関係が知られている。複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されている [RefSeq Dec2009]。

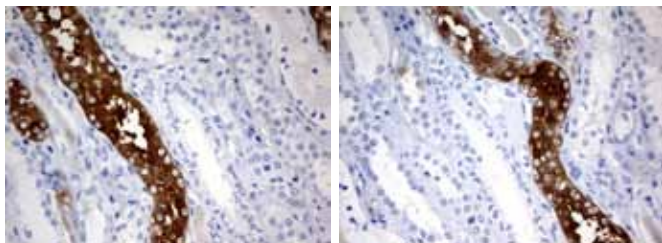


図.1 パラフィン包埋したヒト腎臓組織を anti-FTCD マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB122、右：Clone UMAB123

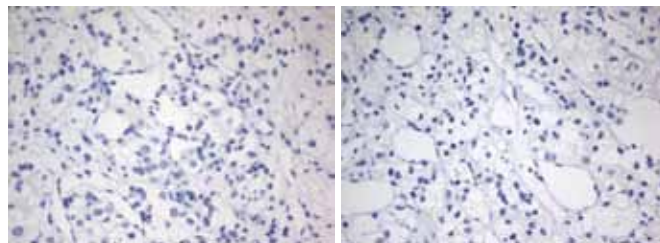


図.2 パラフィン包埋したヒト腎臓組織の細胞腫を anti-FTCD マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB122、右：Clone UMAB123

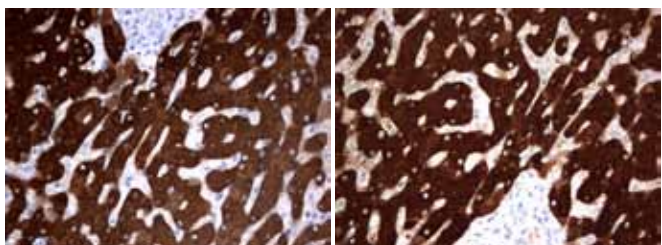


図.3 パラフィン包埋したヒト肝臓組織を anti-FTCD マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB122、右：Clone UMAB123

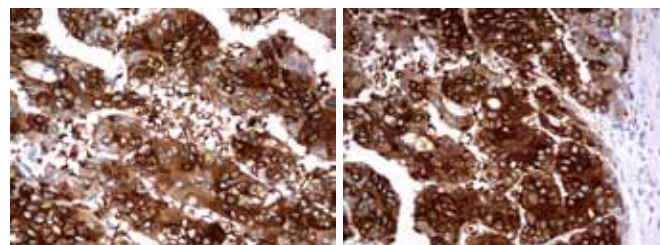


図.4 パラフィン包埋したヒト肝臓組織の細胞腫を anti-FTCD マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB122、右：Clone UMAB123

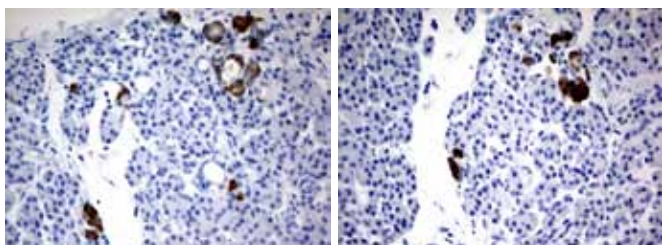


図.5 パラフィン包埋したヒト臍臓組織を anti-FTCD マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB122、右：Clone UMAB123

遺伝子名	Homo sapiens formimidoyltransferase cyclodeaminase (FTCD), transcript variant B						
別名	LCHC1						
抗原	Full length human recombinant protein of human FTCD(NP_006648) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB122	適用	IHC, 10K-CHIP	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:100~200,
	Clone UMAB123		IHC, 10K-CHIP		IgG2b		IHC 1:100~200,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570087	Anti FTCD, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB122	30 µl	¥ 33,000
UM500087	Anti FTCD, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB122	100 µl	¥ 129,000
UM570088	Anti FTCD, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB123	30 µl	¥ 33,000
UM500088	Anti FTCD, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB123	100 µl	¥ 129,000

GFAP / NM_002055

本遺伝子は主要な成熟アストロサイトの間接フィラメントタンパク質の1つをコードする。発生期において他のグリア細胞とアストロサイトを識別するマーカーとして使用される。本遺伝子における変異は、まれな中枢神経系のアストロサイト疾患であるアレキサンダー病の起因となる。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されている [RefSeq Oct 2008]。

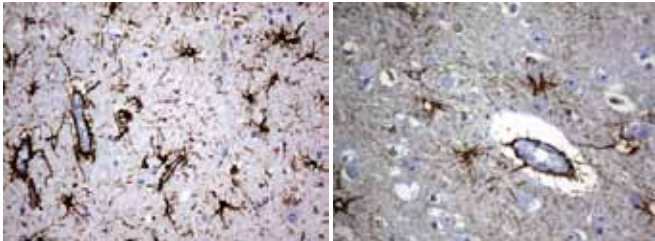


図.1 パラフィン包埋したヒト成体脳組織を anti-GFAP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB5、右：Clone UMAB129

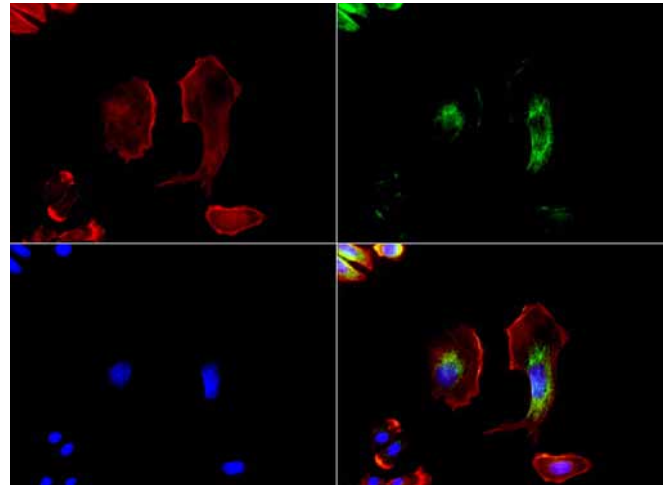


図.2 PC-12 細胞を anti-GFAP マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500005、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) した。3 色を重ね合わせた画像を右下に示した。

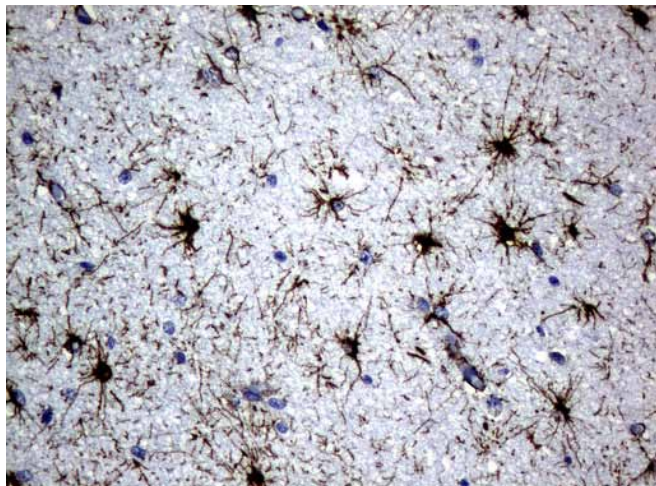


図.3 パラフィン包埋したヒト胚性脳皮質組織を anti-GFAP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500094)

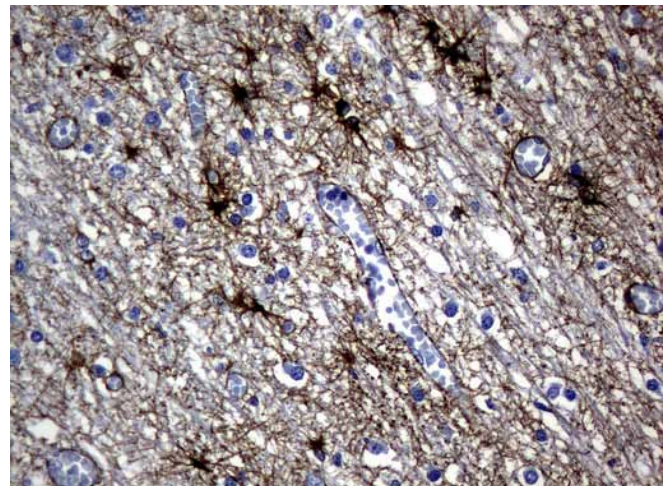


図.4 パラフィン包埋したヒト胚性小脳組織を anti-GFAP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500094)

遺伝子名	Homo sapiens glial fibrillary acidic protein (GFAP), transcript variant 1						
別名	FLJ42474; FLJ45472						
抗原	Full length human recombinant protein of human GFAP (NP_002046) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB5	適用	WB, IHC, IF	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	WB 1:500~1000, IHC 1:50, IF 1:100,
	Clone UMAB129		WB, IHC		IgG1		WB 1:2000, IHC 1:100,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

Origine メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570005	Anti GFAP, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB5	30 µl	¥ 33,000
UM500005	Anti GFAP, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB5	100 µl	¥ 129,000
UM570094	Anti GFAP, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB129	30 µl	¥ 33,000
UM500094	Anti GFAP, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB129	100 µl	¥ 129,000

HADH / NM_005327

本遺伝子は 3- ヒドロキシアシル CoA 脱水素酵素遺伝子ファミリーメンバーをコードする。本タンパク質はミトコンドリアマトリックス内で機能し、 β -酸化経路の一部として直鎖 3- ヒドロキシアシル CoA の酸化を触媒する。この酵素活性は中程度の鎖長をもつ脂肪酸において最も高い。本遺伝子の変異は、家族性高インスリン型低血糖症の一形態の要因となる。ヒトゲノムでは関連する偽遺伝子が第 15 染色体上に存在する。

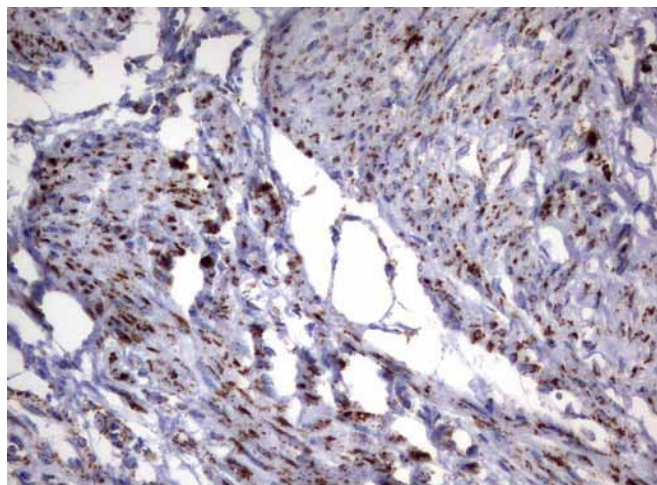


図.1 パラフィン包埋したヒト子宮内膜組織を anti-HADH マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800048)

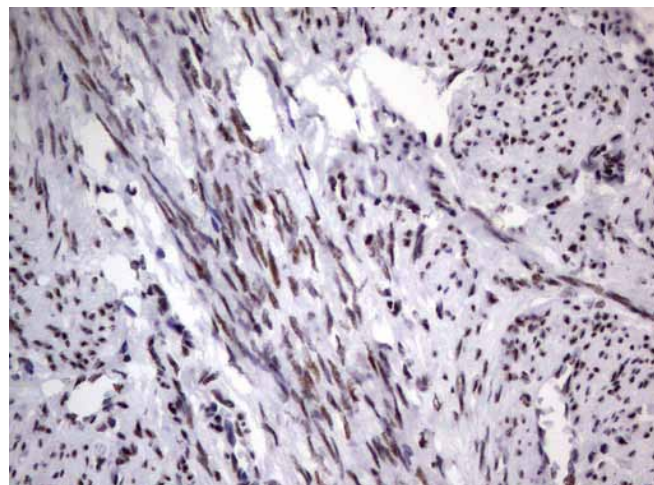


図.2 パラフィン包埋したヒト子宮内膜組織の腺がんを anti-HADH マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800048)

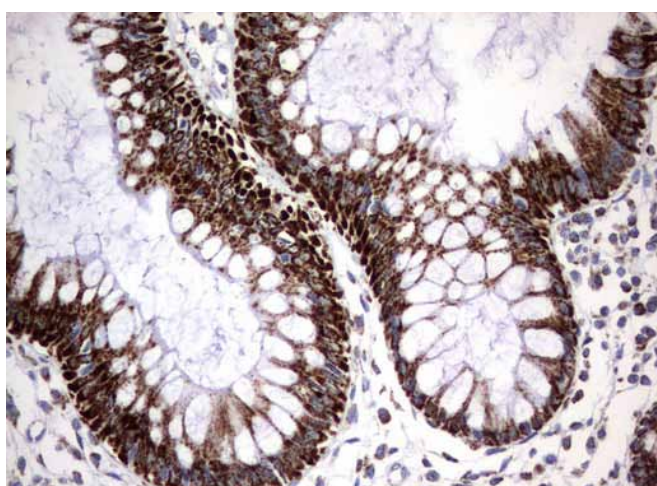


図.3 パラフィン包埋したヒト結腸組織を anti-HADH マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800048)

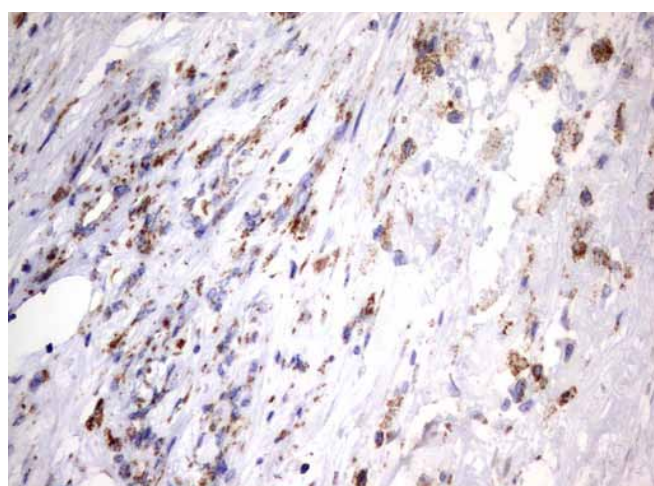


図.4 パラフィン包埋したヒト結腸組織の腺がんを anti-HADH マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800048)

遺伝子名	Homo sapiens hydroxyacyl-CoA dehydrogenase (HADH), transcript variant 2		
別名	HAD; HADH1; HADHSC; HCDH; HHF4; MSCHAD; SCHAD		
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 57-314 of human HADH (NP_005318) produced in E.coli.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB151	アイソタイプ	IgG2a
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:100~200,

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870048	Anti HADH, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 μ l	¥ 33,000
UM800048	Anti HADH, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 μ l	¥ 129,000

HAO1 / NM_017545

本遺伝子は、2- ヒドロキシ酸酸化酵素活性をもつがコードするアミノ酸配列、発現組織、基質優先度が異なる3種の関連遺伝子のうちのひとつである。本タンパク質はペルオキシソームに局在する。特に、肝臓や膵臓で主に発現し、2つの炭素をもつ基質であるグリコール酸に対して最も活性が高い。また、2- ヒドロキシ脂肪酸に対しても活性を示す。膵臓において本転写物の高発現がみられる場合、選択的スプライシングバリエーションであるか、複数存在する上流の poly-A サイトを利用したバリエーションである可能性がある。

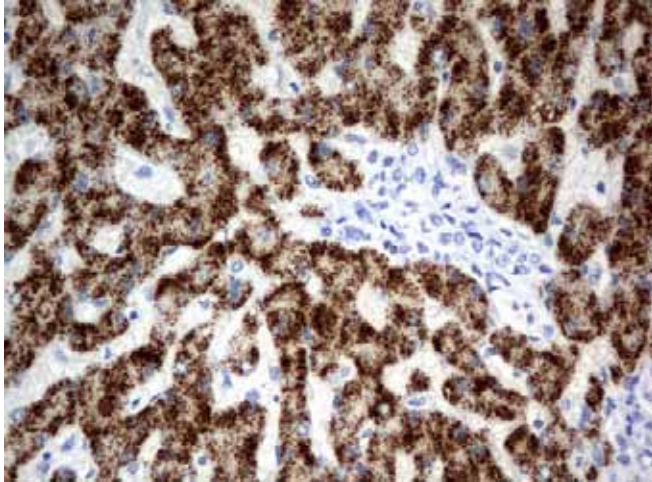


図.1 パラフィン包埋したヒト肝臓組織を anti-HAO1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500082)

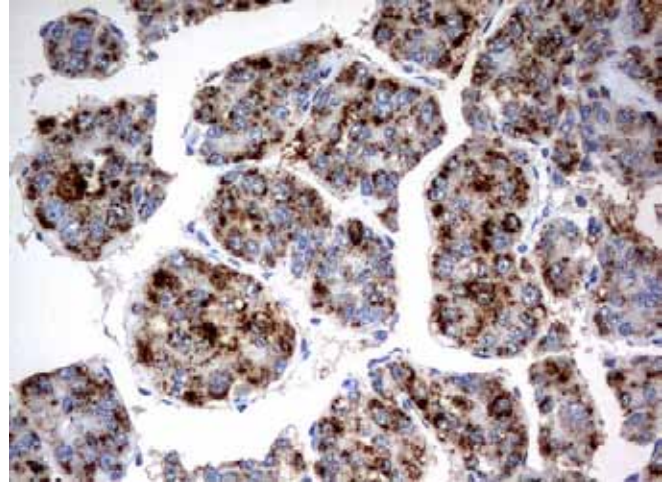


図.2 パラフィン包埋したヒト肝臓組織の細胞腫を anti-HAO1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500082)

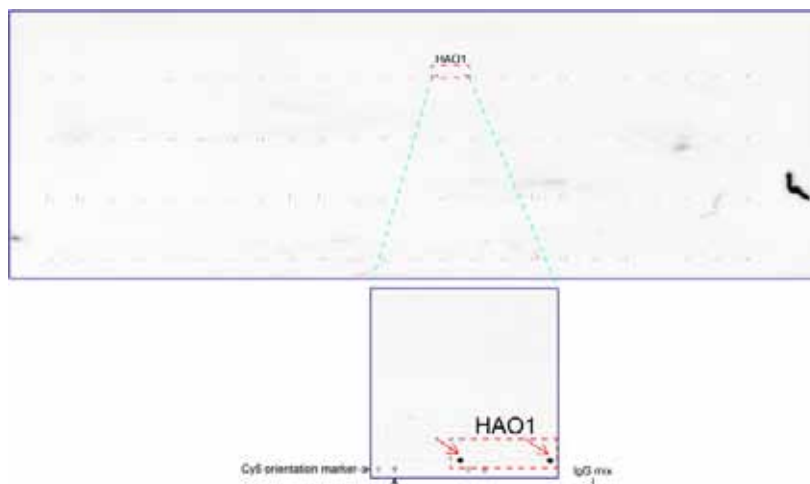


図.3 ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-HAO1 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (UM500082)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。

遺伝子名	Homo sapiens hydroxyacid oxidase (glycolate oxidase) 1 (HAO1)		
別名	GOX; GOX1; HAOX1		
抗原	Full length human recombinant protein of human HAO1 (NP_060015) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB117	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100~200,

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570082	Anti HAO1, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500082	Anti HAO1, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

HMBS / NM_000190

本遺伝子はヒドロキシメチルビラン合成酵素スーパーファミリーメンバーをコードする。コードされたタンパク質はヘム生合成経路の3番目の酵素であり、4つのポルフォビリノーゲン分子がそれぞれの頭部と尾部で凝結した形態から直鎖状のヒドロキシメチルビランとなる反応を触媒する。本遺伝子の変異と常染色体優勢疾患である急性間欠性ポルフィリン症との関連性が知られている。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されている [RefSeq Jul 2008]。

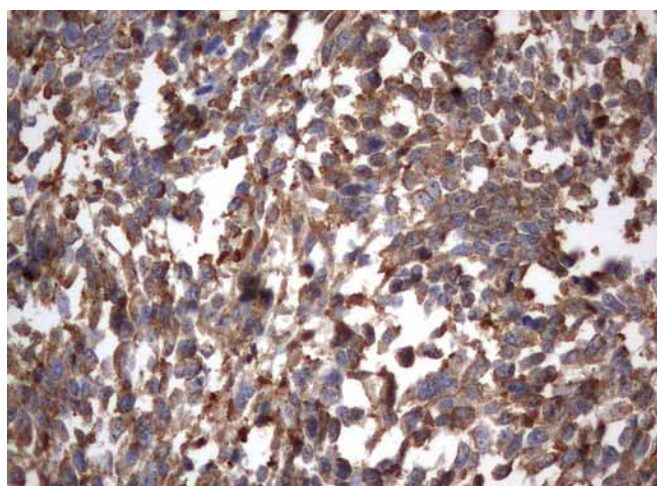


図.1 パラフィン包埋したヒトメラノーマ組織を anti-HMBS マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800041)

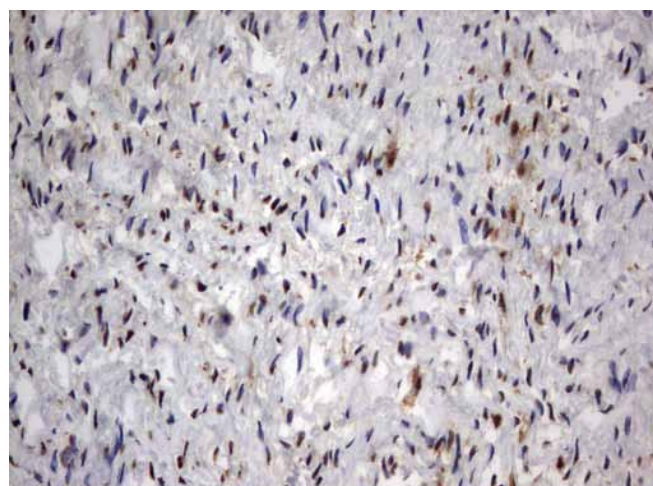


図.2 パラフィン包埋したヒト筋肉組織を anti-HMBS マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800041)

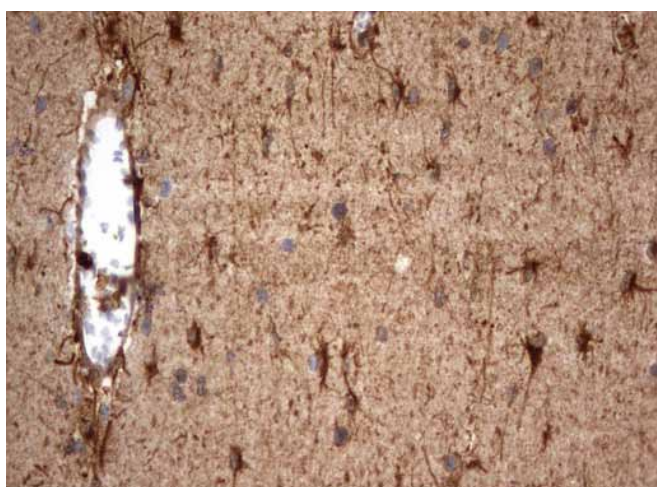


図.3 パラフィン包埋したヒト胚性脳皮質組織を anti-HMBS マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800041)

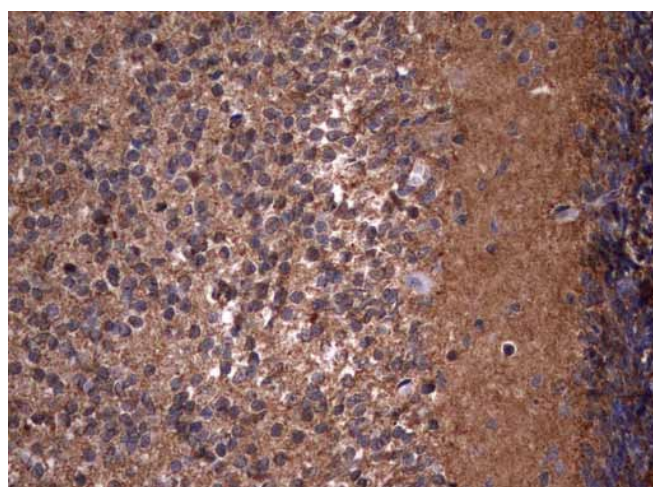


図.4 パラフィン包埋したヒト胚性小脳組織を anti-HMBS マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800041)

遺伝子名	Homo sapiens hydroxymethylbilane synthase (HMBS), transcript variant 1		
別名	PBG-D; PBGD; PORC; UPS		
抗原	Full length human recombinant protein of human HMBS (NP_000181) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB144	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:200,

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870041	Anti HMBS, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM800041	Anti HMBS, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

本遺伝子は、プロセスにより α 鎖と β 鎖の両方が生じた後、四量体を形成してハプトグロビンを産生するプレプロタンパク質をコードする。ハプトグロビンは血漿中の遊離ヘモグロビンと結合するが、これにより分解性酵素がヘモグロビンに接近可能になるとともに腎臓からの鉄分損失を防ぎヘモグロビンによる腎臓損傷を防御する。本遺伝子または遺伝子とその制御領域を含めた領域への変異により無ハプトグロビン血または低ハプトグロビン血症の要因となる。本遺伝子は糖尿病性腎症、I型糖尿病における冠動脈疾患の発症率、クローン病、炎症性疾患挙動、原発性硬化性胆管炎、突発性パーキンソン病への易罹患性、熱帯性マラリアの発症率低下への関連性が知られている。類似した重複遺伝子が第16染色体上に位置する本遺伝子の隣接位に存在する。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されている [RefSeq]。

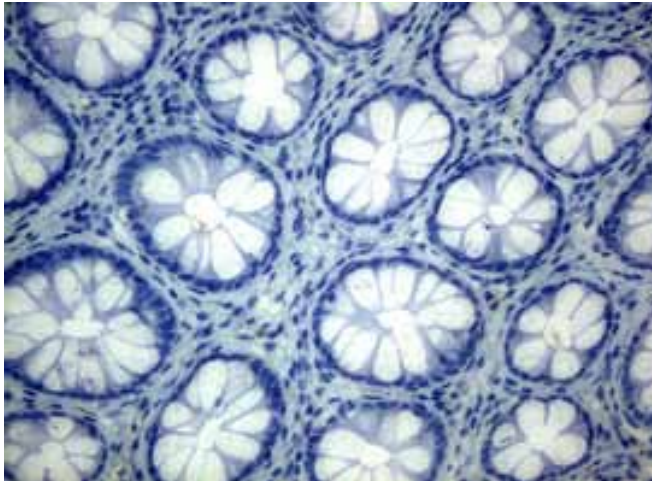


図.1 パラフィン包埋した結腸組織を anti-HP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UMAB10, 希釈率 1:100)

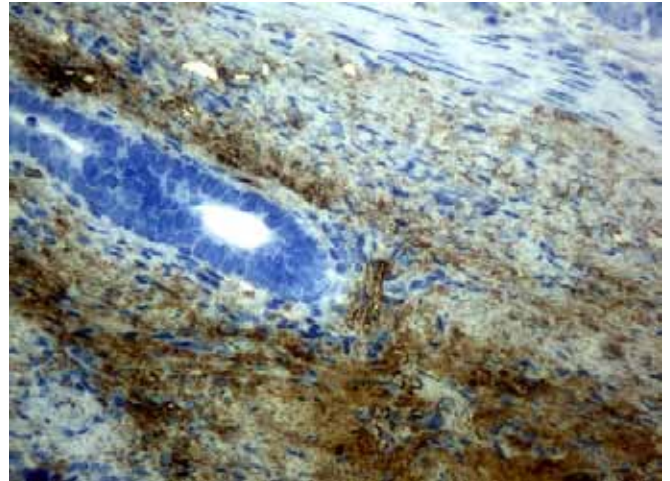


図.2 パラフィン包埋した結腸組織の腺がんを anti-HP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UMAB10, 希釈率 1:100)

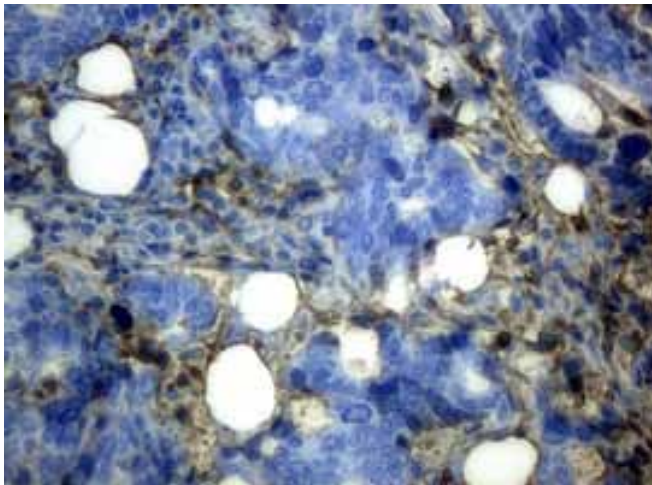


図.3 パラフィン包埋した乳房組織の腺がんを anti-HP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UMAB10, 希釈率 1:100)

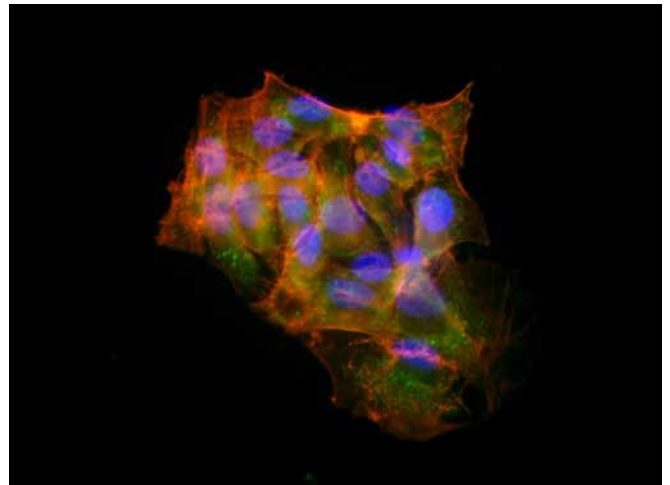


図.4 HepG2 細胞を anti-HP マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500010、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3 色を重ね合わせた。

遺伝子名	Homo sapiens haptoglobin (HP), transcript variant 1		
別名	BP; HP2ALPHA2; HPA1S		
抗原	Full length human recombinant protein of human HP (NP_005134) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	UMAB10	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, IF, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:500~2000, IF 1:100

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570010	Anti HP, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 μ l	¥ 33,000
UM500010	Anti HP, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 μ l	¥ 129,000

IDO1 / NM_002164

本遺伝子は、トリプトファン異化作用から N- フォルミルキヌレニンへの第一段階かつ律速段階の反応を触媒するヘム酵素であるインドールアミン-2,3- ジオキシゲナーゼ (IDO) をコードする。本酵素は D- トリプトファン、L- トリプトファン、5- ヒドロキシトリプトファン、トリプタミン、セロトニンといった複数のトリプトファン基質に作用する。また、抗菌や抗がんを目的とする防御、神経病理学、免疫調節、抗酸化活性といった様々な病理生理学的プロセスにおいて役割を担うと考えられる。樹状細胞、単球、マクロファージにおける発現を介し、主要アミノ酸であるトリプトファンの周辺細胞分解により本酵素は T 細胞行動を調節する {RefSeq Feb 2011}。

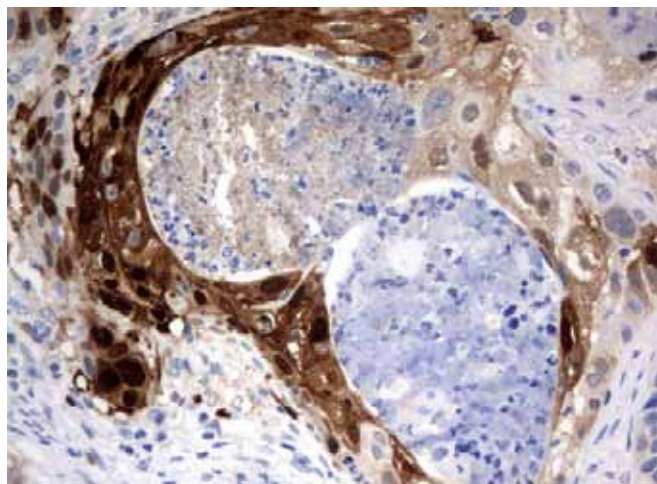


図.1 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-IDO1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500091)

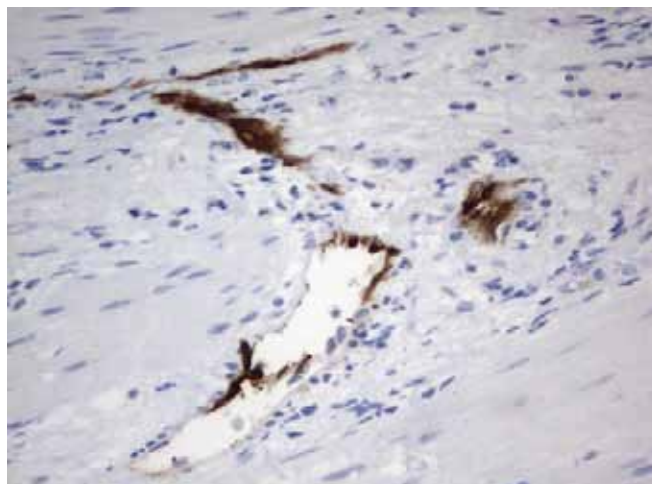


図.2 パラフィン包埋したヒト子宮内膜組織の腺がんを anti-IDO1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500091)

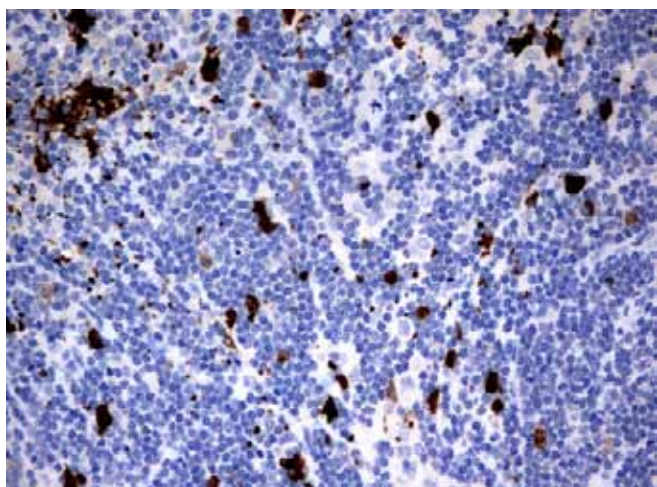


図.3 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-IDO1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500091)

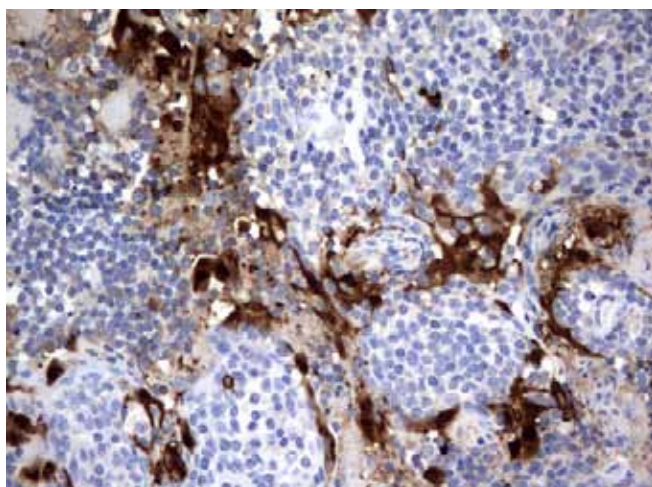


図.4 パラフィン包埋したヒト扁桃組織を anti-IDO1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500091)

遺伝子名	Homo sapiens indoleamine 2,3-dioxygenase 1 (IDO1)		
別名	IDO; IDO-1; INDO		
抗原	Full length human recombinant protein of human IDO1(NP_002155) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB126	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100~200,

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570091	Anti IDO1, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500091	Anti IDO1, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

IRF6 / NM_006147

本遺伝子はインターフェロン調節転写因子 (IRF) ファミリーメンバーをコードする。ファミリーメンバーは非常に保存された N 末端ヘリックス・ターン・ヘリックス DNA 結合ドメインと、やや保存された C 末端タンパク質結合ドメインをもつ。本タンパク質は転写活性化因子として働く可能性がある。本遺伝子の変異により Van der Woude 症候群や popliteal pterygium 症候群 (PPS) を誘引する可能性がある。また、本遺伝子の変異は非症候性 6 型口腔顔面中裂に関与する。複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されている [RefSeq May 2011]。

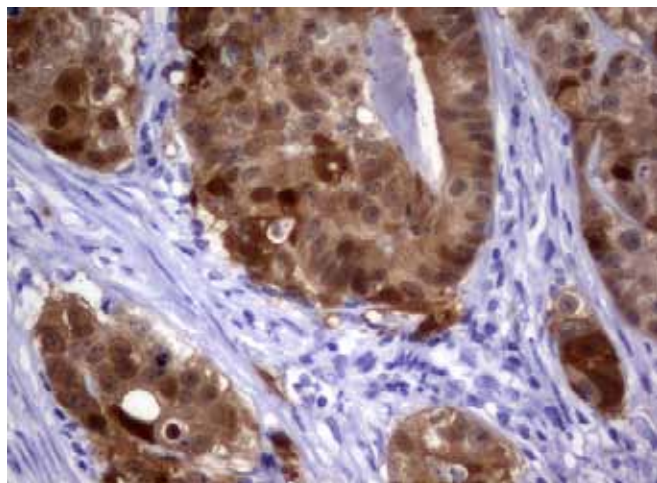


図.1 パラフィン包埋したヒト結腸組織の腺がんを anti-IRF6 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500074)

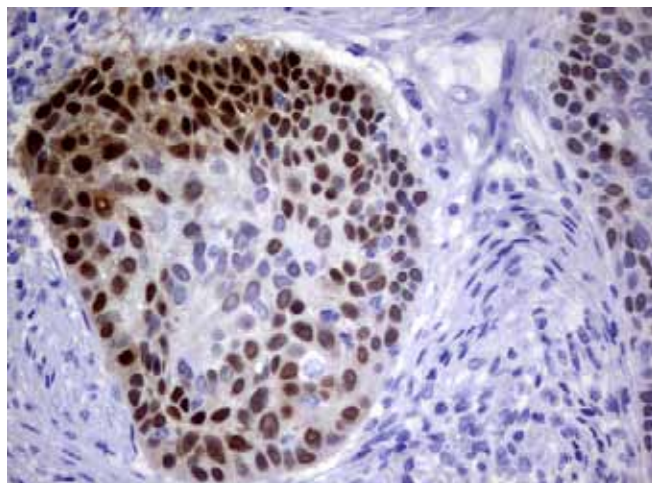


図.2 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-IRF6 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500074)

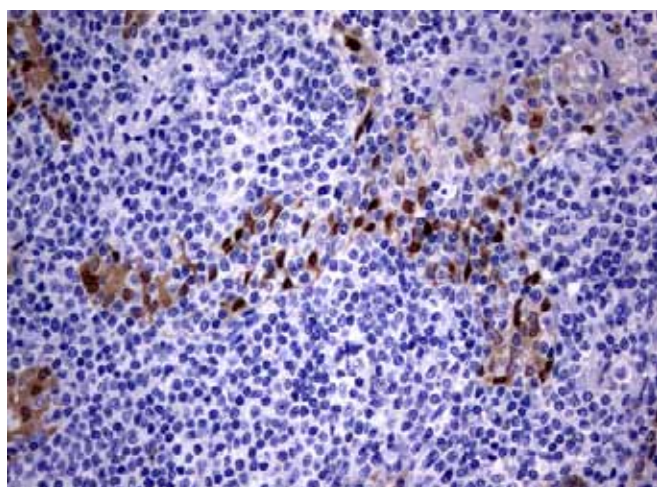


図.3 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-IRF6 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500074)

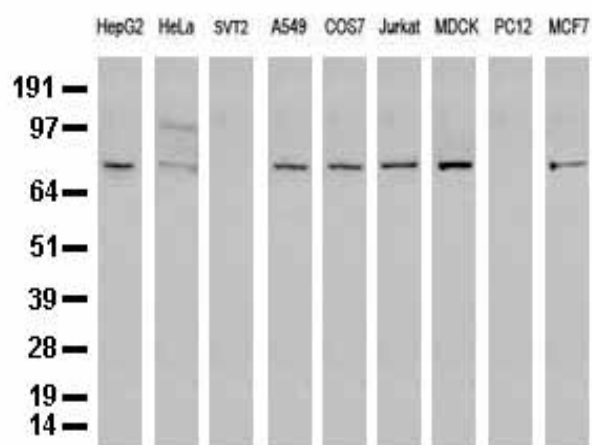


図.4 9 種の細胞株からの抽出物 (35ug) を anti-IRF6 モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (Clone UMAB106)

遺伝子名	Homo sapiens interferon regulatory factor 6 (IRF6), transcript variant 1		
別名	LPS; OFC6; PIT; PPS; PPS1; VWS; VWS1		
抗原	Full length human recombinant protein of human IRF6(NP_006138) produced in HEK293 Cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB106	アイソタイプ	IgG2b
交差種	Human, Monkey, Dog	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC	推奨希釈条件	WB 1:500, IHC 1:100

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570074	Anti IRF6, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500074	Anti IRF6, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

JUN / NM_002228

本遺伝子はトリ肉腫ウイルス 17 のトランスフォーミング遺伝子であると推定されている。ウイルスタンパク質と非常に類似したタンパク質をコードする上、特定の標的 DNA 配列と直接相互作用して遺伝子発現調節を行う。本遺伝子はイントロンをもたず、ヒト悪性腫瘍において転座と欠損に関与すると考えられている染色体領域である 1p32-p31 に位置する [RefSeq Jul 2008]。

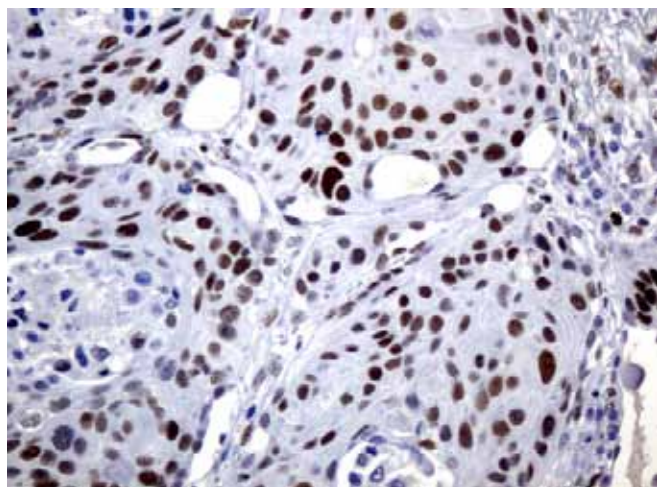


図.1 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-JUN マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800005)

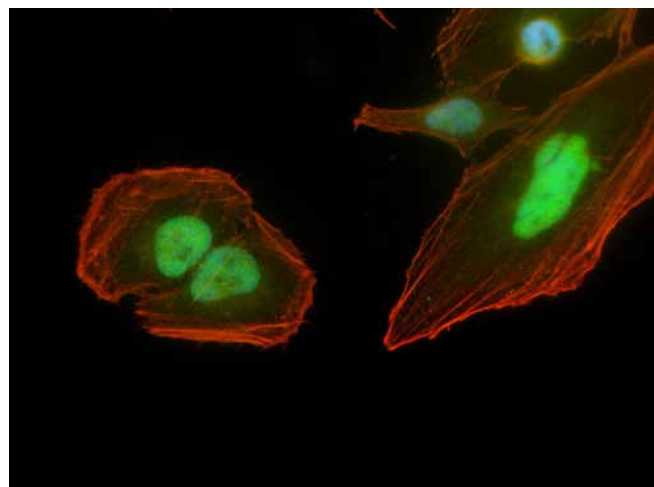


図.2 HeLa 細胞を JUN マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM800005、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3 色を重ね合わせた。

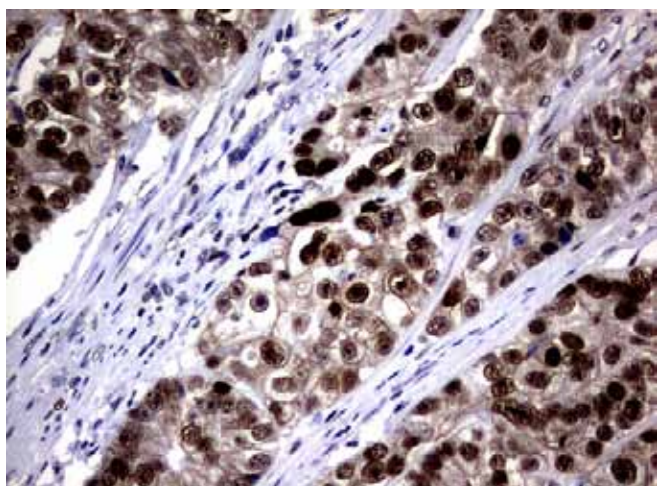


図.3 パラフィン包埋したヒト結腸組織を anti-JUN マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800011)

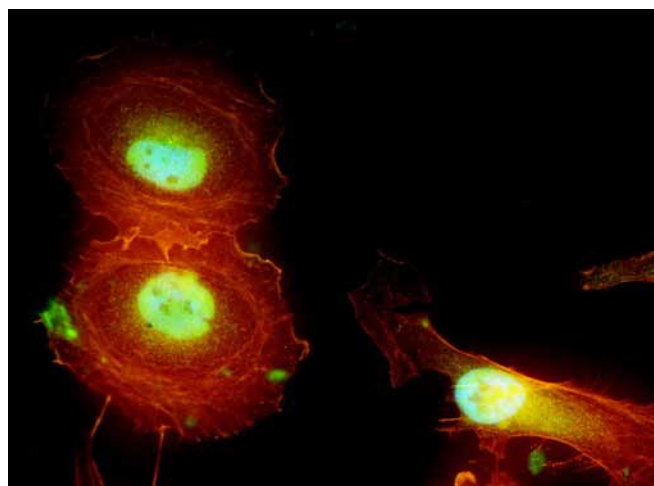


図.4 HeLa 細胞を JUN マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM800011、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) した。3 色を重ね合わせた画像を右下に示した。

遺伝子名	Homo sapiens jun proto-oncogene (JUN)						
別名	AP-1; AP1; c-Jun						
抗原	Full length human recombinant protein of human JUN (NP_002219) produced in E.coli.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB49	適用	WB, IHC, IF, 10K-CHIP	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:50~100, IF 1:100,
	Clone UMAB67		WB, IHC, IF		IgG1		IHC 1:100, IF 1:100,
交差種		Human, Mouse, Rat, Monkey, Dog		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870005	Anti JUN, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB49	30 µl	¥ 33,000
UM800005	Anti JUN, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB49	100 µl	¥ 129,000
UM870011	Anti JUN, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB67	30 µl	¥ 33,000
UM800011	Anti JUN, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB67	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

KLK8 / NM_007196

カリクレインは多様な生理機能を有するセリンタンパク質分解酵素のサブグループである。種々の報告を考慮すると、多くのカリクレインは発がんに関与し、新規のがんや他の疾患バイオマーカーとなる得る可能性を秘めている。本遺伝子は、15種類のカリクレインサブファミリーメンバーの1つであり、第19染色体上のクラスターに配置されている。アイソフォームでは異なる発現パターンがみられ、脳可塑性や卵巣がんへの関与が示唆される [RefSeq Jul]。

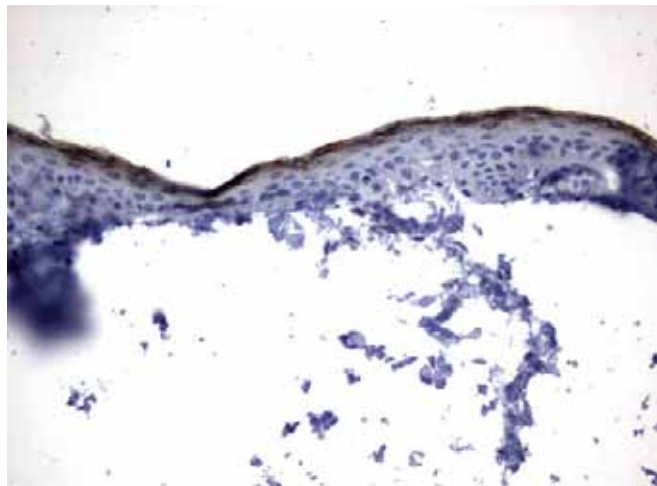


図.1 パラフィン包埋したヒト胎生脳皮質組織を anti-KLK8 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500068)

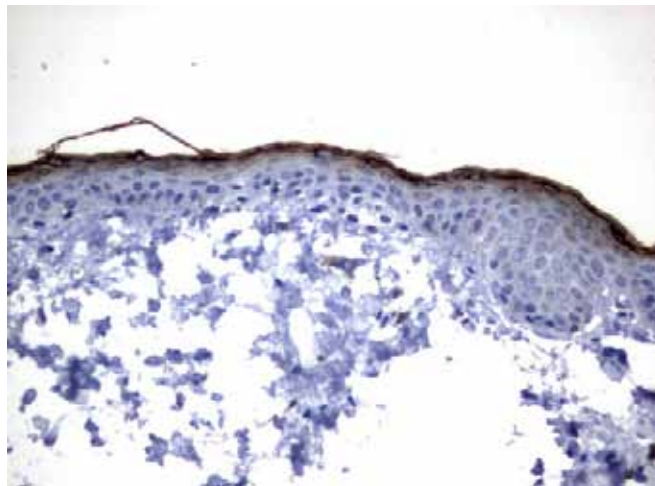


図.2 パラフィン包埋したヒト皮膚組織を anti-KLK 8 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500069)

遺伝子名	Homo sapiens kallikrein-related peptidase 8 (KLK8), transcript variant 1						
別名	HNP; NP; NRPN; PRSS19; TADG14						
抗原	Full length human recombinant protein of human KLK8(NP_009127) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB84	適用	IHC	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:100,
	Clone UMAB85		IHC		IgG1		IHC 1:100,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570068	Anti KLK8, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB84	30 µl	¥ 33,000
UM500068	Anti KLK8, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB84	100 µl	¥ 129,000
UM570069	Anti KLK8, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB85	30 µl	¥ 33,000
UM500069	Anti KLK8, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB85	100 µl	¥ 129,000

KRT18 / NM_199187

KRT18 は I 型中間径フィラメント鎖状ケラチン 18 をコードする。ケラチン 18 とそのフィラメントパートナーであるケラチン 8 は、中間径フィラメント遺伝子ファミリーの中で最も一般にみられるメンバーである。これらは生体注の一層の上皮組織において発現する。本遺伝子の変異は特発性肝硬変に関与する。同一タンパク質をコードする 2 種類の転写バリエーションが報告されている [RefSeq Jul]。

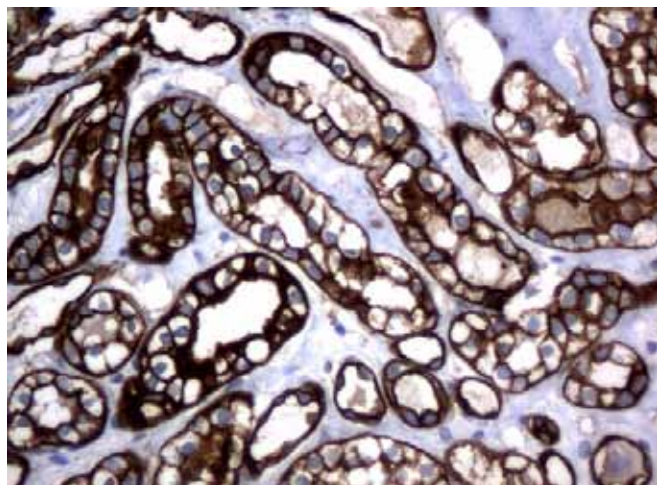


図.1 パラフィン包埋したヒト腎臓組織を anti-KRT18 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500045)

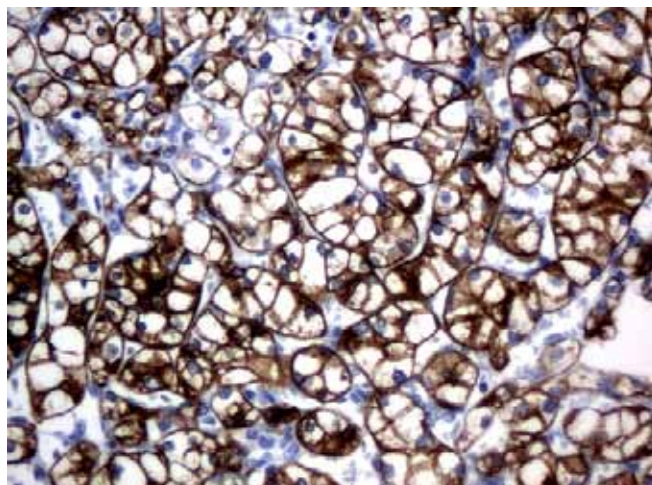


図.2 パラフィン包埋したヒト腎臓組織の細胞腫を anti-KRT18 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500045)

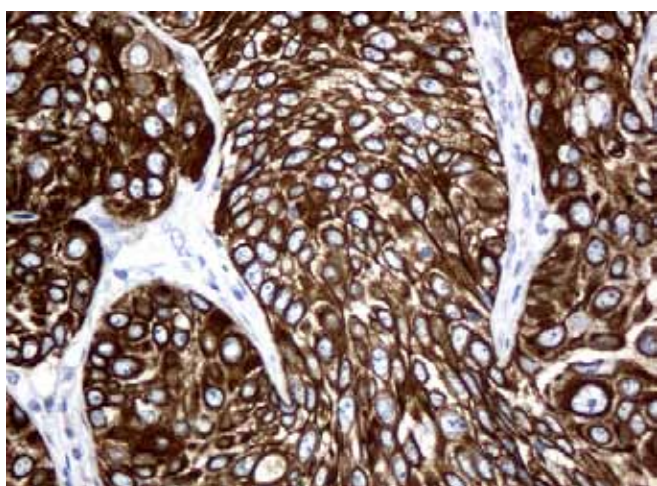


図.3 パラフィン包埋したヒト膀胱組織の細胞腫を anti-KRT18 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500045)

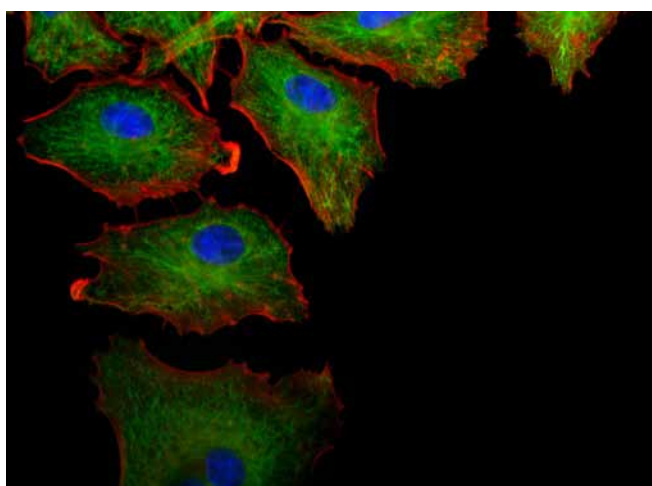


図.4 A549 細胞を anti-KRT マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500045、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3 色を重ね合わせた。

遺伝子名	Homo sapiens keratin 18 (KRT18), transcript variant 2		
別名	CYK18; K18		
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 69-372 of human KRT18 (NP_000215) produced in E.coli.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB50	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human, Monkey	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, IF	推奨希釈条件	IHC 1:100, IF 1:100

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570045	Anti KRT18, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500045	Anti KRT18, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

KRT19 / NM_002276

ケラチン 19 はケラチンファミリーメンバーである。ケラチンは上皮細胞の構造的整合性に大きな役割を担う中間径フィラメントタンパク質でありサイトケラチンと毛髪ケラチンに細分される。I 型サイトケラチンは酸性タンパク質から構成され、2つのヘテロタイプなケラチン鎖で構成される。他の類似ファミリーメンバーと異なり、この最も小さい酸性サイトケラチンは上皮細胞で塩基性サイトケラチンとペアを組まない。発達過程にある上皮の一過性の表層である周皮において特異的に発現する。

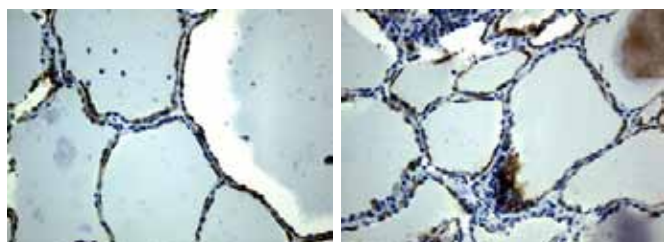


図.1 パラフィン包埋したヒト甲状腺組織を anti-KRT19 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左 : Clone UMAB2, 希釈率 1:100、右 : Clone UMAB3, 希釈率 1:100

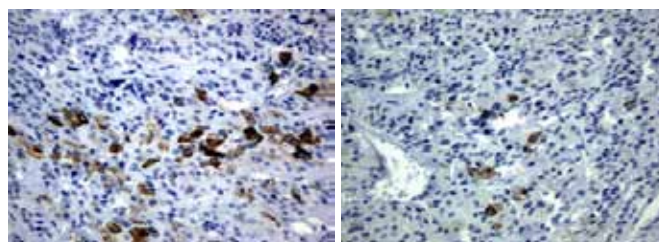


図.2 パラフィン包埋したヒト甲状腺組織の細胞腫を anti-KRT19 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左 : Clone UMAB2, 希釈率 1:100、右 : Clone UMAB3, 希釈率 1:100

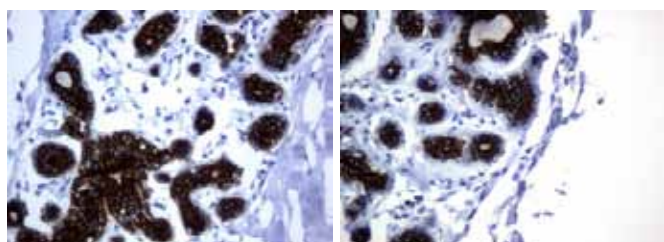


図.3 パラフィン包埋したヒト乳房組織を anti-KRT19 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左 : Clone UMAB2, 希釈率 1:100、右 : Clone UMAB3, 希釈率 1:100

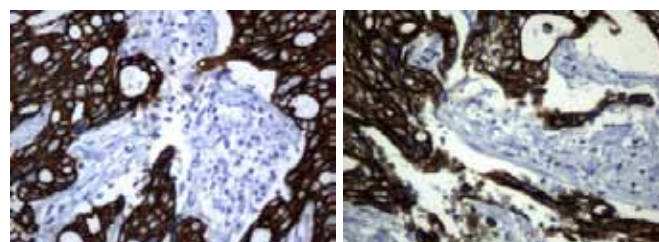


図.4 パラフィン包埋したヒト乳房組織の腺がんを anti-KRT19 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左 : Clone UMAB2, 希釈率 1:100、右 : Clone UMAB3, 希釈率 1:100

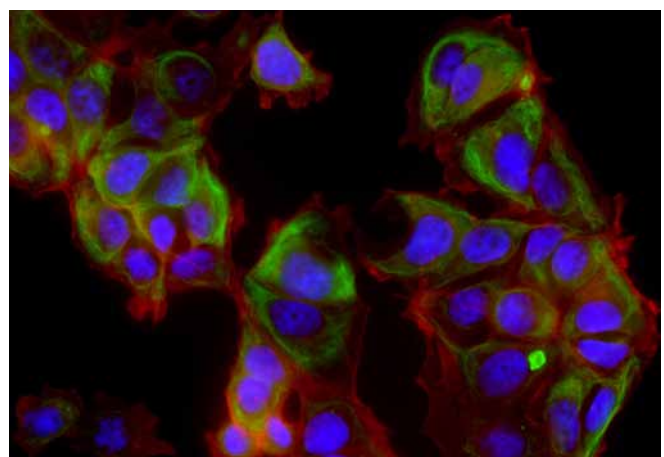


図.5 MCF7 細胞を anti-CK19(KRT19) マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500002、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3色を重ね合わせた。

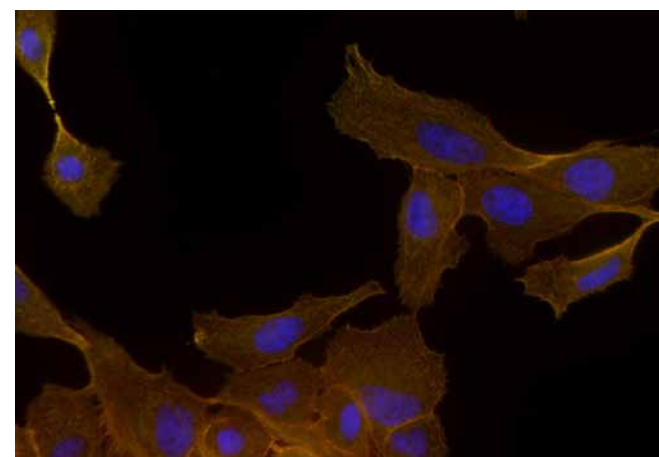


図.6 MDCK 細胞を anti-CK19(KRT19) マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500003、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3色を重ね合わせた。

遺伝子名	Homo sapiens keratin 19 (KRT19)						
別名	CK19; K19; K1CS						
抗原	Recombinant fragment expressed in E.coli corresponding to amino acids 240-390 of human CK19						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB2	適用	WB, IHC, IF	交差種	Human	推奨希釈条件	WB 1:1000, IHC 1:50, IF 1:100,
	Clone UMAB3		WB, IHC, IF, 10K-CHIP		Dog		WB 1:1000, IHC 1:50, IF 1:100,
アイソタイプ		IgG1		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570002	Anti KRT19, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB2	30 µl	¥ 33,000
UM500002	Anti KRT19, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB2	100 µl	¥ 129,000
UM570003	Anti KRT19, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB3	30 µl	¥ 33,000
UM500003	Anti KRT19, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB3	100 µl	¥ 129,000

KRT8 / NM_002273

ケラチン 8 は第 12 染色体の超腕上でクラスターを作る II 型ケラチンファミリーメンバーである。I 型と II 型のケラチンは上皮細胞の細胞質内でヘテロ重合して中程度の大きさのフィラメントを形成する。本タンパク質は通常ケラチン 18 と二量体を形成して簡素な 1 相上皮細胞内で中間径フィラメントを形成する。また、細胞構造上の統合性維持に関与し、シグナル伝達や細胞分化においても役割を担う。本遺伝子の変異により特発性肝硬変を誘導する。

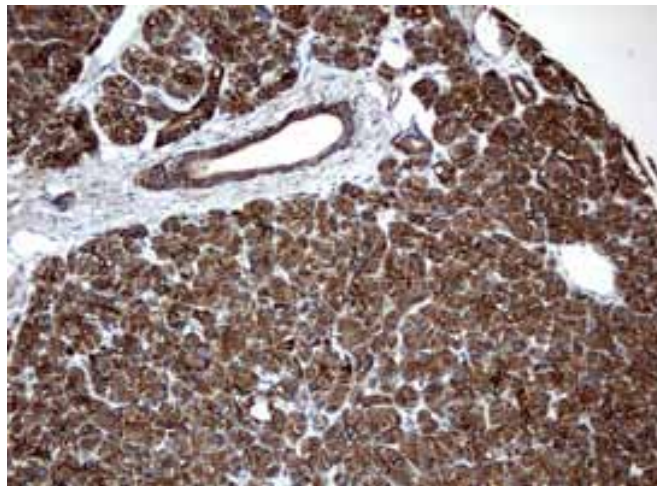


図.1 パラフィン包埋したヒト肝臓組織を anti-KRT8 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB1, 希釈率 1:500)

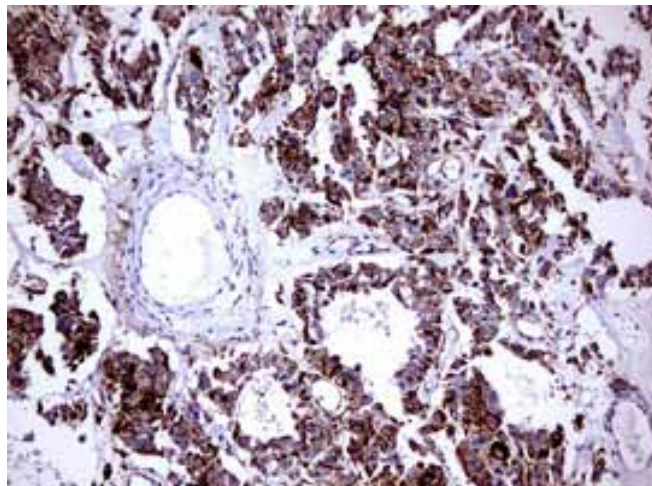


図.2 パラフィン包埋したヒト肝臓組織の細胞腫を anti-KRT8 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB1, 希釈率 1:500)

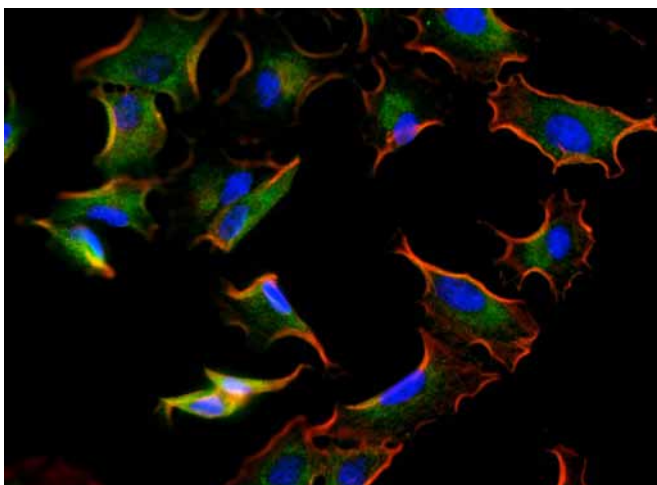


図.3 A549 細胞を anti-CK8 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500001、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3 色を重ね合わせた。

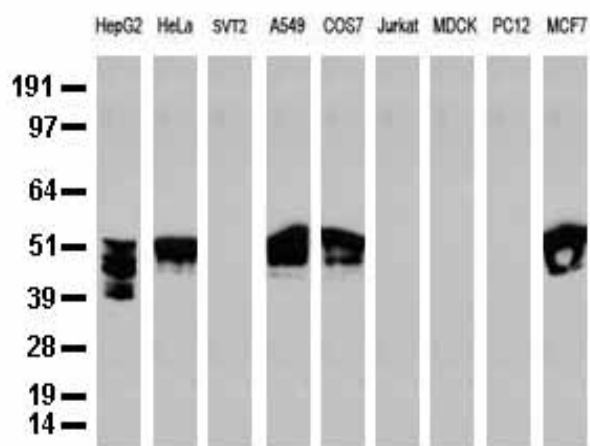


図.4 9 種の細胞株からの抽出物 (35ug) を anti-KRT8 モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (Clone UMAB1, 希釈率 1:500)

遺伝子名	Homo sapiens keratin 8 (KRT8), transcript variant 2		
別名	CARD2; CK-8; CK8; CYK8; K2C8; K8; KO		
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 91-381 of human CK8 (NP_002264) produced in E.coli.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB1	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human, Monkey	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, IF, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:500~1000, IHC 1:50, IF 1:50~100,

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570001	Anti KRT8(CK8), UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500001	Anti KRT8(CK8), UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

L1CAM / NM_000425

本遺伝子は、イムノグロブリンスーパーファミリーに属する軸索糖タンパク質をコードする。複数のイムノグロブリン様ドメインとフィブロネクチン様リピート（III型）から成る外部ドメインは1つの膜貫通配列を介して保存された細胞質内のドメインに連結している。この細胞接着分子は、神経細胞移動や分化といった神経システム発生において重要な役割を担う。本遺伝子の変異は、頭字語 CRASH（脳梁体発育不全、知能の遅滞、失語症、痙性対麻痺、水頭症）として知られる3種のX連鎖神経性症候群を引き起こす。神経特異的エクソンの選択的スプライシングは機能に関連すると考えられる [RefSeq Jul 2008]。



図.1 パラフィン包埋したヒト胎生脳皮質組織を anti-L1CAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色（UM500043）

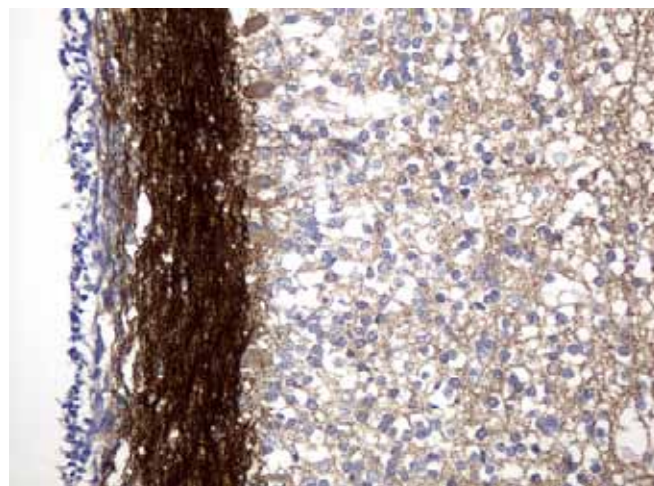


図.2 パラフィン包埋したヒト胎生小脳組織を anti-L1CAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色（UM500043）

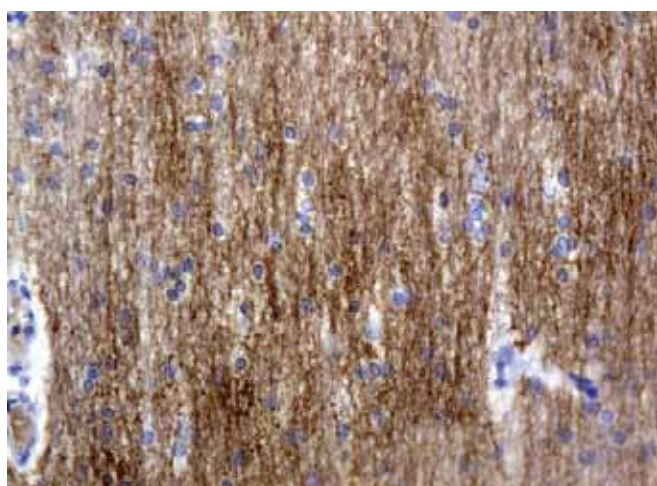


図.3 パラフィン包埋したヒト成体脳組織を anti-L1CAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色（UM500044）

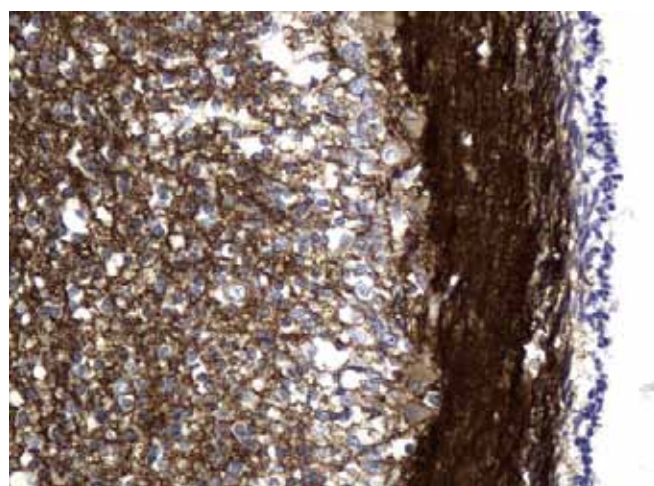


図.4 パラフィン包埋したヒト胚性小脳組織を anti-L1CAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色（UM500044）

遺伝子名	Homo sapiens L1 cell adhesion molecule (L1CAM), transcript variant 1						
別名	CAML1; CD171; HSAS; HSAS1; MASA; MIC5; N-CAM-L1; N-CAML1; NCAM-L1; S10; SPG1						
抗原	Full length human recombinant protein of human L1CAM (NP_000416) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB47	適用	IHC, 10K-CHIP	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:100,
	Clone UMAB48		IHC		IgG1		IHC 1:100,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570043	Anti L1CAM, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB47	30 μ l	¥ 33,000
UM500043	Anti L1CAM, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB47	100 μ l	¥ 129,000
UM570044	Anti L1CAM, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB48	30 μ l	¥ 33,000
UM500044	Anti L1CAM, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB48	100 μ l	¥ 129,000

LGALS3 / NM_002306

本遺伝子は糖結合タンパク質のガレクチンファミリーメンバーをコードする。本タンパク質ファミリーメンバーは β ガラクトシダーゼ親和性である。本タンパク質はN末端プロリン-リッチなタンデムリピートドメインと単一のC末端炭水化物認識ドメインを有することが特徴である。本タンパク質は、細胞外基質、細胞質、および核に局在化する。また、アポトーシス、自然免疫、細胞接着、T細胞調節といった数々の細胞機能において役割を担う。選択的スプライシングにより複数の転写バリエーションが生ずる [RefSeq Apr 2010]。

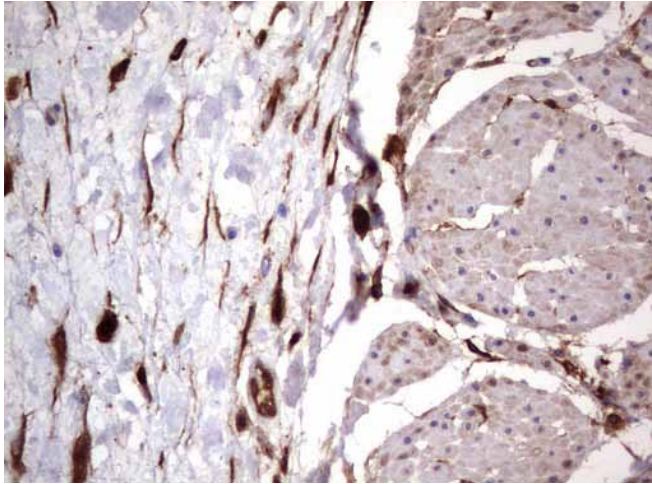


図.1 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-LGALS3 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500104)

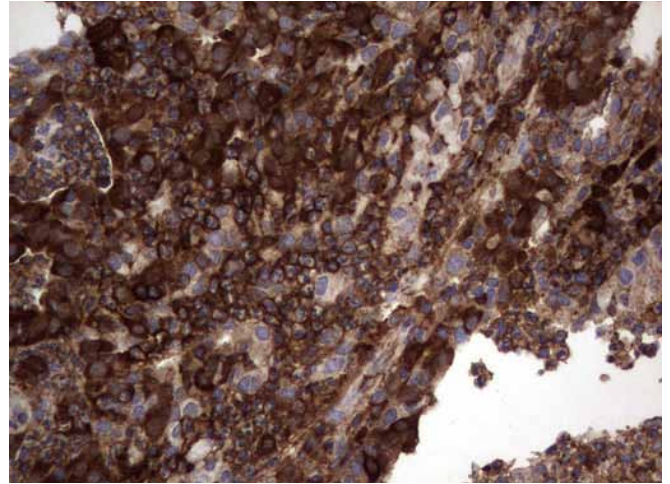


図.2 パラフィン包埋したヒトリンパ腫組織を anti-LGALS3 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500104)

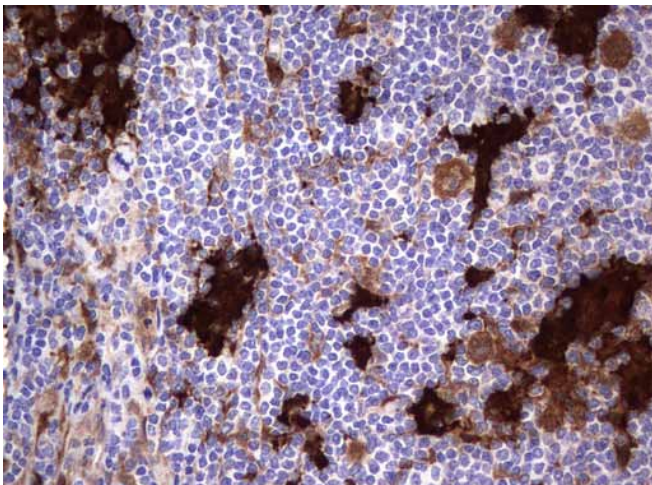


図.3 パラフィン包埋したヒト結腸組織を anti-LGALS3 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500104)

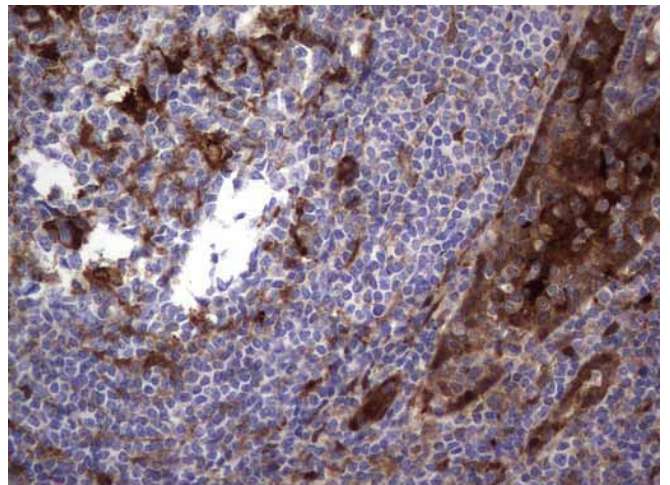


図.4 パラフィン包埋したヒト結腸組織を anti-LGALS3 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500104)

遺伝子名	Homo sapiens lectin, galactoside-binding, soluble, 3 (LGALS3), transcript variant 1		
別名	CBP35; GAL3; GALBP; GALIG; L31; LGALS2; MAC2		
抗原	Full length human recombinant protein of human LGALS3(NP_002297) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB157	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:100~200,

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570104	Anti LGALS3, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 μ l	¥ 33,000
UM500104	Anti LGALS3, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 μ l	¥ 129,000

MADCAM1 / NM_130760

本遺伝子は骨髄系細胞上で白血球 β 7 インテグリン LPAM-1 (α 4 β 7)、L-セレクトリン、VLA-4 (α 4 β 1) と優先的に相互作用して白血球を粘膜や炎症組織に配向する内皮細胞接着分子をコードする。イムノグロブリンファミリーメンバーであり、ICAM1 や VCAM1 に類似する。異なるアイソフォームをコードする少なくとも 7 種の選択的スプライシングバリエントが報告されているが、全長が決定できていないものもある [RefSeq Jul 2008]。

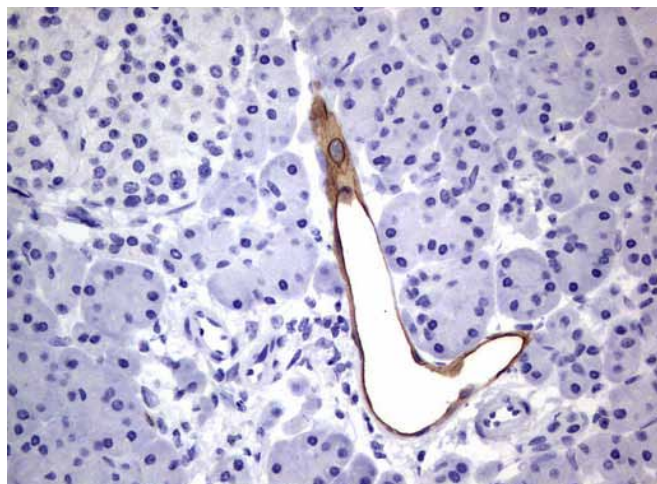


図.1 パラフィン包埋したヒト膵臓組織を anti-MADCAM1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500105)

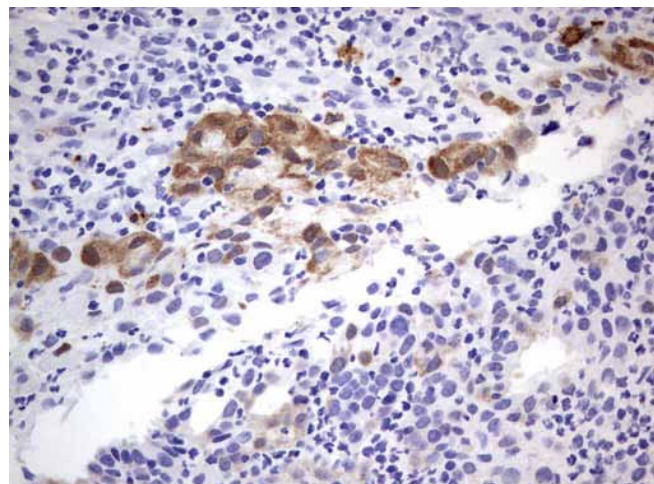


図.2 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-MADCAM1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500105)

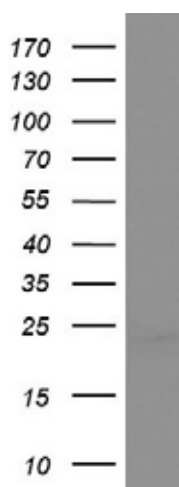


図.3 COLO205 細胞可溶化液 (35ug) を anti-MADCAM1 モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析

遺伝子名	Homo sapiens mucosal vascular addressin cell adhesion molecule 1 (MADCAM1), transcript variant 1		
別名	MACAM1		
抗原	Full length human recombinant protein of human MADCAM1(NP_570116) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB158	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:200,

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570105	Anti MADCAM1, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 μ l	¥ 33,000
UM500105	Anti MADCAM1, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 μ l	¥ 129,000

MCAM / NM_006500

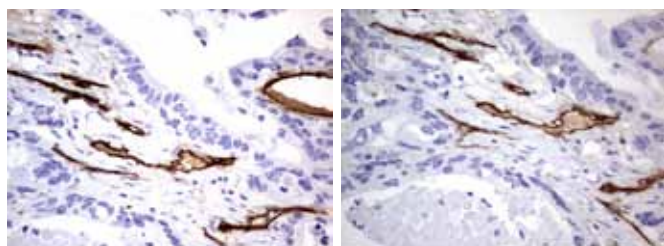


図.1 パラフィン包埋したヒト結腸組織の腺がんを anti-MCAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB154、右: Clone UMAB155

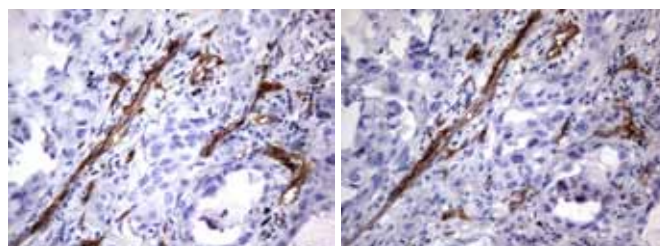


図.2 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-MCAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB154、右: Clone UMAB155

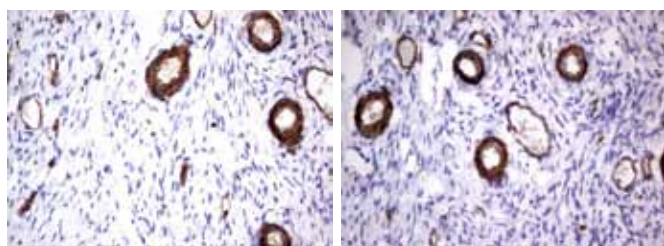


図.3 パラフィン包埋したヒト卵巣組織の細胞腫を anti-MCAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB154、右: Clone UMAB155

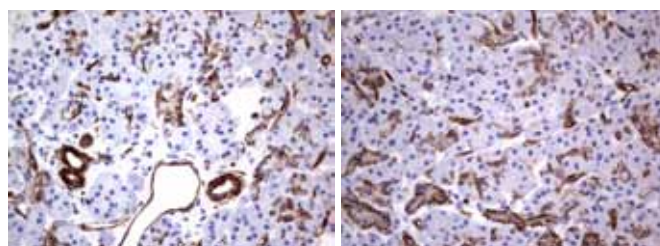


図.4 パラフィン包埋したヒト臍臓組織を anti-MCAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB154、右: Clone UMAB155

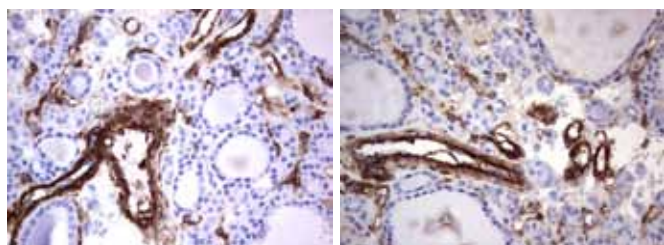


図.5 パラフィン包埋したヒト甲状腺組織の細胞腫を anti-MCAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB154、右: Clone UMAB155

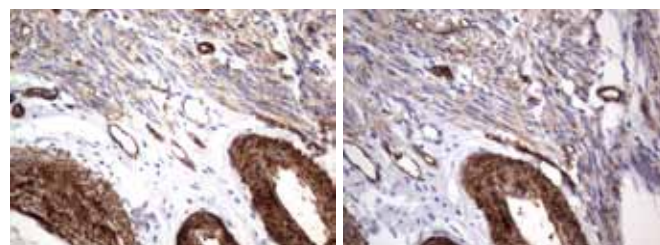


図.6 パラフィン包埋したヒト子宮内膜腺組織の細胞腫を anti-MCAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
Clone UMAB154、右: Clone UMAB155

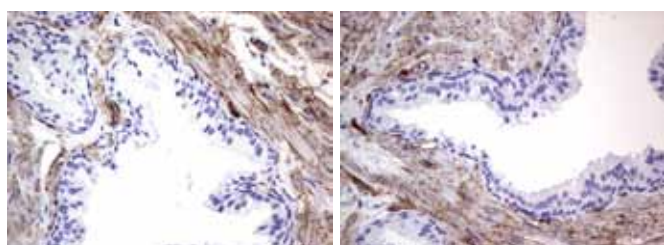


図.7 パラフィン包埋したヒト前立腺組織の細胞腫を anti-MCAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB154、右: Clone UMAB155

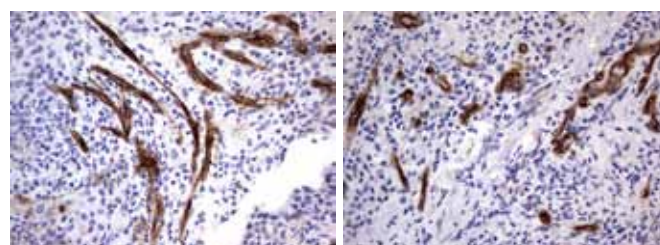


図.8 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-MCAM マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
Clone UMAB154、右: Clone UMAB155

遺伝子名	Homo sapiens melanoma cell adhesion molecule (MCAM)						
別名	CD146; MUC18						
抗原	Full length human recombinant protein of human MCAM (NP_006491) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB154	適用	WB, IHC	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:200,
	Clone UMAB155		WB, IHC		IgG2b		WB 1:2000, IHC 1:200,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870051	Anti MCAM, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB154	30 µl	¥ 33,000
UM800051	Anti MCAM, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB154	100 µl	¥ 129,000
UM870052	Anti MCAM, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB155	30 µl	¥ 33,000
UM800052	Anti MCAM, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB155	100 µl	¥ 129,000

MEF2C / NM_002397

本遺伝子座は筋形成に関与する MADS ボックス転写促進因子 2 (MEF2) ファミリーメンバーをコードする。コードされた MEF2 ポリペプチド C は、トランス活性化と DNA 結合活性をもつ。本タンパク質は分化された筋細胞の維持に関与している可能性がある。本遺伝子座における変異または欠損と深刻な知的障害、常同姓運動、てんかん、大脳形成異常との関係が報告されている。選択的スプライシングバリエーションが報告されている [RefSeq]。

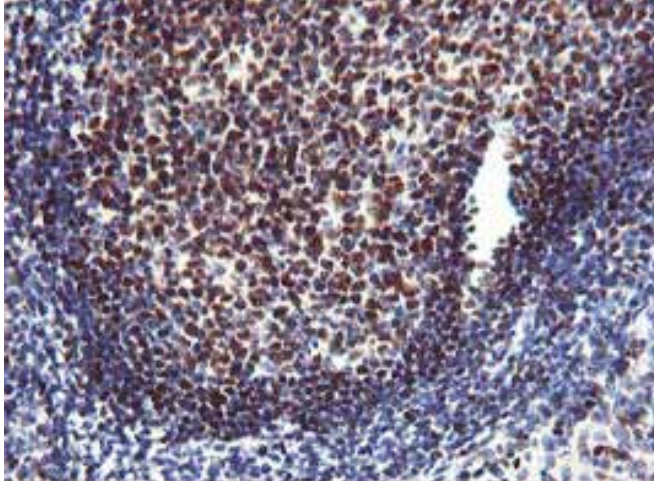


図.1 パラフィン包埋したヒトリンパ腫組織を anti-MEF2C マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB17)

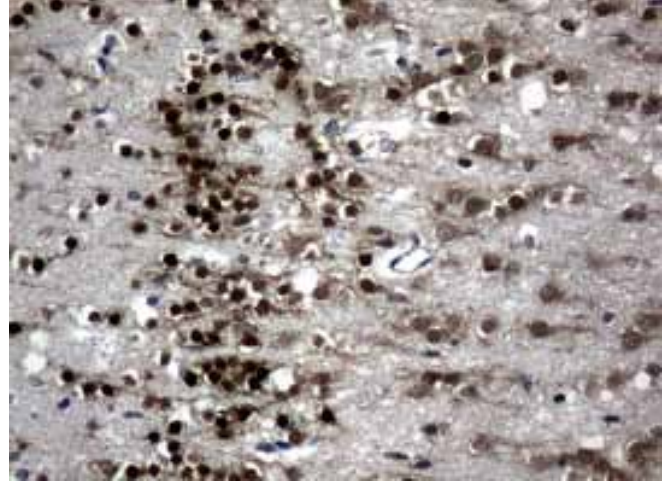


図.2 パラフィン包埋したヒト胚性脳組織を anti-MEF2C マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB17)

遺伝子名	Homo sapiens myocyte enhancer factor 2C (MEF2C), transcript variant 1		
別名	C5DELq14.3; DEL5q14.3		
抗原	Full length human recombinant protein of human MEF2C(NP_002388) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB17	アイソタイプ	IgG2b
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:150,

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570017	Anti MEF2C, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500017	Anti MEF2C, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

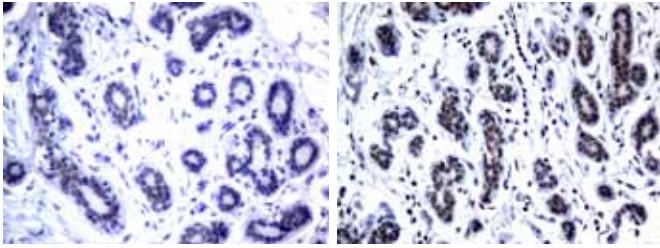


図.1 パラフィン包埋したヒト乳房組織を anti-MGMT マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA52、右：Clone UMA56

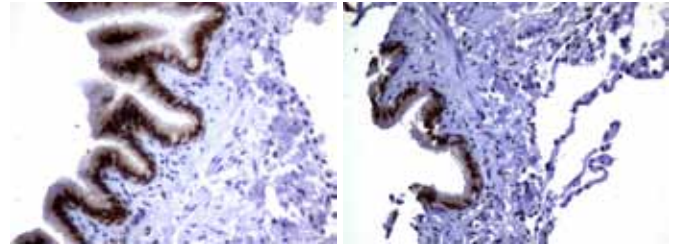


図.2 パラフィン包埋したヒト肺組織を anti-MGMT マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA52、右：Clone UMA56

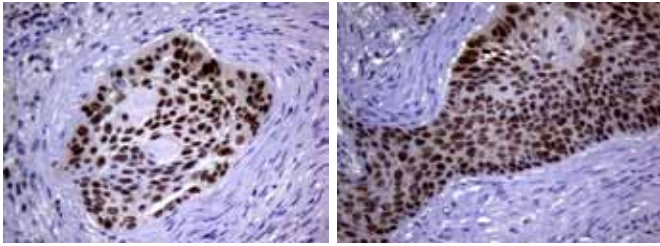


図.3 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-MGMT マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA52、右：Clone UMA56

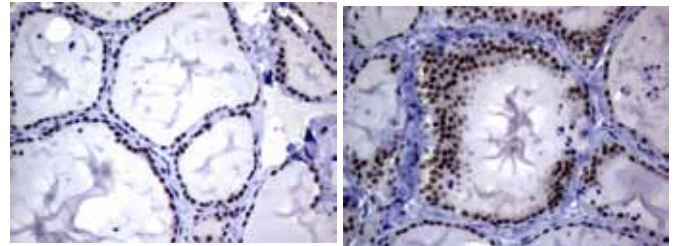


図.4 パラフィン包埋したヒト甲状腺組織を anti-MGMT マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA52、右：Clone UMA56

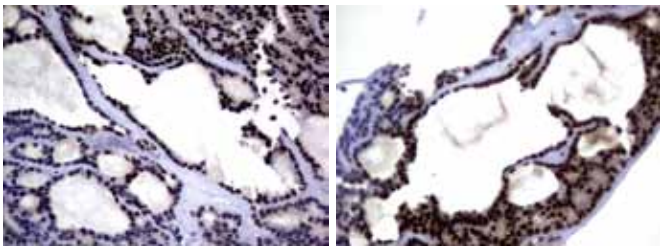


図.5 パラフィン包埋したヒト甲状腺組織の細胞腫を anti-MGMT マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA52、右：Clone UMA56

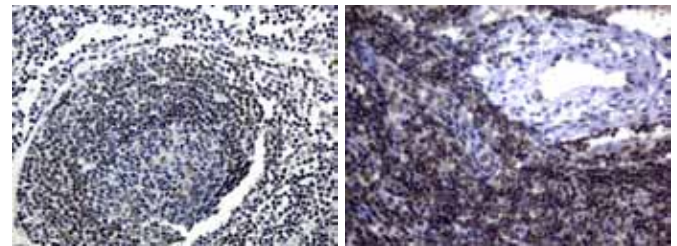


図.6 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-MGMT マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMA52、右：Clone UMA56

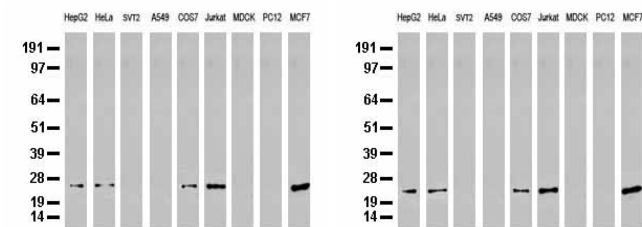


図.7 9種の細胞株からの抽出物 (35ug) を anti-MGMT モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析
左：Clone UMA52、右：Clone UMA56

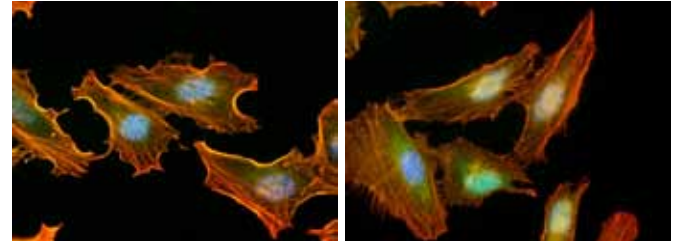


図.8 HeLa 細胞を MGMT マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3色を重ね合わせた。
左：Clone UMA52、右：Clone UMA56

遺伝子名	Homo sapiens O-6-methylguanine-DNA methyltransferase (MGMT)						
別名	O6-methylguanine-DNA methyltransferase; OTTHUMP00000020741; methylguanine-DNA methyltransferase; O-6-methylguanine-DNA methyltransferase						
抗原	Full length human recombinant protein of human MGMT (NP_002403) produced in E.coli.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB52	適用	WB, IHC, IF	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:50, IF 1:100,
	Clone UMAB56		WB, IHC, IF, 10K-CHIP		IgG1		IHC 1:50~100, IF 1:100,
交差種		Human, Monkey		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870006	Anti MGMT, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMA52	30 µl	¥ 33,000
UM800006	Anti MGMT, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMA52	100 µl	¥ 129,000
UM870007	Anti MGMT, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMA56	30 µl	¥ 33,000
UM800007	Anti MGMT, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMA56	100 µl	¥ 129,000

MKI67 / NM_002417

本遺伝子は細胞増殖に関連するだけでなくおそらく必須と考えられる核タンパク質をコードする。選択的スプライシングバリエントも報告されている。関連する偽遺伝子がX染色体状に存在する [RefSeq, Mar 2009]。

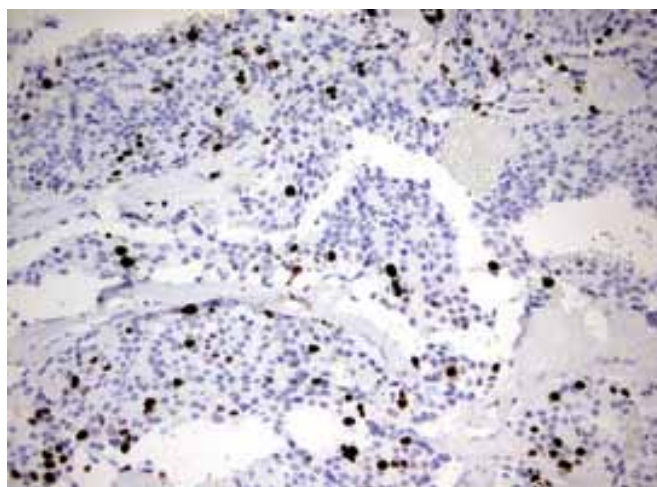


図.1 パラフィン包埋したヒト乳がん組織を anti-MKI67 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800033)

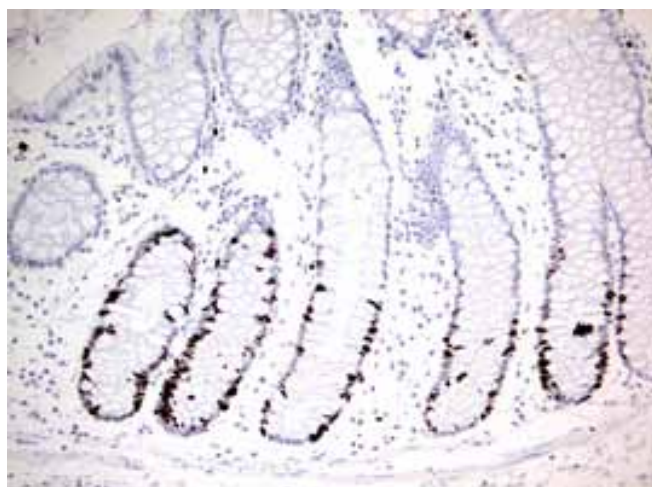


図.2 パラフィン包埋したヒト結腸組織を anti-MKI67 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800033)

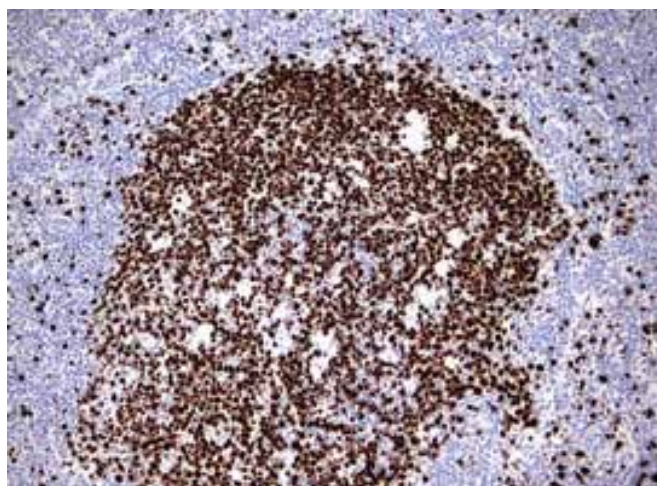


図.3 パラフィン包埋したヒト扁桃組織を anti-MKI67 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800033)

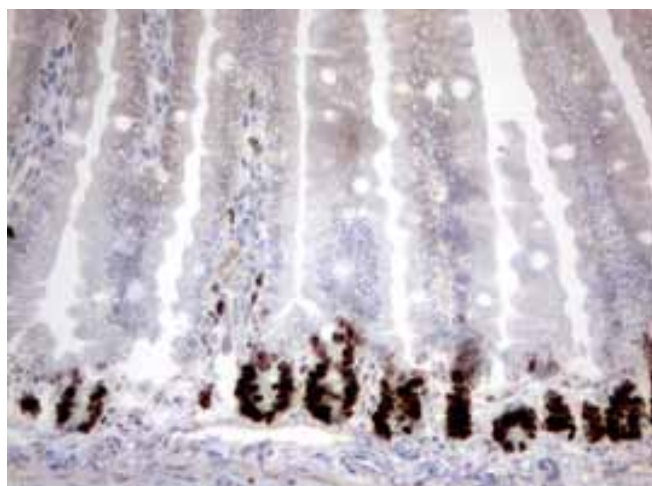


図.4 パラフィン包埋したマウス結腸腺がん組織を anti-MKI67 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800033)

遺伝子名	Homo sapiens marker of proliferation Ki-67 (MKI67), transcript variant 1		
別名	KIA; MIB-1		
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 1160-1493 of human MKI67 (NP_002408) produced in E.coli.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB107	アイソタイプ	IgG2a
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC	推奨希釈条件	IHC 1:1000,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870033	Anti MKI67, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM800033	Anti MKI67, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

MLF1 / NM_022443

本遺伝子は造血細胞の表現型決定に関与すると考えられる腫瘍性タンパク質をコードする。本遺伝子とヌクレオ فسミン間の転座と骨髄異形成症候群や急性骨髄性白血病の関連が知られている。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されている [RefSeq Sep 2010]。

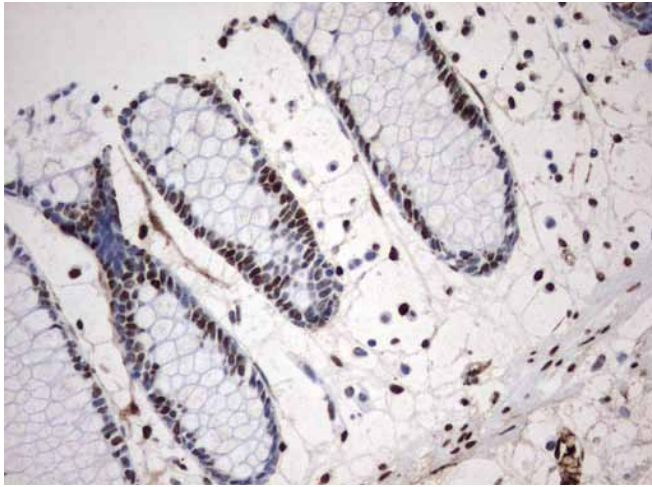


図.1 パラフィン包埋したヒト結腸組織を anti-MLF1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500100)

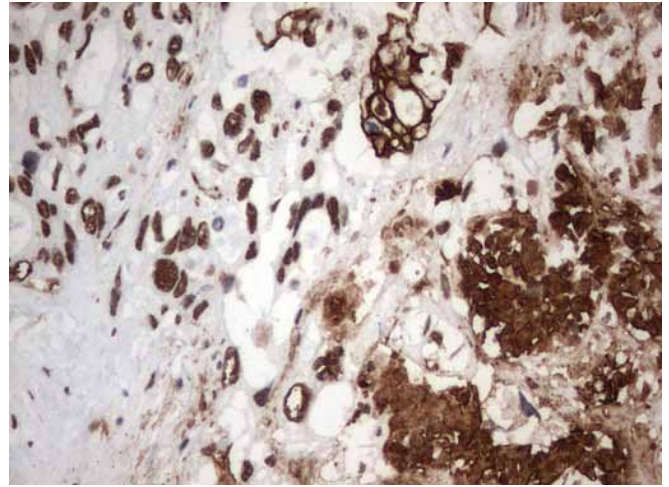


図.2 パラフィン包埋したヒト結腸がん組織を anti-MLF1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500100)

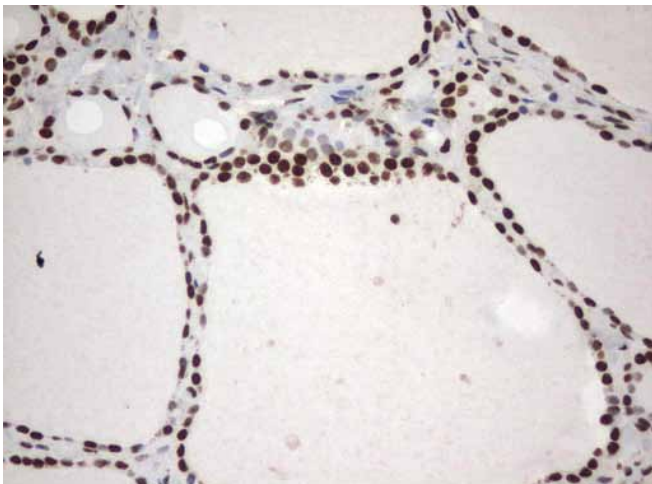


図.3 パラフィン包埋したヒト甲状腺組織を anti-MLF1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500100)

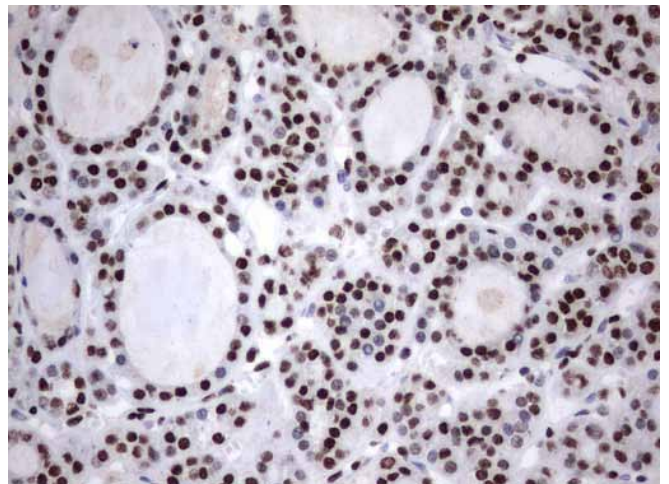


図.4 パラフィン包埋したヒト甲状腺組織の細胞腫を anti-MLF1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色

遺伝子名	Homo sapiens myeloid leukemia factor 1 (MLF1), transcript variant 1		
別名	myeloid leukemia factor 1 variant 1; myeloid leukemia factor 1 variant 2; myeloid leukemia factor 1 variant 3; myeloid leukemia factor 1		
抗原	Full length human recombinant protein of human MLF1(NP_071888) produced in E.coli.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB138	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC	推奨希釈条件	IHC 1:200,

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570100	Anti MLF1, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500100	Anti MLF1, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

MRPS34 / NM_023936

哺乳類のミトコンドリアリボソームタンパク質は核内遺伝子にコードされ、ミトコンドリアにおけるタンパク質合成に関与する。ミトコンドリアのリボソーム（ミトリボソーム）は小さな 28S サブユニットと大きな 39S サブユニットから構成されている。タンパク質対 rRNA 比が 75% 程度と考えられ、原核生物のリボソームではその比が逆である。哺乳類のミトリボソームと原核生物のリボソームでは原核生物では 5S rRNA を有することである。ミトソームを構成するタンパク質配列は異なる種族間では大きく異なるが、生化学的特性が異なる場合もあり、配列相同性による認知が困難である。本遺伝子は 28S サブユニットタンパク質をコードする。選択的スプライシングバリエーションが報告されているが、全長決定は行われていない [RefSeq Jul 2008]。

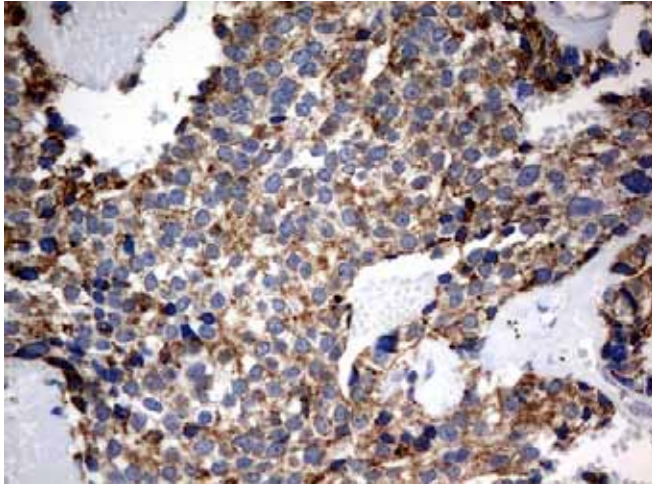


図.1 パラフィン包埋したヒト乳がん組織を anti-MRPS34 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500090)

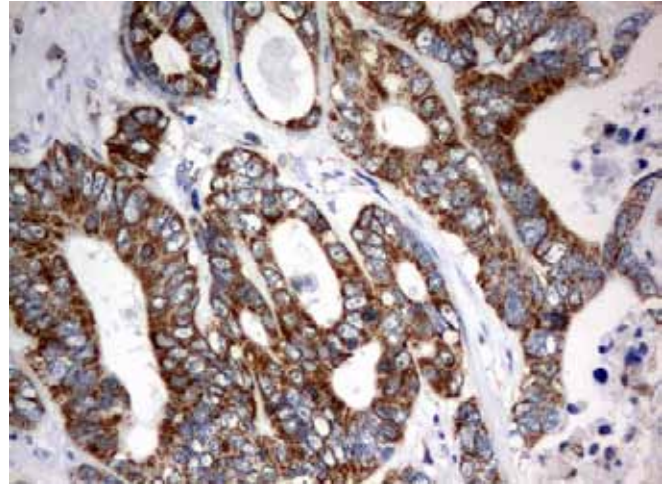


図.2 パラフィン包埋したヒト結腸腺がん組織を anti-MRPS34 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500090)

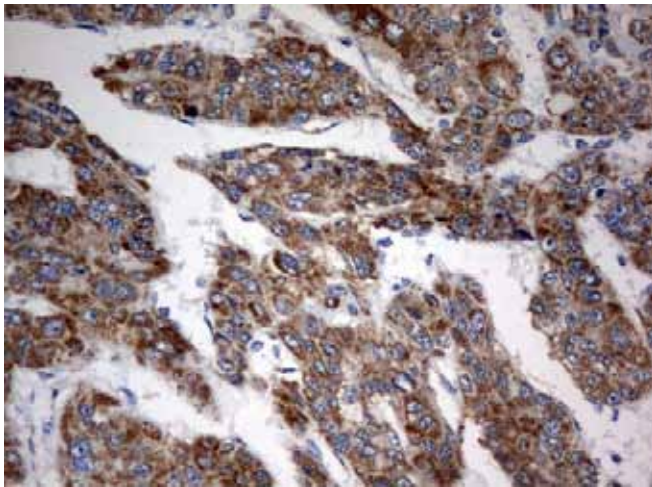


図.3 パラフィン包埋したヒト肝臓組織の細胞腫を anti-MRPS34 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500090)

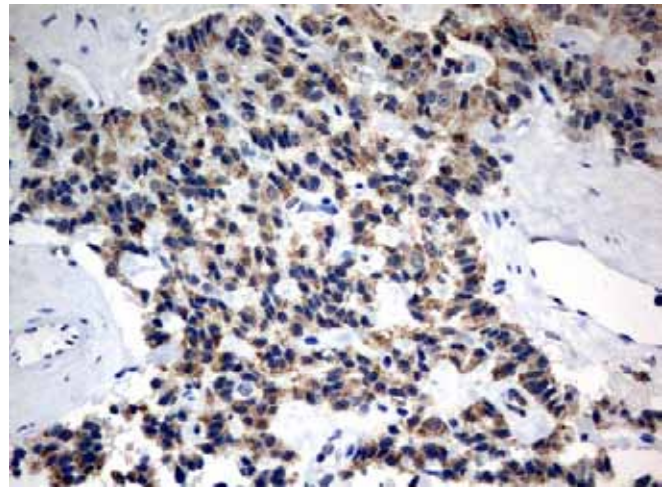


図.4 パラフィン包埋したヒト脾臓組織の細胞腫を anti-MRPS34 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500090)

遺伝子名	Homo sapiens mitochondrial ribosomal protein S34 (MRPS34)		
別名	MRP-S12; MRP-S34; MRPS12		
抗原	Full length human recombinant protein of human MRPS34(NP_076425) produced in E.coli.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB125	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100~200,

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570090	Anti MRPS34, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500090	Anti MRPS34, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

MRPS7 / NM_015971

哺乳類のミトコンドリアリボソームタンパク質は核内遺伝子にコードされ、ミトコンドリアにおけるタンパク質合成に関与する。ミトコンドリアのリボソーム（ミトリボソーム）は小さな 28S サブユニットと大きな 39S サブユニットから構成されている。タンパク質対 rRNA 比が 75% 程度と考えられ、原核生物のリボソームではその比が逆である。哺乳類のミトリボソームと原核生物のリボソームでは原核生物では 5S rRNA を有することである。ミトソームを構成するタンパク質配列は異なる種族間では大きく異なるが、生化学的特性が異なる場合もあり、配列相同性による認知が困難である。本遺伝子は 28S サブユニットタンパク質をコードする。原核生物のリボソームでは、対応するタンパク質は P-/A- 部位近郊の 16S rRNA の 3' ドメイン構築に重要な役割を担う。本遺伝子に対応する偽遺伝子が染色体上の 8p と 12p に存在する。

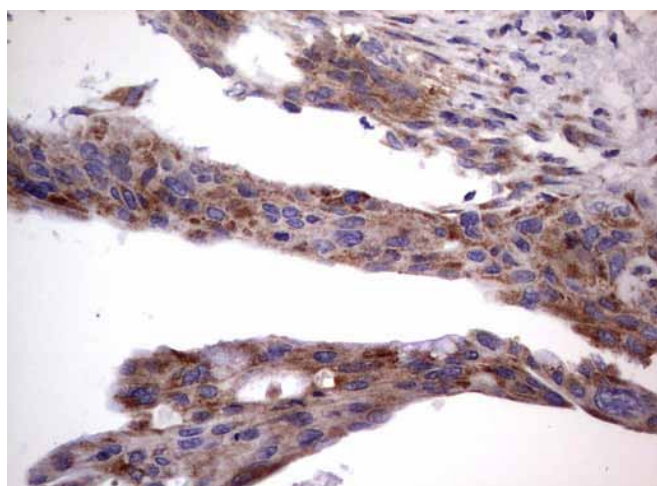


図.1 パラフィン包埋したヒト膵臓組織の細胞腫を anti-MRPS7 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800053)

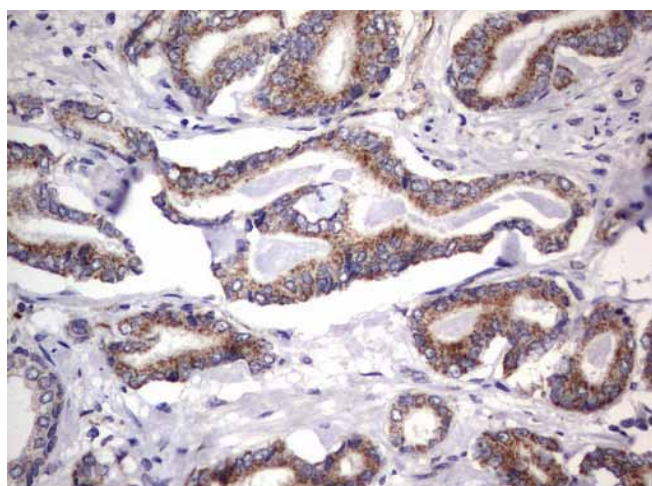


図.2 パラフィン包埋したヒト前立腺組織を anti-MRPS7 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800053)

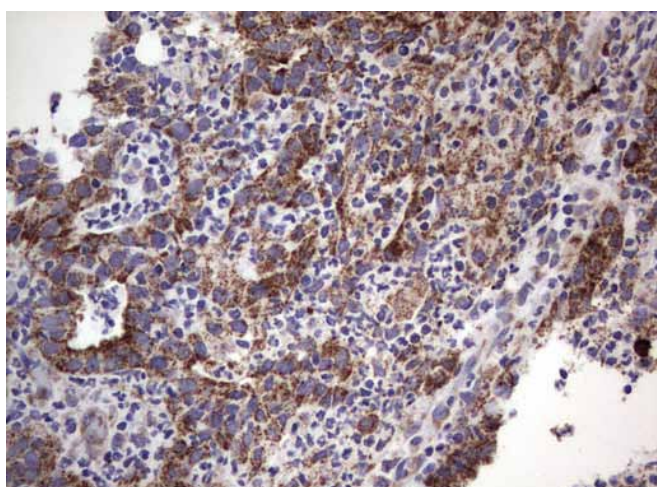


図.3 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-MRPS7 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800053)

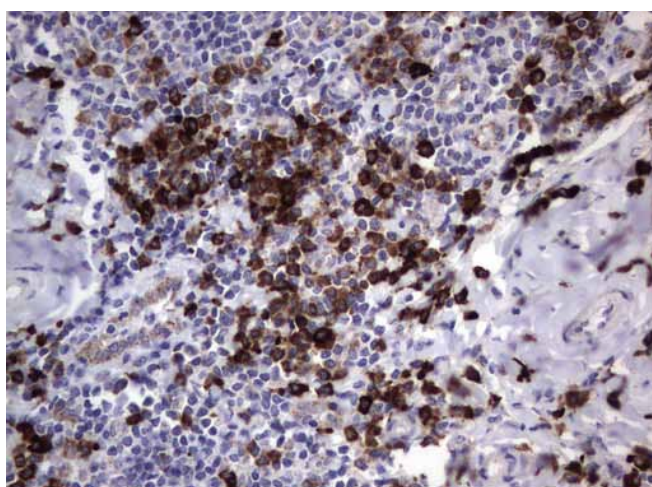


図.4 パラフィン包埋したヒト扁桃組織を anti-MRPS7 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800053)

遺伝子名	Homo sapiens mitochondrial ribosomal protein S7 (MRPS7)		
別名	bMRP27a; MRP-S; MRP-S7; RP-S7; RPMS7; S7mt		
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 38-242 of human MRPS7 (NP_057055) produced in E.coli.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB156	アイソタイプ	IgG2a
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:200,

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870053	Anti MRPS7, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM800053	Anti MRPS7, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

MS4A1 / NM_021950

本遺伝子は膜貫通 4A 遺伝子ファミリーのメンバーをコードする。この新生タンパク質ファミリーメンバーは一般的な構造特性とイントロン／エキソンスプライス境界の類似性より特定され、造血細胞と非リンパ系細胞において特徴的な発現パターンを示す。本遺伝子は、B 細胞から血漿細胞への発生および分化に関与する B- リンパ球表面分子をコードする。また、染色体上でファミリーメンバーがクラスターを形成している中で、11q12 に局在している。選択的スプライシングにより同一タンパク質をコードする 2 種類のバリエーションが存在する [RefSeq Jul]。

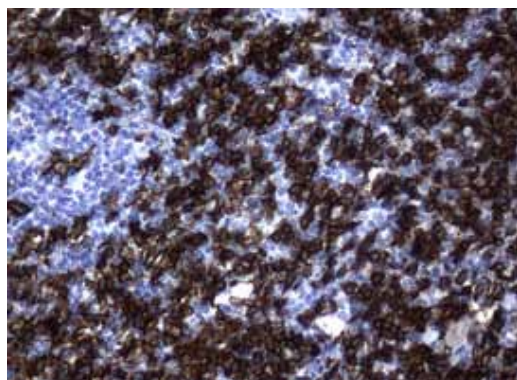


図.1 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-MS4A1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800001)

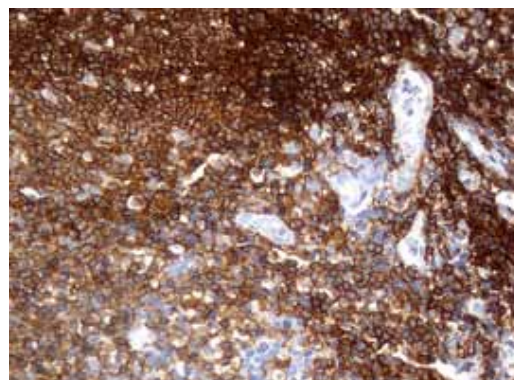


図.2 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-MS4A1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800002)

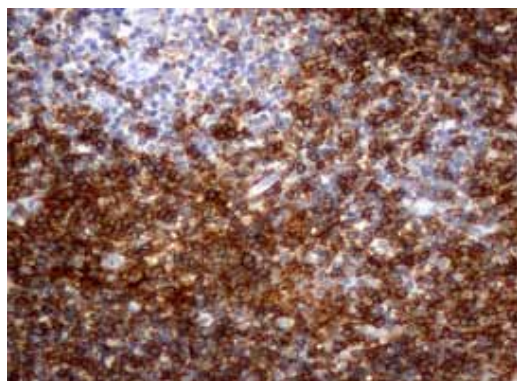


図.3 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-MS4A1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800003)

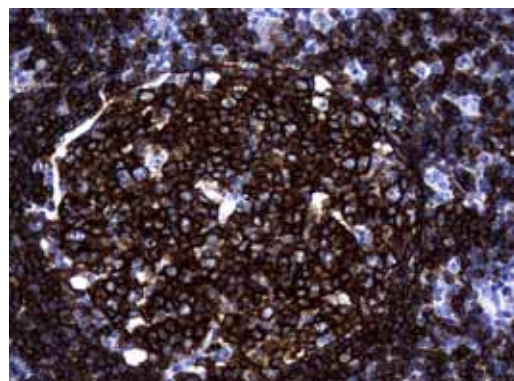


図.4 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-MS4A1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800009)

遺伝子名	Homo sapiens membrane-spanning 4-domains, subfamily A, member 1 (MS4A1), transcript variant 3								
別名	B1; Bp35; CD20; CVID5; LEU-16; MS4A2; S7								
抗原	Full length human recombinant protein of human MS4A1 (NP_068769) produced in HEK293T cell.								
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.								
クローン	Clone UMAB37	交差種	Human	アイソタイプ	IgG1	適用	IHC	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:150,
	Clone UMAB38		Human		IgG1		IHC		WB 1:2000, IHC 1:150,
	Clone UMAB39		Human		IgG1		IHC		WB 1:2000, IHC 1:500,
	Clone UMAB58		Human		IgG1		IHC, 10K-CHIP		IHC 1:100,
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)								

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870001	Anti MS4A1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB37	30 µl	¥ 33,000
UM800001	Anti MS4A1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB37	100 µl	¥ 129,000
UM870002	Anti MS4A1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB38	30 µl	¥ 33,000
UM800002	Anti MS4A1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB38	100 µl	¥ 129,000
UM870003	Anti MS4A1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB39	30 µl	¥ 33,000
UM800003	Anti MS4A1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB39	100 µl	¥ 129,000
UM870009	Anti MS4A1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB58	30 µl	¥ 33,000
UM800009	Anti MS4A1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB58	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号: ORG 保存: -20℃

MSI1 / NM_002442

本遺伝子は2種類の保存された縦列 RNA 認識モチーフをもつ。他の生物種では、類似タンパク質が RNA 結合タンパク質として機能し、転写後遺伝子制御において中心的な役割を担うものもある。本遺伝子発現と神経膠腫とメラノーマの悪性度や増殖活性の段階との関係性が報告されている。本遺伝子の偽遺伝子が染色体上の 11q13 に局在する [RefSeq Jul 2008]。

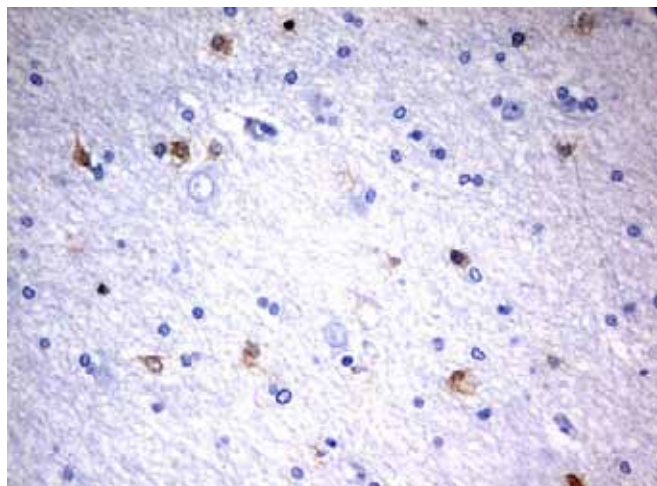


図.1 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-IDO1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500092)

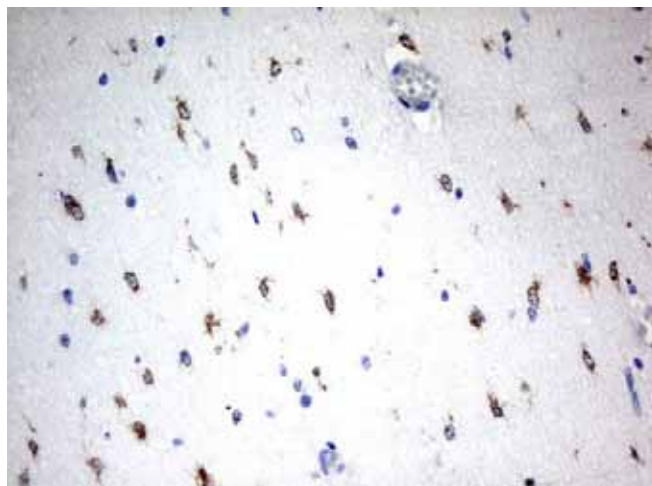


図.2 パラフィン包埋したヒト子宮内膜組織の腺がんを anti-IDO1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500092)

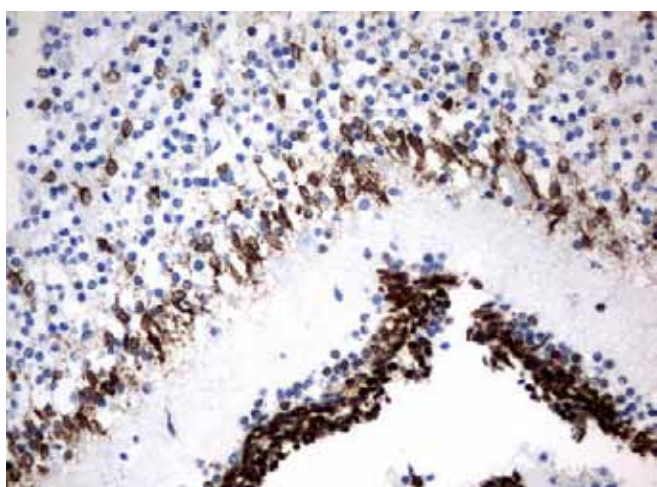


図.3 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-IDO1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500092)

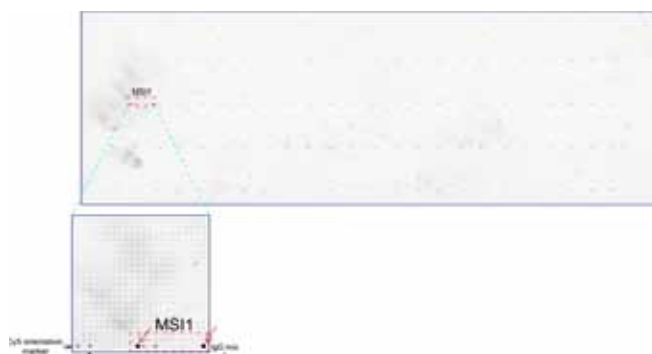


図.4 パラフィン包埋したヒト扁桃組織を anti-IDO1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500092)

遺伝子名	Homo sapiens musashi RNA-binding protein 1 (MSI1)		
別名	musashi 1; musashi homolog 1 (Drosophila)		
抗原	Full length human recombinant protein of human MSI1(NP_002433) produced in HEk293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB127	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100~200,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570092	Anti MSI1, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500092	Anti MSI1, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

MSMB / NM_002443

本遺伝子は、イムノグロブリン結合因子ファミリーメンバーをコードする。本タンパク質は前立腺の上皮細胞で産生し、精漿に分泌される。また、インヒビン様活性をもつ。子宮、乳房をはじめとする女性生殖組織において自己分泌／パラクリン因子としての機能をもつと考えられる。前立腺がんにおいて本タンパク質の発現低下がみられる。異なるアイソフォームをコードした2種類の選択的スプライシングバリエーションが報告されている。異なるポリアダニル化部位をもつことも報告されている [RefSeq Jul 2008]。

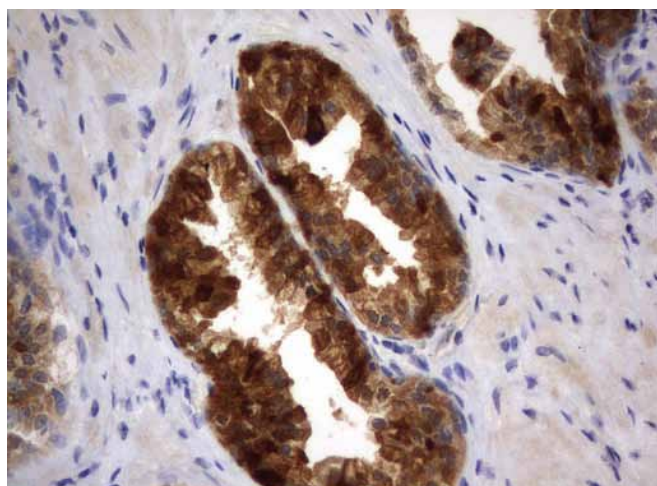


図.1 パラフィン包埋したヒト前立腺組織の細胞腫を anti-MSMB マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800044)

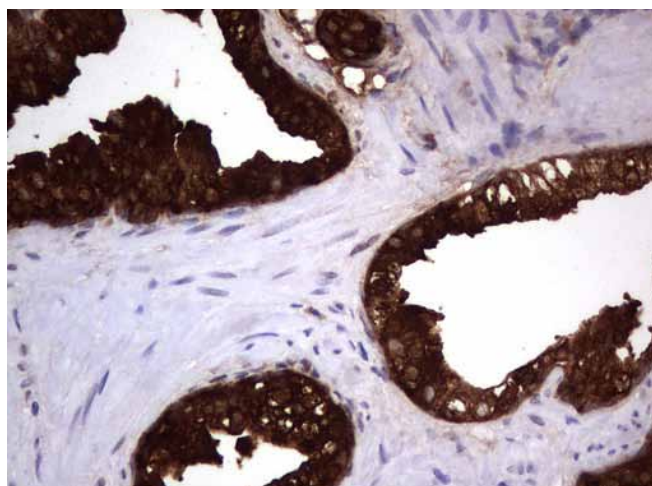


図.2 パラフィン包埋したヒト前立腺組織の細胞腫を anti-MSMB マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800045)

遺伝子名	Homo sapiens microseminoprotein, beta- (MSMB), transcript variant PSP94						
別名	HPC13; IGBF; MSP; MSPB; PN44; PRPS; PSP; PSP-94; PSP57; PSP94						
抗原	Purified prostate specific antigen (MSMB) from human seminal fluid						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB147	適用	IHC	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:200,
	Clone UMAB148		IHC		IgG1		IHC 1:200,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870044	Anti MSMB, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB147	30 µl	¥ 33,000
UM800044	Anti MSMB, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB147	100 µl	¥ 129,000
UM870045	Anti MSMB, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB148	30 µl	¥ 33,000
UM800045	Anti MSMB, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB148	100 µl	¥ 129,000

Origine メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

MUC1 / NM_001018016

本遺伝子は、ムチンファミリーメンバーの膜結合型タンパク質をコードする。ムチンはO-グリコシル化されたタンパク質で、上皮表層に保護的な粘膜障壁を形成する。また、細胞内シグナル伝達としての機能をもつ。本タンパク質は、肺、乳房、異、膵臓をはじめとする数々の組織の粘膜表面を覆う上皮細胞の頂端膜側に発現する。タンパク質分解性によりヘテロ二量体複合体を形成する α と β サブユニットに切断される。N末端の α サブユニットは細胞接着として機能し、C末端の β サブユニットは細胞シグナル伝達に参与する。本タンパク質の過剰発現、異所の細胞内局在化およびグリコシル化の変化と細胞腫との関係が報告されている。本遺伝子は、非常に多型の数量変動型タンデムリピート (VNTR) ドメインをもつことで知られる。選択的スプライシングによる複数種のバリエーションが存在する [RefSeq Feb2011]。

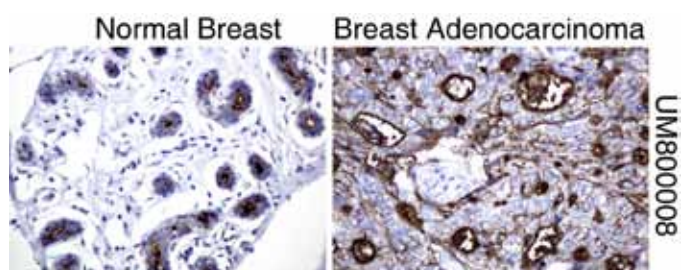


図.1 パラフィン包埋したヒト正常乳房組織と乳がん組織を anti-MUC1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800008)

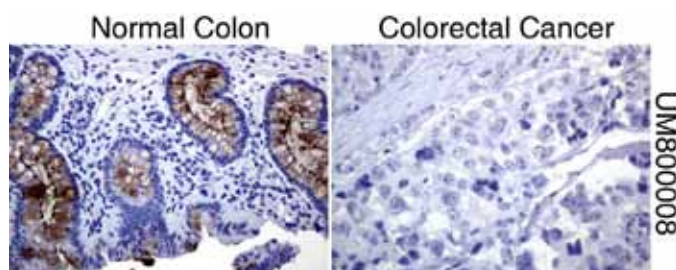


図.2 パラフィン包埋したヒト正常結腸組織と結腸直腸がん組織を anti-MUC1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800008)

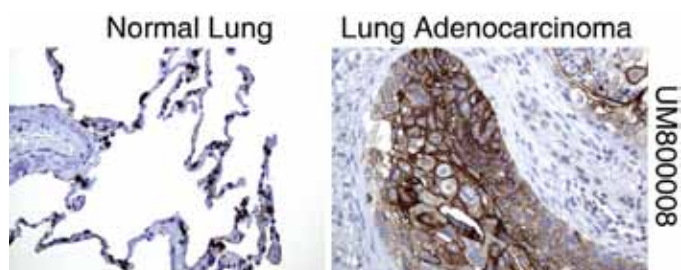


図.3 パラフィン包埋したヒト正常肺組織と肺腺がん組織を anti-MUC1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800008)

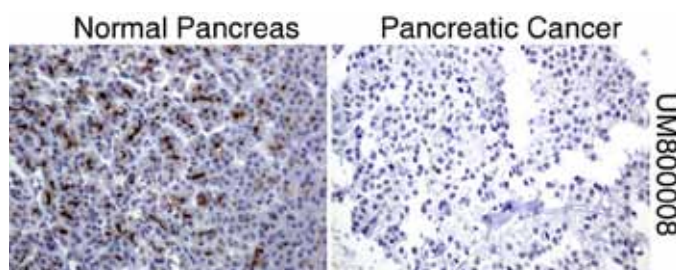


図.4 パラフィン包埋したヒト正常膵臓組織と膵臓がん組織を anti-MUC1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800008)

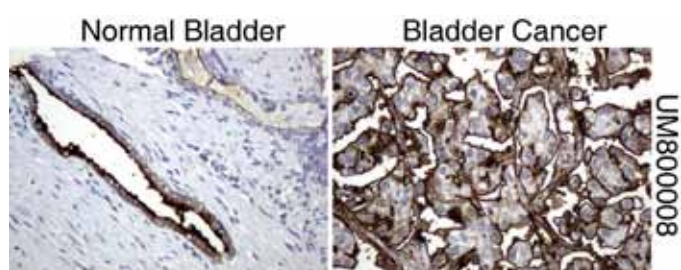


図.5 パラフィン包埋したヒト正常膀胱組織と膀胱がん組織を anti-MUC1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800008)



図.6 ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-MUC1 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (Clone UMAB37)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。本データより UltraMAB anti-MUC1 (Clone UMAB37) が OriGene protein microarray chip 上の MUC1 抗原を非常に特異的に認識することがわかる。

遺伝子名	Homo sapiens mucin 1, cell surface associated (MUC1), transcript variant 2		
別名	CA 15-3; CD227; EMA; H23AG; KL-6; MAM6; MCKD1; MUC-1; MUC-1/SEC; MUC-1/X; MUC1/ZD; PEM; PEMT; PUM		
抗原	Full length human recombinant protein of human MUC1 (NP_001018016) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB57	アイソタイプ	IgG2b
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100,

Origene メーカー略号: ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870008	Anti MUC1, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 μ l	¥ 33,000
UM800008	Anti MUC1, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 μ l	¥ 129,000

NBN / NM_002485

本遺伝子の変異は、小頭症、生長遅滞、免疫不全、がんの素因により特徴づけられる常染色体劣性染色体不安定症候群であるナイミーヘン症候群に関連する。本タンパク質は5種のタンパク質からなる MRE11/RAD50 二本鎖損傷修復複合体のメンバーである。DNA 二本鎖損傷の修復や DNA 損傷誘導型チェックポイント活性化に関与すると考えられる。[RefSeq Jul 2008]。

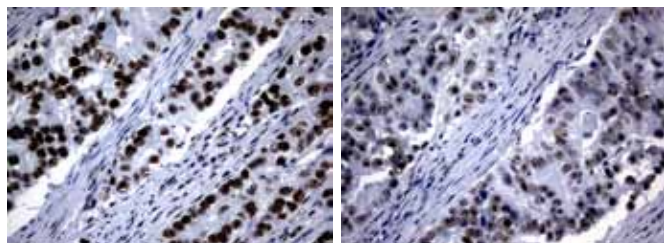


図.1 パラフィン包埋したヒト結腸組織の腺がんを anti-NBN マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB99、右：Clone UMAB100

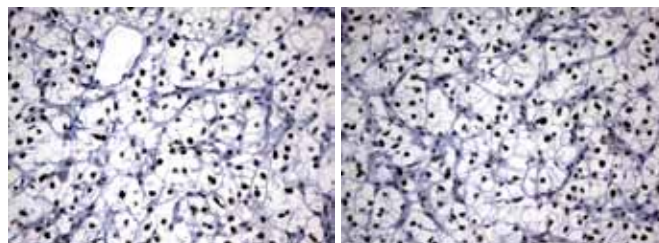


図.2 パラフィン包埋したヒト腎臓組織の細胞腫を anti-NBN マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB99、右：Clone UMAB100

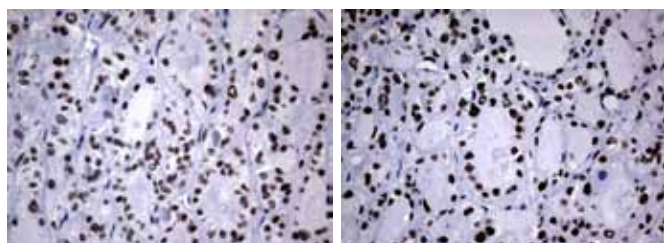


図.3 パラフィン包埋したヒト甲状腺組織の細胞腫を anti-NBN マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB99、右：Clone UMAB100

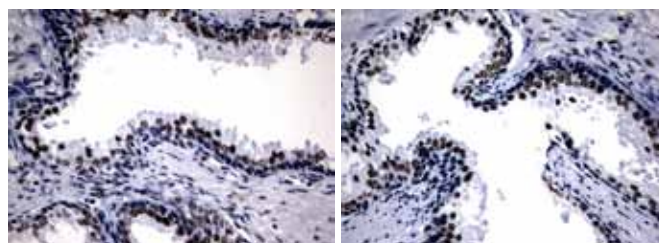


図.4 パラフィン包埋したヒト前立腺組織を anti-NBN マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB99、右：Clone UMAB100

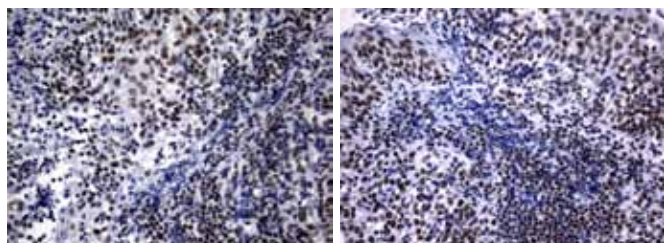


図.5 パラフィン包埋したヒト扁桃組織を anti-NBN マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB99、右：Clone UMAB100

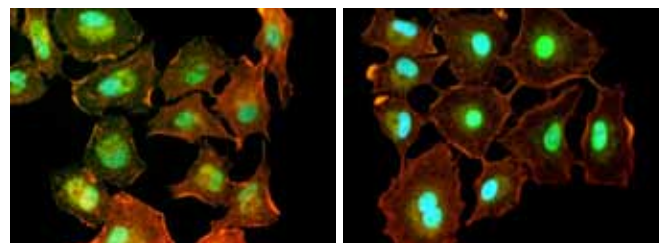


図.6 A549 細胞を anti-NBN マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3 色を重ね合わせた。
左：Clone UMAB99、右：Clone UMAB100

遺伝子名	Homo sapiens nibrin (NBN)						
別名	AT-V1; AT-V2; ATV; NBS; NBS1; P95						
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 461-754 of human NBN (NP_002476) produced in E.coli.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB99	適用	WB, IHC, IF, 10K-CHIP	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:100, IF 1:100,
	Clone UMAB100		WB, IHC, IF, 10K-CHIP		IgG1		IHC 1:100, IF 1:100,
交差種		Human, Monkey		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870029	Anti NBN, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB99	30 μ l	¥ 33,000
UM800029	Anti NBN, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB99	100 μ l	¥ 129,000
UM870030	Anti NBN, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB100	30 μ l	¥ 33,000
UM800030	Anti NBN, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB100	100 μ l	¥ 129,000

NCAM1 / NM_181351

本遺伝子はイムノグロブリンスーパーファミリーメンバーの細胞接着タンパク質をコードする。本タンパク質は発生と分化において細胞間相互作用および細胞とマトリックス間相互作用に関与する。また、神経系の発生に関与することが報告されており、T細胞と樹状細胞の増殖に関与する細胞では免疫監視の機能をもつ。選択的スプライシングによる複数のバリエーションが存在する [RefSeq Jun 2011]。

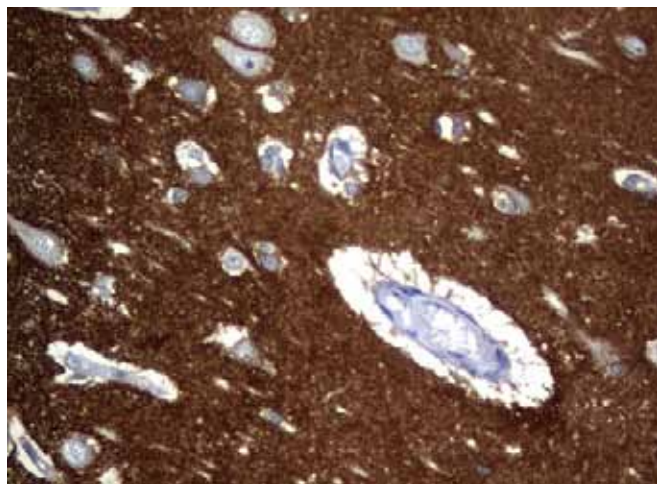


図.1 パラフィン包埋したヒト成体脳組織を anti-NCAM1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500067)

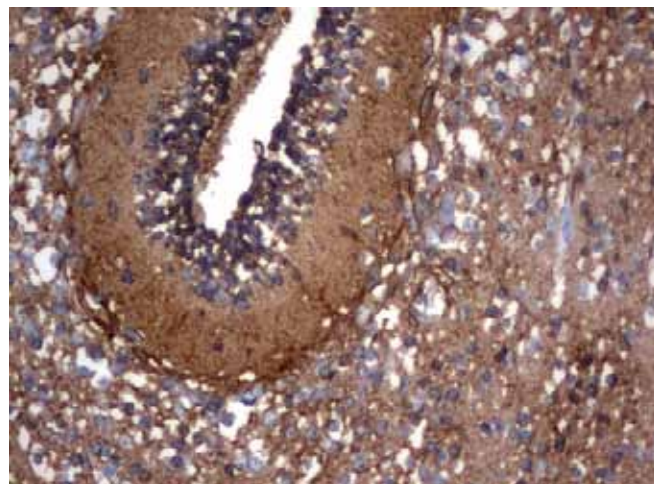


図.2 パラフィン包埋したヒト胚性小脳組織を anti-NCAM1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500067)

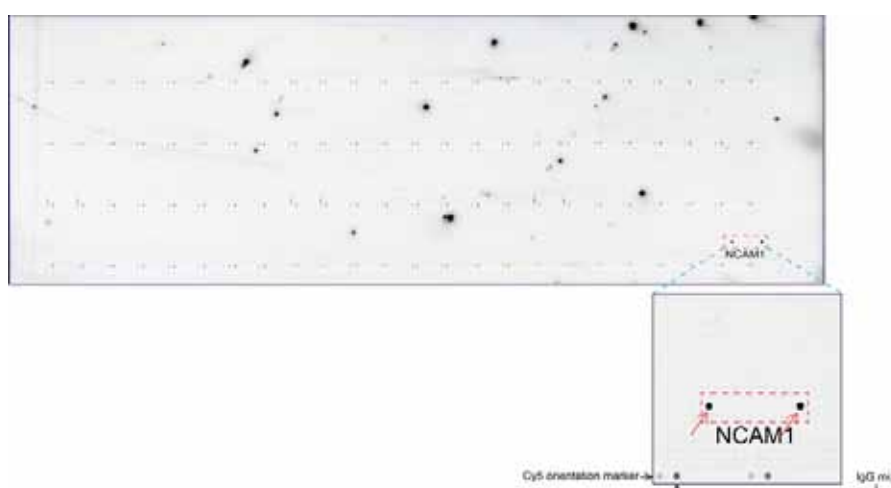


図.3 ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-NCAM1 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (UM500067)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。

遺伝子名	Homo sapiens neural cell adhesion molecule 1 (NCAM1), transcript variant 2		
別名	CD56; MSK39; NCAM		
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 20-718 of human NCAM1 (NP_851996) produced in E.coli.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB83	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570067	Anti NCAM1, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500067	Anti NCAM1, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

NME1 / NM_198175

本遺伝子は、非常に転移性の高い細胞において mRNA レベルが低いことから同定された。ヌクレオシド二リン酸キナーゼ (NDK) は "A" (本遺伝子でコード) と "B" (NME2 でコード) のアイソフォームから構成される六量体で存在する。悪性度の高い神経芽細胞腫において本遺伝子の変異が確認されている。異なるアイソフォームをもつ 2 種類の転写バリエーションが報告されている。本遺伝子と下流に隣接する遺伝子 (NME2) を同時に転写させることで、各タンパク質と配列共有型特性をもつ融合タンパク質をコードする自然発生的転写物 (NME1-NME2) が再構築できる [RefSeq, Jul 2008]。

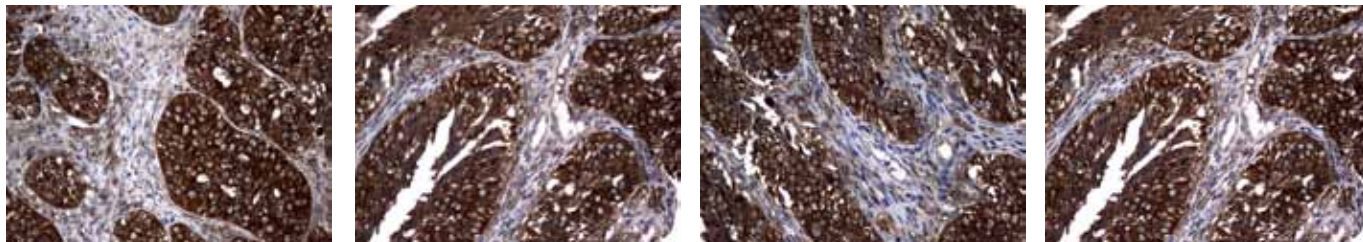


図.1 パラフィン包埋したヒト卵巣がん組織を anti-NME1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB91、中左: UMAB92、中右: UMAB93、右: UMAB94

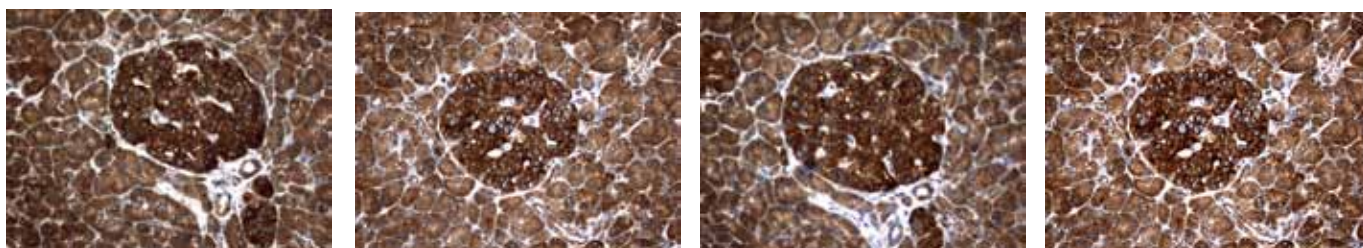


図.2 パラフィン包埋したヒト膵臓組織を anti-NME1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB91、中左: UMAB92、中右: UMAB93、右: UMAB94

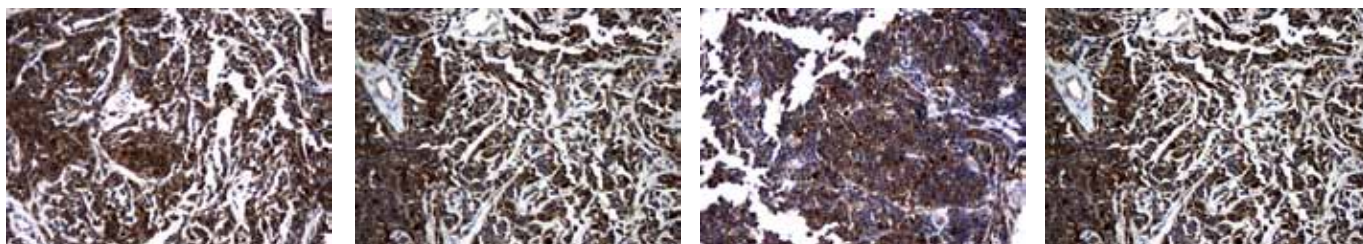


図.3 パラフィン包埋したヒトリンパ腫組織を anti-NME1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB91、中左: UMAB92、中右: UMAB93、右: UMAB94

遺伝子名	Homo sapiens NME/NM23 nucleoside diphosphate kinase 1 (NME1), transcript variant 1									
別名	AWD; GAAD; NB; NBS; NDKA; NDPK-A; NDPKA; NM23; NM23-H1									
抗原	Full length human recombinant protein of human NME1 (NP_937818) produced in E.coli.									
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.									
クローン	Clone UMAB91	交差種	Human, Rat, Monkey, Dog	アイソタイプ	IgG2a	適用	WB, IHC, IF, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100, IF 1:100	
	Clone UMAB92		Human, Rat, Dog		IgG1					
	Clone UMAB93		Human, Rat, Dog		IgG1					
	Clone UMAB94		Human, Rat, Monkey, Dog		IgG1					
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)									

Origene メーカー略号: ORG 保存: -20°C

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870022	Anti NME1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB91	30 µl	¥ 33,000
UM800022	Anti NME1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB91	100 µl	¥ 129,000
UM870023	Anti NME1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB92	30 µl	¥ 33,000
UM800023	Anti NME1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB92	100 µl	¥ 129,000
UM870024	Anti NME1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB93	30 µl	¥ 33,000
UM800024	Anti NME1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB93	100 µl	¥ 129,000
UM870025	Anti NME1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB94	30 µl	¥ 33,000
UM800025	Anti NME1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB94	100 µl	¥ 129,000

PARN / NM_002582

本遺伝子は 3'-エキソリボヌクレアーゼをコードし、3'-エキソヌクレアーゼである RNase D ファミリーと類似性を示す。poly(A) を基質とすることが多く、mRNA の poly(A) テールを効率よく崩壊する。進化育成物の mRNA 崩壊では通常 poly(A) テールのエキソヌクレアーゼによる崩壊が第一ステップである。本タンパク質は卵熟成と早期胚性発生、並びに中途での停止コドンをもつ mRNA のナンセンス変異依存分解機構 (NMD) において特定母系性 mRNA 抑制に関与する。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングバリエントが同定されている [RefSeq Aug 2008]。

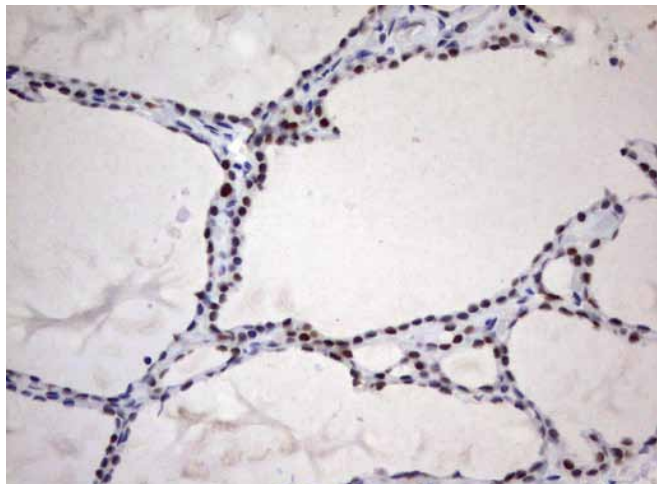


図.1 パラフィン包埋したヒト甲状腺組織を anti-PARN マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800040)

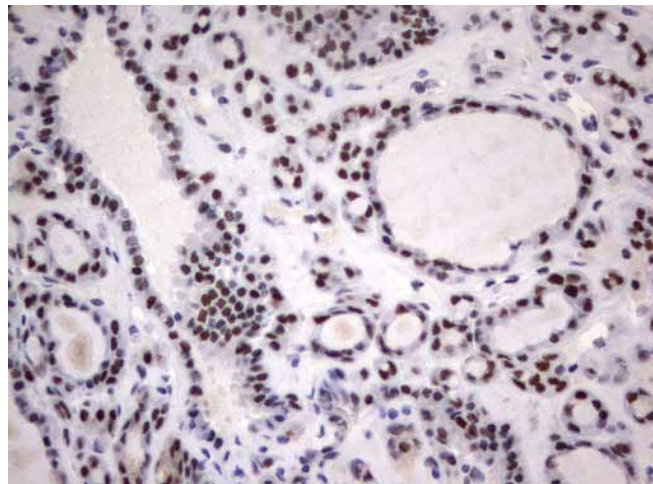


図.2 パラフィン包埋したヒト甲状腺組織の細胞腫を anti-PARN マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800040)

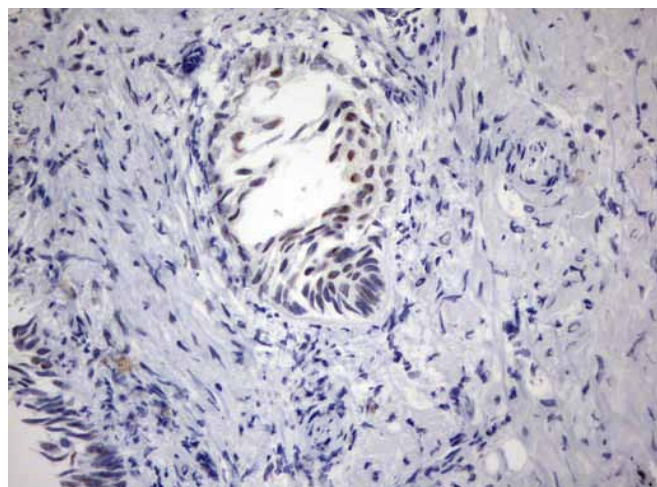


図.3 パラフィン包埋したヒト前立腺組織を anti-PARN マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800040)

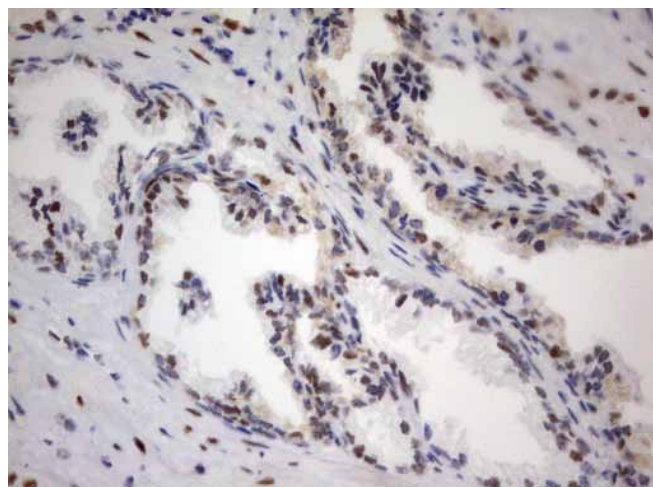


図.4 パラフィン包埋したヒト前立腺組織の細胞腫を anti-PARN マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800040)

遺伝子名	Homo sapiens poly(A)-specific ribonuclease (PARN), transcript variant 1		
別名	DAN		
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 1-266 of human PARN (NP_002573) produced in E.coli.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB143	アイソタイプ	IgG2a
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:100~200,

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870040	Anti PARN, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM800040	Anti PARN, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

PBX1 / NM_002585

本遺伝子は転写因子である PBX ホメオボックスファミリーに属する核タンパク質をコードする。マウスによる実験より本遺伝子が骨形成調節に関与し、骨格のパターン形成やプログラミングに必須であることが示唆されている。本遺伝子と TCF3/E2A 遺伝子が関与する染色体の転座 (t(1;19)) は、前駆体 B 細胞急性リンパ性白血病に関与する。産生した融合タンパク質は、E2A の DNA 結合ドメインが本タンパク質の DNA 結合ドメインに置換されており、PBX タンパク質ファミリーにより制御される遺伝子の転写を恒常的に活性化して細胞を変換する。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されている [RefSeq Mar]。

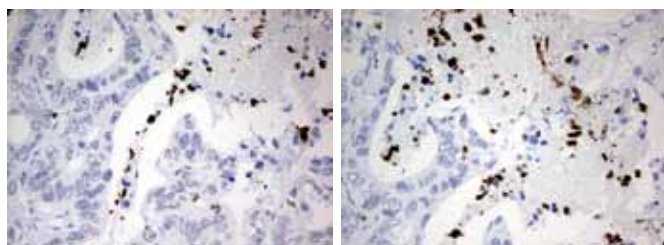


図.1 パラフィン包埋したヒト結腸組織の腺がんを anti-PBX1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左 : Clone UMAB110、右 : Clone UMAB111

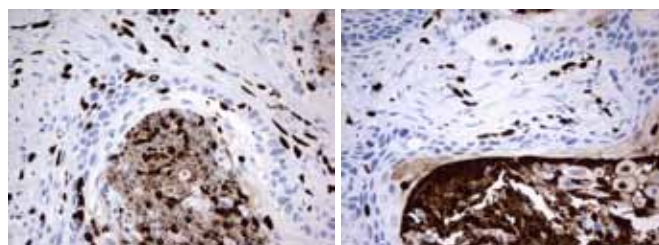


図.2 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-PBX1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左 : Clone UMAB110、右 : Clone UMAB111

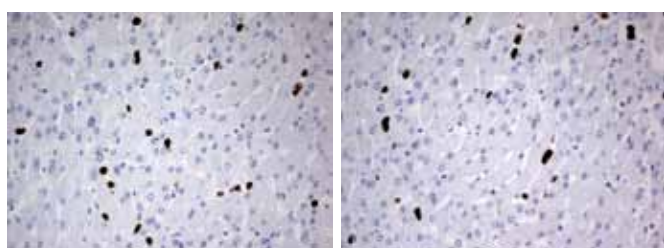


図.3 パラフィン包埋したヒト肝臓組織を anti-PBX1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左 : Clone UMAB110、右 : Clone UMAB111

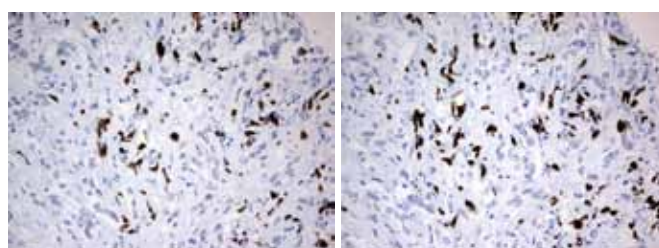


図.4 パラフィン包埋したヒト肝臓組織の細胞腫を anti-PBX1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左 : Clone UMAB110、右 : Clone UMAB111

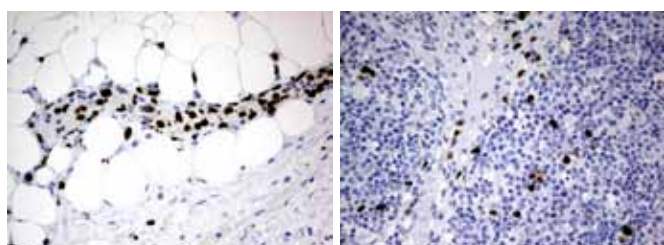


図.5 パラフィン包埋したヒト膀胱組織の細胞腫を anti-PBX1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左 : Clone UMAB110、右 : Clone UMAB111

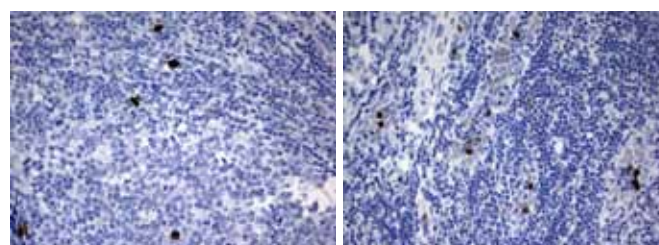


図.6 パラフィン包埋したヒト扁桃組織を anti-PBX1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左 : Clone UMAB110、右 : Clone UMAB111

遺伝子名	Homo sapiens pre-B-cell leukemia homeobox 1 (PBX1), transcript variant 1						
別名	DKFZp686B09108; MGC126627						
抗原	Full length human recombinant protein of human PBX1(NP_002576) produced in HEK293 cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB110	適用	IHC, 10K-CHIP	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:100~200,
	Clone UMAB111		IHC, 10K-CHIP		IgG1		IHC 1:100~200,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570077	Anti PBX1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB110	30 µl	¥ 33,000
UM500077	Anti PBX1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB110	100 µl	¥ 129,000
UM570078	Anti PBX1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB111	30 µl	¥ 33,000
UM500078	Anti PBX1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB111	100 µl	¥ 129,000

PECAM1 / NM_000442

本遺伝子がコードするタンパク質は、血小板、単球、好中球およびある型の T 細胞の表面に存在し、表皮細胞間接着部位の大部分を占める。本タンパク質はイムノグロブリンスーパーファミリーメンバーで、白血球遊走、血管新生、インテグリン活性化に関与すると考えられる [RefSeq]。

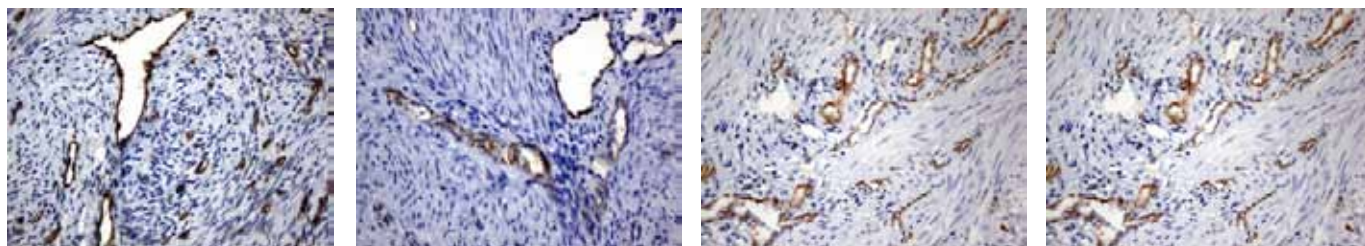


図.1 パラフィン包埋したヒト子宮内膜組織を anti-PECAM1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB29、中左：UMAB30、中右：UMAB31、右：UMAB32 (すべて希釈率 1:100)

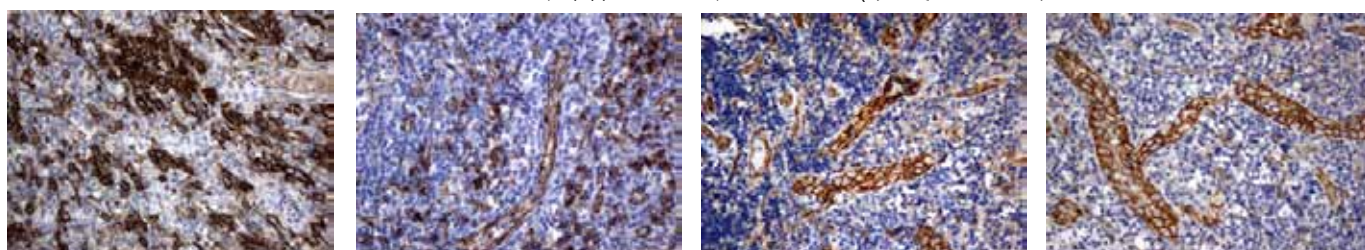


図.2 パラフィン包埋したヒト下垂体組織を anti-PECAM1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB29、中左：UMAB30、中右：UMAB31、右：UMAB32 (すべて希釈率 1:100)

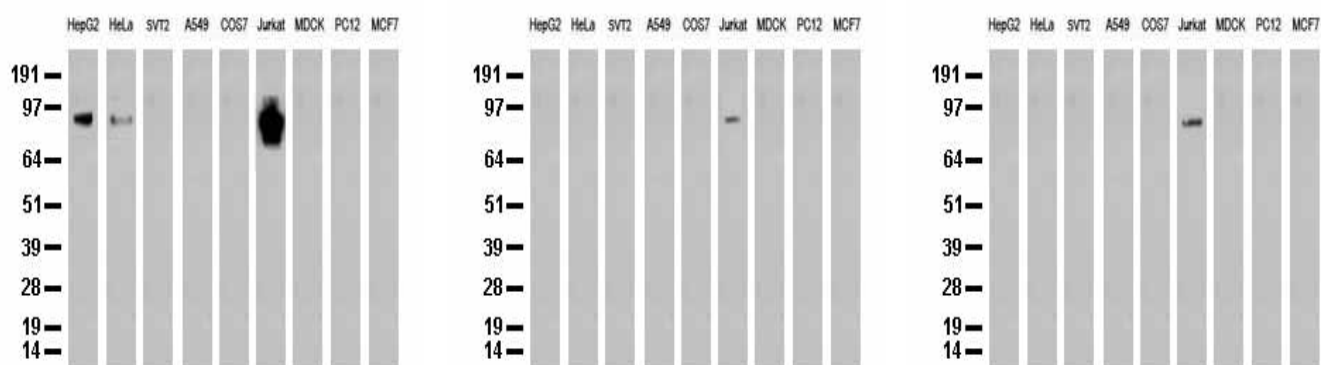


図.3 9種の細胞株からの抽出物 (35ug) を anti-PECAM1 モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析
左：Clone UMAB29、中：UMAB30、右：UMAB32

遺伝子名	Homo sapiens platelet/endothelial cell adhesion molecule 1 (PECAM1)								
別名	CD31; CD31/EndoCAM; endoCAM; GPIIA ; PECA1; PECAM-1								
抗原	Full length human recombinant protein of human PECAM1(NP_000433) produced in HEK293T cell.								
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.								
クローン	Clone UMAB29	交差種	Human	アイソタイプ	IgG2a	適用	WB, IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:2000, IHC 1:150,
	Clone UMAB30		Human		IgG1		WB, IHC, 10K-CHIP		WB 1:2000, IHC 1:150,
	Clone UMAB31		Human		IgG1		IHC		WB 1:2000, IHC 1:150,
	Clone UMAB32		Human		IgG1		WB, IHC, 10K-CHIP		WB 1:500~2000, IHC 1:150,
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)								

Origene メーカー略号: ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570029	Anti PECAM1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB29	30 µl	¥ 33,000
UM500029	Anti PECAM1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB29	100 µl	¥ 129,000
UM570030	Anti PECAM1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB30	30 µl	¥ 33,000
UM500030	Anti PECAM1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB30	100 µl	¥ 129,000
UM570031	Anti PECAM1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB31	30 µl	¥ 33,000
UM500031	Anti PECAM1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB31	100 µl	¥ 129,000
UM570032	Anti PECAM1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB32	30 µl	¥ 33,000
UM500032	Anti PECAM1, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB32	100 µl	¥ 129,000

PGR / NM_000926

本遺伝子はステロイド受容体スーパーファミリーメンバーをコードする。本タンパク質は、妊娠の確立と維持に伴う生殖現象において中心的な役割を担うプロゲステロンの生理的作用を仲介する。本遺伝子は2種類プロモータと第1エキソン内の2種類の転写開始部位を利用して2種類のアイソフォームAとBを産生する。アイソフォームBのN末端に165のアミノ酸が追加されている以外は、2種類のアイソフォーム配列は同一である。若干の重複はあるものの、それぞれ独自の応答遺伝子と生理現象を介する [RefSeq Jan 2011]。

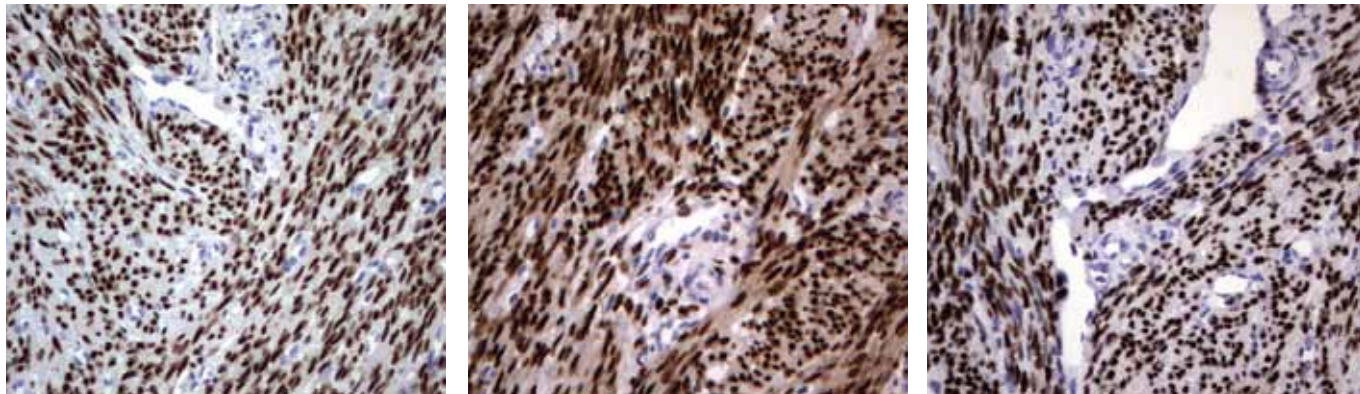


図.1 パラフィン包埋したヒト子宮内膜組織を anti-PGR マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB135、中：UMAB136、右：UMAB137

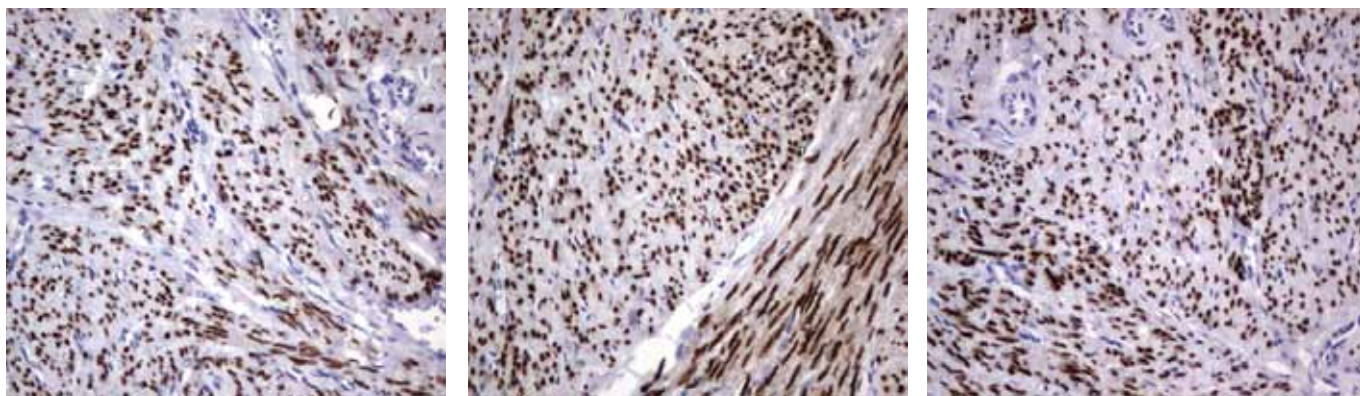


図.2 パラフィン包埋したヒト子宮内膜組織の腺がんを anti-PGR マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB135、中：UMAB136、右：UMAB137

遺伝子名	Homo sapiens progesterone receptor (PGR), transcript variant 2				
別名	NR3C3; PR				
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 1-298 of human PGR (NP_000917) produced in E.coli.				
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.				
クローン	Clone UMAB135	交差種	Human	アイソタイプ	IgG2a
	Clone UMAB136		Human		IgG1
	Clone UMAB137		Human		IgG2a
クローン	Clone UMAB135	適用	IHC, IF	推奨希釈条件	IHC 1:200,
	Clone UMAB136		WB, IHC, IF		WB 1:2000, IHC 1:200,
	Clone UMAB137		WB, IHC		WB 1:2000, IHC 1:200,
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)				

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870036	Anti PGR, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB135	30 µl	¥ 33,000
UM800036	Anti PGR, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB135	100 µl	¥ 129,000
UM870037	Anti PGR, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB136	30 µl	¥ 33,000
UM800037	Anti PGR, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB136	100 µl	¥ 129,000
UM870038	Anti PGR, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB137	30 µl	¥ 33,000
UM800038	Anti PGR, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB137	100 µl	¥ 129,000

PSMA6 / NM_002791

プロテアソームは高要求性の環状 20S コア構造をもつ多触媒性のタンパク質分解酵素複合体である。コア構造は 28 種の同一でないサブユニットからなる 4 つの環状で構成されている。このうち、2 つの環状は 7 つの α サブユニットで構成され、他の 2 環状は 7 つの β サブユニットから構成される。プロテアソームは真核生物細胞全域に高濃度で分布し、リソソームを介さない経路の ATP/ ユビキチン依存性プロセスでペプチドを切断する。改変型のプロテアソームである免疫プロテアソームの主要な機能は、クラス I MHC ペプチドのプロセッシングである。本遺伝子は 20S コア α 鎖部ユニットであるペプチド加水分解酵素 T1A ファミリーメンバーをコードする。Y 染色体上に偽遺伝子がみつまっている [RefSeq Jul 2008]。

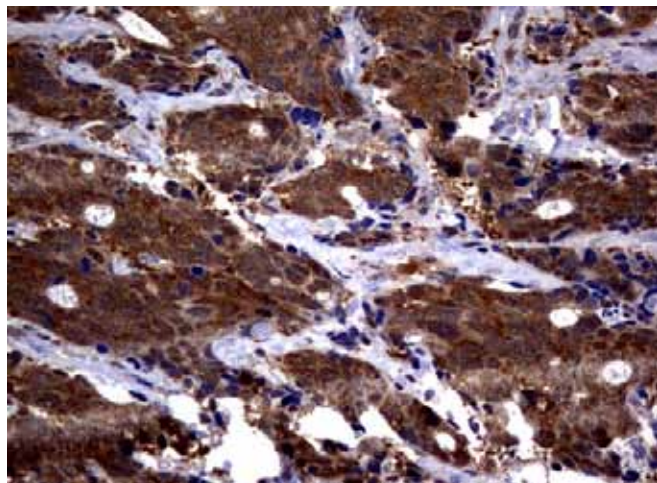


図.1 パラフィン包埋したヒト乳房組織の腺がんを anti-PSMA6 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800032)

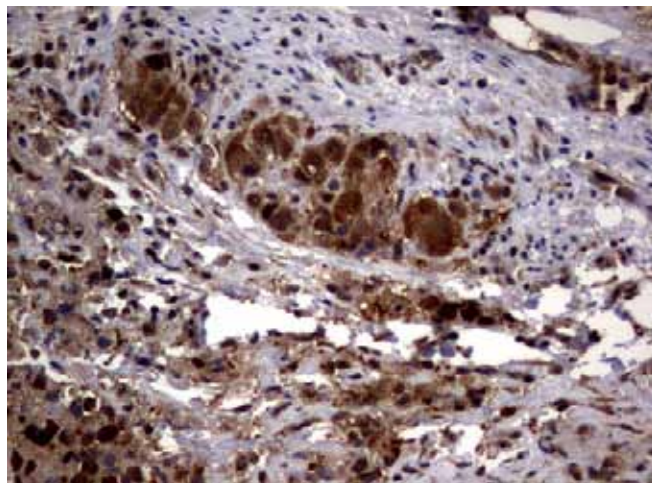


図.2 パラフィン包埋したヒト結腸組織の腺がんを anti-PSMA6 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800032)

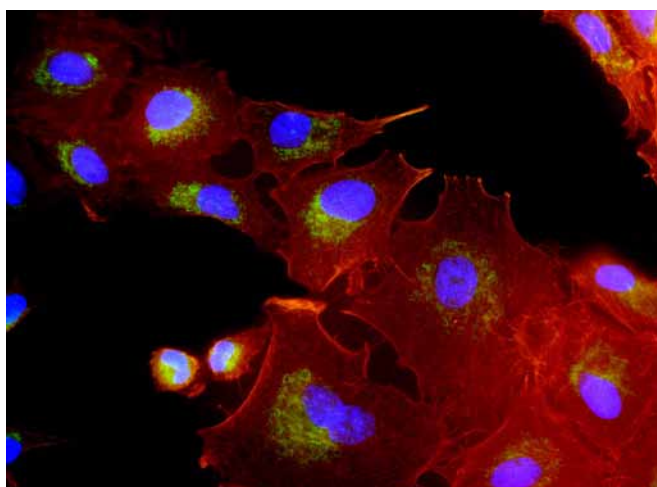


図.3 A549 細胞を anti-PSMA6 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM800032, 緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3 色を重ね合わせた。

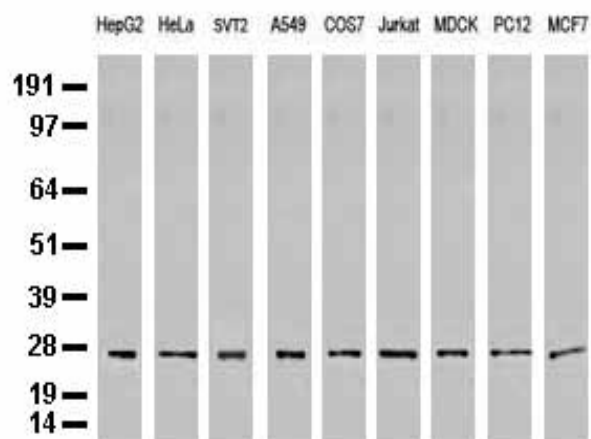


図.4 9 種の細胞株からの抽出物 (35ug) を anti-PSMA6 モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (Clone UMAB102)

遺伝子名	Homo sapiens proteasome (prosome, macropain) subunit, alpha type, 6 (PSMA6), transcript variant 1		
別名	IOTA; p27K; PROS27		
抗原	Full length human recombinant protein of human PSMA6 (NP_002782) produced in E.coli.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB102	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human, Mouse, Rat, Monkey, Dog	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, IF	推奨希釈条件	IHC 1:100, IF 1:100,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870032	Anti PSMA6, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 μ l	¥ 33,000
UM800032	Anti PSMA6, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 μ l	¥ 129,000

Origene メーカー略号: ORG 保存: -20°C

RAPGEF1 / NM_198679

本遺伝子はヒトグアニンヌクレオチド交換因子をコードする。CRK の SH3 ドメインに結合して CRK からのシグナルを伝達し、GTPase の Ras ファミリーの複数メンバーを活性化する。本シグナルカスケードはアポトーシス、インテグリン介在型シグナル伝達、および細胞形質転換にも関与すると考えられる。複数の選択的スプライシングバリエーションが報告されているが、全長が決定されていないものもある [RefSeq Jul 2008]。

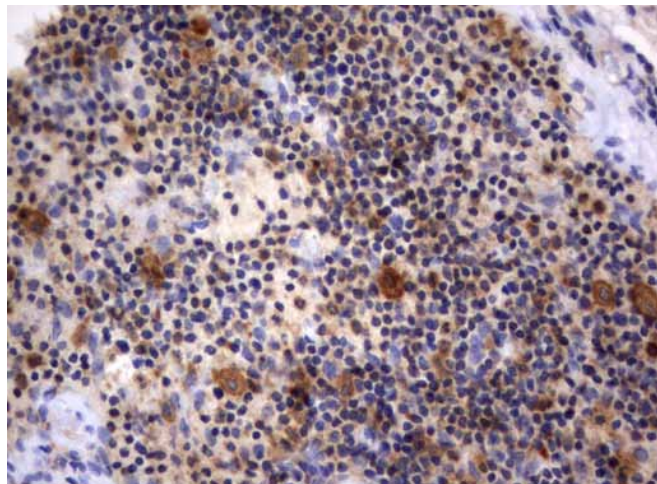


図.1 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-RAPGEF1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500102)

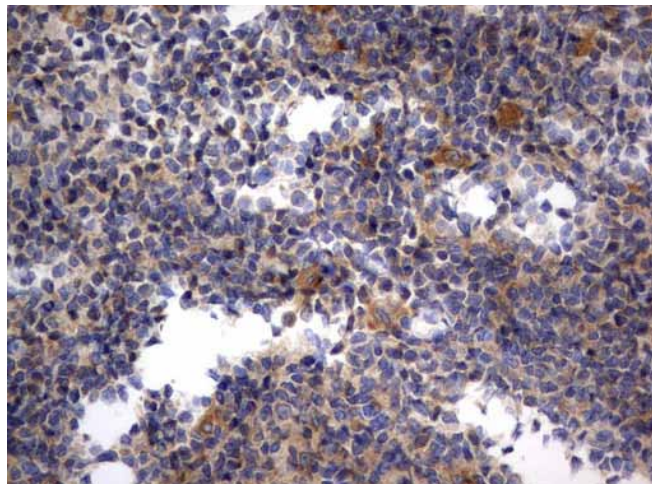


図.2 パラフィン包埋したヒトリンパ腫組織を anti-RAPGEF1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500102)

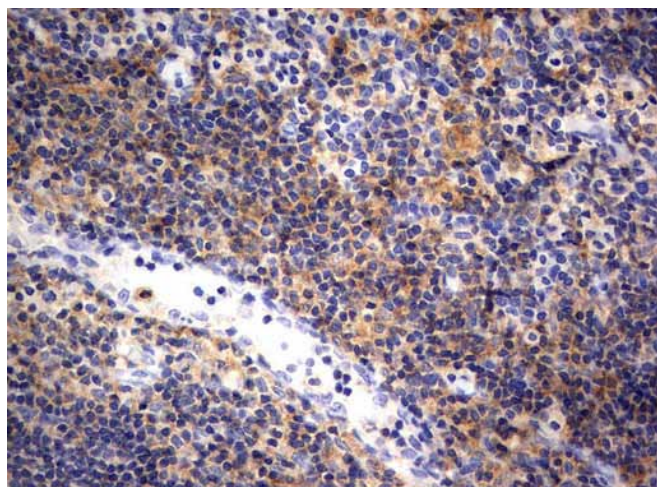


図.3 パラフィン包埋したヒト扁桃組織を anti-RAPGEF1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500102)

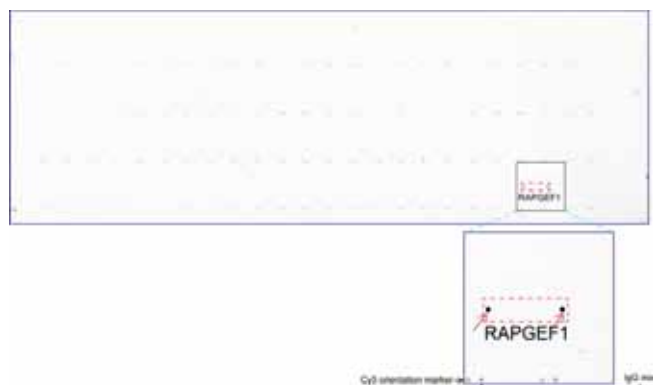


図.4 ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-RAPGEF1 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (UM500102)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。

遺伝子名	Homo sapiens Rap guanine nucleotide exchange factor (GEF) 1 (RAPGEF1), transcript variant 2		
別名	C3G; GRF2		
抗原	Full length human recombinant protein of human RAPGEF1(NP_941372) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	UMAB140	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100~200,

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570102	Anti RAPGEF1, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500102	Anti RAPGEF1, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

S100P / NM_005980

本遺伝子は2つのEFハンドカルシウム結合モチーフをもつS100ファミリーメンバーをコードする。S100タンパク質は様々な細胞において細胞質や核に局在化し、細胞周期進行や分化といった数々の細胞プロセス制御に関与する。S100遺伝子には少なくとも13種のメンバーが存在し、染色体上の1q21にクラスターを形成して存在するものの、本遺伝子は4p16に位置する。本タンパク質はCa²⁺に結合するだけでなく、Zn²⁺とMg²⁺にも結合する。本タンパク質は前立腺がんの病因に関与する [RefSeq]。

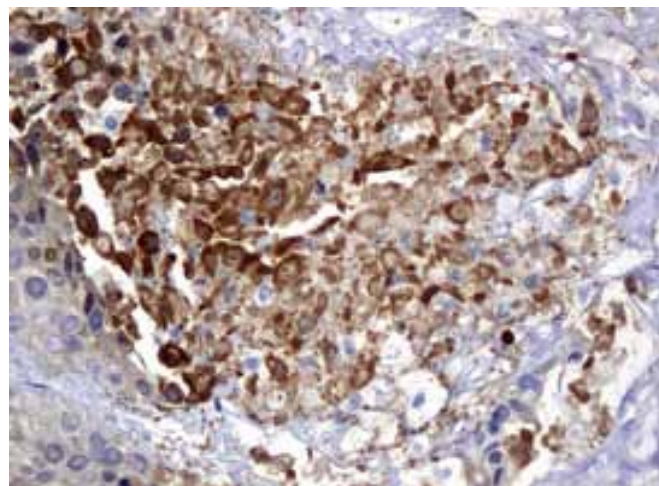


図.1 パラフィン包埋したヒト膀胱組織の細胞腫を anti-S100P マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB24, 希釈率 1:100)

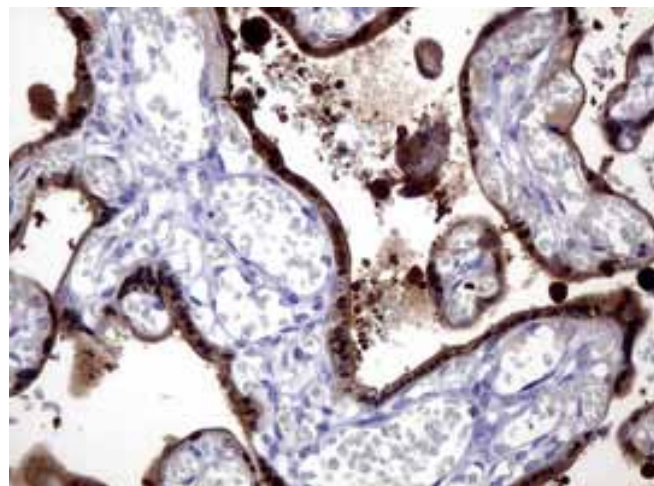


図.2 パラフィン包埋したヒト胎盤組織を anti-CDH2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB24, 希釈率 1:100)

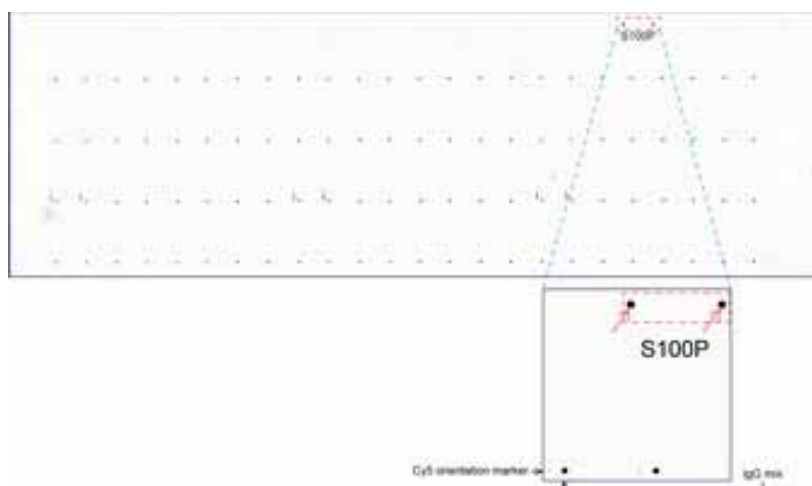


図.3 ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-S100P マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (Clone UMAB24)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。本データより UltraMAB anti-S100P (Clone UMAB24) が OriGene protein microarray chip 上の S100P 抗原を非常に特異的に認識することがわかる。

遺伝子名	Homo sapiens S100 calcium binding protein P (S100P)		
別名	MIG9		
抗原	Full length human recombinant protein of human S100P(NP_005971) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB24	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:1000,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570024	Anti S100P, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500024	Anti S100P, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号: ORG 保存: -20℃

SDCBP / NM_005625

本遺伝子がコードするタンパク質は、当初、細胞骨格へのシンデカン介在性シグナル伝達を関連づける分子として同定された。シンテニンタンパク質は細胞質のさまざまな巻く貫通型タンパク質のC末端ドメインに結合するPDZドメインの縦列反復をもつ。本タンパク質は細胞骨格の膜組成、細胞接着、タンパク質輸送、および転写因子の活性化にも影響を及ぼすと考えられる。本タンパク質は、主に膜関連型の接着結合や接着点に局在するが、小胞体や核にも存在する。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されている [RefSeq Jul 2008]。

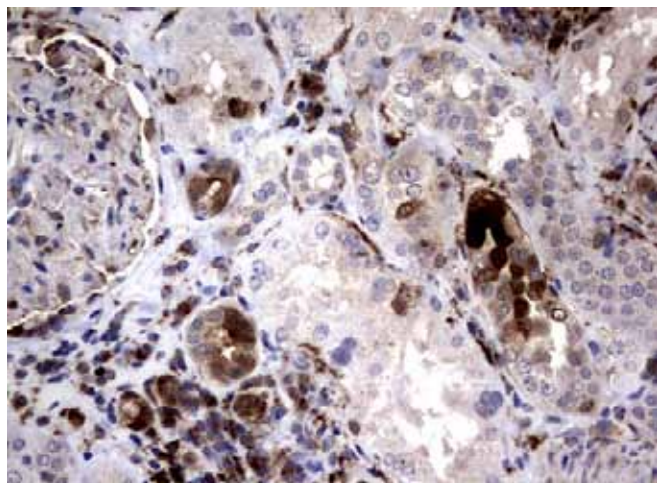


図.1 パラフィン包埋したヒト腎臓組織を anti-SDCBP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500057)

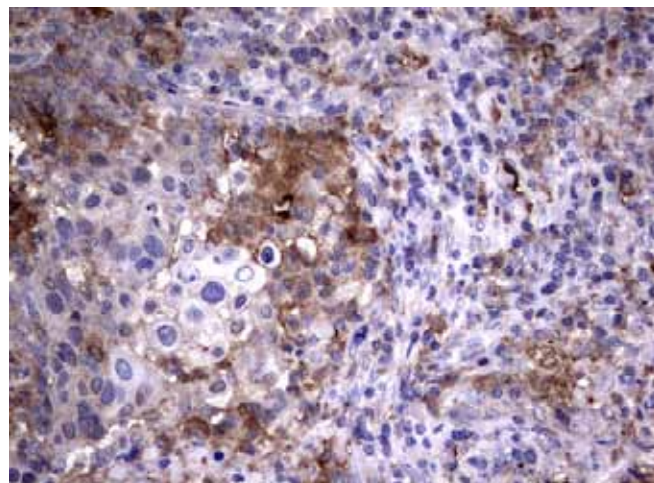


図.2 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-SDCBP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500057)

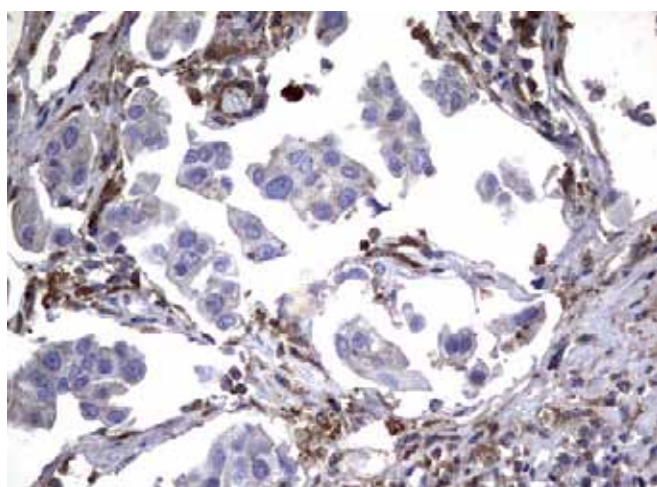


図.3 パラフィン包埋したヒト膀胱組織の細胞腫を anti-SDCBP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500057)

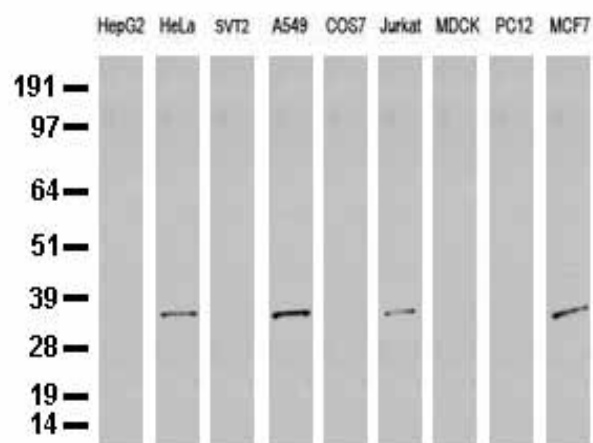


図.4 9種の細胞株からの抽出物 (35ug) を anti-SDCBP モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (Clone UMAB69)

遺伝子名	Homo sapiens syndecan binding protein (syntenin) (SDCBP), transcript variant 1		
別名	MDA-9; ST1; SYCL; TACIP18		
抗原	Full length human recombinant protein of human SDCBP(NP_005616) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	UMAB69	アイソタイプ	IgG2b
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:500, IHC 1:100

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570057	Anti SDCBP, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500057	Anti SDCBP, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

SERPINB4 / NM_002974

SERPINB4 は、扁平上皮がん抗原 2 (SCCA-2) や leupin ともよばれる。ヒトグランザイムタンパク質分解活性を直接阻害する。HeLa 細胞で SERPINB4 を過剰発現した場合、組換え型グランザイム誘導性細胞死や NK 細胞仲介型細胞死を阻害する。

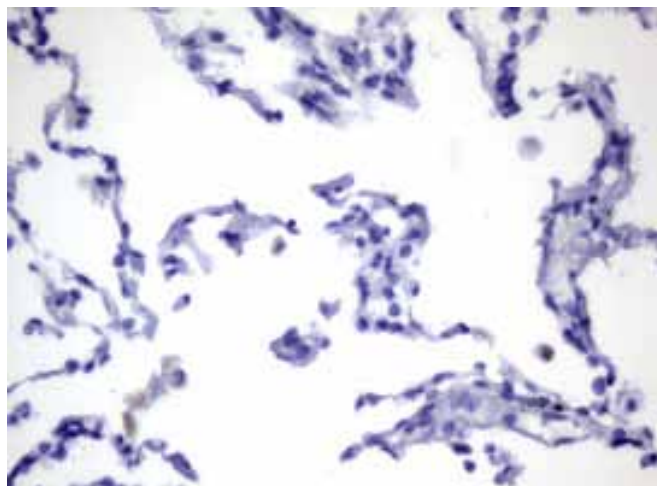


図.1 パラフィン包埋したヒト肺組織を anti-SERPINB4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB16, 希釈率 1:100)

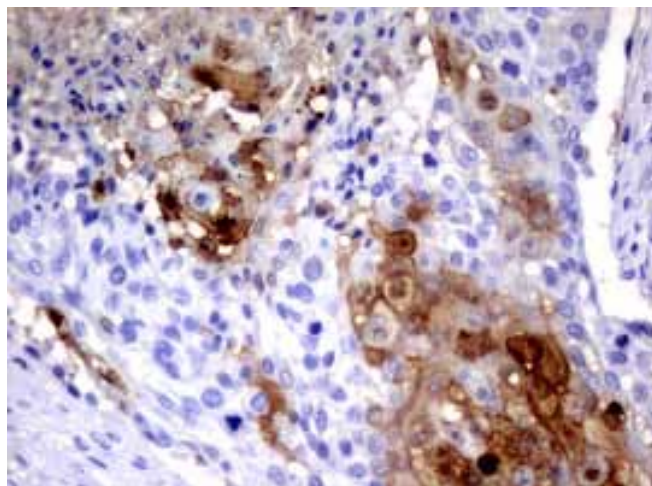


図.2 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-SERPINB4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB16, 希釈率 1:100)

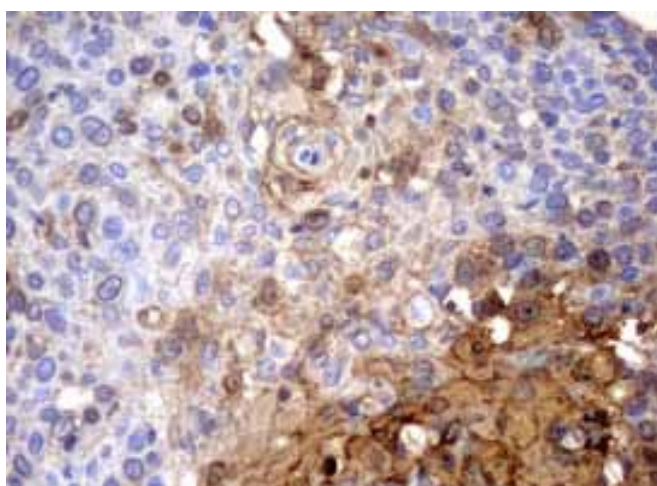


図.3 パラフィン包埋したヒト膀胱組織の細胞腫を anti-SERPINB4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB16, 希釈率 1:100)

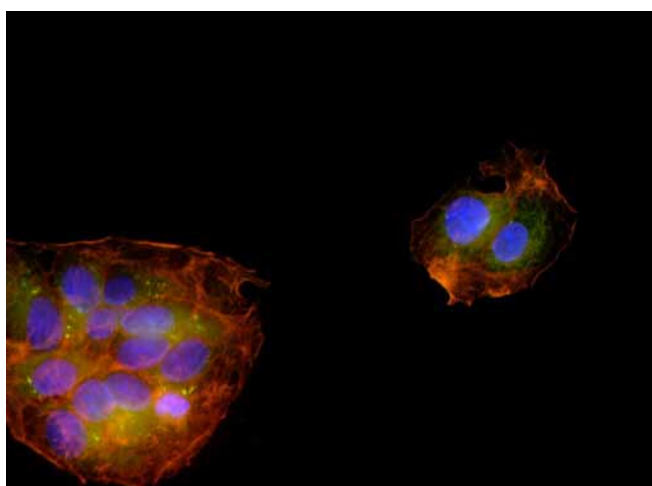


図.4 HepG2 細胞を anti-SERPINB4 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500016、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3 色を重ね合わせた。

遺伝子名	Homo sapiens serpin peptidase inhibitor, clade B (ovalbumin), member 4 (SERPINB4)		
別名	LEUPIN; PI11; SCCA-2; SCCA1; SCCA2		
抗原	Full length human recombinant protein of human SERPINB4 (NP_002965) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB16	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, IF, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:500, IHC 1:150, IF 1:100,

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570016	Anti SERPINB4, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500016	Anti SERPINB4, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

SLC7A8 / NM_012244

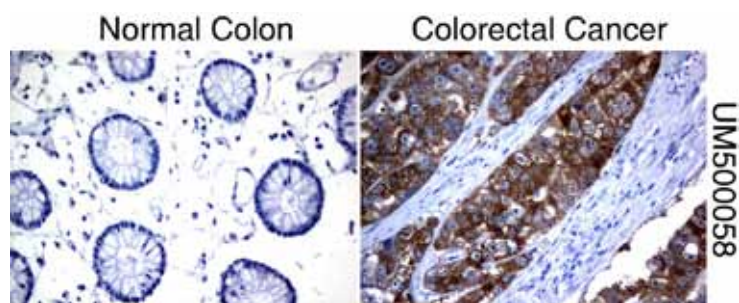


図.1 パラフィン包埋したヒト正常結腸組織と結腸がん組織を anti-SLC7A8 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500058)

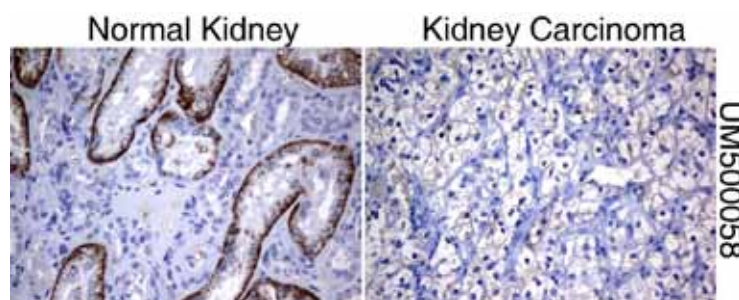


図.2 パラフィン包埋したヒト正常腎臓組織と腎臓がん組織を anti-SLC7A8 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500058)

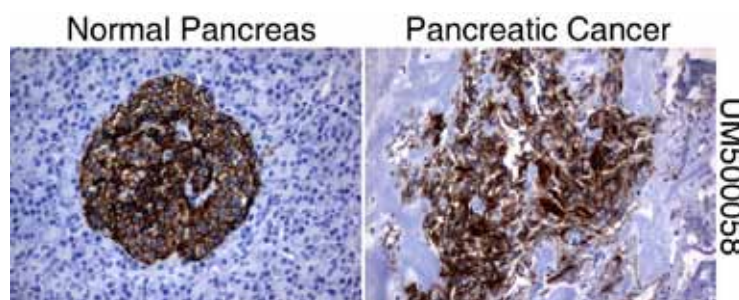


図.3 パラフィン包埋したヒト正常膵臓組織と膵臓がん組織を anti-SLC7A8 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500058)



図.4 ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-SLC7A8 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (UM500058)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。

遺伝子名	Homo sapiens solute carrier family 7 (amino acid transporter light chain, L system), member 8 (SLC7A8), transcript variant 1		
別名	LAT2; LPI-PC1		
抗原	Full length human recombinant protein of human SLC7A8(NP_036376) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	UMAB70	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100,

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570058	Anti SLC7A8, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500058	Anti SLC7A8, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

SOX5 / NM_006940

本遺伝子は胚発生や細胞運命決定の制御に関与する転写因子である SOX (SRY 関連 HMG ボックス) ファミリーメンバーをコードする。本タンパク質は他のタンパク質とタンパク質複合体を形成後、転写制御因子として働くと考えられる。また、軟骨形成にも関与する。第8染色体上に偽遺伝子が存在する。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されている [RefSeq Jul 2008]。

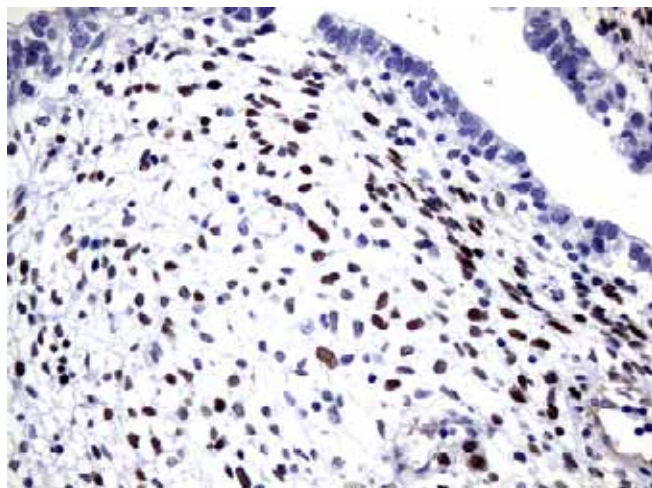


図.1 パラフィン包埋したヒト精巣がん組織を anti-SOX5 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500047)

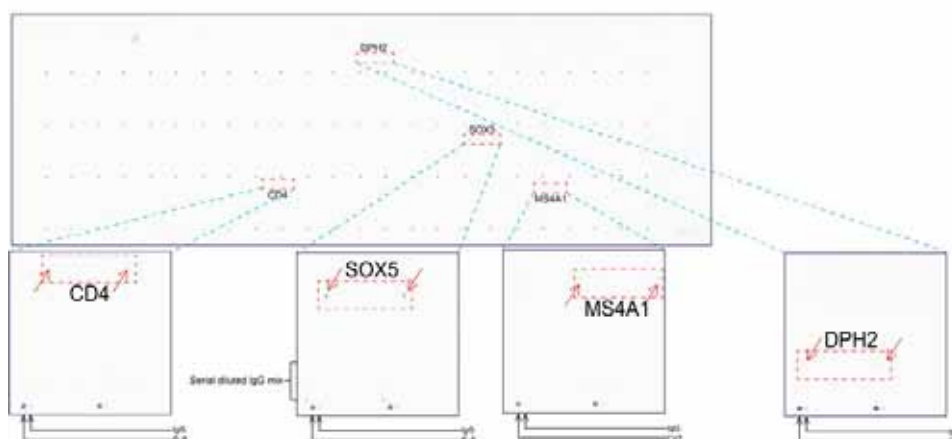


図.2 ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-SOX5 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色 (UM500047)。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。

遺伝子名	Homo sapiens SRY (sex determining region Y)-box 5 (SOX5), transcript variant 1		
別名	L-SOX5		
抗原	Full length human recombinant protein of human SOX5(NP_008871) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB53	アイソタイプ	IgG3
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570047	Anti SOX5, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500047	Anti SOX5, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

SQSTM1 / NM_003900

本遺伝子はユビキチンに結合し核内因子 κ B (NF- κ B) シグナル伝達経路の活性化を調節する多機能性タンパク質をコードする。本タンパク質は TNF 受容体介在性因子 6 とともに足場タンパク質/アダプタータンパク質として機能し、上流のシグナルに応答して NF- κ B の活性化を仲介する。同一または異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングバリエーションが同定されている。本遺伝子の変異により孤発性かつ家族制の骨ページェット病を誘引する。

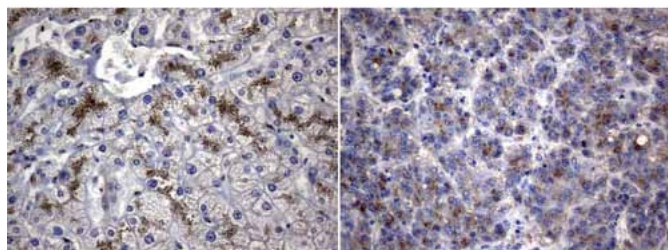


図.1 パラフィン包埋したヒト肝臓組織 (左) およびヒト肝臓組織の細胞腫 (右) を anti-SQSTM1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
Clone UMAB12, 希釈率 1:100

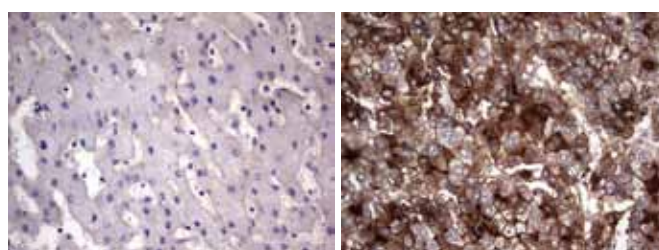


図.2 パラフィン包埋したヒト肝臓組織 (左) およびヒト肝臓組織の細胞腫 (右) を anti-SQSTM1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
Clone UMAB13, 希釈率 1:100

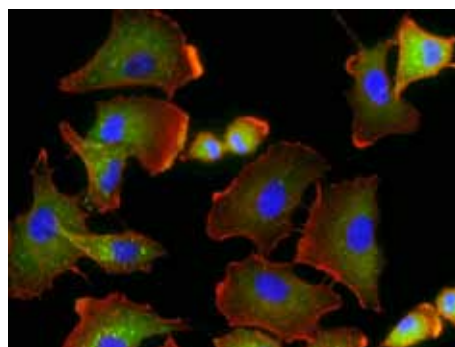
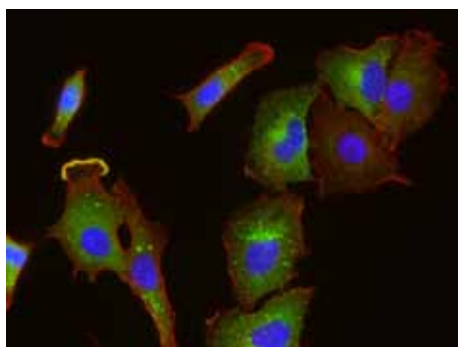


図.3 A549 細胞を SQSTM1 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500013, 緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3 色を重ね合わせた。
左: Clone UMAB12、右: Clone UMAB13

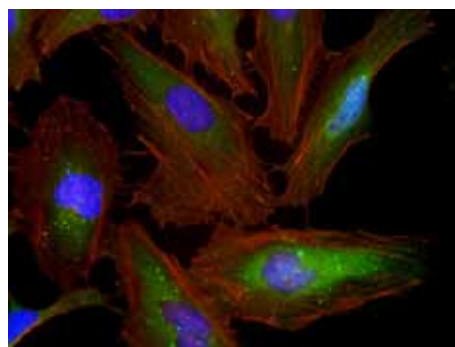
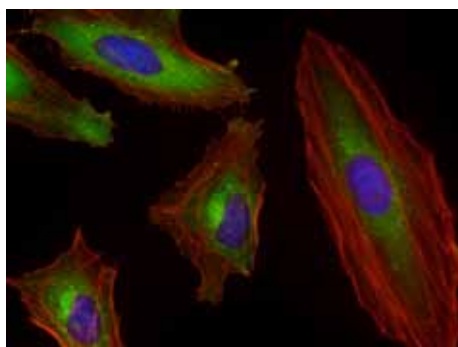


図.4 HeLa 細胞を SQSTM1 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500013, 緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3 色を重ね合わせた。
左: Clone UMAB12、右: Clone UMAB13

遺伝子名	Homo sapiens sequestosome 1 (SQSTM1), transcript variant 1						
別名	A170; OSIL; p60; p62; p62B; PDB3; ZIP3						
抗原	Full length human recombinant protein of human SQSTM1(NP_003891) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB12	適用	WB, IHC, IF	アイソタイプ	IgG2b	推奨希釈条件	WB 1:500~2000, IHC 1:150, IF 1:100,
	Clone UMAB13		WB, IHC, IF, 10K-CHIP		IgG1		WB 1:200~500, IF 1:100, Flow 1:100, IF 1:100,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570012	Anti SQSTM1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB12	30 μ l	¥ 33,000
UM500012	Anti SQSTM1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB12	100 μ l	¥ 129,000
UM570013	Anti SQSTM1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB13	30 μ l	¥ 33,000
UM500013	Anti SQSTM1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB13	100 μ l	¥ 129,000

SYP / NM_003179

本遺伝子は、脳や内分泌細胞に存在する小さなシナプス小胞の膜内在性タンパク質をコードする。本タンパク質はコレステロールと結合し、細胞内区画へのシナプス小胞結合膜タンパク質2（シナプトブレビン）の直接的な標的であると考えられる。本遺伝子の変異はX連鎖精神遅滞（XLMR）に関与する。

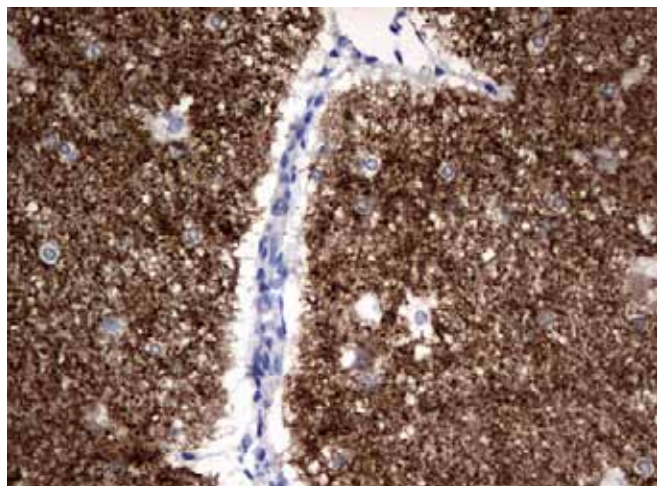


図.1 パラフィン包埋したヒト成体脳組織を anti-SYP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色（UM500079）

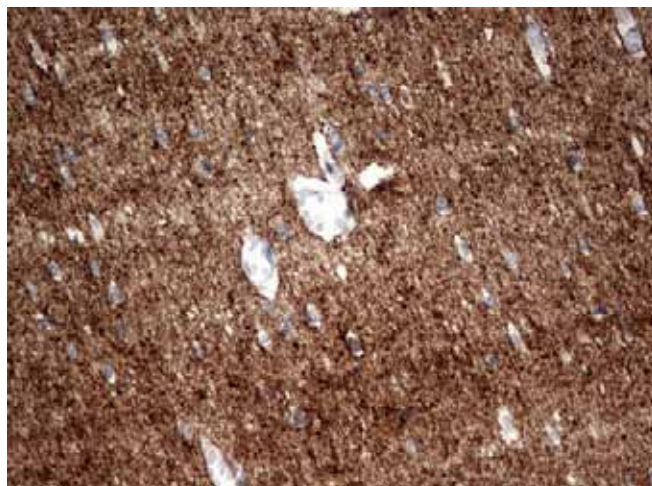


図.2 パラフィン包埋したヒト胚性脳皮質組織を anti-SYP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色（UM500079）

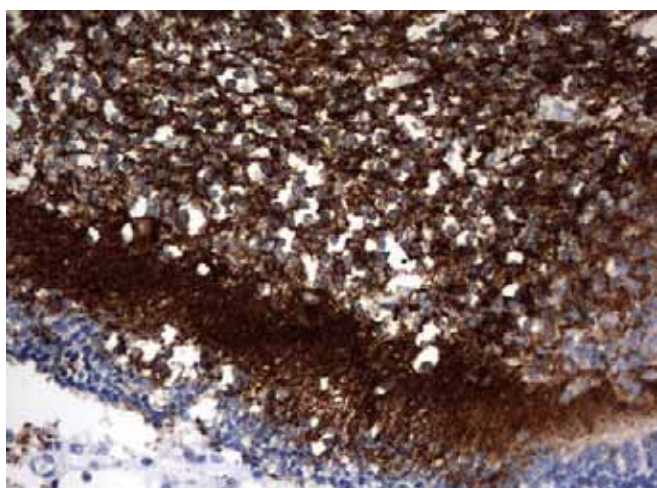


図.3 パラフィン包埋したヒト胚性小脳組織を anti-SYP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色（UM500079）

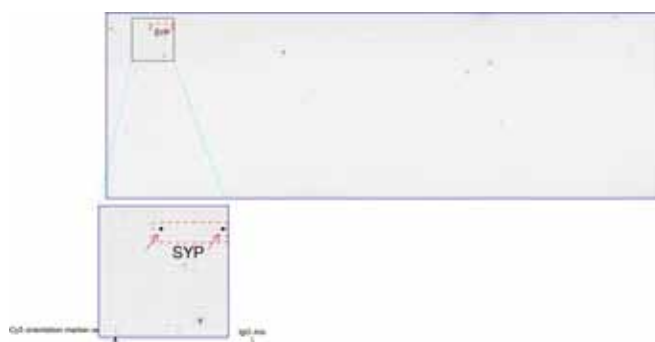


図.4 ORG 社の overexpression protein microarray chip を UltraMAB anti-SYP マウスモノクローナル抗体を用いて免疫染色（UM500079）。陽性反応を示すタンパク質は拡大したサブアレイ内に赤色矢印を用いてハイライトした。サブアレイ内に存在する全てのポジティブコントロールも明確にするためラベルした。

遺伝子名	Homo sapiens synaptophysin (SYP)		
別名	MRXSYP		
抗原	Full length human recombinant protein of human SYP(NP_003170) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB112	アイソタイプ	IgG2b
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100~200,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570079	Anti SYP, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 μ l	¥ 33,000
UM500079	Anti SYP, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 μ l	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

SYT4 / NM_020783

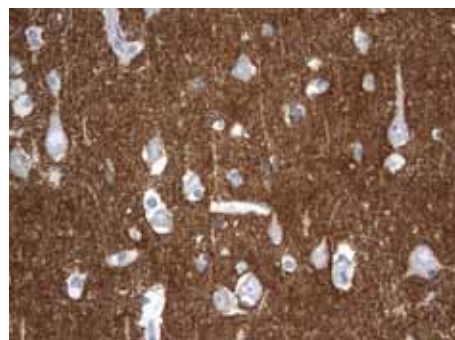
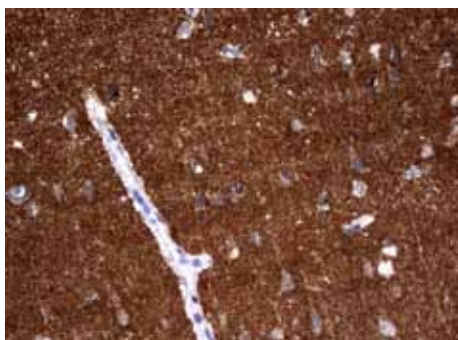


図.1 パラフィン包埋したヒト成体脳組織を anti-SYT4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB128、右: Clone UMAB141

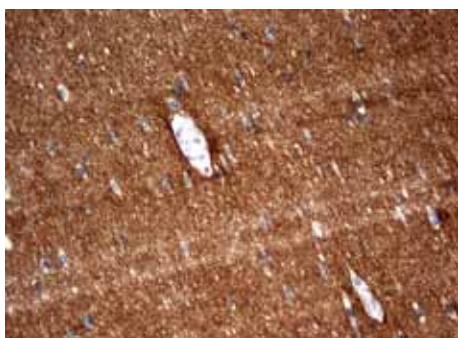


図.2 パラフィン包埋したヒト胚性脳皮質組織を anti-SYT4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB128、右: Clone UMAB141

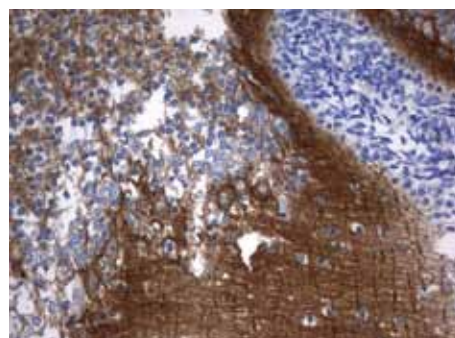
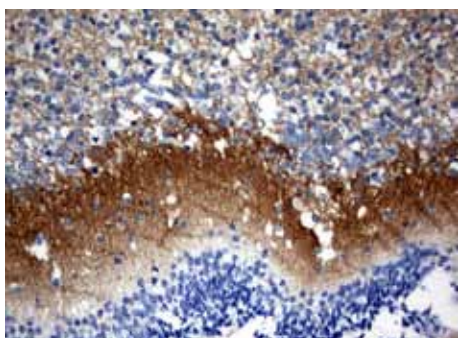


図.3 パラフィン包埋したヒト胚性小脳組織を anti-SYT4 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB128、右: Clone UMAB141

遺伝子名	Homo sapiens synaptotagmin IV (SYT4)						
別名	HsT1192						
抗原	Full length human recombinant protein of human SYT4(NP_065834) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB128	適用	IHC, 10K-CHIP	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:100~200,
	Clone UMAB141		IHC, 10K-CHIP		IgG1		IHC 1:100~200,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570093	Anti SYT4, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB128	30 µl	¥ 33,000
UM500093	Anti SYT4, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB128	100 µl	¥ 129,000
UM570103	Anti SYT4, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB141	30 µl	¥ 33,000
UM500103	Anti SYT4, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB141	100 µl	¥ 129,000

TOP2A / NM_001067

本遺伝子は転写において DNA の形態的状況を制御し変化させる酵素である。DNA トポイソメラーゼをコードする。本核内酵素は、DNA 転写および複製で生ずる染色体凝縮、染色分体分離、ねじれ緊張からの解放といったプロセスに関与する。2 本鎖 DNA において、鎖がお互いに通り返けられるよう一過的に 2 本の鎖が解体／再結合する反応を触媒し、これにより DNA 形態が変化する。本酵素には、遺伝子重複に由来すると思われる 2 種類の形態が存在する。本遺伝子は α 形態をコードし、第 17 染色体上に局在する。 β をコードする遺伝子は第 3 染色体に局在している。本遺伝子は複数の抗がん剤の標的とされており、また本遺伝子における種々の変異が薬剤耐性の発生に関与することが知られている。本遺伝子活性の低下と毛細血管拡張性運動失調症との関連が報告されている [RefSeq Jul]。

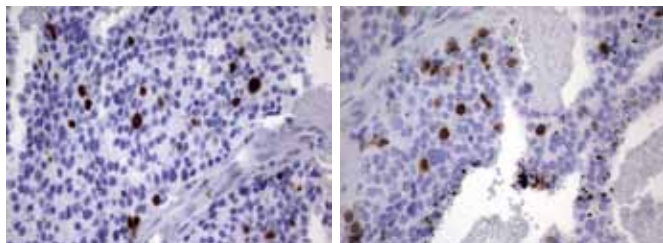


図.1 パラフィン包埋したヒト乳房組織の腺がんを anti-TOP2A マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB145、右：Clone UMAB146

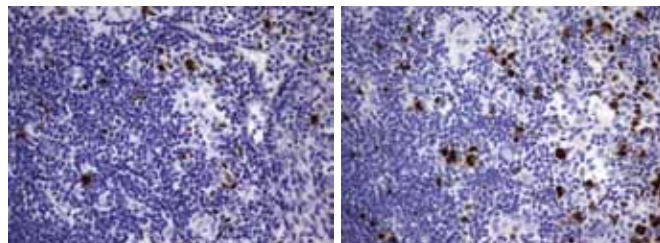


図.2 パラフィン包埋したヒトリンパ腫組織を anti-TOP2A マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB145、右：Clone UMAB146

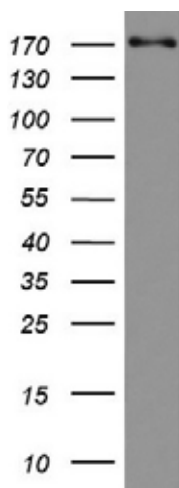


図.3 Jurkat 細胞可溶化液 (35ug) を anti-TOP2A モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (Clone UMAB146)

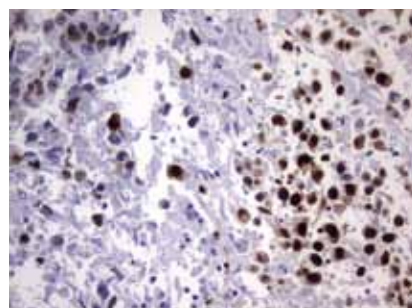


図.4 パラフィン包埋したヒト卵巣組織の腺がんを anti-TOP2A マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB146)

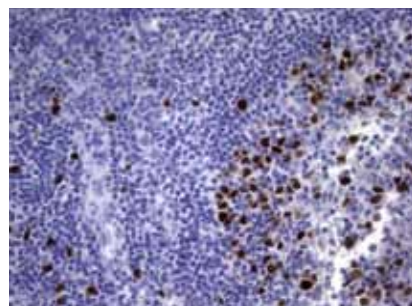


図.5 パラフィン包埋したヒト扁桃細胞を anti-TOP2A マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB146)

遺伝子名	Homo sapiens topoisomerase (DNA) II alpha 170kDa (TOP2A)						
別名	TOP2; TP2A						
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 1100-1531 of human TOP2A(NP_001058) produced in E.coli.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB145	適用	IHC	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:200,
	Clone UMAB146		WB, IHC		IgG1		WB 1:200, IHC 1:200,
	交差種	Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870042	Anti TOP2A, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB145	30 μ l	¥ 33,000
UM800042	Anti TOP2A, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB145	100 μ l	¥ 129,000
UM870043	Anti TOP2A, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB146	30 μ l	¥ 33,000
UM800043	Anti TOP2A, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB146	100 μ l	¥ 129,000

TP53 / NM_000546

本遺伝子は転写因子 STAT ファミリーメンバーをコードする。STAT ファミリーメンバーはサイトカインと生長因子に応答しキナーゼの受容体にリン酸化される。その後、ホモまたはヘテロ二量体を形成して細胞核に転座し、転写活性因子として機能する。本タンパク質は、IL2, IL3, IL7 GM-CSF, エリスロポエチン、トロンボポエチン、種々の成長因子といった多数の細胞リガンドにより活性化されかつその応答を仲介する。骨髄腫とリンパ腫において、TEL/JAK2 遺伝子融合を伴う本タンパク質の活性化は細胞刺激とは無関係かつ腫瘍形成に必須であることが示されている。本遺伝子に対応するマウス遺伝子は、BCL2L1/BCL-X(L) の発現を誘導することが報告されており、本遺伝子が細胞において抗アポトーシス性機能をもつことが示唆される [RefSeq Jul 2008]。

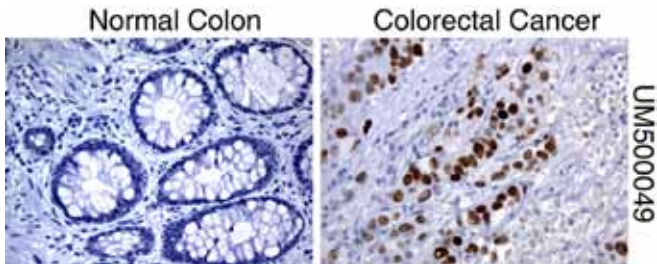


図.1 パラフィン包埋したヒト正常結腸組織と結腸がん組織を anti-TP53 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB55)

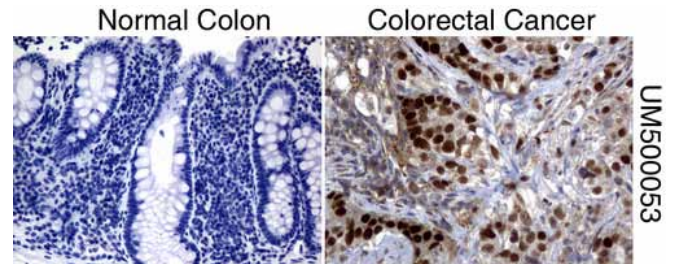


図.2 パラフィン包埋したヒト正常結腸組織と結腸がん組織を anti-TP53 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB62)

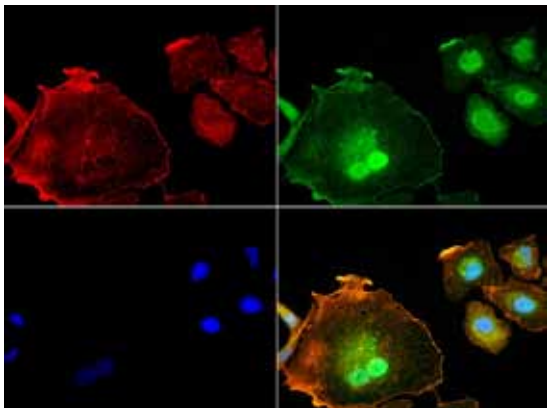


図.3 A549 細胞を anti-TP53 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (Clone UMAB18、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) した。3 色を重ね合わせた画像を右下に示した。

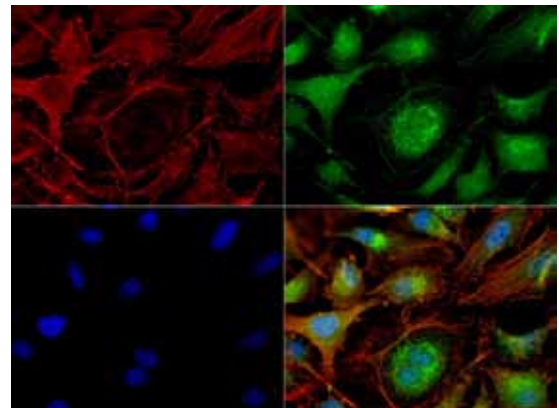


図.4 HeLa 細胞を anti-TP53 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (Clone UMAB19、緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) した。3 色を重ね合わせた画像を右下に示した。

遺伝子名	Homo sapiens tumor protein p53 (TP53), transcript variant 1									
別名	BCC7; LFS1; P53; TRP53									
抗原	Full length human recombinant protein of human TP53 (NP_000537) produced in HEK293T cell.									
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.									
クローン	Clone UMAB18	交差種	Human	アイソタイプ	IgG1	適用	WB, IHC, IF	推奨希釈 条件	WB 1:500~2000, IHC 1:150, IF 1:100, FLOW 1:100,	
	Clone UMAB19		Human, Monkey		IgG1		WB, IHC, IF		WB 1:500~2000, IHC 1:150, IF 1:100, FLOW 1:100,	
	Clone UMAB55		Human		IgG1		IHC, IF		IHC 1:100,	
	Clone UMAB62		Human		IgG1		IHC, IF, 10K-CHIP		IHC 1:50~100,	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)									

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570018	Anti TP53, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB18	30 µl	¥ 33,000
UM500018	Anti TP53, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB18	100 µl	¥ 129,000
UM570019	Anti TP53, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB19	30 µl	¥ 33,000
UM500019	Anti TP53, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB19	100 µl	¥ 129,000
UM570049	Anti TP53, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB55	30 µl	¥ 33,000
UM500049	Anti TP53, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB55	100 µl	¥ 129,000
UM570053	Anti TP53, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB62	30 µl	¥ 33,000
UM500053	Anti TP53, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB62	100 µl	¥ 129,000

TYMP / NM_001953

本遺伝子は血管新生因子をコードし、in vivo において血管新生を促進し、in vitro においてさまざまな上皮細胞の生長刺激を行う。非常に限定された標的細胞特異性を持ち、上皮細胞においてのみ機能する。本遺伝子における変異とミトコンドリア神経胃腸脳筋症との関連が示唆されている。複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されている [RefSeq Apr 2012]。

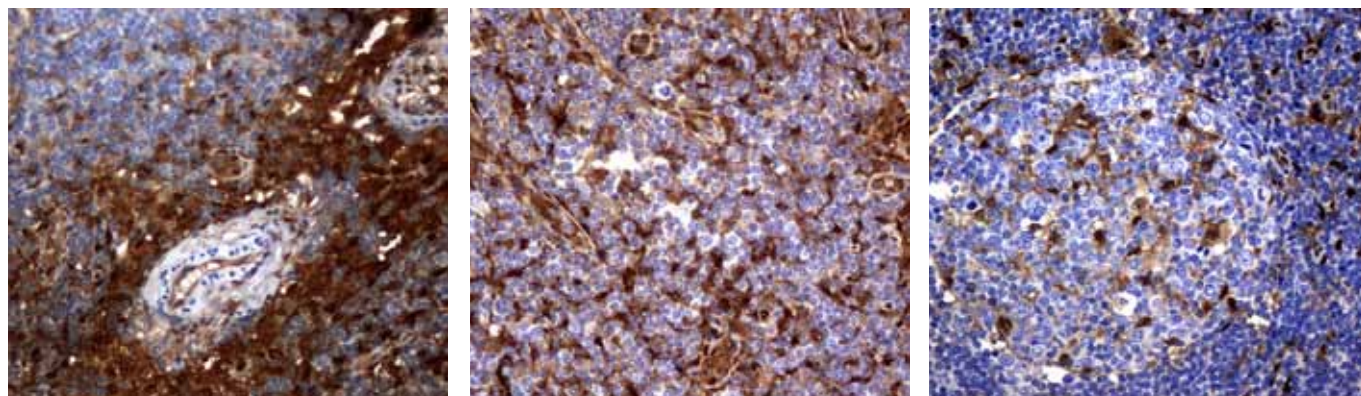


図.1 パラフィン包埋したヒトリンパ節組織を anti-TYMP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB90、中：UMAB97、右：UMAB98

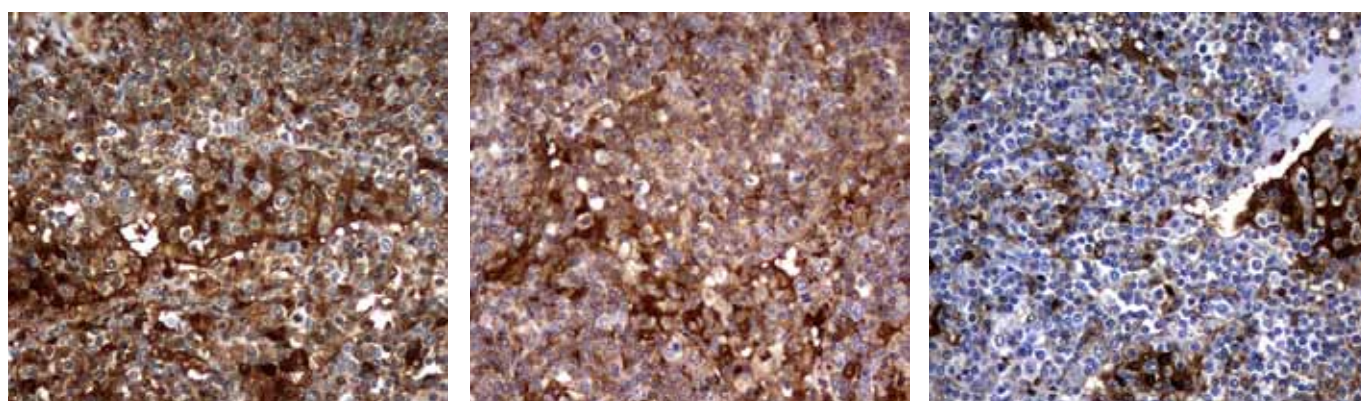


図.2 パラフィン包埋したヒトリンパ腫組織を anti-TYMP マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB90、中：UMAB97、右：UMAB98

遺伝子名	Homo sapiens thymidine phosphorylase (TYMP), transcript variant 2								
別名	ECGF; ECGF1; hPD-ECGF; MEDPS1; MNGIE; MTDPS1; PDECGF; TP								
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 311-482 of human TYMP (NP_001944) produced in E.coli.								
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.								
クローン	Clone UMAB90	交差種	Human	適用	IHC	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:100,
	Clone UMAB97		Human		IHC		IgG1		IHC 1:100,
	Clone UMAB98		Human		IHC		IgG2a		IHC 1:100,
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)								

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870021	Anti TYMP, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB90	30 µl	¥ 33,000
UM800021	Anti TYMP, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB90	100 µl	¥ 129,000
UM870027	Anti TYMP, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB97	30 µl	¥ 33,000
UM800027	Anti TYMP, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB97	100 µl	¥ 129,000
UM870028	Anti TYMP, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB98	30 µl	¥ 33,000
UM800028	Anti TYMP, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB98	100 µl	¥ 129,000

VPB1 / NM_003372

本遺伝子がコードするタンパク質は、フォンヒッペル・リンダウタンパク質と相互作用して細胞内複合体を形成する。シャペロンタンパク質としての機能をもつことから、フォンヒッペル・リンダウタンパク質が核周辺顆粒から核や細胞質に移送される経路への関与が疑われている [RefSeq Jul 2008]。

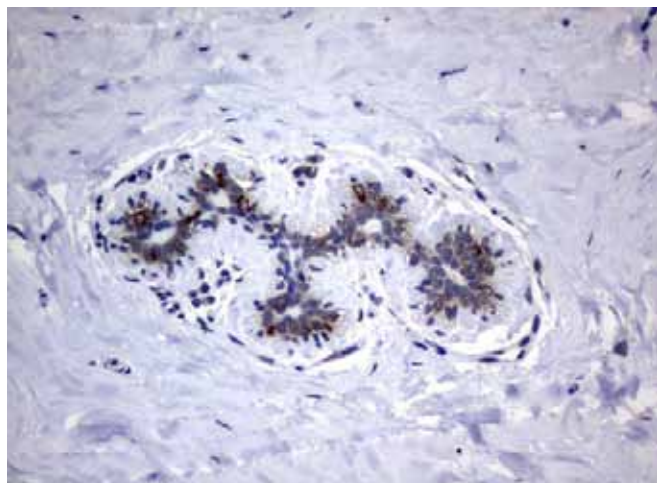


図.1 パラフィン包埋したヒト乳房組織を anti-VPB1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500063)

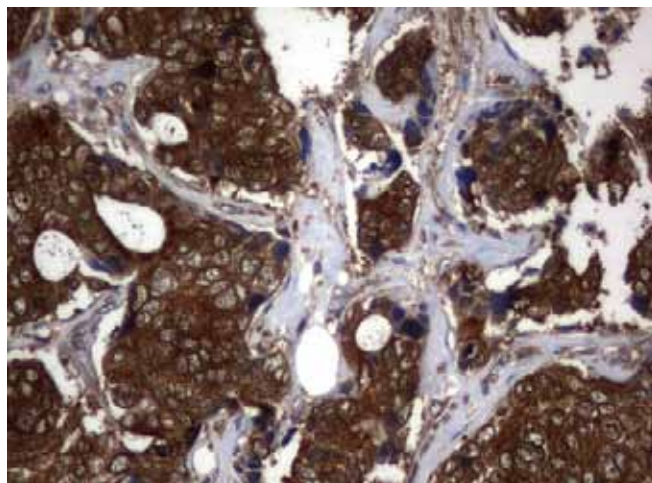


図.2 パラフィン包埋したヒト乳房組織の腺がんを anti-VPB1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500063)

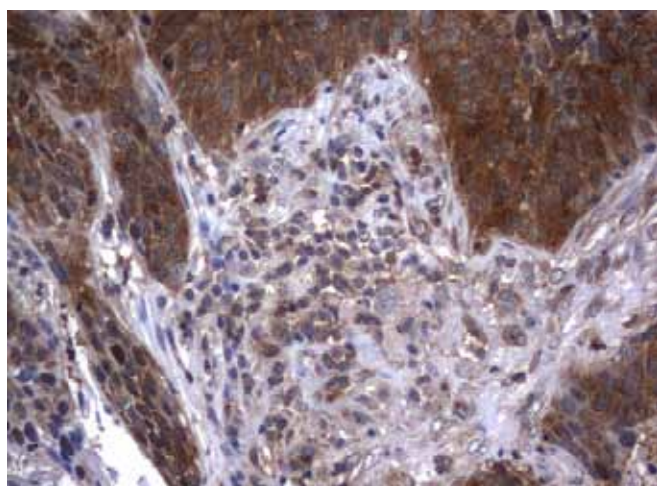


図.3 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-VPB1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500063)

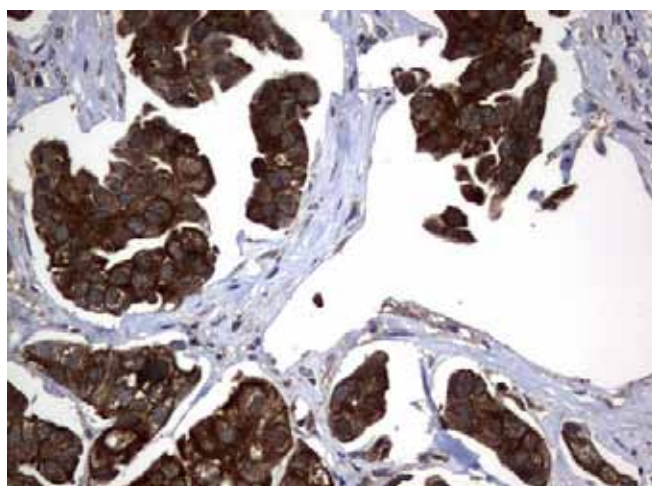


図.4 パラフィン包埋したヒト膀胱組織の細胞腫を anti-VPB1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM500063)

遺伝子名	Homo sapiens von Hippel-Lindau binding protein 1 (VPB1)		
別名	PFD3; PFDN3; VPB-1		
抗原	Full length human recombinant protein of human VPB1(NP_003363) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB75	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC 1:100,

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570063	Anti VPB1, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500063	Anti VPB1, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

VSNL1 / NM_003385

本遺伝子は、神経特異的カルシウムセンサータンパク質ビジニン／リカバリンスーパーファミリーメンバーをコードする。本タンパク質は小脳の顆粒細胞で高発現し、カルシウム依存的に膜結合すると同時に直接または間接的にアデニルシクラーゼ活性を制御して中枢神経系の細胞内情報伝達経路を調節する。選択的スプライシングを受けた転写物バリエーションが同定されているものの、その全長はわかっていない [RefSeq Jul 2008]。

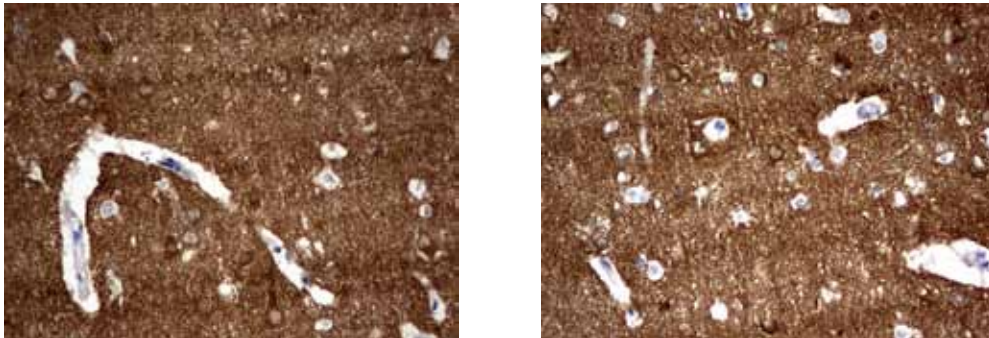


図.1 パラフィン包埋したヒト成体脳組織を anti-VSNL1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB115、右：Clone UMAB116

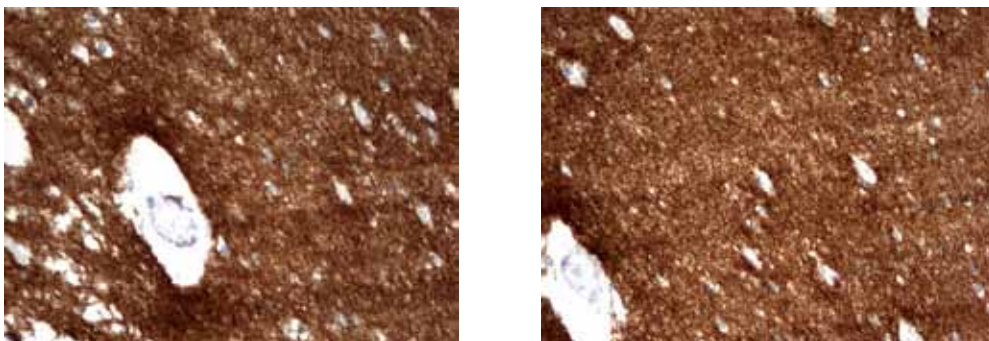


図.2 パラフィン包埋したヒト胚性脳皮質組織を anti-VSNL1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800035)
左：Clone UMAB115、右：Clone UMAB116

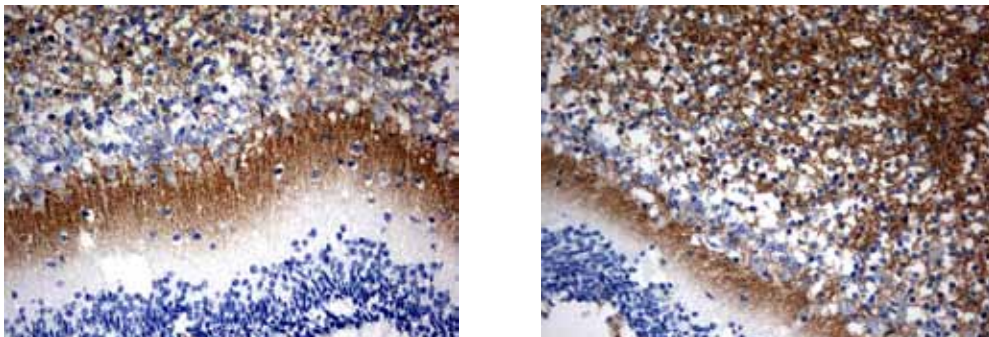


図.3 パラフィン包埋したヒト胚性小脳組織を anti-VSNL1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (UM800035)
左：Clone UMAB115、右：Clone UMAB116

遺伝子名	Homo sapiens visinin-like 1 (VSNL1)						
別名	HLP3; HPCAL3; HUVISL1; VILIP; VILIP-1						
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 2-191 of human VSNL1 (NP_003376) produced in E.coli.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB115	適用	IHC	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:200,
	Clone UMAB116		IHC		IgG1		IHC 1:200,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

Origene メーカー略号:ORG 保存:-20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870034	Anti VSNL1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB115	30 µl	¥ 33,000
UM800034	Anti VSNL1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB115	100 µl	¥ 129,000
UM870035	Anti VSNL1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB116	30 µl	¥ 33,000
UM800035	Anti VSNL1, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB116	100 µl	¥ 129,000

WFDC2 / NM_006103

本遺伝子は WFDC ドメインファミリーメンバーのタンパク質をコードする。WFDC ドメインまたは WAP 符号モチーフには、タンパク質コアに 4 つのジスルフィド結合をもつ 8 つのシステインをもち、多数のファミリーメンバーに対してタンパク質分解酵素阻害剤として機能する。本遺伝子は肺上皮細胞において発現し、また、卵巣がんの種類により発現が見られることがある。本タンパク質は小分泌タンパク質であり、精子成熟に関与すると考えられる [RefSeq Jul 2008]。

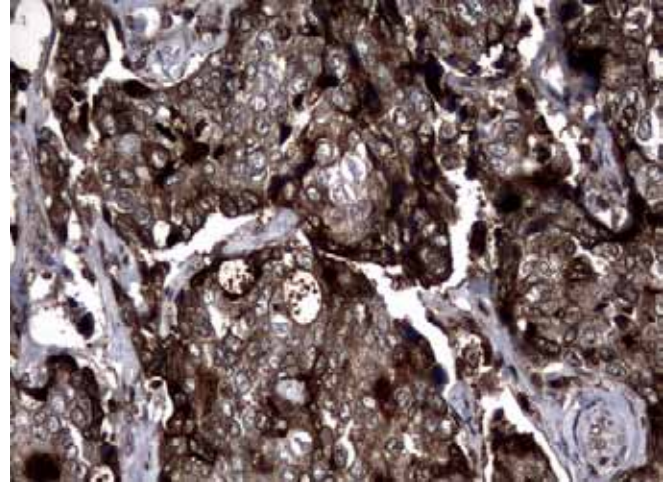
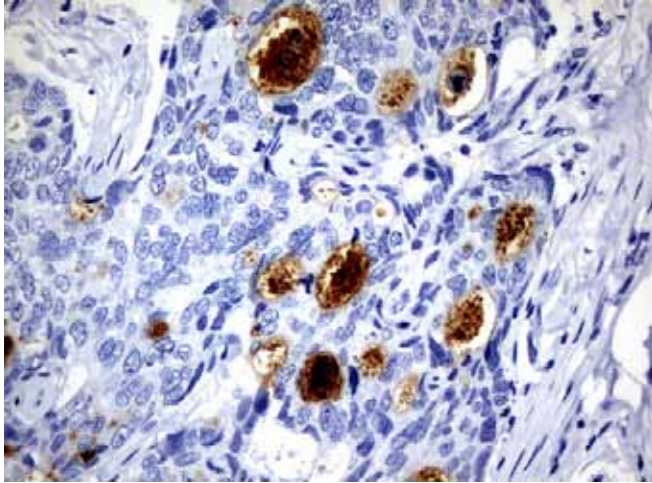


図.1 パラフィン包埋したヒト乳房組織の腺がんを anti-WFDC2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB87、右: Clone UMAB88

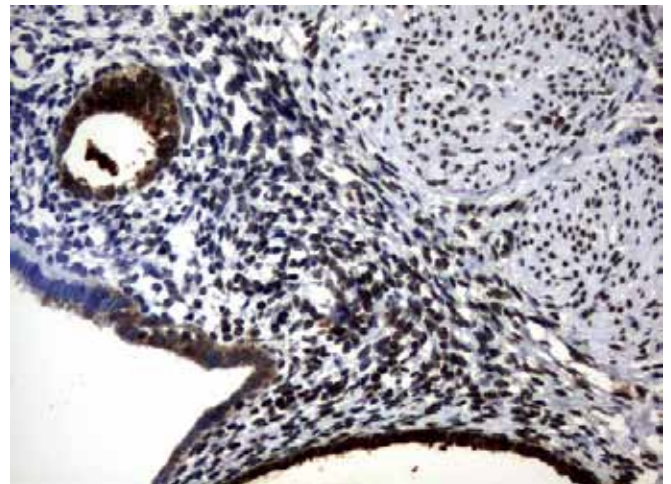
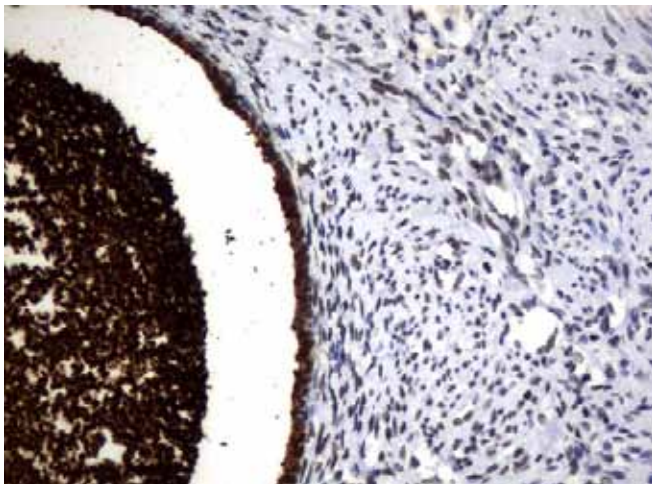


図.2 パラフィン包埋したヒト子宮内膜組織を anti-WFDC2 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB87、右: Clone UMAB88

遺伝子名	Homo sapiens WAP four-disulfide core domain 2 (WFDC2)						
別名	dJ461P17.6; EDDM4; HE4; WAP5						
抗原	Human recombinant protein fragment corresponding to amino acids 31-124 of human WFDC2 (NP_006094) produced in E.coli.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB87	適用	IHC, 10K-CHIP	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:100,
	Clone UMAB88		IHC, 10K-CHIP		IgG1		IHC 1:100,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM870018	Anti WFDC2, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB87	30 µl	¥ 33,000
UM800018	Anti WFDC2, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB87	100 µl	¥ 129,000
UM870019	Anti WFDC2, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB88	30 µl	¥ 33,000
UM800019	Anti WFDC2, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB88	100 µl	¥ 129,000

XPF / NM_005236

本遺伝子がコードするタンパク質は ERCC1 と複合体を形成し、ヌクレオチド除去修復の際の 5' 末端切り込みに関与する。本複合体は EME1 と相互作用する構造特異的 DNA 修復エンドヌクレアーゼである。本遺伝子の欠損は色素性乾皮症相補性グループ F (XP-F) または色素性乾皮症 VI (XP6) の原因となる。

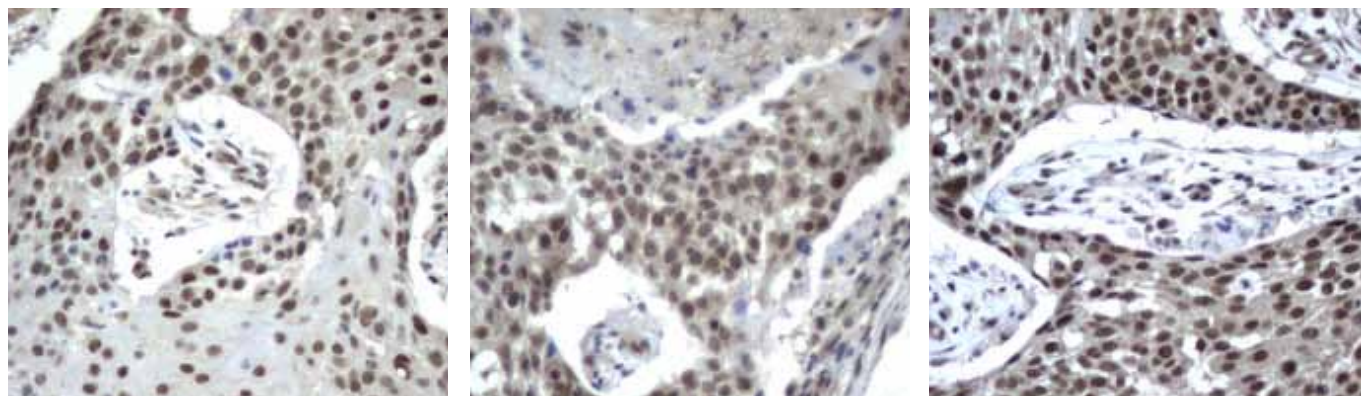


図.1 パラフィン包埋したヒト肺組織の細胞腫を anti-XPF(UMAB22) マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMAB20、中: UMAB21、右: UMAB22、希釈率はすべて 1:50

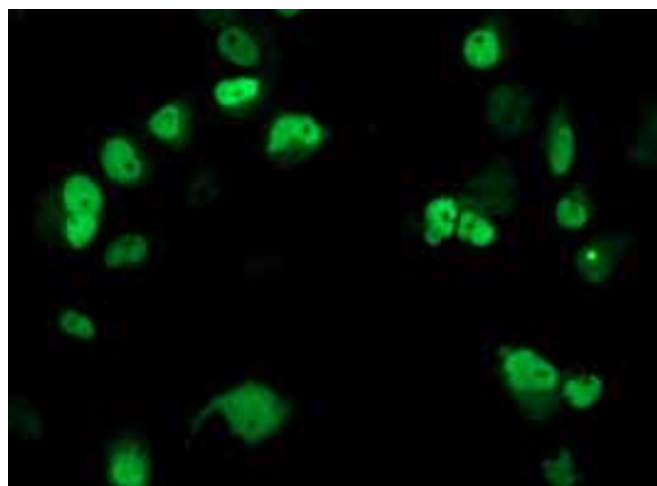


図.2 pCMV6-ENTRY XPF クローン (ORG 社 品番:RC223300) を一過性トランスフェクションした COS7 細胞を anti-XPF マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (Clone UMAB21、緑色) した。

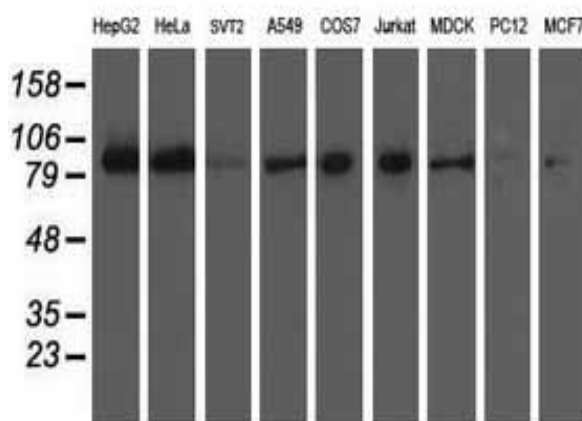


図.3 9種の細胞株からの抽出物 (35ug) を anti-XRCC1 モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (Clone UMAB21)

遺伝子名	Homo sapiens excision repair cross-complementing rodent repair deficiency, complementation group 4 (ERCC4)				
別名	ERCC11; FANCO; RAD1; XPF				
抗原	Full length human recombinant protein of human XPF (NP_005227) produced in HEK293 cell.				
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.				
クローン	Clone UMAB20	交差種	Human , Dog , Rat , Monkey , Mouse	アイソタイプ	IgG2a
	Clone UMAB21		Human , Dog , Rat , Monkey , Mouse		IgG1
	Clone UMAB22		Human		IgG2b
クローン	Clone UMAB20	適用	WB, IHC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:500~2000, IF 1:100, FLOW 1:100, IHC1:500
	Clone UMAB21		WB, IHC, IF, 10K-CHIP		WB 1:200~500, IF 1:100, FLOW 1:100, IHC 1:500
	Clone UMAB22		IHC, 10K-CHIP		WB 1:2000, IF 1:100, FLOW 1:100, IHC 1:500
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)				

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570020	Anti XPF, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB20	30 µl	¥ 33,000
UM500020	Anti XPF, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB20	100 µl	¥ 129,000
UM570021	Anti XPF, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB21	30 µl	¥ 33,000
UM500021	Anti XPF, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB21	100 µl	¥ 129,000
UM570022	Anti XPF, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB22	30 µl	¥ 33,000
UM500022	Anti XPF, UltraMAB™, Human (Mouse), clone UMAB22	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

XRCC1 / NM_006297

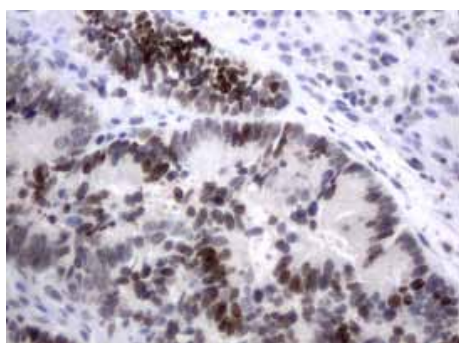


図.1 パラフィン包埋した結腸組織の腺がんを anti-XRCC1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB40, 希釈率 1:50)

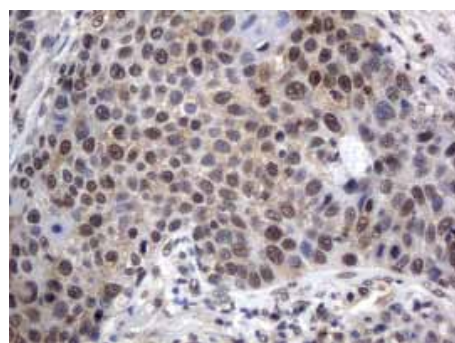


図.2 パラフィン包埋した肺組織の細胞腫を anti-XRCC1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB40, 希釈率 1:50)

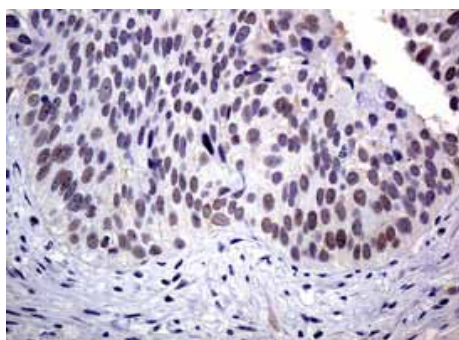


図.3 パラフィン包埋した膀胱組織の細胞腫を anti-XRCC1 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB40, 希釈率 1:50)

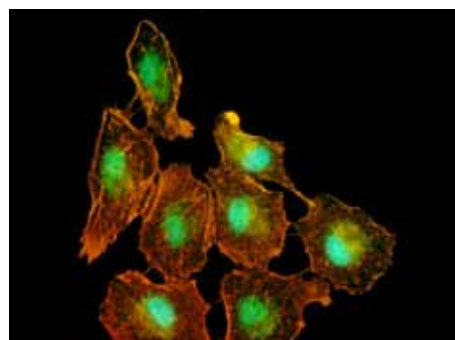


図.4 A549 細胞を anti-XRCC1 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500037, 緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3 色を重ね合わせた。

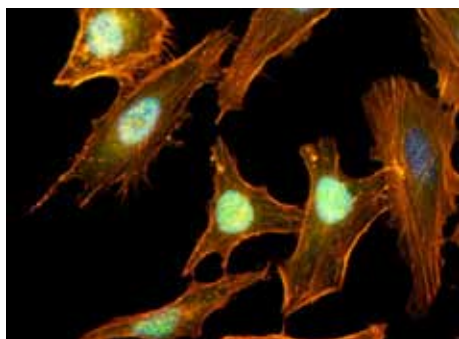


図.5 HeLa 細胞を anti-XRCC1 マウスモノクローナル抗体を用いて免疫蛍光染色 (UM500037, 緑色)。アクチン線維は TRITC- ファロイジン (赤色) ラベルし、核は DAPI 染色 (青色) し、3 色を重ね合わせた。

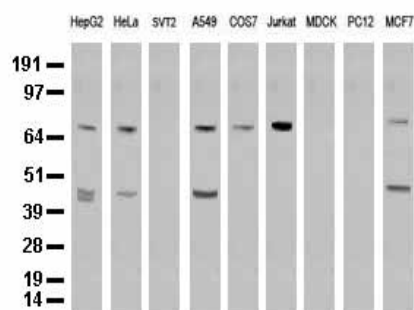


図.6 9 種の細胞株からの抽出物 (35ug) を anti-XRCC1 モノクローナル抗体を使ってウェスタンブロット解析 (Clone UMAB40, 希釈率 1:500)

遺伝子名	Homo sapiens X-ray repair complementing defective repair in Chinese hamster cells 1 (XRCC1)		
別名	RCC		
抗原	Full length human recombinant protein of human XRCC1 (NP_006288) produced in HEK293T cell.		
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.		
クローン	Clone UMAB40	アイソタイプ	IgG1
交差種	Human, Monkey	濃度	0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)		
適用	WB, IHC, IF, 10K-CHIP	推奨希釈条件	IHC: 1:50, IF 1:100

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570037	Anti XRCC1, UltraMAB™, Human (Mouse)	30 µl	¥ 33,000
UM500037	Anti XRCC1, UltraMAB™, Human (Mouse)	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号:ORG 保存: -20℃

ZSCAN18 / NM_023926

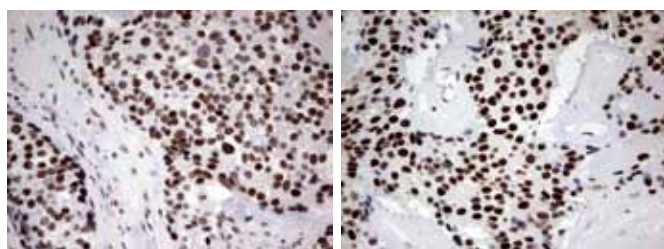


図.1 パラフィン包埋したヒト乳房組織の腺がんを anti-ZSCAN18 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB113、右：Clone UMAB114

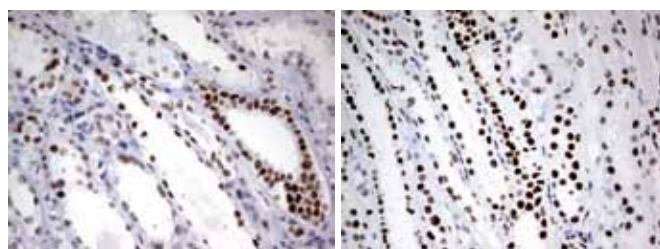


図.2 パラフィン包埋したヒト腎臓組織を anti-ZSCAN18 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB113、右：Clone UMAB114

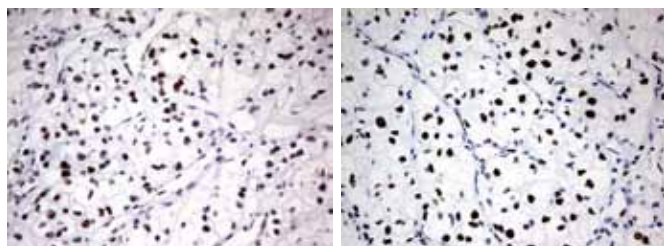


図.3 パラフィン包埋したヒト腎臓組織の細胞腫を anti-ZSCAN18 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB113、右：Clone UMAB114

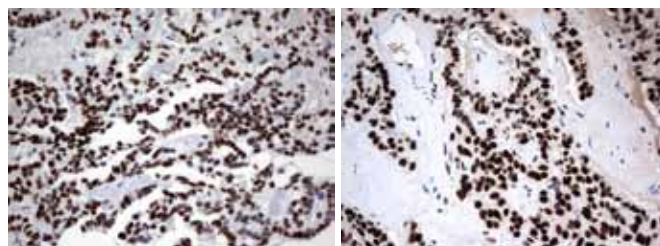


図.4 パラフィン包埋したヒト甲状腺組織の細胞腫を anti-ZSCAN18 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左：Clone UMAB113、右：Clone UMAB114

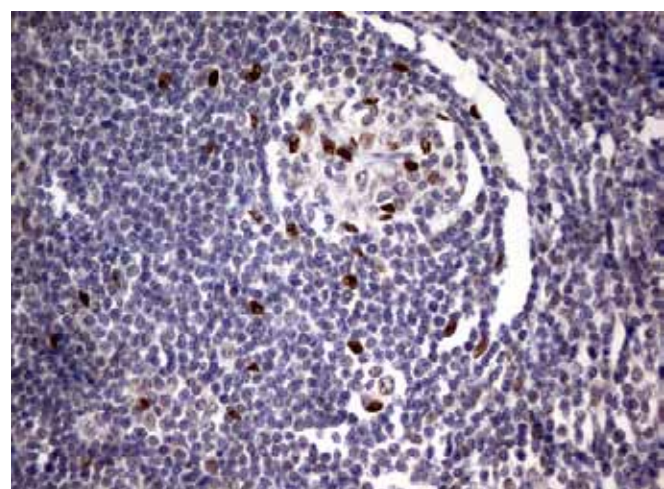


図.5 パラフィン包埋したヒト扁桃組織を anti-ZSCAN18 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB113)

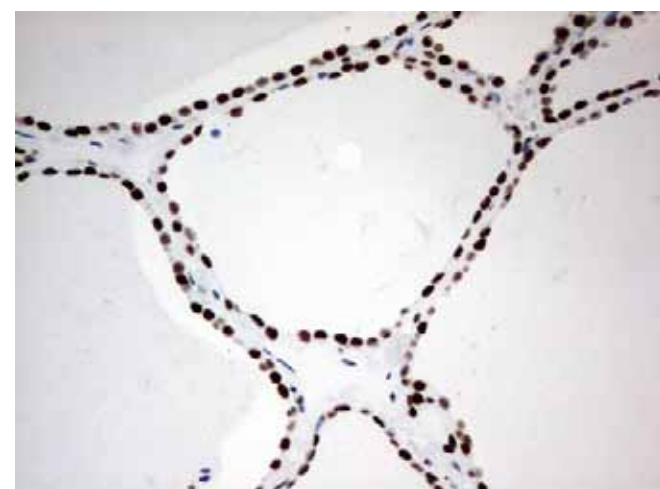


図.2 パラフィン包埋したヒト甲状腺組織を anti-ZSCAN18 マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色 (Clone UMAB114)

遺伝子名	Homo sapiens zinc finger and SCAN domain containing 18 (ZSCAN18), transcript variant 3						
別名	ZNF447						
抗原	Full length human recombinant protein of human ZSCAN18(NP_076415) produced in HEK293T cell.						
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.						
クローン	Clone UMAB113	適用	IHC	アイソタイプ	IgG1	推奨希釈条件	IHC 1:200,
	Clone UMAB114		IHC, 10K-CHIP		IgG1		IHC 1:100~200,
交差種		Human		濃度		0.5~1.0 mg/ml (Lot Dependent)	
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)						

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570080	Anti ZSCAN18, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB113	30 µl	¥ 33,000
UM500080	Anti ZSCAN18, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB113	100 µl	¥ 129,000
UM570081	Anti ZSCAN18, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB114	30 µl	¥ 33,000
UM500081	Anti ZSCAN18, UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMAB114	100 µl	¥ 129,000

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

β-Catenin / NM_001904

本遺伝子は接着結合 (AJs) を構成するタンパク質複合体の一部をコードする。AJs は上皮細胞層の創造や維持に必須であり、細胞生長と細胞間接着を調節する。本タンパク質はアクチン細胞骨格を繋留し、上皮シートが完成した際に分化を停止させる接触阻止シグナルの伝達を行う。また、APC 遺伝子産物に結合し、結腸の大腸腺腫症では変異がみられる。本遺伝子の変異は結腸がん (CRC)、石灰化上皮腫 (PTR)、髄芽腫 (MDB)、および卵巣がんを誘引する。同一タンパク質をコードする 3 種の転写バリエーションが同定されている。

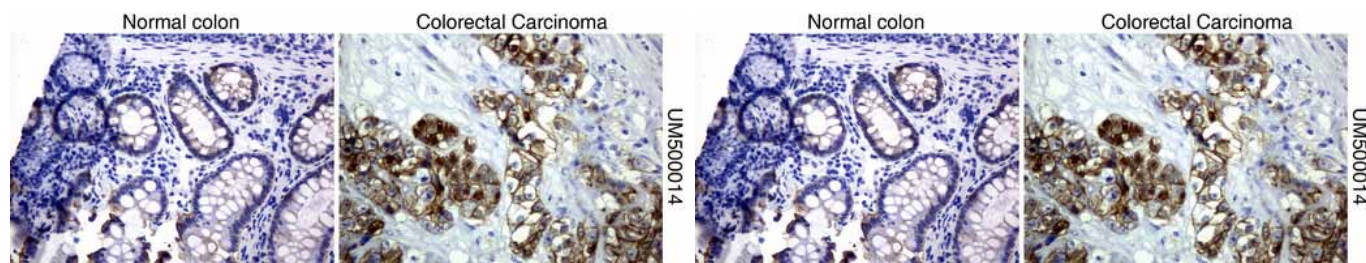


図.1 パラフィン包埋したヒト結腸組織および結腸直腸がん組織を anti-β-catenin マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMA14(希釈率 1:100)、右: Clone UMA15(希釈率 1:100)

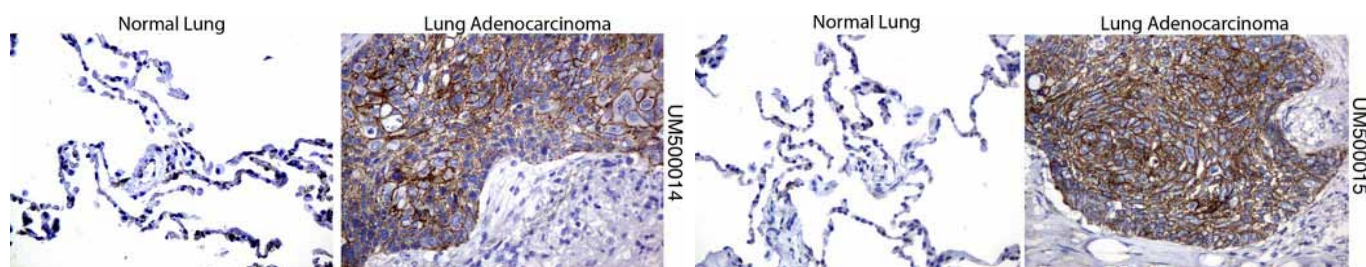


図.2 パラフィン包埋したヒト正常肺組織および肺腺がん組織を anti-β-catenin マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMA14(希釈率 1:100)、右: Clone UMA15(希釈率 1:100)

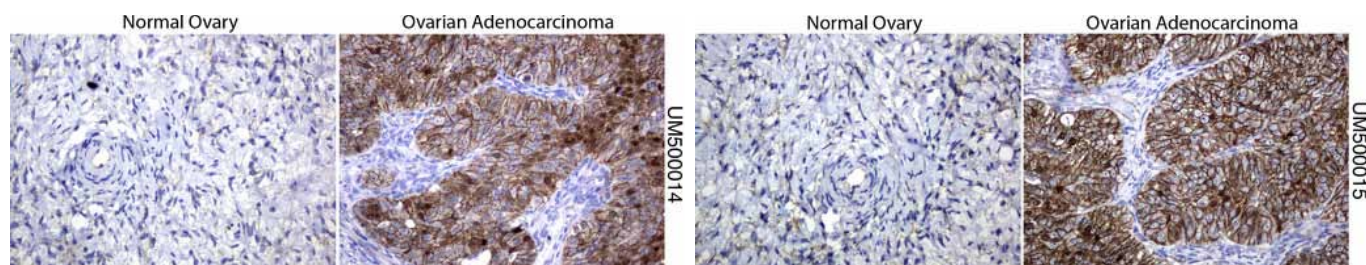


図.3 パラフィン包埋したヒト正常卵巣組織および卵巣腺がん組織を anti-β-catenin マウスモノクローナル抗体を使って免疫組織化学染色
左: Clone UMA14(希釈率 1:100)、右: Clone UMA15(希釈率 1:100)

遺伝子名	Homo sapiens catenin (cadherin-associated protein), beta 1, 88kDa (CTNNB1), transcript variant 1				
別名	armadillo; CTNNB; MRD19				
抗原	Full length human recombinant protein of human CTNNB1 (NP_001895) produced in HEK293T cell.				
バッファー	PBS (PH 7.3) containing 1% BSA, 50% glycerol and 0.02% sodium azide.				
クローン	Clone UMAB14	交差種	Human , Dog , Rat , Monkey , Mouse	アイソタイプ	IgG1
	Clone UMAB15		Human, Mouse, Rat, Monkey		IgG1
クローン	Clone UMAB14	適用	WB, IHC, IF, FC, 10K-CHIP	推奨希釈条件	WB 1:500~2000, IHC 1:150, FLOW 1:100,
	Clone UMAB15		WB, IHC, IF, FC, 10K-CHIP		WB 1:1000~2000, IHC 1:150, IF 1:100, FLOW 1:100,
精製	Purified from mouse ascites fluids by affinity chromatography (Protein A or G Sepharose)				

Origene メーカー略号 :ORG 保存 : -20℃

品番	品名	包装	希望販売価格
UM570014	Anti β-Catenin(CTNNB1), UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMA14	30 μl	¥ 33,000
UM500014	Anti β-Catenin(CTNNB1), UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMA14	100 μl	¥ 129,000
UM570015	Anti β-Catenin(CTNNB1), UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMA15	30 μl	¥ 33,000
UM500015	Anti β-Catenin(CTNNB1), UltraMAB™, Human (Mouse), Clone UMA15	100 μl	¥ 129,000

TrueMAB™ 抗体

立体構造のネイティブエピトープを認識



イムノアッセイの感度と特異性の改善は、プロテオーム研究において非常に重要な要素で、内因性タンパク質のネイティブエピトープの検出にはクオリティの高い抗体が必要です。オリジン社では、イムノアッセイの性能を向上させる目的で TrueMAB™ 抗体を開発しました。

- タンパク質立体構造のネイティブエピトープを認識
- リコンビナントタンパク質を抗原として使用
- 各種アプリケーションで検証済 (過剰発現 & 内因性)

■ ウェスタンブロット

過剰発現細胞ライセート
細胞株パネル (少なくとも7種)

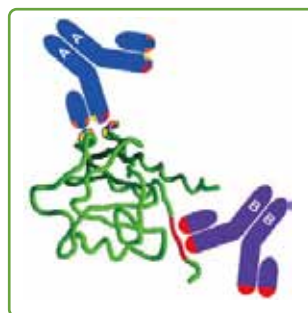
■ 免疫細胞染色

正常および疾患 FFPE ヒト組織 (24 種類まで)

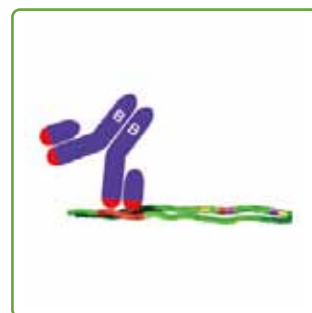
■ 免疫蛍光染色

■ フローサイトメトリー

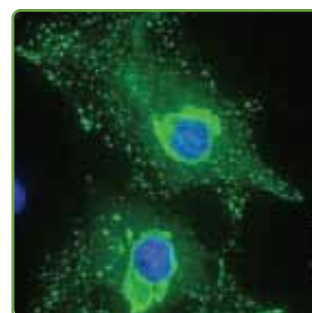
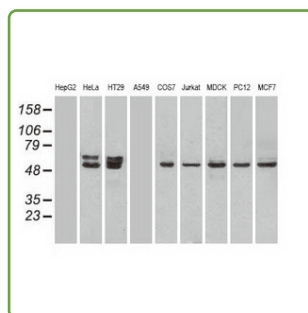
ポジコン (目的タンパク質の過剰発現細胞ライセート)
20μg 付き!!



IF, FC, IP, ELISA, IHC, multiplex



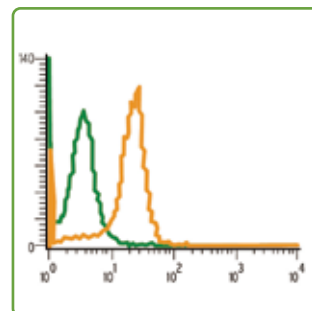
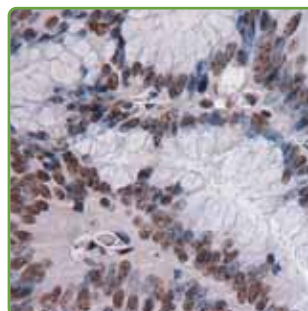
WB



ペプチド抗体より高い感度と特異性

TrueMAB™ 抗体は、抗原 (大部分の抗原は、ヒト細胞株で発現させた完全長タンパク質) にリコンビナントヒトタンパク質を用いており、この抗原はタンパク質構造を保存するためにネイティブな条件下でアフィニティ精製されたものです。

市販されている一般的な抗体は、短いペプチドを用いて作製しています。ペプチド抗原は、三次元構造を欠いているため、タンパク質構造を模倣するには不適當です。特に、ペプチド抗体は、ネイティブなタンパク質の表面上に豊富に存在する立体構造エピトープを認識できません。



商品検索方法

詳細は、コスモ・バイオホームページの「商品検索」より「TrueMAB」で検索して下さい。



Origene Technologies, Inc. メーカー略号: ORG



タンパク質発現を検証済の cDNA クローン

TrueORF GoldTM cDNA Clones

TrueORFTM クローンの中で、
タンパク質発現まで検証済のクローンを
TrueORF Gold クローンと呼んでいます。

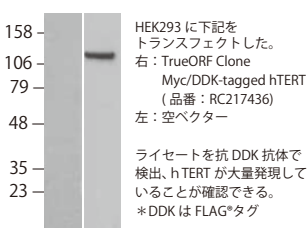
12,500

クローン以上

クローン数は
随時増えています！

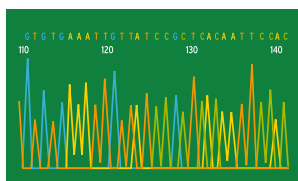
● ウェスタンで発現確認済

各 TrueORF Gold クローンは、そのままヒト細胞株にトランスフェクションしてタンパク質発現にお使いいただけます。



● シーケンス確認済

各 TrueORF Gold クローンは、シーケンスを完全に確認済みで、クロマトグラムファイルをオンライン上または商品に添付される USB データからご覧いただけます。



TrueORF Gold クローンをお使いの場合、変異や欠失、フレームシフトを心配する必要はありません。

● Transfection ready

サブクローニングやプラスミド精製の必要はありません。TrueORF Gold クローンは、ほ乳類細胞でのタンパク質発現に必要な全てのエレメント (プロモーター、ポリアデニル化シグナル、薬剤耐性マーカーなど) と共にコンストラクトされています。

● 60種類のシャトルベクターに簡単に組換え可

オリジンテクノロジー社では、カット＆ペーストで簡単にインサートをトランスファーできるよう、同一のクローニング部位を持つシャトルベクターを 60 種類以上取りそろえています。

- 蛍光タンパク質タグベクター 27 種類
- エピトープタグベクター 23 種類
- 選択マーカー 8 種類
- 誘導ベクター 2 種類
- バクテリア発現ベクター 5 種類

各種 cDNA クローン 商品検索の仕方

コスモ・バイオ HP より

<http://www.cosmobio.co.jp>

コスモバイオホームページ上の商品検索 (詳細検索、品番検索、抗体検索) にてお選びください。

Accession No. から検索可能です。詳細検索のキーワード検索をしてください。

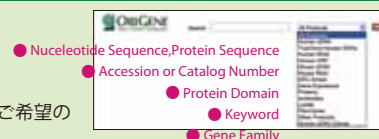
オリジンテクノロジー社 HP より

<http://www.origene.com>

① オリジンテクノロジー社 HP 右上の検索欄にご希望の遺伝子名、タンパク質名を入力します。

② 右のプルダウンメニューにより、ご希望の商品名を選択します。

③ 右の GO ボタンを押すと検索が開始され、品番が表示されます。



お願い および 注意事項

- 希望販売価格 … 「希望販売価格」は参考であり、販売店様からの販売価格ではございません。
記載の希望販売価格は 2013 年 12 月 1 日現在の希望販売価格です。
予告なしに改定される場合がありますので、ご注文の際にご確認下さい。消費税は含まれておりません。
- 使用範囲 … 記載の商品は全て、「研究用試薬」です。
人や動物の医療用・臨床診断用等としては使用しないよう、十分ご注意ください。

(11971)

取扱店



人と科学のステキな未来へ

コスモ・バイオ株式会社

〒135-0016 東京都江東区東陽 2-2-20 東陽駅前ビル
URL: <http://www.cosmobio.co.jp/>

● 営業部 (お問い合わせ)

TEL: (03) 5632-9610 FAX: (03) 5632-9619

TEL: (03) 5632-9620